

経営学 Business Administration				
岩田 浩 (イワタ ヒロシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	全	前期(30回)	必修	4

授業概要・目的・到達目標
 私たちの暮らしと企業との関わりを考察したうえで、企業経営の仕組みとその運営の仕方について基礎から学んでいく。こうした考察を通して、経営学に関する基本的な知識を養うことをめざしていく。

授業方法と留意点
 教科書を中心に補足説明を加える形で講義する。
科目学習の効果(資格)
 経営学検定、中小企業診断士、販売士、公認会計士

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 授業についてのガイダンスを行う。
【事前・事後学習課題】 シラバスをあらかじめ読んでおくこと。
 - 第2回 【授業テーマ】 生活を支える企業(1)
【内容・方法等】 企業が私たちの生活を支えていることを確認しつつ、企業経営が発展したことの意味について考えていく
【事前・事後学習課題】 教科書第1章と今回の講義の論点整理
【授業テーマ】 生活を支える企業(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第1章と今回の講義の論点整理
 - 第3回 【授業テーマ】 環境の変化と企業経営(1)
【内容・方法等】 企業とそれを取り巻く環境の変化を歴史的に辿りながら、企業経営の今後の方向性を探る
【事前・事後学習課題】 教科書第2章と今回の講義の論点整理
 - 第4回 【授業テーマ】 環境の変化と企業経営(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第2章と今回の講義の論点整理
 - 第5回 【授業テーマ】 現代の企業社会と経営学を学ぶ意義(1)
【内容・方法等】 日本の企業社会の変遷を学びながら、経営学を学習する意義を探る
【事前・事後学習課題】 教科書第3章と今回の講義の論点整理
 - 第6回 【授業テーマ】 現代の企業社会と経営学を学ぶ意義(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第3章と今回の講義の論点整理
 - 第7回 【授業テーマ】 企業は誰が経営し、動かしているのか(1)
【内容・方法等】 株式会社の支配と統治についての基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 教科書第4章と今回の講義の論点整理
 - 第8回 【授業テーマ】 企業は誰が経営し、動かしているのか(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第4章と今回の講義の論点整理
 - 第9回 【授業テーマ】 企業の目標と戦略(1)
【内容・方法等】 企業活動がめざす目標と戦略についての基礎を学んでいく
【事前・事後学習課題】 教科書第5章と今回の講義の論点整理
 - 第10回 【授業テーマ】 企業の目標と戦略(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第5章と今回の講義の論点整理
 - 第11回 【授業テーマ】 経営資源(1)
【内容・方法等】 企業活動にとって不可欠な経営資源について学ぶ
【事前・事後学習課題】 教科書第6章と今回の講義の論点整理
 - 第12回 【授業テーマ】 経営資源(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第6章と今回の講義の論点整理
 - 第13回 【授業テーマ】 企業の組織と管理(1)
【内容・方法等】 企業組織の編成と管理に関する基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 教科書第7章と今回の講義の論点整理
 - 第14回 【授業テーマ】 企業の組織と管理(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第7章と今回の講義の論点整理
 - 第15回 【授業テーマ】 情報と意思決定(1)
【内容・方法等】 企業活動における情報の役割を意思決定の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 教科書第8章と今回の講義の論点整理
 - 第16回 【授業テーマ】 情報と意思決定(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第8章と今回の講義の論点整理
 - 第17回 【授業テーマ】 企業の競争と戦略(1)
【内容・方法等】 企業組織の編成と管理の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 教科書第9章と今回の講義の論点整理
 - 第18回 【授業テーマ】 企業の競争と戦略(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第9章と今回の講義の論点整理
 - 第19回 【授業テーマ】 企業のマーケティング(1)

- 【内容・方法等】 企業のマーケティング活動の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 教科書第10章と今回の講義の論点整理
【授業テーマ】 企業のマーケティング(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第10章と今回の講義の論点整理
- 第22回 【授業テーマ】 企業の研究開発と生産管理(1)
【内容・方法等】 企業の研究開発と生産管理の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 教科書第11章と今回の講義の論点整理
- 第23回 【授業テーマ】 企業の研究開発と生産管理(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第11章と今回の講義の論点整理
- 第24回 【授業テーマ】 企業の財務管理(1)
【内容・方法等】 企業の資金調達とその運用の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 教科書第12章と今回の講義の論点整理
- 第25回 【授業テーマ】 企業の財務管理(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第12章と今回の講義の論点整理
- 第26回 【授業テーマ】 企業の人的資源管理(1)
【内容・方法等】 企業の人材活用の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 教科書第13章と今回の講義の論点整理
- 第27回 【授業テーマ】 企業の人的資源管理(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第13章と今回の講義の論点整理
- 第28回 【授業テーマ】 企業文化(1)
【内容・方法等】 企業文化の意義と機能について学ぶ
【事前・事後学習課題】 教科書第14章と今回の講義の論点整理
- 第29回 【授業テーマ】 企業文化(2)
【内容・方法等】 前回の続き
【事前・事後学習課題】 教科書第14章と今回の講義の論点整理
- 第30回 【授業テーマ】 総括

評価方法(基準)
 試験の成績により評価する。

教材等
 教科書…片岡・齊藤・佐々木・高橋・渡辺著「はじめて学ぶ人のための経営学ver.2」文真堂、2,500円。
 参考書…適宜指示する

学生へのメッセージ
 各單元ごとに小テストを実施する。連続性のある講義なので出席するのが望ましい。

関連科目
 経営管理論、経営組織論
担当者の研究室等
 11号館8階(個人研究室)

企業簿記 Bookkeeping				
石橋 康男 (イシハシ ヤスオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A B C D E	前期(30回)	必修	4

授業概要・目的・到達目標
 この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成するという簿記手続きの全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解し、中級以上の簿記や、簿記を技術的基礎とする会計関連科目に発展的に取り組むために最低必要な株式会社簿記の基本について解説する。

授業方法と留意点
 簡単な説明を行い、自分で実際に練習問題を解く。その後、再度解説する。問題を解きながら理解していく。また、学生の理解に応じて練習問題を追加したりするので、授業計画が変更、修正されることもある。

科目学習の効果(資格)
 日本商工会議所簿記検定、公認会計士試験、税理士試験を受験するためには必要不可欠な科目である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 簿記の基礎①
【内容・方法等】 資産・負債・純資産と貸借対照表
【事前・事後学習課題】 教科書 p 4 ~ p 6
必要に応じて練習問題を配布、以降同様
 - 第2回 【授業テーマ】 簿記の基礎②
【内容・方法等】 収益・費用と損益計算書
【事前・事後学習課題】 教科書 p 7 ~ p 10
 - 第3回 【授業テーマ】 簿記の基礎③
【内容・方法等】 取引と勘定、
【事前・事後学習課題】 教科書 p 11 ~ p 13
 - 第4回 【授業テーマ】 簿記の基礎④
【内容・方法等】 仕訳・転記
【事前・事後学習課題】 教科書 p 14 ~ p 16
 - 第5回 【授業テーマ】 簿記の基礎⑤
【内容・方法等】 試算表

- 第6回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 22～p 25
【授業テーマ】 簿記の基礎⑥
【内容・方法等】 決算と損益計算書と貸借対照表
- 第7回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 26～p 32
【授業テーマ】 簿記の基礎⑦
【内容・方法等】 精算表
- 第8回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 33～p 35
【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法等】
- 第9回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 4～p 35
【授業テーマ】 現金・預金①
【内容・方法等】 現金・現金過不足
- 第10回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 36～p 40
【授業テーマ】 現金・預金②
【内容・方法等】 当座預金・当座借越
- 第11回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 41～p 45
【授業テーマ】 商品売買
【内容・方法等】 三分法
- 第12回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 51～p 59
【授業テーマ】 商品有高帳
【内容・方法等】 先入先出法、移動平均法
- 第13回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 65～p 71
【授業テーマ】 売掛金・買掛金
【内容・方法等】 売掛金・買掛金、貸し倒れ・貸倒引当金
- 第14回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 72～p 78
【授業テーマ】 受取手形・支払手形
【内容・方法等】 受取手形・支払手形
- 第15回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 79～p 85
【授業テーマ】 その他の債権・債務①
【内容・方法等】 貸付金・借入金、未収金・未払金、前払金・前受金
- 第16回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 86、88
【授業テーマ】 その他の債権・債務②
【内容・方法等】 立替金・預り金、仮払金・借受金、商品券
- 第17回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 87、p 89～p 90
【授業テーマ】 有価証券
【内容・方法等】 購入、売却、評価替え
- 第18回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 91～p 94
【授業テーマ】 固定資産
【内容・方法等】 取得、減価償却、売却
- 第19回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 95～p 98
【授業テーマ】 資本金・引出金
【内容・方法等】 資本金、引出金
- 第20回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 101～p 103
【授業テーマ】 決算①
【内容・方法等】 費用・収益の繰り延べ
- 第21回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 106～p 108
【授業テーマ】 決算②
【内容・方法等】 費用・収益の見越し
- 第22回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 109～p 113
【授業テーマ】 決算③
【内容・方法等】 精算表の作成1
- 第23回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 126～p 127
【授業テーマ】
【内容・方法等】 精算表の作成2
- 第24回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 128～p 130
【授業テーマ】
【内容・方法等】 精算表の作成3
- 第25回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 131～p 135
【授業テーマ】 まとめと確認テスト
【内容・方法等】
- 第26回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 36～p 135
【授業テーマ】 財務諸表の作成①
【内容・方法等】 簿記と財務会計
- 第27回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 140～p 143、練習問題
【授業テーマ】 財務諸表の作成②
【内容・方法等】 簿記と原価計算・管理会計
- 第28回 【事前・事後学習課題】 練習問題1
【授業テーマ】 日商簿記検定問題①
【内容・方法等】 仕訳の問題
- 第29回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 157～p 160
【授業テーマ】 日商簿記検定問題②
【内容・方法等】 精算表の問題
- 第30回 【事前・事後学習課題】 教科書 p 170～p 173
【授業テーマ】 日商簿記検定問題③
- 評価方法 (基準)
学期末試験の結果により評価する。
- 教材等
教科書…「日商簿記検定問題集3級」実教出版 (900円)
参考書…「日商簿記検定テキスト3級」実教出版 (1,619円)
- 学生へのメッセージ
簿記は習うよりも慣れる、すなわち実際に自分で問題を解いて体得することが重要です。毎週の講義を積み重ねていくことで、理論ではなくその処理を正確に身につけることが可能となります。

す。とにかく授業に出席して、自分で問題を解いてみてください。
関連科目
財務会計論、原価計算論、会計情報論等。
担当者の研究室等
11号館6階(非常勤講師室)

コンピュータ概論
Computer Science

久保 貞也 (クボ サダヤ)
針尾 大嗣 (ハリオ ダイジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	全	通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本講義は、現代社会を支える重要な社会基盤となったコンピュータおよびインターネットについて、その機能と仕組みを理解し、利用者として賢く利用していく方法について学ぶことを目的としている。前期では、コンピュータによってもたらされている現代社会の利便性の向上について考えと共に、情報に関する概念や表現方法、コンピュータの構成要素である論理回路や5大機能、コンピュータを制御するソフトウェアやプログラミング言語など、コンピュータに関する基礎的な知識の習得を目指す。後期では、インターネットの歴史、通信技術の仕組みや急速な勢いで展開される情報サービスの特徴や最新動向およびその利用方法などについて、適時、デモンストラーションや映像教材の視聴を行いながら解説していく。

授業方法と留意点

プロジェクターを用いたプレゼン資料と配布資料を中心に解説を行う。定期的に小テストを実施する。

科目学習の効果 (資格)

ITパスポート試験・基本情報技術者試験などIT系の資格を取得するのに重要な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション (コンピュータ概論 (前期) について)
【内容・方法等】 講義の狙い、進め方について
【事前・事後学習課題】 シラバスを読んでおくこと
- 第2回 【授業テーマ】 コンピュータの活用 (1)
【内容・方法等】 現在のコンピュータ利用についての紹介
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 コンピュータの活用 (2)
【内容・方法等】 コンピュータを利用した学習や生活の変化
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 企業のIT活用 (1)
【内容・方法等】 企業におけるIT活用の実状、その必要性について
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第5回 【授業テーマ】 企業のIT活用 (2)
【内容・方法等】 情報化社会のビジネスチャンスについて
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 コンピュータの歴史
【内容・方法等】 コンピュータが登場した背景と発展の経緯
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 ソフトウェアの歴史
【内容・方法等】 プログラミング言語の発展からオペレーティングシステムの発展について
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第8回 【授業テーマ】 情報の表現 (1)
【内容・方法等】 2進数の表現
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：テストの解答内容を見直しておくこと。
- 第9回 【授業テーマ】 情報の表現 (2)
【内容・方法等】 画像や音声の圧縮について
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

- 第10回** 【授業テーマ】 ハードウェアの仕組み (1)
 【内容・方法 等】 システムの構成について
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 ハードウェアの仕組み (2)
 【内容・方法 等】 記憶装置や記録方式について
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 ソフトウェアの役割 (1)
 【内容・方法 等】 プログラムの必要性、開発方法について
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 ソフトウェアの役割 (2)
 【内容・方法 等】 データベースの設計について
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 情報倫理と情報セキュリティ
 【内容・方法 等】 個人のセキュリティ対策、情報モラルと著作権などについて
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 前期のまとめ
 【内容・方法 等】 -----
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第16回** 【授業テーマ】 コンピュータ概論 (後期) について
 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・インターネットが社会にもたらしたもの
 ・本講義の進め方
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第17回** 【授業テーマ】 インターネットの歴史
 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・インターネットの歴史
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第18回** 【授業テーマ】 未来の情報社会
 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・次世代情報通信技術
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第19回** 【授業テーマ】 インターネットのサービス類型
 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・インターネットを基盤とした各種サービス
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第20回** 【授業テーマ】 インターネット・ビジネスの市場と動向
 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・情報通信産業の規模、市場動向
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第21回** 【授業テーマ】 マーケティングとIT (1)
 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・マーケティングとメディア
 ・これからのマーケティングと情報通信技術
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第22回** 【授業テーマ】 マーケティングとIT (2)
 【内容・方法 等】 中間まとめとテスト
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：テストの解答内容を見直しておくこと。
- 第23回** 【授業テーマ】 インターネットの仕組み (1)
 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・コンピュータの基本構造
 ・インターネットの基本的仕組み
 ・HTTP
 ・メールの送受信とSMTPの仕組み
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第24回** 【授業テーマ】 インターネットの仕組み (2)

- 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・インターネットの要素技術
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第25回** 【授業テーマ】 モバイル通信の仕組み (1)
 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・移動体情報通信とは
 ・携帯電話で通話できる仕組み
 ・モバイルキャリア
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第26回** 【授業テーマ】 モバイル通信の仕組み (2)
 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・無線LAN
 ・データ通信
 ・スマートフォン
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第27回** 【授業テーマ】 ソーシャルメディア (1)
 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・ソーシャルメディアサービスの事例紹介
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第28回** 【授業テーマ】 ソーシャルメディア (2)
 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・ソーシャルメディアサービスの事例紹介
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第29回** 【授業テーマ】 情報セキュリティ
 【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
 ・インターネットのリスクと対策
 ・情報セキュリティ技術各種
 【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第30回** 【授業テーマ】 後期のまとめ

評価方法 (基準)
 小テスト、レポート、期末試験、出席をもとに総合的に評価する。私語、携帯の使用、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。

教材等
教科書…講義にて指定する。
参考書…適時、配布する。

学生へのメッセージ
 受け身の姿勢では何も身につけません。目的意識を持って積極的に講義に参加してください。

関連科目
 情報関連科目全般
担当者の研究室等
 前期：11号館7階 (久保准教授室)
 後期：11号館7階 (針尾准教授室)

備考
 シラバスの内容については、受講生の理解の程度、関心に合わせて適時調整する。

C言語プログラミング C Programming				
牧野 純 (マキノ ジュン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択必修	4

授業概要・目的・到達目標
 コンピュータを理解するためにはプログラミングの学習が欠かせない。「プログラミング基礎」の授業では、C言語を用いた基礎的なプログラミングを通して、コンピュータの構造と動作について理解を深めた。この授業ではC言語についてさらに学習を進め、プログラミングの技術を高める。C言語の文法の基礎的な部分をマスターし、簡単なプログラムが自由に書けるようになることを目標とする。

授業方法と留意点
 内容の解説と演習による。欠席や遅刻は授業の理解を著しく妨げる。

科目学習の効果 (資格)
 基本情報技術者試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Cによるプログラミング
【内容・方法 等】 プログラミング作業の流れ、プログラムの書き方
【事前・事後学習課題】 プリント（1）の練習問題
- 第2回 【授業テーマ】 文字列の表示
【内容・方法 等】 文字列リテラル、拡張表記、コメント
【事前・事後学習課題】 プリント（2）の練習問題
- 第3回 【授業テーマ】 値の表示
【内容・方法 等】 整数値の表示、実数値の表示、四則演算
【事前・事後学習課題】 プリント（3）の練習問題
- 第4回 【授業テーマ】 変数
【内容・方法 等】 型、変数、代入、キーボードからの読み込み
【事前・事後学習課題】 プリント（4）の練習問題
- 第5回 【授業テーマ】 if文
【内容・方法 等】 if文、if文の入れ子、条件を表す式、ブロック
【事前・事後学習課題】 プリント（5）の練習問題
- 第6回 【授業テーマ】 switch文と条件演算子
【内容・方法 等】 switch文、条件演算子
【事前・事後学習課題】 プリント（6）の練習問題
- 第7回 【授業テーマ】 while文とdo文
【内容・方法 等】 while文、do文、増分演算子、減分演算子
【事前・事後学習課題】 プリント（7）の練習問題
- 第8回 【授業テーマ】 for文
【内容・方法 等】 for文、複合代入演算子
【事前・事後学習課題】 プリント（8）の練習問題
- 第9回 【授業テーマ】 多重ループ
【内容・方法 等】 二重ループ、多重ループ
【事前・事後学習課題】 プリント（9）の練習問題
- 第10回 【授業テーマ】 break文とcontinue文とgoto文
【内容・方法 等】 break文、continue文、goto文
【事前・事後学習課題】 プリント（10）の練習問題
- 第11回 【授業テーマ】 配列
【内容・方法 等】 配列、配列要素、添字、配列の初期化
【事前・事後学習課題】 プリント（11）の練習問題
- 第12回 【授業テーマ】 多次元配列
【内容・方法 等】 2次元配列、多次元配列
【事前・事後学習課題】 プリント（12）の練習問題
- 第13回 【授業テーマ】 関数（1）
【内容・方法 等】 標準ライブラリ関数の呼び出し、関数定義と関数呼び出し、関数プロトタイプ宣言
【事前・事後学習課題】 プリント（13）の練習問題
- 第14回 【授業テーマ】 関数（2）
【内容・方法 等】 返却値のない関数、変数の有効範囲と寿命
【事前・事後学習課題】 プリント（14）の練習問題
- 第15回 【授業テーマ】 関数演習
【内容・方法 等】 関数を作成し、利用するプログラムの練習
【事前・事後学習課題】 プリント（15）の練習問題
- 第16回 【授業テーマ】 マクロ
【内容・方法 等】 オブジェクト形式マクロ、関数形式マクロ
【事前・事後学習課題】 プリント（16）の練習問題
- 第17回 【授業テーマ】 再帰関数
【内容・方法 等】 再帰呼び出し、再帰関数
【事前・事後学習課題】 プリント（17）の練習問題
- 第18回 【授業テーマ】 ポインタ
【内容・方法 等】 アドレス演算子、ポインタ変数、間接参照演算子
【事前・事後学習課題】 プリント（18）の練習問題
- 第19回 【授業テーマ】 関数とポインタ（1）
【内容・方法 等】 関数に変数を渡したい
【事前・事後学習課題】 プリント（19）の練習問題
- 第20回 【授業テーマ】 関数とポインタ（2）
【内容・方法 等】 複数の値を戻したい
【事前・事後学習課題】 プリント（20）の練習問題
- 第21回 【授業テーマ】 配列とポインタ
【内容・方法 等】 ポインタとしての配列名、配列を関数に渡したい
【事前・事後学習課題】 プリント（21）の練習問題
- 第22回 【授業テーマ】 文字と文字列
【内容・方法 等】 char型と文字定数、文字の入出力、文字列と文字列リテラル、文字配列の初期化、文字列の入出力
【事前・事後学習課題】 プリント（22）の練習問題
- 第23回 【授業テーマ】 文字列とポインタ
【内容・方法 等】 配列を用いた文字列の表現、ポインタを用いた文字列の表現、関数に文字列を渡す、関数から文字列を受け取る
【事前・事後学習課題】 プリント（23）の練習問題
- 第24回 【授業テーマ】 文字と文字列の標準ライブラリ関数
【内容・方法 等】 文字処理関数、文字列処理関数
【事前・事後学習課題】 プリント（24）の練習問題
- 第25回 【授業テーマ】 構造体
【内容・方法 等】 構造体、構造体の配列とポインタ
【事前・事後学習課題】 プリント（25）の練習問題

- 第26回 【授業テーマ】 動的メモリ割り付け
【内容・方法 等】 動的なメモリ割り付け、割り付けたメモリの解放
【事前・事後学習課題】 プリント（26）の練習問題
- 第27回 【授業テーマ】 ファイル
【内容・方法 等】 逐次アクセス、ランダムアクセス
【事前・事後学習課題】 プリント（27）の練習問題
- 第28回 【授業テーマ】 コマンドラインパラメータ
【内容・方法 等】 コマンドラインパラメータ、データ変換のライブラリ関数
【事前・事後学習課題】 プリント（28）の練習問題
- 第29回 【授業テーマ】 総合演習（1）
【内容・方法 等】 タイプ練習ソフトの作成
【事前・事後学習課題】 プリント（29）の練習問題
- 第30回 【授業テーマ】 総合演習（2）
評価方法（基準）
授業中に課せられる課題の提出と、随時実施する小テストで評価する。

教材等

教科書…なし
参考書…柴田望洋「新版 明解C言語 入門編」ソフトバンク（2310円）

学生へのメッセージ

毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので、欠席や遅刻をしないこと、欠席するとそれ以降の授業の理解は困難となる。

関連科目

「プログラミング基礎」

担当者の研究室等

11号館7階(牧野(純)教授室)

基本情報処理

Basic Information Processing I

皆川 健多郎(ミナガワ ケンタロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、表計算ソフトMicrosoft Excelを用いた実習により、情報処理の基本的な部分の習得を目的としている。そして、卒業研究やビジネスの場において活用できるよう技能の習得を目指す。

授業方法と留意点

コンピュータを使用した実習を行う。習熟度合いに応じて、授業内容は適宜変更する場合がある。

科目学習の効果（資格）

Microsoft Certified Application Specialist (Excel)に関する基本的な内容

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Excelの基礎知識
【内容・方法 等】 データの入力
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 ワークシートの活用（1）
【内容・方法 等】 ワークシートの編集、初歩的な関数
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
- 第3回 【授業テーマ】 ワークシートの活用（2）
【内容・方法 等】 相対参照と絶対参照
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
- 第4回 【授業テーマ】 ワークシートの活用（3）
【内容・方法 等】 基礎的な関数、条件の判定
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
- 第5回 【授業テーマ】 グラフ（1）
【内容・方法 等】 基本的なグラフ作成
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
- 第6回 【授業テーマ】 グラフ（2）
【内容・方法 等】 応用的なグラフ作成
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
- 第7回 【授業テーマ】 データベース（1）
【内容・方法 等】 データベースの入門
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
- 第8回 【授業テーマ】 データベース（2）
【内容・方法 等】 データの並べ替え、検索、抽出
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること

- 第9回 【授業テーマ】 データベース (3)
【内容・方法 等】 データの集計
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
- 第10回 【授業テーマ】 データベース (4)
【内容・方法 等】 データの解析
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
- 第11回 【授業テーマ】 Excelの応用 (1)
【内容・方法 等】 順位付けの関数
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
- 第12回 【授業テーマ】 Excelの応用 (2)
【内容・方法 等】 行・列の検索
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
- 第13回 【授業テーマ】 Excelの応用 (3)
【内容・方法 等】 文字列の操作
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
- 第14回 【授業テーマ】 Excelの応用 (4)
【内容・方法 等】 条件付き集計
【事前・事後学習課題】 教科書を用いて学習した内容を復習すること
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 復習
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)
毎週の課題の提出状況により判断する

教材等
教科書…『30時間でマスターExcel2010—Windows7対応』実教出版, 2010. (900円)
参考書…なし

学生へのメッセージ
積極的に手を動かして課題をおこなって、使い方を身に付けていくことを期待します。

関連科目
情報処理基礎, プログラミング基礎, 基本情報処理II

担当者の研究室等
11号館6階 (経営学部事務室)

基本情報処理II				
Basic Information Processing II				
皆川 健多郎(ミナガワ ケンタロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、表計算ソフトMicrosoft Excelを用いた実習により、情報処理の基本的な部分の習得を目的としている。さまざまな観点からデータの集計を行い、分析できるよう手法の学習を行う。

授業方法と留意点
コンピュータを使用した実習を行う。習熟度合いに応じて、授業内容は適宜変更する場合がある。

科目学習の効果 (資格)
Microsoft Certified Application Specialist (Excel)に関する基本的な内容

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Excelの基礎知識の確認
【内容・方法 等】 操作方法の確認
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 データベースの活用 (1)
【内容・方法 等】 データの並び替えと抽出
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第3回 【授業テーマ】 データベースの活用 (2)
【内容・方法 等】 ピボットテーブル・データの解析
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第4回 【授業テーマ】 データベースの活用 (3)
【内容・方法 等】 ピボットテーブル・データの解析
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第5回 【授業テーマ】 課題演習
【内容・方法 等】 ピボットテーブル
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第6回 【授業テーマ】 グラフの活用 (1)
【内容・方法 等】 グラフの書式設定・印刷
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復

- 第7回 【授業テーマ】 グラフの活用 (2)
【内容・方法 等】 グラフ機能の応用
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第8回 【授業テーマ】 グラフの活用 (3)
【内容・方法 等】 図形の操作
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第9回 【授業テーマ】 課題演習
【内容・方法 等】 グラフ
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第10回 【授業テーマ】 マクロの作成 (1)
【内容・方法 等】 マクロの作成・実行
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第11回 【授業テーマ】 マクロの作成 (2)
【内容・方法 等】 マクロの作成・実行
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第12回 【授業テーマ】 マクロの作成 (3)
【内容・方法 等】 マクロの作成・実行
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第13回 【授業テーマ】 練習問題
【内容・方法 等】 課題の作成・提出
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第14回 【授業テーマ】 練習問題
【内容・方法 等】 課題の作成・提出
【事前・事後学習課題】 参考書などを用いて学習した内容を復習すること
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 復習
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)
毎週の課題提出状況により判断する

教材等
教科書…『30時間でマスターExcel2007 VBA』実教出版
参考書…『30時間でマスターExcel2010—Windows7対応』実教出版, 2010. (900円)

学生へのメッセージ
言われたとおりにExcelを操作していくのではなく、自分で考えてExcelのシートを構成していくことを期待します。

関連科目
情報処理基礎, プログラミング基礎, 基本情報処理I

担当者の研究室等
11号館6階 (経営学部事務室)

応用情報処理I				
Applied Information Processing I				
藤木 健史(フジキ タケフミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
研究成果や調査結果の報告、商品企画の発表、データの分析等、様々な用途に表計算ソフトが用いられている。これらの情報活用は、今後ますます必要性を増していくと考えられる。本講義では、情報活用のツールとして、Microsoft Excel 2010を用いた表計算によるデータの処理・分析を取り扱う。

授業方法と留意点
毎回コンピュータによる実習を行い、関連する演習課題に取り組み、習熟度合いに応じて、講義内容は適宜変更する場合がある。

科目学習の効果 (資格)
情報処理技術者試験の表計算分野等の基礎となる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンスおよび表計算ソフトの基本操作の復習
【内容・方法 等】 シラバスに沿った授業計画の概説
表計算ソフトExcelの概要
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 Excel再入門
【内容・方法 等】 基本操作の復習
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第3回 【授業テーマ】 ワークシート (1)
【内容・方法 等】 データ入力
セルの活用

- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第4回 **【授業テーマ】** ワークシート(2)
【内容・方法等】 代表的な関数
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第5回 **【授業テーマ】** ワークシート(3)
【内容・方法等】 IF関数を用いた条件判定条件付き書式
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第6回 **【授業テーマ】** グラフ(1)
【内容・方法等】 代表的なグラフ
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第7回 **【授業テーマ】** グラフ(2)
【内容・方法等】 データの種類とグラフの選択
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第8回 **【授業テーマ】** データの解析(1)
【内容・方法等】 データから近似曲線を求める
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第9回 **【授業テーマ】** データの解析(2)
【内容・方法等】 相互相関を用いたデータの解析
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第10回 **【授業テーマ】** データベース(1)
【内容・方法等】 データベース入門
データの並べ替え
データの検索と置換
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第11回 **【授業テーマ】** データベース(2)
【内容・方法等】 データの抽出
条件の書き方
データの集計
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第12回 **【授業テーマ】** 応用演習(1)
【内容・方法等】 順位付け
関数を用いた検索
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第13回 **【授業テーマ】** 応用演習(2)
【内容・方法等】 文字列の操作
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第14回 **【授業テーマ】** 応用演習(3)
【内容・方法等】 条件付き集計
3D集計
【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予復習を行う
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法等】 これまでの復習
【事前・事後学習課題】 特に困難な箇所の確認と復習

評価方法(基準)

試験は行わず、授業時間内に行う演習や提出課題により評価する。

教材等

教科書…『30時間でマスター Windows 7対応 Excel 2010』, 実教出版。(900円)

(別途配布する電子資料だけでも大丈夫ですが、これがあると便利です)

参考書…指定しない。

学生へのメッセージ

毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので、可能な限り欠席や遅刻をしないこと。欠席するとそれ以降の授業の理解が困難となる。もし万一欠席したときには各自の責任で授業課題を自習しておくこと。

関連科目

情報処理基礎

担当者の研究室等

11号館6階 経営学部事務室

授業概要・目的・到達目標

本講義では、これまで学習してきたExcelの知識を基礎とし、より大規模なデータを扱うことのできるデータベースソフト Accessを用いてデータベースの基礎知識および基本操作を習得する。本講義ではデータベースの概念や、テーブルの作成、データの挿入等のデータベース作成および検索等の操作について学習する。また、データベース標準言語であるSQLとの関係についても学習する。

授業方法と留意点

テキストを用いた演習中心の授業方式。各時間毎に演習結果をファイル、グラフ、レポート等の形で提出する。また、理解度を確認するため臨時的なテスト、期末テスト等を行う場合がある。習熟度合いに応じて、授業内容は適宜変更する場合がある。

科目学習の効果(資格)

基本情報技術者試験、Microsoft Office Specialist (Access)等の基礎となる

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** データベースとは
【内容・方法等】 データベースの基本的な概念
【事前・事後学習課題】 データベースがどれほど現代社会に用いられているかをWeb等を利用して調べる
- 第2回 **【授業テーマ】** Accessの基本操作
【内容・方法等】 データベースソフト Accessの基本操作方法
基本用語の学習
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第3回 **【授業テーマ】** テーブル検索1
【内容・方法等】 最も基本的なデータ検索
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第4回 **【授業テーマ】** テーブル検索2
【内容・方法等】 複雑なデータ検索方法の学習
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第5回 **【授業テーマ】** データの読み込み
【内容・方法等】 Excelやテキストファイルからデータを読み込む
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第6回 **【授業テーマ】** データの挿入
【内容・方法等】 テーブルに新しいデータを追加する手法の学習
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第7回 **【授業テーマ】** 画像データの入力とフォームの活用
【内容・方法等】 画像データを取り込むフィールドの作成
フォームによるデータ入力の効率化
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第8回 **【授業テーマ】** クエリ操作1
【内容・方法等】 選択クエリ
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第9回 **【授業テーマ】** クエリ操作2
【内容・方法等】 クエリを用いた集計
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第10回 **【授業テーマ】** クエリ操作3
【内容・方法等】 アクションクエリ(テーブル作成、更新、追加、削除クエリ)
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第11回 **【授業テーマ】** SQL文法
【内容・方法等】 Accessで作成されたクエリがSQLで記述されていることの確認
SQL文法
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第12回 **【授業テーマ】** データベースの設計1
【内容・方法等】 新しいテーブルの挿入
リレーションシップの設定
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第13回 **【授業テーマ】** データベースの設計2
【内容・方法等】 リレーション設定を活用したクエリ
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第14回 **【授業テーマ】** レポート作成
【内容・方法等】 レポート機能を利用した報告書の作成
【事前・事後学習課題】 Access操作方法的復習
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法等】 これまでの復習
【事前・事後学習課題】 特に困難な箇所の確認と復習

評価方法(基準)

授業時間内に行う演習、提出課題により評価する。

教材等

教科書…『30時間でマスター Windows 7対応 Access 2010』, 実教出版, 2011年1月。(1200円)

(別途配布する電子資料だけでも大丈夫ですが、あると便利です)

参考書…指定しない。

学生へのメッセージ

毎回の授業が前回までの授業内容の理解を前提として進められるので、欠席や遅刻をしないこと。欠席するとそれ以降の授業の理解は困難となる。もし万一欠席したときには各自の責任で

応用情報処理II

Applied Information Processing II

藤木 健史 (フジキ タケフミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択必修	2

授業課題を自習しておくこと。
関連科目
 情報処理基礎、応用情報処理I
担当者の研究室等
 11号館6階（経営学部事務室）

経営統計学I Business Statistics I				
栢木紀哉 (カヤキ ノリヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 「統計学」という言葉を聞くと、多くの学生は難しいのではないかという印象を持つであろうが、手元にあるデータからその特徴を見つけ出すために必要となる学問である。統計学の考え方は、企業における意思決定支援のためのデータ解析手法として多くの場面で利用されている。経営統計学Iでは、初めて統計学を学ぶ学生を対象に、統計学の基本的な考え方を学び、統計データの解析に必要な基礎的知識を身につける。

授業方法と留意点
 配布資料を中心に講義を行い、プロジェクターを使用しながら解説する。配布資料に含まれる演習問題を各自関数電卓を使って解くことで理解を深める。

科目学習の効果（資格）
 実用的な学問であるため、将来様々な分野の仕事で生かすことができる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
 【内容・方法等】 授業の進め方、評価方法、統計学とはどのような学問か
 【事前・事後学習課題】
 - 第2回 【授業テーマ】 統計資料の整理（1）
 【内容・方法等】 統計資料の読み方
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第3回 【授業テーマ】 統計資料の整理（2）
 【内容・方法等】 統計資料の整理方法
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第4回 【授業テーマ】 データの集計（1）
 【内容・方法等】 代表値について、平均、分散、標準偏差
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第5回 【授業テーマ】 データの集計（2）
 【内容・方法等】 度数分布、ヒストグラム
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第6回 【授業テーマ】 データの集約（1）
 【内容・方法等】 データの集約、クロス集計
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第7回 【授業テーマ】 データの集約（2）
 【内容・方法等】 クロス集計の実践
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第8回 【授業テーマ】 前半のまとめ・学力診断テスト1
 【内容・方法等】 前半部分のまとめ
 【事前・事後学習課題】 テストの解答内容を見直しておく
 - 第9回 【授業テーマ】 データの相関関係（1）
 【内容・方法等】 相関関係について、相関係数の算出
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第10回 【授業テーマ】 データの相関関係（2）
 【内容・方法等】 相関関係と因果関係
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第11回 【授業テーマ】 空間と事象（1）
 【内容・方法等】 標本空間、ベン図
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第12回 【授業テーマ】 空間と事象（2）
 【内容・方法等】 和集合、積集合
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第13回 【授業テーマ】 経営における統計学
 【内容・方法等】 経営分野で用いられる統計学の手法
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第14回 【授業テーマ】 後半のまとめ・学力診断テスト2

【内容・方法等】 後半部分のまとめ
 【事前・事後学習課題】 テストの解答内容を見直しておく
第15回 【授業テーマ】 統計学への応用
 【内容・方法等】 マネジメントに求められる統計学、全体復習
 【事前・事後学習課題】 全体復習の内容を整理しておく
評価方法（基準）
 レポート、小テスト、学期末試験の結果により総合的に評価する。
教材等
 教科書…講義の中で指定する。
 参考書…豊田利久 他（著）『基本統計学 第3版』（東洋経済新報社、2010年）
 その他、適宜資料を配付する。

学生へのメッセージ
 経営統計学は、数学を基礎とする学問ですので、数学が苦手な学生については、予習・復習が不可欠となります。積極的な講義への参加を心がけてください。

関連科目
 専門基礎科目全般
担当者の研究室等
 11号館8階（栢木准教授室）

経営統計学II Business Statistics II				
栢木紀哉 (カヤキ ノリヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 「統計学」という言葉を聞くと、多くの学生は難しいのではないかという印象を持つであろうが、手元にあるデータからその特徴を見つけ出すために必要となる学問である。統計学の考え方は、企業における意思決定支援のためのデータ解析手法として多くの場面で利用されている。経営統計学IIでは、統計学の基礎的知識を習得している学生を対象として、統計解析の応用的手法について身につける。

授業方法と留意点
 配布資料を中心に、プロジェクターを用いて講義を行う。講義の前半は配付資料の解説を行い、後半は演習問題を解きながら統計解析の応用手法を身につけていく。

科目学習の効果（資格）
 実用的な学問であるため、将来様々な分野の仕事で生かすことができる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
 【内容・方法等】 基礎力テスト、授業の進め方、評価方法
 【事前・事後学習課題】
 - 第2回 【授業テーマ】 統計の基礎
 【内容・方法等】 記述統計（平均、標準偏差、分散、中央値）
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第3回 【授業テーマ】 統計的データの整理方法（1）
 【内容・方法等】 度数分布、ヒストグラムの作成
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第4回 【授業テーマ】 統計的データの整理方法（2）
 【内容・方法等】 クロス集計の方法、クロス集計表の作成
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第5回 【授業テーマ】 相関分析（1）
 【内容・方法等】 相関分析の手順、相関係数の算出
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第6回 【授業テーマ】 相関分析（2）
 【内容・方法等】 相関分析の実践、応用例
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第7回 【授業テーマ】 相関分析（3）
 【内容・方法等】 CS（顧客満足度）分析とは、CS分析の実践
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第8回 【授業テーマ】 前半のまとめ・学力診断テスト
 【内容・方法等】 前半部分のまとめ
 【事前・事後学習課題】 テストの解答内容を見直しておく
 - 第9回 【授業テーマ】 回帰分析（1）
 【内容・方法等】 回帰分析とは、回帰式の算出
 【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
 - 第10回 【授業テーマ】 回帰分析（2）

- 【内容・方法等】** 回帰分析の実践
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
- 第11回 **【授業テーマ】** 回帰分析(3)
【内容・方法等】 回帰分析の応用
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
- 第12回 **【授業テーマ】** 検定(1)
【内容・方法等】 検定とは、カイ二乗検定の方法と実践
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
- 第13回 **【授業テーマ】** 検定(2)
【内容・方法等】 t検定とは、t検定の実践
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
- 第14回 **【授業テーマ】** 検定(3)
【内容・方法等】 分散分析とは、分散分析の実践
【事前・事後学習課題】 授業中に課した練習問題に解答
 事前配布資料を読んでおく
- 第15回 **【授業テーマ】** 統計的検定の応用
【内容・方法等】 統計的検定の問題点・適用上の留意点、全体復習
【事前・事後学習課題】 全体復習の内容を整理しておく
- 評価方法(基準)**
 レポート、小テスト、学期末試験の結果により総合的に評価する。私語、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。
- 教材等**
教科書…配布資料
参考書…豊田利久 他(著)『基本統計学 第3版』(東洋経済新報社、2010年)
 その他、適宜紹介する。
- 学生へのメッセージ**
 本講義は、経営統計学Ⅰで扱った内容の理解を前提に進めます。数学や統計学に関する基礎知識がないと思われる学生は、高校の参考書等で知識を充実させておいてください。
- 関連科目**
 経営統計学Ⅰ
- 担当者の研究室等**
 11号館8階(栢木准教授室)

応用簿記 Applied Bookkeeping				
竹内 淳(タケウチ ジュン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
 簿記の目的は、一定時における財政状態を示すために資産、負債、資本の変動を秩序正しく計算すること、一会計期間の正しい経営成績を計算してその原因と結果を明らかにすること、の2点に要約されます。本講義では、これらの目的をしっかりと理解して、実務に役立つ知識を修得することを目標とし、「わかりやすい講義」をモットーとします。
- 授業方法と留意点**
 テーマごとに説明を行った後、演習問題の時間を設け、その後解説を行います。受講者は必ず電卓を持参すること。
- 科目学習の効果(資格)**
 簿記検定2級の商業簿記について、合格水準までの実力をつける。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** 簿記の基本
【内容・方法等】 簿記一巡の手続き
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第2回 **【授業テーマ】** 特殊商品売買
【内容・方法等】 予約・試用・割賦・未着・委託・受託品販売
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第3回 **【授業テーマ】** 商品の評価
【内容・方法等】 商品の期末評価
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第4回 **【授業テーマ】** 固定資産Ⅰ
【内容・方法等】 固定資産の売却・買換え・廃棄・除却時の処理
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第5回 **【授業テーマ】** 固定資産Ⅱ
【内容・方法等】 減価償却・資本的支出と収益的支出等

- 【事前・事後学習課題】** テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第6回 **【授業テーマ】** 資金調達と利益処分
【内容・方法等】 株式・社債発行時および利益処分時にかかる諸々の処理
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第7回 **【授業テーマ】** 当座預金と有価証券
【内容・方法等】 当座預金と有価証券にかかる諸々の処理
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第8回 **【授業テーマ】** 引当金
【内容・方法等】 貸倒・退職給与・修繕・商品保証引当金
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第9回 **【授業テーマ】** 手形
【内容・方法等】 裏書・割引手形
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第10回 **【授業テーマ】** 保険と税金
【内容・方法等】 保険金の請求時と受領時の処理、法人税等の引当処理と消費税の処理
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第11回 **【授業テーマ】** 帳簿等の締切
【内容・方法等】 伝票・帳簿組織の集計、帳簿の締切と合計転記
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第12回 **【授業テーマ】** 決算処理
【内容・方法等】 決算整理事項、財務諸表の作成
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第13回 **【授業テーマ】** 本支店会計
【内容・方法等】 支店開設時の処理、本支店間取引、本支店会計の決算処理
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第14回 **【授業テーマ】** 総合問題
【内容・方法等】 総合問題の解説
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 第15回 **【授業テーマ】** 総合問題
【内容・方法等】 総合問題の解説
【事前・事後学習課題】 テキストで予習・授業での小テストを再考
- 評価方法(基準)**
 期末試験、受講態度等を総合的に勘案する。
- 教材等**
教科書…最初の講義で、使用するプリントを配布します。
参考書…授業中、適宜指示する。
- 学生へのメッセージ**
 できるだけ簿記の基本を理解してから受講してください。実務に密着した「わかりやすい講義」を行うつもりです。
- 関連科目**
 企業簿記、財務会計論Ⅰ・Ⅱ、原価計算論Ⅰ・Ⅱ等
- 担当者の研究室等**
 11号館6階(経営学部事務室)

マネジメントサイエンスⅠ Management Science I				
黒澤 敏朗(クロザワ トシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
 マネジメントサイエンス(経営科学)とは、経営活動に内在する種々の課題をモデル化して解析を行うことにより、一連の意思決定過程を科学的な方法で支援するための知識の体系である。マネジメントサイエンスIでは、線形計画法を中心とした基本的な知識と技法(解法)について修得することが目的・目標である。
- 授業方法と留意点**
 配布するプリントを用いて解説し、次にゲーム形式の例題を用いた演習中心の授業を行う。課題に取り組む中で、数学的知識というよりもむしろ問題の構造を把握する能力を養ってほしい。
- 科目学習の効果(資格)**
 ITパスポート、基本情報技術者などの情報系の資格試験をはじめ、中小企業診断士などの資格試験にも関連する。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** マネジメントサイエンスの学び方

【内容・方法 等】 授業計画とマネジメントサイエンスの対象と方法についてのあらし「価格決定ゲーム」による演習

第2回 **【事前・事後学習課題】** 復習：シラバスを読み直す
【授業テーマ】 線形計画法（1）
【内容・方法 等】 受注計画ゲーム（演習）

第3回 **【事前・事後学習課題】** 復習：ゲームの内容を再確認する
【授業テーマ】 線形計画法（2）
【内容・方法 等】 L P問題の基礎概念、最大・最小問題の図的解法

第4回 **【事前・事後学習課題】** 復習：課題を解いてみよう
【授業テーマ】 線形計画法（3）
【内容・方法 等】 シンプレックス法による最適解と最適値の解説とパソコンによるデモ

第5回 **【事前・事後学習課題】** 復習：パソコンで課題を解いてみよう
【授業テーマ】 線形計画法（4）
【内容・方法 等】 職員配置ゲーム（演習）

第6回 **【事前・事後学習課題】** 復習：配付されたプリントを読み直す
【授業テーマ】 整数計画法（1）
【内容・方法 等】 出荷計画ゲーム（演習）

第7回 **【事前・事後学習課題】** 復習：配付されたプリントを読み直す
【授業テーマ】 整数計画法（2）
【内容・方法 等】 整数計画法と輸送計画法の解説と演習

第8回 **【事前・事後学習課題】** 復習：配付されたプリントを読み直す
【授業テーマ】 整数計画法（3）
【内容・方法 等】 割り当て問題の解説と演習

第9回 **【事前・事後学習課題】** 復習：配付されたプリントを読み直す
【授業テーマ】 日程計画（1）
【内容・方法 等】 ガントチャートの作成演習

第10回 **【事前・事後学習課題】** 復習：与えられた課題（宿題）に取り組む
【授業テーマ】 日程計画（2）
【内容・方法 等】 日程計画ゲーム（演習）

第11回 **【事前・事後学習課題】** 復習：配布されたプリントを読み直そう
【授業テーマ】 日程計画（3）
【内容・方法 等】 進捗管理ゲーム（演習）

第12回 **【事前・事後学習課題】** 復習：配布されたプリントを読み直そう
【授業テーマ】 プロジェクト計画（1）
【内容・方法 等】 PERTの解説とネットワーク作成（演習）

第13回 **【事前・事後学習課題】** 復習：与えられた課題（宿題）に取り組む
【授業テーマ】 プロジェクト計画（2）
【内容・方法 等】 クリチカルパスの算出（演習）

第14回 **【事前・事後学習課題】** 復習：与えられた課題（宿題）に取り組む
【授業テーマ】 プロジェクト計画（3）
【内容・方法 等】 CPMによるコストの評価とプロジェクト・マネジメント入門

第15回 **【事前・事後学習課題】** 復習：与えられた課題（宿題）に取り組む
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 前期に学習した内容のまとめ
【事前・事後学習課題】 復習：前期試験の準備をしよう

評価方法（基準）
定期試験（60%）および授業中に課す課題に対する取り組みやレポート（40%）により評価する。

教材等
教科書…毎回、ハンドアウト（プリント）を配布する
参考書…『入門経営科学（改訂版）』宮川公男・野々山隆幸・佐藤修著、実教出版（2600円）

学生へのメッセージ
高度な数学は用いませんが、演習を中心とした授業を行いますので、8割以上の出席が必要です。毎回、数値を扱うので電卓（関数電卓でなくてよい）を持参してください。また、説明は最初から聞かないと理解できませんから、遅れないようにしてください。

関連科目
数学基礎I、数学基礎II、経営統計学I

担当者の研究室等
11号館7階(黒澤教授室)

マネジメントサイエンスII Management Science II				
黒澤敏朗(クロザワ トシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

マネジメントサイエンス(経営科学)とは、経営活動に内在する種々の課題をモデル化して解析を行うことにより、一連の意思決定過程を科学的な方法で支援するための知識の体系である。マネジメントサイエンスIIでは、在庫計画、待ち行列や意思決定理論を中心としたマネジメントサイエンスに関わる基本的な知識と技法（解法）について修得することが目的・目標である。

授業方法と留意点
配布するプリントを用いて解説し、次に例題を用いた演習中心の授業を行う。課題に取り組む中で、数学的知識というよりもむしろ問題の構造を把握する能力を養ってほしい。

科目学習の効果（資格）
ITパスポート、基本情報技術者などの情報系の資格試験をはじめ、中小企業診断士などの資格試験にも関連する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 前期科目の総括
【内容・方法 等】 前期科目の試験答案の返却と解説
【事前・事後学習課題】 復習：家庭にある「たまご」の在庫状況の調査を始めよう

第2回 **【授業テーマ】** 在庫管理（1）
【内容・方法 等】 在庫管理ゲーム（演習）
【事前・事後学習課題】 復習：ゲームの内容を再確認しよう

第3回 **【授業テーマ】** 在庫管理（2）
【内容・方法 等】 定量発注方式とEOQの公式の解説と演習
【事前・事後学習課題】 復習：プリントの内容を読み直そう

第4回 **【授業テーマ】** 在庫管理（3）
【内容・方法 等】 期待利益に基づく発注量の計算とABC分析
【事前・事後学習課題】 復習：プリントの内容を読み直そう

第5回 **【授業テーマ】** 在庫管理（4）
【内容・方法 等】 定期発注方式の解説と演習
【事前・事後学習課題】 復習：プリントの内容を読み直そう

第6回 **【授業テーマ】** 待ち行列理論（1）
【内容・方法 等】 経営システムにおける各種の待ち行列の解説
【事前・事後学習課題】 復習：プリントの内容を読み直そう

第7回 **【授業テーマ】** 待ち行列理論（2）
【内容・方法 等】 サービス率の最適化、窓口数の最適化の定式化の解説と演習
【事前・事後学習課題】 復習：プリントの内容を読み直そう

第8回 **【授業テーマ】** シミュレーション（1）
【内容・方法 等】 乱数の生成、モンテカルロ法と待ち行列のシミュレーションの解説と実習
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう

第9回 **【授業テーマ】** シミュレーション（2）
【内容・方法 等】 在庫管理のシミュレーションの解説と実習
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう

第10回 **【授業テーマ】** 意思決定理論（1）
【内容・方法 等】 階層化意思決定法（AHP）の解説
【事前・事後学習課題】 復習：配布されたプリントを読み直そう

第11回 **【授業テーマ】** 意思決定の理論（2）
【内容・方法 等】 階層化意思決定法（AHP）の実習
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう

第12回 **【授業テーマ】** 意思決定の理論（3）
【内容・方法 等】 リスクがある場合と不確実性の場合の意思決定原理の解説と実習
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう

第13回 **【授業テーマ】** ゲーム理論（1）
【内容・方法 等】 ゼロ和ゲームのモデル化と支配戦略についての解説と実習
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう

第14回 **【授業テーマ】** ゲームの理論（2）
【内容・方法 等】 非ゼロ和ゲーム、囚人のジレンマ、チキンゲームなどの解説と実習
【事前・事後学習課題】 復習：パソコンで課題を解いてみよう

第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法 等】 本年度に学習した内容のまとめと次年度科目への橋渡し
【事前・事後学習課題】 —————

評価方法（基準）
定期試験（60%）および授業中に課す課題に対する取り組みやレポート（40%）により評価する。

教材等
教科書…毎回、ハンドアウト（プリント）を配布する
参考書…『入門経営科学（改訂版）』宮川公男・野々山隆幸・佐藤修著、実教出版（2600円）

学生へのメッセージ
高度な数学は用いませんが、演習を中心とした授業を行いますので、8割以上の出席が必要です。毎回、数値を扱うので電卓（関数電卓でなくてよい）を持参してください。また、説明は最初から聞かないと理解できませんから、遅れないようにしてください。

関連科目
マネジメントサイエンス1、経営統計学1・2

担当者の研究室等
11号館7階(黒澤教室)

ベンチャービジネス論
Venture Business

安久典宏 (アグ ミチヒロ)
河田正興 (カワタ マサオキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業概要：大学を卒業しても就職することだけが目的ではないわけで、自分自身で起業（ベンチャー企業）してみるのも一つの方法であります。ベンチャービジネスとは何か、どうすれば起業できるのかについて、わかりやすく解説します。

目的：この学習は企業を目指す学生のみではなく就職する学生にとってもベンチャースピリットがいかに大切かについて学習します。

到達目標：ベンチャースピリットの重要性について理解させます。

授業方法と留意点

授業方法：

- 1) 専門家によるリレー講義です。
- 2) 経験豊富な実務家の貴重なビジネス体験が受講できます。
- 3) 毎回、レジュメ（プリント）が配布されます。事前にファイリングするフォルダー（2穴）を準備すること。

留意点：重要な点をきちんとメモして、提出レポートに反映させること。また、当然ですが、聴講のマナーを厳守すること。

科目学習の効果（資格）

経験豊富なさまざまな専門家（起業家）の体験談を直接聞き学ぶことで、社会に対する認識と仕事選択に対する考え方や選択肢を広げることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 「ベンチャービジネス論」開講の意義、受講できる専門科目との関連性

【4月11日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス論の摂南大学のキャリア教育との関係について

(株) ビジネスファーム研究所 代表取締役 河田正興、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：ベンチャービジネスについての意味を調べてください。

第2回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 概説

【4月18日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネスの歴史と定義・今日的な時代要請

(株) ビジネスファーム研究所 代表取締役 河田正興、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：ベンチャービジネスについて雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第3回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (1)

【4月25日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-従業員採用における基礎知識-

総合事務所ネクスト 所長 特定社会保険労務士 小西勝、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：従業員の採用についてホームページで調べてみましょう。

第4回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 現状論 (1)

【5月2日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス分野別の現状と課題 -卸売業-

船井総合研究所 チーフコンサルタント 箕浦幸孝、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：卸売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第5回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 現状論 (2)

【5月9日】

【内容・方法 等】 ・国による中小・ベンチャー企業支援と東日本大震災の復興支援

(独) 中小企業基盤整備機構 地域経済振興部 コンサルティング課長 中小企業診断士 長坂泰之、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：企業支援について雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第6回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 現状論 (3)

【5月16日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス分野別の現状と課題 -製造業-

(株) ウィズダムマネジメント 長谷川中小企業診断士事

務所長 長谷川好宏、

安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：製造業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第7回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 現状論 (4)

【5月23日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-設計製造分野でのIT活用-

キャディック (株) 代表取締役 筒井真作、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：キャディック株についてホームページで調べてみましょう。

第8回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (2)

【5月30日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス分野別の現状と課題 -小売業-

ビジネスファームサカモト代表 マネジメントコンサルタント 坂元雅子、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：小売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第9回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (3)

【6月6日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-デパ地下事業の活性化-

MDドクターK 代表 河崎友彦、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：流通業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第10回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (4)

【6月13日】

【内容・方法 等】 ・食品小売業界の現状

～大手ナショナルチェーン・生協・中小スーパーの今～

AKR共栄会 事務局長 大西基裕、質疑・討論 河田正興、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：食品小売業界について雑誌またはホームページで調べてみましょう。

第11回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (5)

【6月20日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法 -NPO法人による社会救済支援-

グッド・サマリタン・チャーチ 牧師 金子道仁、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：NPOについて調べてみましょう。

第12回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 方法論 (6)

【6月27日】

【内容・方法 等】 ・ベンチャービジネス展開に関する手法-投資育成の実践-

(株) ファンドファンクション 代表取締役 萩原貞幸

・コメント・質疑・討論 河田正興、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：投資育成についてホームページで調べてみましょう。

第13回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 課題論

【7月4日】

【内容・方法 等】 ・実体験を踏まえたビジネスの楽しさと苦しさについての実践事例

(株) ビジネスファーム研究所 顧問 永田賢次、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：黒字倒産について調べてみましょう。

第14回 【授業テーマ】 ベンチャービジネス 課題論

【7月11日】

【内容・方法 等】 ・協同組合など、中小企業連携組織を活用したベンチャービジネスの事例

- 東大阪の人工衛星開発などを中心に -

(株) ビジネスファーム研究所 主任研究員 佐久間雅、質疑・討論 河田正興、安久典宏

【事前・事後学習課題】 予習：協同組合など、中小企業連携組織についてしらべてみましょう

第15回 【授業テーマ】 まとめ

【7月18日】

【内容・方法 等】 今までの講義内容を整理し、まとめを行います。

(株) ビジネスファーム研究所 代表取締役 河田正興、安久典宏

【事前・事後学習課題】 --

評価方法（基準）

レポートを基本とし、受講態度と発表、定期期末試験等を勘案した総合評価

教材等

教科書…各講師のレジュメ教材を配布します（各自レジュメ保管ファイル<2穴>を準備すること）。

参考書…今井哲、「ベンチャービジネス」、学文社、2006、(2400円)

学生へのメッセージ

ベンチャービジネスの専門家と直接話し合ってみませんか。

皆さんの将来に対する夢が膨らみます。

関連科目

ビジネスプラン、経営学

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

マクロ経済学 Macro Economics				
杉本 篤信 (スギモト アツノブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

経済学は効率的な資源配分を行なうことを第一としています。現代経済学は体系化された科学としてマクロ経済学とミクロ経済学に大別されます。マクロ経済学では、国家レベルの経済問題や社会全体など大きな動きについて論じます。なお、ミクロ経済学では、経済主体の意思決定プロセスや市場について議論することを目的とします。これによりビジネスニュースや新聞の経済面をより深く読むことが出来るようになることを目指します。

授業方法と留意点

教科書を中心に進行が、適宜、新聞やTVで取り上げられたトピックも用いる。

科目学習の効果(資格)

公務員試験・経済学検定試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 経済学とは何か
【内容・方法 等】 経済学とはどのような学問か？
マクロ経済学とミクロ経済学の違い
【事前・事後学習課題】 経済記事や経済ニュースを普段から読んだり聞いたりする習慣を付けてください。
- 第2回 **【授業テーマ】** ミクロ経済学的基础
【内容・方法 等】 需要と供給：消費者と生産者
【事前・事後学習課題】 どのような経済主体がいるか考えておいてください。
- 第3回 **【授業テーマ】** GDPとは何だろうか？—
【内容・方法 等】 国の経済力の指標
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章を読んでおくこと。
- 第4回 **【授業テーマ】** 消費と貯蓄はどのようにして決まるか？—
【内容・方法 等】 消費と貯蓄の理論
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章を読んでおくこと。
- 第5回 **【授業テーマ】** 設備投資と在庫投資
【内容・方法 等】 何のために投資をするのか？
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章を読んでおくこと。
- 第6回 **【授業テーマ】** 金融と株債
【内容・方法 等】 マクロ経済における金融の役割
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章を読んでおくこと。課題を配布予定です。
- 第7回 **【授業テーマ】** 貨幣の需要と供給
【内容・方法 等】 貨幣の役割と貨幣供給
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章を読んでおくこと。
- 第8回 **【授業テーマ】** 乗数理論とIS-LM分析
【内容・方法 等】 総需要に注目した経済分析
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章までを復習しておくこと。課題の解答を行います。
- 第9回 **【授業テーマ】** 経済政策はなぜ必要か？
【内容・方法 等】 経済政策の有効性
【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読んで復習しておくこと。また、テキスト第7章を読んでおくこと。
- 第10回 **【授業テーマ】** 財政赤字と国債
【内容・方法 等】 政府支出拡大のマイナス面
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章を読んでおくこと。課題を配布予定です。
- 第11回 **【授業テーマ】** インフレとデフレ
【内容・方法 等】 価格調整とそのコスト
【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を復習しておくこと。
- 第12回 **【授業テーマ】** 失業
【内容・方法 等】 マクロ経済における労働市場
【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を復習しておくこと。
- 第13回 **【授業テーマ】** 経済成長理論
【内容・方法 等】 経済はなぜ成長するのか？
【事前・事後学習課題】 テキスト第11章を読んでおくこと。課題の解答を行います。
- 第14回 **【授業テーマ】** オープン・マクロ経済
【内容・方法 等】 為替レートと経常収支
【事前・事後学習課題】 テキスト第12章を読んでおくこと。
- 第15回 **【授業テーマ】** 講義のまとめ
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章～12章までを復習して

おくこと。

評価方法(基準)

平常点(学習態度)・課題・期末試験をもとに総合的に評価する

教材等

教科書…福田慎一・照山博司『マクロ経済学・入門』有斐閣アルマ、¥2,205

参考書…伊藤元重『入門 経済学』日本評論社、¥3,000

学生へのメッセージ

授業中は私語厳禁、携帯電話の利用禁止。
テキストやノートでの復習は必ずすること。

関連科目

ミクロ経済学

担当者の研究室等

11号館6階(杉本研究室)
sugimoto@kjo.setsunan.ac.jp

ミクロ経済学 Micro Economics				
岩坪 加紋 (イワツボ カモン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代経済学の理論は、体系化された科学としてマクロ経済学とミクロ経済学に大別される。本講義ではミクロ経済学を紹介し、経済主体の意思決定や市場について理解することを目標とする。

授業方法と留意点

講義は極力教科書に沿って行うので、必ず教科書を購入のこと。理解度を重視して進めるので、講義計画の変更もある。漠然と講義に出席するのではなく、予習・復習を行い、発言することを求める。発言は評価の対象である。

科目学習の効果(資格)

TVや新聞、インターネットから無造作に流される経済的事象を自らで整理し、自らで判断するための初歩的な能力が身につく。さらに、教員免許状取得・公務員試験・中小企業診断士試験など資格取得に役立つ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** ミクロ経済学で学ぶこと
【内容・方法 等】 経済学を学ぶ理由、ミクロ経済学とマクロ経済学の違い、価格メカニズムの働き、図とグラフ
【事前・事後学習課題】 事前に第1章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第2回 **【授業テーマ】** 需要の理論
【内容・方法 等】 市場需要曲線、曲線のシフト要因、消費者余剰
【事前・事後学習課題】 事前に第2章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第3回 **【授業テーマ】** 消費者行動の理論(1)
【内容・方法 等】 最適消費点
【事前・事後学習課題】 事前に第3章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第4回 **【授業テーマ】** 消費者行動の理論(2)
【内容・方法 等】 需要曲線の導出、曲線のシフト要因再考
【事前・事後学習課題】 事前に第3章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第5回 **【授業テーマ】** 供給の理論(1)
【内容・方法 等】 限界費用、供給量の決定、供給曲線、生産者余剰
【事前・事後学習課題】 事前に第4章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第6回 **【授業テーマ】** 供給の理論(2)
【内容・方法 等】 右上がりの限界費用曲線、市場供給曲線、供給曲線のシフト要因
【事前・事後学習課題】 事前に第4章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第7回 **【授業テーマ】** 需給曲線と弾力性
【内容・方法 等】 需要と供給の弾力性、弾力性を左右する要因
【事前・事後学習課題】 事前に第5章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第8回 **【授業テーマ】** ここまでのまとめ
【内容・方法 等】 まとめとして中間試験を行う
【事前・事後学習課題】 事前の復習を行っておくこと。
- 第9回 **【授業テーマ】** 市場の理論
【内容・方法 等】 さまざまな市場構造、社会的余剰、効率性、分配の公正性、市場の失敗
【事前・事後学習課題】 事前に第6章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第10回 **【授業テーマ】** 需要と供給で解く経済問題
【内容・方法 等】 経済問題を考える

- 【事前・事後学習課題】 事前に第7章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第11回 【授業テーマ】 余剰分析で解く経済問題
【内容・方法等】 余剰を用いた経済問題を考える
【事前・事後学習課題】 事前に第8章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第12回 【授業テーマ】 市場の失敗（1）
【内容・方法等】 外部効果、公共財
【事前・事後学習課題】 事前に第9章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第13回 【授業テーマ】 市場の失敗（2）
【内容・方法等】 情報の非対称性
【事前・事後学習課題】 事前に第10章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第14回 【授業テーマ】 市場の失敗（3）
【内容・方法等】 独占市場
【事前・事後学習課題】 事前に第11章を読んでおくこと。復習も行うこと。
- 第15回 【授業テーマ】 不確実性のもとでの選択行動
【内容・方法等】 不確実性、リスク、期待効用
【事前・事後学習課題】 事前に第12章を読んでおくこと。復習も行うこと。

評価方法（基準）

中間試験と期末試験ならびに学習状況（発言や小テストなど）を総合して評価する。

教材等

教科書…家森信善・小川光『基礎からわかるミクロ経済学 第2版』中央経済社、¥2,100
参考書…岩田規久男『ゼミナール ミクロ経済学入門』日本経済新聞社、¥3,262
石川秀樹著『試験攻略 新経済学入門塾 ミクロ編』中央経済社 ¥2,200

学生へのメッセージ

経済の基本的な考え方を身につけておくことは、社会人としてだけでなく日常生活においても“身を守る”という意味で極めて重要です。疑問点は積極的に質問して、一歩ずつ着実に前進してください。

関連科目

くらしと経済、マクロ経済学、金融論 等々

担当者の研究室等

11号館8階（岩坪教授室）

ビジネス数学基礎

Basic Business Mathematics

能 勢 豊 一（ノセ トヨカズ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

経営や情報システムに関する専門教科を修得するためには、ある程度の数学的な論理思考と基礎知識を身につけておくことが必要不可欠です。しかし、これまで数学を学習してきたにもかかわらず、十分に理解できていなかった人も少なくないと思います。そのために本講義では、数学の必要性を感じながら数学になじめない人や、数学を基礎から改めて学習し直したいと思っている人などを主な対象に、実社会で使われている具体的な事例を取り上げながら数学の基礎を解説します。

授業方法と留意点

授業は、配布プリント、プロジェクタを用いて、授業内演習を中心に時にはパソコンを用いて行います。授業内容の理解を確認する小テスト、例題解説、類似問題のレポートで確実に理解を促進します。

科目学習の効果（資格）

経営・経済・情報処理分野の資格試験の一助となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ビジネス数学の役割
【内容・方法等】 ・現象をとらえ、現象から因子をとらえること
・因子からデータを採取し、データから情報を創出すること
・情報から仮説を立案し、ビジネスに存在する法則を見える化すること
以上を理解してもらいます
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第2回 【授業テーマ】 ビジネスをとらえる確率・統計の役割
【内容・方法等】 ・不確実性が增大するビジネス社会
・確率と分布による不確実事象の把握
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているか

- どうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 乱数による確率モデルの表現
【内容・方法等】 ・シミュレーションによる不確実事象の把握
・乱数を活用した数学モデルの表現
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 経営計画と利益計画
【内容・方法等】 散布図による売上高と費用分析
最小自乗法による売り上げと費用の関
損益分岐点の算出
資本回収点の算出
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 データの関係を知る（1）
【内容・方法等】 ピアソンの相関、スピアマンの順位相関、クラメールの関連指数、相関比
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 データの関係を知る（2）
【内容・方法等】 潜在需要と相関のある因子を発見し、ビジネスモデルにする法則を発見する方法を解説する
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第7回 【授業テーマ】 日程計画（1）
【内容・方法等】 PERTによる日程計画と管理
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 日程計画（2）
【内容・方法等】 前回、PERTによって説いた問題を、DP（動的計画法）により、定式化し、解答を導く
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 生産計画(1)
【内容・方法等】 LP（線形計画法）によって目的関数、制約条件式を定式化し、生産計画を立案する
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 生産計画(2)
【内容・方法等】 ・需要の不確実性を正規分布によってとらえた場合の生産計画を立案する
・分布を考慮した安全在庫の理論を導入する
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 在庫管理
【内容・方法等】 ・在庫理論の変遷：2ピン法、発注点法、定期発注法、s-S法、MRP
・需要が確率分布に従う場合の在庫管理の定式化と最適化
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 取り換え問題
【内容・方法等】 ・レンタルか買取りか
・設備の買替え
・故障部品の取換え
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 AHP法
【内容・方法等】 感覚データの数値化とその評価
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第14回 【授業テーマ】 DEA法
【内容・方法等】 数値データのグループ化とその評価
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、次回の冒頭にチェックするレポートを作成しますので、準備しておくこと
- 第15回 【授業テーマ】 ベイズ流の意思決定
【内容・方法等】 ベイズの定理
【事前・事後学習課題】 授業内容がノートに記載されているかどうかについて、前回と今回の講義内容をチェックするレポートを作成する

評価方法（基準）

レポート・小テスト50%、期末テスト50%

教材等

教科書…適宜プリント配布する。
参考書…適宜案内する。

学生へのメッセージ

本講義の各々の領域で学ぶ数学は、一度は講義の中でそのメカニズムに触れておくだけで十分です。実際の社会でこれらの数学を説明することはあまり重要ではありません。多くの場合、ソフトウェア化されたものが世の中に出回っていますので、むしろ、その理論や式、モデルが適切な条件と環境の下に使用することができるかということの方が重要です。

関連科目

経営学、経営情報システム

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

情報倫理 Information and Morals				
河 俣 英 美 (カワマタ ヒデミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

技術と経済最先の現代情報社会において、一般市民が可能な限り自律的に豊かな人生をおくるための基礎的な理解を得る。情報社会に生起している諸問題のうち、一般市民の生活の立場から問題となる諸領域についての現状を提示した後、ありうる考え方の道筋について考察する。生活者としての情報ならびに情報システムの管理に最低限必要な情報社会の法制と倫理を身につけるだけでなく、将来社会人となった際にも職業上の対応を可能とするための基礎を身につける。

授業方法と留意点

板書講義形式 但し、授業の理解を深めるため、授業内に課題、レポート等の提出を求めることがある。

科目学習の効果(資格)

高等学校情報科教員免許状取得に必要。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 ・講義の概要、評価の方法について解説します。
【事前・事後学習課題】 新聞の社会面、特にサイバー犯罪や個人情報漏えいなど情報倫理関連の記事に目を通す習慣を身につけてください。
- 第2回 【授業テーマ】 情報社会の光と影
【内容・方法 等】 ・ネットワーク・コンピュータ問題分析の視角
【事前・事後学習課題】 ネットワークの仕組みについて調べてみてください。
- 第3回 【授業テーマ】 不正競争
【内容・方法 等】 ・ドメインネーム、デジタルデバインド、ロックアンドファイルなど
【事前・事後学習課題】 デジタルデバインドの実態について調べて考えてみてください。
- 第4回 【授業テーマ】 電子商取引
【内容・方法 等】 ・電子認証、電子署名法など
【事前・事後学習課題】 電子商取引のしくみについて調べてみてください。
- 第5回 【授業テーマ】 消費者保護
【内容・方法 等】 ・ネットオークション、通信販売、消費者契約法など
【事前・事後学習課題】 売買トラブルの実態について調べてみてください。
- 第6回 【授業テーマ】 サイバー犯罪
【内容・方法 等】 ・不正アクセス、電子計算機関連犯罪など
【事前・事後学習課題】 不正アクセスの実態について調べてみてください。
- 第7回 【授業テーマ】 情報政策
【内容・方法 等】 ・PKI、情報基本法、情報公開法など
【事前・事後学習課題】 暗号化のしくみについて、テキストを讀んでまとめてみてください。
- 第8回 【授業テーマ】 プライバシー
【内容・方法 等】 ・住基ネット、プライバシー権、プライバシーマークなど
【事前・事後学習課題】 プライバシー権侵害に関連する記事を探してまとめてみてください。
- 第9回 【授業テーマ】 誹謗中傷、名誉毀損
【内容・方法 等】 ・フレミング、プロバイダ責任法など
【事前・事後学習課題】 誹謗・中傷関連の記事を探して、問題点を考察してください。
- 第10回 【授業テーマ】 監視社会

【内容・方法 等】 ・監視カメラ、携帯電話、電子通信傍受ソフト、チップ埋め込み、盗聴法など

【事前・事後学習課題】 身近な監視の実態を調べて考えてみてください。

- 第11回 【授業テーマ】 セキュリティ
【内容・方法 等】 ・セキュリティポリシー、利用規定など
【事前・事後学習課題】 情報セキュリティについて調べてまとめてください。
- 第12回 【授業テーマ】 個人情報保護
【内容・方法 等】 ・個人情報保護法、OECDプライバシー・ガイドラインなど
【事前・事後学習課題】 個人情報漏洩に関する記事を見つけて問題点を考えてみてください。
- 第13回 【授業テーマ】 知的財産権
【内容・方法 等】 ・知的財産基本法、産業財産権、著作権、中古販売など
【事前・事後学習課題】 違法コピーの実態について調べて考えてみてください。
- 第14回 【授業テーマ】 知的財産権(2)
【内容・方法 等】 ・著作権法、著作隣接権など
【事前・事後学習課題】 著作権侵害の記事を調べて考えてみてください。
- 第15回 【授業テーマ】 健全な情報社会
【内容・方法 等】 ・健全な情報社会の構築に向けての考察
【事前・事後学習課題】 健全な情報社会を構築するための方策について、自分自身の意見をまとめてみてください。

評価方法(基準)

定期試験を主とし、授業内での提出物(課題レポート等)を含めて、総合的に評価する。
【定期試験80%、授業内での提出物20%】

教材等

教科書…『インターネットの光と影 (ver4)』情報教育研究会 北大路書房
参考書…『情報社会の法と倫理』サラ=バズ著、日本情報倫理協会 訳 ビアソン=エデュケーション
・『インターネットと法』[第4版] 松井茂記・高橋和之 編 有斐閣

学生へのメッセージ

情報倫理学、情報法学は、企業社会で経営情報学を基本から支える分野である。生活上で、身を守る基本的な知識でもあるので身につけておこう。

関連科目

情報処理基礎

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

経営情報システム論 Management Information System				
能 勢 豊 一 (ノセ トヨカズ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標

人、モノ、金、情報、組織、時間の因子を情報化する意味と方法を理解し、経営情報システムを技術、工学、経営の視点から分析・設計・評価できる人材を養成する。

授業方法と留意点

講義のはじめには前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括した後、配布資料を配布して、プロジェクタを使用しながら講義を行う。教科書、参考書、新聞情報を用いて問題に解答させる形で随時演習を取り入れながら実施する。

科目学習の効果(資格)

企業や社会において経営、工学、情報の技術がどのように活用されているのかについての理解が深まる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 企業の目的と使命
【内容・方法 等】 マネジメントの役割、進歩・発達の歴史、導入による期待効果：トフラーの科学技術展望
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 情報化社会における企業経営
【内容・方法 等】 デジタル化の流れとマネジメントの展望：ドラッカーの科学技術展望
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 効率的マネジメントのための情報システムと情報技術
【内容・方法 等】 マネジメント効率化のための情報システム活用例：

- 第4回** 【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
【授業テーマ】 トータルシステムの機能と効果
【内容・方法 等】 「人、モノ、金、情報、組織」の経営資源と「戦略、管理、現場」が果たす機能
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 システムを決める経営管理特性
【内容・方法 等】 トータルシステム概念、運用、効果
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 経営情報システムにおけるデータベース技術
【内容・方法 等】 データベースとその技術の周辺
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 経営情報システムにおけるネットワーク技術
【内容・方法 等】 ネットワークとその技術の周辺
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 経営を科学し、ビジネスをデザインする
【内容・方法 等】 経営と情報を結びつける形を探求する仕組みと仮想化、階層化
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 経営情報システム設計のアプローチ (1)
【内容・方法 等】 演繹的なシステム設計技法：ワークデザイン手法（ブレークスルー思考）の活用
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 経営情報システム設計のアプローチ (2)
【内容・方法 等】 帰納的なシステム設計技法：オブジェクト指向の活用
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 経営情報システム設計のアプローチ (3)
【内容・方法 等】 演繹的方法と帰納的方法を融合する数量化理論の適用
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 サービス科学とセキュリティマネジメント
【内容・方法 等】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 新しい経営スタイルと評価 (1)
【内容・方法 等】 DEA法による経営における定量的データの定性的評価の可能性
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 新しい経営スタイルと評価 (2)
【内容・方法 等】 AHPによる経営の定性的評価の定量的把握
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 新しい経営スタイルと評価 (3) と まとめ
【内容・方法 等】 実験計画法等の統計的手法の活用の可能性について解説するとともに経営情報システムの前半部分をまとめる。そして同時に技術マネジメント（技術経営：MOT）について言及する
- 第16回** 【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
【授業テーマ】 経営情報システム設計の例題と演習(1)
【内容・方法 等】 現状分析（ステップ1～4）：場の設定、手掛かりシステム、直接的機能、機能展開
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第17回** 【授業テーマ】 経営情報システム設計の例題と演習(2)
【内容・方法 等】 特性の決定(ステップ5)：AHPによるシステム設計レベルの決定と大枠設計
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第18回** 【授業テーマ】 経営情報システム設計の例題と演習(3)
【内容・方法 等】 因子の抽出(ステップ6～9)：インプットの上方展開による一次因子抽出、コンポーネント分割による2次因子の抽出、機能分割とI/O列挙による3次因子の抽出
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第19回** 【授業テーマ】 経営情報システム設計の例題と演習(4)
【内容・方法 等】 仮説の立案（ステップ10～12）：プロセスとデータクラスのマトリックス化、Cソート、グループ化による制御因子と水準の選定
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第20回** 【授業テーマ】 経営情報システム設計の例題と演習(5)
【内容・方法 等】 仮説の検証（ステップ13）：AHPによるシステムの評価
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第21回** 【授業テーマ】 経営情報システム設計の例題と演習(6)
【内容・方法 等】 生産情報システムの設計とシミュレーション
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第22回** 【授業テーマ】 経営情報システムにおける在庫管理の理論と役割
【内容・方法 等】 在庫管理の目的、2ピンシステムからジャストインタイム（JIT）システムへの変遷とマネジメントの役割の変化
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第23回** 【授業テーマ】 製造業における在庫管理と経営情報システム
【内容・方法 等】 材料の在庫管理、半製品の在庫管理、製品の在庫管理
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第24回** 【授業テーマ】 販売・流通業における在庫管理と経営情報システム
【内容・方法 等】 販売・流通業と製造業の違い、情報による有効在庫の把握と業務
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第25回** 【授業テーマ】 原価情報システム (1)
【内容・方法 等】 工程管理、品質管理、労務管理を融合する原価情報のシステム化
【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。
- 第26回** 【授業テーマ】 原価情報システム (2)
【内容・方法 等】 部門別の業績評価の仕組みづくりと原価、

経営のための情報システム

【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第27回 【授業テーマ】 製品ライフサイクルとポートフォリオ分析
【内容・方法 等】 製品ライフサイクルの把握とポートフォリオ分析による意思決定

【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第28回 【授業テーマ】 日程計画
【内容・方法 等】 ダイナミックプログラミングによる日程計画の策定

【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第29回 【授業テーマ】 会計情報と経営情報
【内容・方法 等】 利益計画と資金計画と経営計画の機能と役割

【事前・事後学習課題】 前回の授業ノート確認を通じて学習内容を総括するので前回のノートを持参すること。講義終了後は講義内容の要点をノートに整理し、次回の講義の際に転記・提出できるようにしておくこと。

第30回 【授業テーマ】 まとめ
評価方法 (基準)
レポート、授業中の課題、学期末試験の結果により総合的に評価する。

教材等

教科書…適宜資料を配付する
参考書…舩富順久 他 (編著)「現代社会の情報・通信マネジメント」(第3章：情報化時代のものづくり経営(能勢担当)) (中央経済社、2009年)
日本セキュリティ・マネジメント学会監修・松浦幹太編著「セキュリティマネジメント学-理論と事例-」(第3章：経営学的アプローチ(能勢担当)) (共立出版、2011年)

学生へのメッセージ

経営情報システムについて学ぶことで、マネジメントプロセスとビジネスプロセスと情報技術の結びつきが理解できるようになります。また、情報技術だけでなく経営技術、工学技術に対する関心が高まり、将来の業務に生かすことができます。

関連科目

プロジェクトマネジメント、データベース論、コンピュータネットワーク論、システム設計

担当者の研究室等

1 1号館6階(経営学部事務室)

意思決定支援システム Decision Support System				
谷川 周次 (タニガワ シュウジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

意思決定は人間行動にかかるさまざまな科学の領域にまたがるものです。本講義では人間のあらゆる意識的行動を経営学の視点から考察します。本講義の目的は、人間のつくる組織と管理に関する意思決定の科学を学ぶとともに、意思決定支援システムの問題点と限界について学びます。到達目標は、第一に意思決定支援システムと経営学の関係を理解し説明できること。第二に意思決定支援システムのさまざまなアプローチについて体系的に把握し説明できること。第三に社会や企業で実施している意思決定支援システムの問題を明らかにしたうえで課題を見つけ出すことです。

授業方法と留意点

講義を配布資料とプロジェクターで行いますが、途中で理解促進演習も実施します。理解促進のためケーススタディのプリントを配布しディスカッションします。質疑応答とディスカッションの時間を設けるため積極的な発言を求めます。日頃から新聞・インターネット等を活用し、企業の意思決定支援システムに関する情報収集を行う習慣を身につけてください。

科目学習の効果 (資格)

経営者、管理者、経営企画、コンサルタントに必須科目です。また、経営学検定、中小企業診断士、ITパスポートや情報系の資格受験に有効です。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】** 講義概要と序論
【内容・方法 等】 意思決定支援システムの概要の解説
【事前・事後学習課題】 教科書の序説を読んでおくこと
- 第2回 【授業テーマ】** 情報化社会とは
【内容・方法 等】 現代が情報化社会と言われる意味を考える
【事前・事後学習課題】 身の周りの出来事から、現代が情報化社会といわれる意味を理解すること
- 第3回 【授業テーマ】** システム
【内容・方法 等】 システムの定義の概念について学ぶ
【事前・事後学習課題】 システムの定義を学び、意思決定は何かを理解すること
- 第4回 【授業テーマ】** モデル
【内容・方法 等】 モデルの概念について学ぶ
【事前・事後学習課題】 モデルの概念を学び、意思決定は何かを理解すること
- 第5回 【授業テーマ】** 意思決定支援システムの定義と分類
【内容・方法 等】 意思決定支援システムの定義と分類の解説
【事前・事後学習課題】 DSSの基本機能、構造を理解すること
- 第6回 【授業テーマ】** 問題解決とDSS
【内容・方法 等】 問題解決に至るフェーズ解説と具体例
【事前・事後学習課題】 問題解決がどのようなフェーズからなっているかを理解し、各フェーズにおける技法を学ぶこと
- 第7回 【授業テーマ】** 意思決定支援システムの機能と構造 I
【内容・方法 等】 意思決定支援システムの機能と構造を学ぶ
【事前・事後学習課題】 情報システムの設計論を理解し、DSSがどのように設計されるべきかを学ぶこと
- 第8回 【授業テーマ】** 意思決定支援システムの機能と構造 II
【内容・方法 等】 意思決定支援システムの機能と構造を学ぶ
【事前・事後学習課題】 事例を通して、グループDSSについて学ぶこと
- 第9回 【授業テーマ】** 特別講義
【内容・方法 等】 ゲストスピーカーを招いての特別講義
【事前・事後学習課題】 システム開発会社の経営者の方による、現場から見たシステム開発の実態を学ぶこと
- 第10回 【授業テーマ】** 演習 I
【内容・方法 等】 問題解決の3つのフェーズ
【事前・事後学習課題】 問題解決の3つのフェーズを学ぶこと
- 第11回 【授業テーマ】** 演習 II
【内容・方法 等】 意思決定シミュレーション演習
【事前・事後学習課題】 実際にグループに分かれてのテーマに沿った意思決定のプロセスを経験する。
- 第12回 【授業テーマ】** 意思決定支援システムの構築
【内容・方法 等】 演習の総括とシステム開発の手順について学ぶ
【事前・事後学習課題】 演習を総括。システム開発の手順(基本)について学ぶ
- 第13回 【授業テーマ】** 意思決定支援システムの構築
【内容・方法 等】 開発ステップでの具体的アプローチについて学ぶ
【事前・事後学習課題】 設計アプローチと開発形態について学ぶ
- 第14回 【授業テーマ】** まとめ I
【内容・方法 等】 意思決定支援システムの概念と機能についての総括
【事前・事後学習課題】 モデル概念、DSSの機能について復習しておくこと
- 第15回 【授業テーマ】** まとめ II
【内容・方法 等】 問題解決と意思決定についての総括
【事前・事後学習課題】 問題解決のフェーズと意思決定について復習しておくこと

評価方法 (基準)

定期試験 (60%)、演習課題 (15%)、講義毎の連絡メモによる授業協力 (25%) により総合的に評価します。

教材等

教科書…なし (毎回の配布資料を教科書とします)
参考書…飯島淳一『意思決定支援システムとエキスパートシステム』日科技連(3400円+税)

学生へのメッセージ

意思決定の科学は、将来皆さんが社会で直面する困難を切り開くきっかけになるに違いありません。経営学における意思決定の理論と実践の論理をつなげておきましょう。

関連科目

経営戦略論、経営統計学、マネジメントサイエンス等

担当者の研究室等

経営学部事務室

情報産業論

Computer and Information Industry

三ツ橋 四郎 (ミツハシ シロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「産業の情報化」の進展の中で、情報産業はその中心的担い手として、発展を続けている。情報産業はそれ自体の産業規模に止まらず、情報サービスの提供を通じて他産業の発展にも大きく貢献してきた。今後の情報産業に求められるのは、情報の高度活用を通じて、産業の高付加価値化を進めていく先導役としての機能である。本講義では、情報産業の誕生から発展の歴史をたどると共に、今日に於ける情報産業の役割、課題を明確にする。また、情報産業で働く技術者、コンサルタントなどの業務内容を紹介しつつ、産業としての発展可能性を探る。

授業方法と留意点

情報産業の最新動向を踏まえたレジュメまたはパワーポイントによる講義が中心となる。毎回講義の終わりに、講義内容についての理解度テスト(出席確認を兼ねる)を行う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
 情報産業の典型的なDVDを見て情報産業とはを知る
 【内容・方法等】 講義の概要、進め方、評価方法などについて説明を行う
 【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。
- 第2回** 【授業テーマ】 情報産業の歴史(その1)
 【内容・方法等】 情報産業の歴史(その1)
 情報産業の誕生からメインフレーム(汎用機)の時代までその歴史と特徴を説明する
 【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 情報産業の歴史(その2)
 【内容・方法等】 情報産業の歴史(その2)
 パソコンの時代からインターネットの時代までその歴史と特徴を説明する
 【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 情報産業の歴史(その3)
 【内容・方法等】 情報産業の歴史(その3)
 パソコンからユビキタスの時代までその歴史と特徴を説明する
 【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 従来型情報産業の動向
 【内容・方法等】 コンピュータメーカ、ソフトウェア開発、通信など従来型情報産業の動向と企業特性による分類と今後の動向等を説明する
 【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 新情報産業の登場(その1)
 【内容・方法等】 エレクトリックコマース(EC)、モバイル、コンテンツなどの新情報産業の登場
 インターネットの発展により登場した新たなタイプの情報産業について、その特徴と動向を知る
 【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 新情報産業の登場(その2)
 【内容・方法等】 従来型教法産業と新情報産業との違いを知り、両者の産業構造の違いを理解する。
 放送局と新情報産業の一部であるコンテンツ提供サービスの違いを知る。
 クラウド・コンピューティングとは？
 【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 情報産業の将来展望
 【内容・方法等】 情報産業の今後の発展可能性をさぐる。
 6つのキーワードをもとに検討する。
 【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 情報担当役員(CIO)の役割と事例研究
 【内容・方法等】 企業などで情報システムや情報の流通を統括する情報統括役員(CIO)の役割とその重要性を知る。
 また、中小企業で、CIOの役割を代行するITコーディネーターの役割を知る。
 【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 企業内情報システム部門の役割
 【内容・方法等】 情報産業の仕事内容を知るために、情報システム開発の事例を検討する。
 企業内で情報システム開発管理を行う情報システム部門の

役割を知る。

情報システムのライフサイクルを理解する。

【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。

- 第11回** 【授業テーマ】 情報システムの開発
 【内容・方法等】 システム開発の流れ、作業内容、開発方法などについて理解する。
 システム開発に不可欠なプロジェクト管理の重要性などについて理解する。

【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。

- 第12回** 【授業テーマ】 情報システムで働く人の環境
 【内容・方法等】 情報産業の中心的担い手である高度情報専門家の職種、業務内容と求められるスキルの体系について学ぶ。
 プロジェクト・マネジャーの仕事内容を知る。

【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。

- 第13回** 【授業テーマ】 中小企業での情報システム
 【内容・方法等】 中小企業における情報システム開発の課題を知る。
 中小企業では、情報システム部門は存在しないし、ITに投資できる金額にも限りがあるという現実を認識する。

【事前・事後学習課題】 毎回課題を出し提出してもらうが、次回に解説をするので、毎回講義内容を復習しておくこと。

- 第14回** 【授業テーマ】 講義のまとめ(前編)
 【内容・方法等】 過去の講義の総復習を行うとともに試験対策を検討する。
 講義のポイントを再度、2回に分けて徹底する。

【事前・事後学習課題】 全体のまとめをするので、過去に配布した講義資料を全部持ってくること。

- 第15回** 【授業テーマ】 講義のまとめ(後編)
 【内容・方法等】 過去の講義の総復習を行うとともに試験対策を検討する。
 講義のポイントを再度、2回に分けて徹底する。

【事前・事後学習課題】 全体のまとめをするので、過去に配布した講義資料を全部持ってくること。

評価方法(基準)

理解度テストと期末試験点数によって評価する。

教材等

教科書…レジュメまたはパワーポイントの資料を毎回配布する。
 参考書…講義の中で紹介する。

学生へのメッセージ

情報産業は時代の最先端を走る変化の激しい産業である。長年、情報産業に身を置いてきた講師の経験も踏まえて、情報産業の魅力を受講生に伝えたい。

関連科目

情報工学/情報処理入門/情報産業の歴史etc.

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

情報セキュリティ
 Information Security

吉田 博一 (ヨシダ ヒロカズ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

情報セキュリティの基礎的なリテラシーを身につけることを目的とする。情報技術の進展は、さまざまな恩恵を私たちの生活にもたらしている。その一方で、さまざまな危険と隣り合わせであることも理解しておかなければならない。本講義においては、情報セキュリティの全般的な内容に触れ、個人としての取り組むべきこと、また、企業などの組織として取り組むべきことを学び、コンピュータやネットワークを利用する者として、被害者や加害者にならないようにする。

授業方法と留意点

テキストに従ったプリントを配布し、適宜教科書を参照して、講義を行う。必要に応じて最新事例等を紹介するなど内容を変更する。毎回講義の終了前に、課題を与え、原則時間内にレポートを提出する。

科目学習の効果(資格)

情報処理技術者試験(基本情報処理、ITストラテジスト)における情報セキュリティ分野

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション.ITに潜む危険
 【内容・方法等】 本講義の狙い、進め方についてITの落とし穴、インターネットに潜む危険
 【事前・事後学習課題】 シラバスを読んでおくこと
 自宅PCのセキュリティ設定の確認

- 第2回 【授業テーマ】 情報セキュリティの考え方
【内容・方法 等】 情報セキュリティの考え方
【事前・事後学習課題】 教科書の第1章を読み、知らない単語について調べておくこと
- 第3回 【授業テーマ】 セキュリティリスク (1)
【内容・方法 等】 驚異の分類, ウイルス, セキュリティホール
【事前・事後学習課題】 教科書の2-1~2-8を読み、知らない単語について調べておくこと
- 第4回 【授業テーマ】 セキュリティリスク (2)
【内容・方法 等】 不正アクセス, サーバへの攻撃
【事前・事後学習課題】 教科書の2-9~2-11, 2-13~2-17を読み、知らない単語について調べておくこと
- 第5回 【授業テーマ】 ウイルス被害と対策 (1)
【内容・方法 等】 ウイルスの定義, 感染原因
【事前・事後学習課題】 教科書の2-12を読み、知らない単語について調べておくこと
- 第6回 【授業テーマ】 ウイルス被害と対策 (2)
【内容・方法 等】 ウイルスの感染予防, 駆除
【事前・事後学習課題】 教科書の4-9を読み、知らない単語について調べておくこと
自宅PCのウイルス対策の確認
- 第7回 【授業テーマ】 セキュリティ対策 (1)
【内容・方法 等】 技術面のセキュリティ対策 (認証など)
【事前・事後学習課題】 教科書の4-10~4-15を読み、知らない単語について調べておくこと
- 第8回 【授業テーマ】 セキュリティ対策 (2)
【内容・方法 等】 技術面のセキュリティ対策 (ファイアウォールなど)
【事前・事後学習課題】 教科書の4-1~4-8を読み、知らない単語について調べておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 セキュリティ対策 (3)
【内容・方法 等】 運用面のセキュリティ対策
【事前・事後学習課題】 教科書の4-16~4-23を読み、知らない単語について調べておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 情報セキュリティポリシーの策定
【内容・方法 等】 情報セキュリティポリシーの策定
【事前・事後学習課題】 教科書の第5章を読み、知らない単語について調べておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 セキュリティ技術
【内容・方法 等】 暗号化とデジタル署名
【事前・事後学習課題】 教科書の第3章を読み、知らない単語について調べておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 情報セキュリティ関連の法規と制度 (1)
【内容・方法 等】 情報セキュリティの国際標準, 関連する法規
【事前・事後学習課題】 教科書の6-1~6-8を読み、知らない単語について調べておくこと
- 第13回 【授業テーマ】 情報セキュリティ関連の法規と制度 (2)
【内容・方法 等】 知的財産を守る法律, 情報セキュリティ関連制度
【事前・事後学習課題】 教科書の6-9~6-13を読み、知らない単語について調べておくこと
知的財産に関連する記事を調べる
- 第14回 【授業テーマ】 情報セキュリティ関連の法規と制度 (3)
【内容・方法 等】 プライバシーについて
【事前・事後学習課題】 プライバシーに関連する記事を調べる
- 第15回 【授業テーマ】 情報セキュリティに関する最近の状況
【内容・方法 等】 情報セキュリティに関する最近の状況
【事前・事後学習課題】 講義内容を復習し、講義全体の要点を理解すること
- 評価方法 (基準)
期末の筆記試験と各授業レポートを総合的に評価する
- 教材等
教科書…相戸 浩志「図解入門よくわかる最新情報セキュリティの基本と仕組み[第3版]」秀和システム, 2010 (1,800円+税)
参考書…適宜案内する
- 学生へのメッセージ
情報セキュリティに関する知識は、これから社会に出る人にとって、身につけておくべきリテラシーだと思います。情報セキュリティについて考えるきっかけになることを期待します。
- 関連科目
情報システム監査
- 担当者の研究室等
11号館6階 (経営学部事務室)

プロジェクトマネジメント
Project Management

若松敏幸 (ワカマツ トシユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

どのような組織にも特定の事業目的のための活動がある。プロジェクトマネジメントは、そのような活動の成果を効果的に計画、実行、コントロールするための技法である。講義では、プロジェクト・マネジメントの基本知識の習得と、事例や主な管理ツールを通してその活用法を学習し、プロジェクト・リーダーになるための基本スキルを身につけることを目標とする。

授業方法と留意点

テキスト及び配布資料を中心に講義を行う。随時演習を取り入れる。

科目学習の効果 (資格)

高度情報処理技術者試験にプロジェクトマネージャーの資格がある。また国際的な民間資格にPMPがある。将来実務経験を積んだ後に、これらの資格取得に役立つ基礎知識を身につけることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンスおよびプロジェクトマネジメントの概要
【内容・方法 等】 講義の進め方、概要、評価方法など
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 PMBOKに関する基礎知識
【内容・方法 等】 プロジェクトマネジメントの体系、PMBOK基本用語
【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。
- 第3回 【授業テーマ】 プロジェクトのスコープ定義
【内容・方法 等】 プロジェクト・スコープ・マネジメント、WBS
【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。
- 第4回 【授業テーマ】 スケジュールの作成
【内容・方法 等】 プロジェクト・タイム・マネジメント
【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。
- 第5回 【授業テーマ】 予算の作成
【内容・方法 等】 プロジェクト・コスト・マネジメント、コストの見積り法
【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。
- 第6回 【授業テーマ】 品質管理
【内容・方法 等】 プロジェクト品質マネジメント、QC7つ道具
【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。
- 第7回 【授業テーマ】 要員の調達と育成、コミュニケーション管理
【内容・方法 等】 プロジェクト人的資源マネジメント、プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント
【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。
- 第8回 【授業テーマ】 リスク管理
【内容・方法 等】 プロジェクト・リスク・マネジメント
【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。
- 第9回 【授業テーマ】 調達管理
【内容・方法 等】 プロジェクト調達マネジメント
【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。演習問題に解答。
- 第10回 【授業テーマ】 PMBOKを利用したプロジェクトマネジメント実践 (1)
【内容・方法 等】 計画フェーズ
個人別演習 (プロジェクト概要、スコープ定義、WBS、体制)
【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。レポートの作成。
- 第11回 【授業テーマ】 PMBOKを利用したプロジェクトマネジメント実践 (2)
【内容・方法 等】 要件定義フェーズ
個人別演習 (プロジェクト予算、スケジュール)
【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。レポートの作成。
- 第12回 【授業テーマ】 PMBOKを利用したプロジェクトマネジメント実践 (3)
【内容・方法 等】 設計・開発フェーズ
グループ演習 (チーム編成、計画書作成)
【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。レポートの作成。
- 第13回 【授業テーマ】 PMBOKを利用したプロジェクトマネジメント

ント実践(4)

【内容・方法等】 テスト・移行フェーズ
グループ演習(リスク管理と変更管理)

【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。
レポートの作成。

第14回 【授業テーマ】 PMBOKを利用したプロジェクトマネジメント実践(5)

【内容・方法等】 運用・保守フェーズ
グループ演習(モニタリング、成果発表)

【事前・事後学習課題】 教科書の該当部分を読んでおくこと。
レポートの作成。

第15回 【授業テーマ】 まとめ

【内容・方法等】 授業全体のまとめ

【事前・事後学習課題】 授業で学習した内容を整理する

評価方法(基準)

授業において演習課題やレポートの提出を求める。その提出課題、レポートおよび学期末試験の結果により評価する。

教材等

教科書…広兼 修著 「最新プロジェクトマネジメント標準PMBOK入門」(2,310円)

参考書…日本プロジェクトマネジメント・フォーラム編 「トントンやさしいプロジェクトマネジメントの本」(1,470円)

学生へのメッセージ

会社、地域社会、家庭などあらゆる場面で、様々な問題を解決し、目的を効果的に達成することが求められます。また、学生生活においても、リーダーとしての役割が求められることが多々あるはず。そうした経験を踏まえて、プロジェクトマネジメントのスキルを身につけることの有用性を理解してください。

関連科目

経営管理論、リスクマネジメント、システム設計、コミュニケーション論

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

社会情報システム論 Social Information System				
久保 貞也(クボ サダヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、現代社会における情報システムのあり方、情報ネットワークの意義について取り扱う。ここでは、企業の情報システム、行政の情報システムをはじめとして、地域コミュニティに貢献する情報ネットワーク、ブログやSNSなどの個人間の情報ネットワークなどを取り上げる。そして、組織間、個人間などさまざまな情報の流通による効用や問題点についても検討を行う。

授業方法と留意点

講義形式。ただし、講義時間内でディスカッションを行う場合は積極的に発言すること。

科目学習の効果(資格)

情報社会における情報技術の効果的な利用を考える基礎知識の修得

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 社会情報システムとは何か、日常生活でのコンピュータ利用

【事前・事後学習課題】 シラバスを読んでおく

第2回 【授業テーマ】 情報システムの発展過程

【内容・方法等】 コンピュータの発達と活用範囲の広がり

【事前・事後学習課題】 コンピュータ関連科目の授業内容を振り返る

第3回 【授業テーマ】 情報システムを活かした組織活動(企業)

【内容・方法等】 企業における情報システムの活用の紹介

【事前・事後学習課題】 企業のIT活用について調べる

第4回 【授業テーマ】 情報システムを活かした組織活動(IT企業)

【内容・方法等】 IT企業における情報システムの活用の紹介

【事前・事後学習課題】 IT企業の発展について調べる

第5回 【授業テーマ】 情報システムを活かした組織活動(行政)

【内容・方法等】 行政における情報システムの活用の紹介

【事前・事後学習課題】 行政の情報化を調べる

第6回 【授業テーマ】 個人の情報活用と情報社会の進展

【内容・方法等】 Web2.0、個人の経済活動の変化、ゲームとしての社会

【事前・事後学習課題】 個人向けの情報サービスについて調べる

第7回 【授業テーマ】 経営と情報

【内容・方法等】 ディスカッション

【事前・事後学習課題】 ディスカッションテーマに関する情報

収集

第8回 【授業テーマ】 情報社会の課題

【内容・方法等】 情報通信技術の動向、監視社会、安心安全

【事前・事後学習課題】 情報技術の功罪を考える

第9回 【授業テーマ】 ICTの利点と問題点

【内容・方法等】 ケータイ、ブログ、SNS

【事前・事後学習課題】 普段のICT利用について考える

第10回 【授業テーマ】 集団行動と情報システム

【内容・方法等】 集合知、プロファイリング

【事前・事後学習課題】 普段の生活での行動の情報提供について考える

第11回 【授業テーマ】 個人からの情報発信の可能性

【内容・方法等】 ディスカッション

【事前・事後学習課題】 ディスカッションテーマに関する情報収集

第12回 【授業テーマ】 地域情報化の現状

【内容・方法等】 電子自治体関連の研究の紹介、今後の展望

【事前・事後学習課題】 地元自治体のウェブサイトを見る

第13回 【授業テーマ】 地域の情報発信

【内容・方法等】 地域ブランド、市民サイト、地域コミュニティ

【事前・事後学習課題】 地元の地域ブランドについて調べる

第14回 【授業テーマ】 これからの社会情報システムとは

【内容・方法等】 ディスカッション

【事前・事後学習課題】 ディスカッションテーマに関する情報収集

第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ

【内容・方法等】 講義全体のまとめ

【事前・事後学習課題】 これまでの講義内容の要点をまとめる

評価方法(基準)

期末テスト、ディスカッションでの発言。

教材等

教科書…なし

参考書…適宜、紹介する。

学生へのメッセージ

ブログ、SNSなどの新しい情報ネットワークについては、学生の皆さんの方がよくご存じかもしれません。理論と実際との間をどのようにつないでいくかは、新しい学問分野として興味深いところです。一緒にこの課題を考えていきましょう。

関連科目

空間情報システム論、空間情報システム論演習

担当者の研究室等

11号館7階 久保准教授室

マーケティングサイエンスI Marketing Science I				
樋口 友紀(ヒグチ ユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

近年、ビジネスにおいてマーケティングは欠かすことのできないツールとなった。商品を生産すれば売れた時代とは違い、現在では多様化する消費者ニーズに的確に対応することが、企業にとって市場で生き残っていくためのカギとなっている。本講義では、マーケティングの基本について学習する。なぜマーケティングが必要であるのか、どのように行えば良いのか、その手法と実際を紹介する。

授業方法と留意点

教員からの講義の他に、講義内容に関連した実際の問題について学生自身にも考え、発表してもらう。これは、学生の発想力と創造力を伸ばすためでもある。

科目学習の効果(資格)

マーケティングの基礎知識を学習し、現実の問題について考えることで、世の中で行われているマーケティング手法について身近に理解できるようにする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 マーケティングとは何か、基本的な用語について

【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。

第2回 【授業テーマ】 マーケティングの基礎

【内容・方法等】 マーケティングの歴史、4P、様々な分析手法について

【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。

第3回 【授業テーマ】 マーケティング戦略1

【内容・方法等】 製品戦略について

【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。

第4回 【授業テーマ】 マーケティング戦略2

【内容・方法等】 価格戦略について

- 第5回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 マーケティング戦略3
【内容・方法等】 チャネル戦略について
- 第6回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 マーケティング戦略4
【内容・方法等】 プロモーションについて
- 第7回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 マーケティング戦略5
【内容・方法等】 インターネット戦略について
- 第8回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 マーケティング戦略6
【内容・方法等】 各種の戦略や、現実の事例について
- 第9回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 マーケティング戦略7
【内容・方法等】 サービス・マーケティングについて
- 第10回** 【事前・事後学習課題】 配布プリント、教科書の内容の復習。
【授業テーマ】 ニュービジネス設計(1)
【内容・方法等】 これまでの講義内容をふまえ、実際にニュービジネスの設計を行っていただきます。
- 第11回** 【事前・事後学習課題】 ニュービジネスについてアイデアを出せるよう、書籍、新聞やインターネットから情報収集をしてください。
【授業テーマ】 ニュービジネス設計(2)
【内容・方法等】 これまでの講義内容をふまえ、実際にニュービジネスの設計を行っていただきます。
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 考案したニュービジネスについて、プレゼンテーションができるように掘り下げて考えて下さい。
【授業テーマ】 ニュービジネス設計とプレゼンテーション(1)
【内容・方法等】 設計したニュービジネスを発表資料としてまとめ、発表してもらう。また、他の学生の考案したニュービジネスについて分析を加える。
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 ビジネスについて書籍、新聞やインターネットから情報収集をしてください。
【授業テーマ】 ニュービジネス設計とプレゼンテーション(2)
【内容・方法等】 設計したニュービジネスを発表資料としてまとめ、発表してもらう。また、他の学生の考案したニュービジネスについて分析を加える。
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 ビジネスについて書籍、新聞やインターネットから情報収集をしてください。
【授業テーマ】 ニュービジネス設計とプレゼンテーション(3)
【内容・方法等】 設計したニュービジネスを発表資料としてまとめ、発表してもらう。また、他の学生の考案したニュービジネスについて分析を加える。
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 ビジネスについて書籍、新聞やインターネットから情報収集をしてください。

評価方法 (基準)

講義内課題70%、期末試験30%

教材等

教科書…教科書：現代マーケティング・ICT時代の新しいコミュニケーション/竹安和博・石井康夫・樋口友紀
参考書…講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

日ごろ自分達がどのように考え、どういった商品を購入しているかを思い浮かべつつ、講義に臨んでもらいたい。

関連科目

マーケティング・サイエンス2

担当者の研究室等

樋口研究室

備考

学生の理解度や使用教室などによって、適宜講義内容を変更する場合があります。

マーケティングサイエンスII

Marketing Science II

樋口友紀 (ヒグチ ユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

近年、ビジネスにおいてマーケティングは欠かすことのできないツールとなった。商品を生産すれば売れた時代とは違い、現在では多様化する消費者ニーズに的確に対応することが、企業にとって市場で生き残っていくためのカギとなっている。本講義では、前期に引き続きマーケティングの基本について学習する。あわせて戦略を立案する上で必要不可欠となるデータの扱い方を紹介し、各自でリサーチを実行してもらう。市場の動向を読むための技術を身につけることは非常に重要である。

授業方法と留意点

教員からの講義の他に、講義内容に関連した実際の問題について学生自身にも考え、発表してもらう。これは、学生の発想力と創造力を伸ばすためでもある。

科目学習の効果 (資格)

マーケティングの基礎知識とリサーチ手法について学習し、現実の問題について考えることで、世の中で行われているマーケティング手法について身近に理解できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンスとマーケティング・サイエンス1の復習
【内容・方法等】 マーケティング・サイエンス1の復習
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第2回** 【授業テーマ】 ブランド戦略(1)
【内容・方法等】 ブランドの歴史やブランドの基本戦略について
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第3回** 【授業テーマ】 ブランド戦略(2)
【内容・方法等】 ブランドの採用戦略とブランド要素について
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第4回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチとは
【内容・方法等】 マーケティング・リサーチの基本知識、実行手順について
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第5回** 【授業テーマ】 二次データの収集
【内容・方法等】 二次データの収集方法と演習
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第6回** 【授業テーマ】 一次データの収集
【内容・方法等】 一次データの収集方法と質問票の設計について
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第7回** 【授業テーマ】 データ分析(1)
【内容・方法等】 データの入力方法と、基礎統計について
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第8回** 【授業テーマ】 データ分析(2)
【内容・方法等】 独立性の検定と回帰分析
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第9回** 【授業テーマ】 データ分析(3)
【内容・方法等】 平均値差によるt検定、分散分析、指数平滑法による予測
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第10回** 【授業テーマ】 データ分析(4)
【内容・方法等】 因子分析
【事前・事後学習課題】 配布プリントの復習
- 第11回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ演習(1)
【内容・方法等】 これまでの講義内容をふまえ、各自でマーケティング・リサーチを実行してもらいます。
【事前・事後学習課題】 リサーチ内容を計画し、適切な分析手法を選択することができるように、講義内容について復習し、情報収集を心がけてください。
- 第12回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ演習(2)
【内容・方法等】 これまでの講義内容をふまえ、各自でマーケティング・リサーチを実行してもらいます。
【事前・事後学習課題】 考案したリサーチ内容について、プレゼンテーションができるように掘り下げて考えて下さい。また、リサーチに必要な情報を収集し、まとめてください。
- 第13回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ演習とプレゼンテーション(1)
【内容・方法等】 設計したリサーチ内容を発表資料としてまとめ、発表してもらう。また、他の学生の考案したリサーチ内容について分析を加える。
【事前・事後学習課題】 リサーチ内容について掘り下げて考えるよう心掛けてください。
- 第14回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ演習と発表(2)
【内容・方法等】 設計したニュービジネスを発表資料としてまとめ、発表してもらう。また、他の学生の考案したニュービジネスについて分析を加える。
【事前・事後学習課題】 リサーチ内容について掘り下げて考えるよう心掛けてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 講義まとめ
【内容・方法等】 授業に関する質問に回答します。
【事前・事後学習課題】 半年間の復習をしてください。

評価方法 (基準)

講義内課題70%、期末試験30%

教材等

教科書…指定しない。レジュメを配布する。
参考書…講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

日ごろ自分達がどのように考え、どういった商品を購入しているかを思い浮かべつつ、講義に臨んでもらいたい。

関連科目

マーケティング・サイエンス1

担当者の研究室等

学生の理解度や使用教室などによって、適宜講義内容を変更する場合があります。

流通情報システム

Distribution Information System

若松 敏 幸 (ワカマツ トシユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

小売業、卸売業などの流通業界は、消費者ニーズの多様化・個性化と競争環境の激化に対応して、魅力ある品揃え、無駄の排除と効率化、ローコストオペレーション等を積極的に進めている。また、インターネットを活用したビジネスモデルも進化を遂げており、今日の商取引に多大な影響を与えている。このような流通業界の経営課題を確認しつつ、そのビジネスモデルを支える流通情報システムの仕組みを理解することを目的とする。

授業方法と留意点

毎回、パワーポイントのスライド教材と動画の教材を用いて授業を進める。講義内容についての理解度テストを適時行う。

科目学習の効果(資格)

販売士検定3級試験、中小企業診断士試験の学習に有効

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンスおよび流通情報システムの概要
【内容・方法等】 講義の進め方、概要、評価方法などについて説明する。
また、流通情報システムの概要について説明する。
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 小売業の機能と業態
【内容・方法等】 小売業の主な業態(チェーンストア、百貨店、GMS、SM、DIY、ドラッグストア、CVS)の機能・特徴について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 授業で紹介する小売業のうち身近な業態についてよく研究すること。
- 第3回 【授業テーマ】 卸売業の機能と役割
【内容・方法等】 中間流通業者としての卸売業の機能、役割、ならびに主要商品別流通経路の特性について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 代表的な卸売業について、ホームページなどで企業研究すること。
- 第4回 【授業テーマ】 販売情報システム
【内容・方法等】 小売業の情報システムの基本ともいえる販売情報システムについて学ぶ。
特にPOSシステムとJAN商品コードを中心に。
【事前・事後学習課題】 小売店でのPOSシステムのオペレーションを観察すること。
- 第5回 【授業テーマ】 発注・仕入管理とEOS、EDI(電子データ交換)
【内容・方法等】 小売業と卸売業を結ぶ発注・仕入管理とその情報システムについて学ぶ。EOS、EDI(電子データ交換)の仕組みと機能を知る。
【事前・事後学習課題】 EOS、EDIの事例をインターネットで調べる。
- 第6回 【授業テーマ】 流通ビジネスプロトコル
【内容・方法等】 EDIにおける標準ビジネスプロトコルの役割と必要性を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 ビジネスプロトコルの種類について復習をすること。
- 第7回 【授業テーマ】 物流情報システム
【内容・方法等】 物流の機能と、物流情報システムについて学ぶ。物流からロジスティクス、SCM(サプライチェーン・マネジメント)へと発展した考え方を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 物流の機能について、ホームページなどで研究すること。
- 第8回 【授業テーマ】 顧客管理とカードシステム
【内容・方法等】 顧客管理と顧客満足経営(CS経営)、顧客管理の方法について学ぶ。
RFM分析、カードシステム、ワン・トゥ・ワンマーケティングなど。
【事前・事後学習課題】 カードの利用場面を観察し、ワン・トゥ・ワンマーケティングについて研究すること。
- 第9回 【授業テーマ】 商圏分析と店舗管理の情報システム
【内容・方法等】 店舗の立地条件と商圏の考え方、GIS(地図情報システム)、売場づくりの考え方について学ぶ。
棚割(プラングラム)システムなど。
【事前・事後学習課題】 インターネットを利用してGISを研究すること。
- 第10回 【授業テーマ】 サプライチェーン・マネジメント
【内容・方法等】 流通の川上(製造業)から川下(小売業)

へのスムーズな取り引きを実現するSCM(Supply Chain Management)の考え方と仕組みを学ぶ。

【事前・事後学習課題】 SCMの事例について、ホームページや書籍などで研究すること。

- 第11回 【授業テーマ】 電子商取引:BtoCのEC(Electronic Commerce)
【内容・方法等】 インターネットを使った企業と消費者間の電子商取引(BtoCのEC)について学ぶ。インターネットショップ、インターネットモールなど。また、デジタル音楽配信、電子書籍などの動向と課題についても学習する。
【事前・事後学習課題】 人気のあるインターネットショップを例に、なぜ人気があるのか研究すること。
- 第12回 【授業テーマ】 電子商取引:BtoBのEC(Electronic Commerce)
【内容・方法等】 インターネットを使った企業と企業間の電子商取引(BtoBのEC)について学ぶ。マーケットプレイス、インターネットEDIなど。
【事前・事後学習課題】 授業で紹介するBtoBのECモデルについてインターネットで研究すること。
- 第13回 【授業テーマ】 商業集積の情報システム(商店街およびショッピングセンター)
【内容・方法等】 商業集積である商店街及びショッピングセンターの特徴と課題、情報化の狙いと機能について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 身近にある商店街、ショッピングセンターを観察し、今後の課題を考えてみる。
- 第14回 【授業テーマ】 食品流通のトレーサビリティ
【内容・方法等】 食の安全・安心のためのトレーサビリティシステムについて学ぶ。
【事前・事後学習課題】 身近な食品を通して安全・安心をどうやって確認できるのか考えてみる。
- 第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 今日の流通業全体が抱える課題について整理すること。
- 評価方法(基準)
期末試験、理解度テストによって評価する。(期末試験を6割、理解度テストを4割の割合。)
また、授業での質問や意見表明など積極的な学習姿勢も評価する。
- 教材等
教科書…プリントを毎回配布する。
参考書…財団法人流通システム開発センター「流通情報システム化の動向」(2,100円)
日本商工会議所編集「販売士検定試験3級ハンドブック」(2,000円)
- 学生へのメッセージ
日常の買い物などを通して、商品バーコードやPOSシステムなど、流通情報システムの一端に接することが出来る。最新事例も含めて、流通情報システムに対する理解を深めて頂きたい。
- 関連科目
経営情報システム論
- 担当者の研究室等
11号館6階(経営学部事務室)

空間情報システム論(位置情報システム論)

Spatial Information System Science

久保 貞 也 (クボ サダヤ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、空間情報学の基礎と空間情報システムの活用について、理論と実例を交えて学ぶ。環境問題、自然災害、都市開発計画、消費者行動など空間情報システムが有効に活用される課題について、その背景や適用範囲、今後の活用について学ぶことを目的とする。

授業方法と留意点

講義形式。受講期間中は、空間情報システムのニュースや記事に注目すること。ディスカッションの際は積極的に発言すること。

科目学習の効果(資格)

空間に対する考え方が広がり、空間と情報システムの関連性を理解できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 本講義の狙い、空間とは何か
【事前・事後学習課題】 シラバスを読んでおくこと
- 第2回 【授業テーマ】 空間のとらえ方
【内容・方法等】 空間を扱う学問の歴史
【事前・事後学習課題】 これまで習った「空間」について振り返る
- 第3回 【授業テーマ】 空間情報学とは

【内容・方法等】 空間情報、空間分析
【事前・事後学習課題】 「空間」として表されているものを調べる

第4回 **【授業テーマ】** アイデアの創出と空間
【内容・方法等】 事例の紹介、アイデア創出における空間の役割

第5回 **【事前・事後学習課題】** アイデア創出技術を利用する
【授業テーマ】 空間情報の活用
【内容・方法等】 空間デザインによる集客効果、居住空間と都市計画

第6回 **【事前・事後学習課題】** 身近な活用事例を探す
【授業テーマ】 空間分析の活用
【内容・方法等】 施設配置問題

第7回 **【事前・事後学習課題】** 公的施設の位置関係を調べる
【授業テーマ】 身近な空間情報
【内容・方法等】 ゲーム、安全マップ、食べ歩きマップなど

第8回 **【事前・事後学習課題】** マップ例の収集
【授業テーマ】 情報の空間配置
【内容・方法等】 情報を集約させる表現技術
【事前・事後学習課題】 実習テーマに関するブレインストーミング

第9回 **【授業テーマ】** グループワーク
【内容・方法等】 大学や地域を紹介するマップを作る
【事前・事後学習課題】 実習テーマの情報収集

第10回 **【授業テーマ】** デイスカッション（グループワーク発表）
【内容・方法等】 情報提供の技法について学ぶ
【事前・事後学習課題】 紙面の構成方法について調べる

第11回 **【授業テーマ】** 空間情報システムの技術
【内容・方法等】 GIS、GPSなどの現状
【事前・事後学習課題】 最近の利用事例を調べる

第12回 **【授業テーマ】** これからの空間情報の活用
【内容・方法等】 サービス産業や観光創出などへの空間情報の利用を知る
【事前・事後学習課題】 エンターテインメント企業の事例を調べる

第13回 **【授業テーマ】** 行政と空間情報
【内容・方法等】 市民参加型の空間情報システムの可能性
【事前・事後学習課題】 災害時の空間情報の活用を考える

第14回 **【授業テーマ】** 空間をイメージさせる情報表現
【内容・方法等】 地域情報の表現技術、ゲームでの情報提供
【事前・事後学習課題】 旅行雑誌やゲームの実例を調べる

第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法等】 本講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 講義内容について要点を空間的にまとめる

評価方法（基準）
 期末テスト、平常点（受講中の発言、レポートなど）

教材等
 教科書…なし
 参考書…適宜、紹介する。

学生へのメッセージ
 空間情報は、企業活動、行政活動、研究活動の様々な部分で進展しています。日々、興味を持って「空間情報をどう使おう」と考えてください。

関連科目
 空間情報システム論演習

担当者の研究室等
 11号館7階 久保准教授室

空間情報システム論演習				
Practice of Spatial Information System Science				
久保貞也 (クボ サダヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	全	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 本演習では、地域社会の魅力を再発見する空間情報システムの構築をテーマとする。具体的には、空間情報システムの構成要素となる地理情報システム、ウェブ開発環境を組み合わせ、実践的な学習を行う。また、情報提供の演習として、地域の魅力を掘り起こすためのデータ収集やコンテンツの評価、表現などを行う。

授業方法と留意点
 毎時間の演習とグループワークによる制作を行うため、出席が単位取得の条件となる。

科目学習の効果（資格）
 地域の情報を発信するための基礎技術の習得

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法等】 空間情報とは何か

第2回 **【事前・事後学習課題】** シラバスを読んでおく
【授業テーマ】 空間情報システムの体験
【内容・方法等】 空間と情報を融合させているシステムの操作

第3回 **【事前・事後学習課題】** ウェブ上の地図情報を利用する
【授業テーマ】 付加価値情報の提供
【内容・方法等】 商用サイトの分析

第4回 **【事前・事後学習課題】** 企業の情報提供について考える
【授業テーマ】 空間情報システムの要素
【内容・方法等】 データベース技術、サイトデザイン

第5回 **【事前・事後学習課題】** WebGISを体験する
【授業テーマ】 MapAPIの実習
【内容・方法等】 GoogleAPIの操作

第6回 **【事前・事後学習課題】** 地図情報のあるウェブサイトのHTMLソースを見る
【授業テーマ】 MapAPIの実習
【内容・方法等】 GoogleAPIの応用

第7回 **【事前・事後学習課題】** GoogleAPIのリファレンスに目を通す
【授業テーマ】 市町村サイトの分析
【内容・方法等】 地域の情報化の実態把握

第8回 **【事前・事後学習課題】** 地元自治体のウェブサイトを見る
【授業テーマ】 デイスカッション
【内容・方法等】 地元のポータルサイトの比較

第9回 **【事前・事後学習課題】** デイスカッションテーマについての情報収集
【授業テーマ】 ウェブユーザビリティ
【内容・方法等】 誰もが使えるウェブサイトの必要条件

第10回 **【事前・事後学習課題】** ユーザビリティについて調べる
【授業テーマ】 地域社会の要件
【内容・方法等】 安心安全、生活情報の提供の実態

第11回 **【事前・事後学習課題】** 生活を支える情報について考える
【授業テーマ】 大学サイトとイメージ
【内容・方法等】 大学サイトの分析

第12回 **【事前・事後学習課題】** 大学サイトのコンテンツを調べる
【授業テーマ】 グループワーク
【内容・方法等】 地域ブランドの発見

第13回 **【事前・事後学習課題】** 地元の魅力について調べる
【授業テーマ】 グループワーク
【内容・方法等】 地域紹介サイトの製作

第14回 **【事前・事後学習課題】** HTMLの記述方法
【授業テーマ】 成果発表
【内容・方法等】 グループワークで作成したサイトの発表

第15回 **【事前・事後学習課題】** プレゼン資料の作成
【授業テーマ】 本演習のまとめ
【内容・方法等】 グループ間の情報共有、本演習で習得した技法のまとめ

【事前・事後学習課題】 グループワークの成果をまとめる

評価方法（基準）
 期末テスト、出席状況、提出物、相互評価によって総合的に評価する。

教材等
 教科書…なし
 参考書…適宜指定する。

学生へのメッセージ
 情報はその位置づけや価値が受け手にとってわかりやすいときに活用されやすくなります。地域の魅力やみなさんの嗜好を魅力ある情報に創り上げてみるプロセスを一緒に楽しみましょう。

関連科目
 空間情報システム論、社会情報システム論

担当者の研究室等
 11号館7階 久保准教授室

知的財産管理論				
Intellectual Properties Management				
平松 幸男 (ヒラマツ ユキオ)				
山崎 攻 (ヤマザキ オサム)				
廣田 義人 (ヒロタ ヨシト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 事業経営において知的財産はますます重要になった。日本はかつて世界の工場と言われたが、現在では生産拠点の海外シフトが急速に進み、親企業は海外からの技術料、特許使用料に依存する構造に変わってきた。これからは経営情報学科の学生でも知的財産の基礎は必要であり、この授業は経営情報学科における唯一の知的財産の授業として貴重な学習機会である。到達目標は、これからの企業に必要な知的財産の基本的な知識を習得する事にある。

授業方法と留意点

大阪工大大学院知的財産研究科の企業出身の教員2人と知的財産学部教員で分担して授業を進める。大きく分類して(1)知的財産の権利取得関係、(2)知的財産の活用関係、(3)事業・研究開発・知財の戦略関係の3つについて授業を行う。毎回、授業の終わりに小テストを実施する。

科目学習の効果(資格)

企業出身の教員から学ぶので実際の知的財産知識が習得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** ガイダンス、企業と特許戦略
【内容・方法 等】 (平松) ガイダンス(ねらい、授業の進め方、評価など)、特許法の改正と特許戦略/企業活動と知的創造サイクル/医薬品企業と知的財産など
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 **【授業テーマ】** 特許戦略
【内容・方法 等】 (平松) 特許戦略は各社の状況により異なる/特許戦略策定に関与する人/特許戦略の具体的な狙い(目標)
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第3回 **【授業テーマ】** 特許戦略
【内容・方法 等】 (平松) 特許戦略の策定期間/特許戦略の策定に必要な情報/特許戦略の種類
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第4回 **【授業テーマ】** 出願戦略
【内容・方法 等】 (平松) 重複研究の回避/出願の基準、目的、時期、方法、方針/発明者の認定/出願人の決定-共同出願要否の判断
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第5回 **【授業テーマ】** 出願戦略
【内容・方法 等】 (平松) ノウハウ技術の取り扱い/文献発表等の取り扱い/関連契約に基づく取り扱い
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第6回 **【授業テーマ】** 権利化戦略
【内容・方法 等】 (廣田) 特許出願の目的/特許出願手続き/出願審査請求の要否
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第7回 **【授業テーマ】** 権利化戦略
【内容・方法 等】 (廣田) 審査請求の時期/特許請求の範囲/拒絶理由通知に対する戦略
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第8回 **【授業テーマ】** 情報戦略
【内容・方法 等】 (廣田) 特許情報の収集/特許の種類/パテントマップから何がわかるか/研究活動と特許情報
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第9回 **【授業テーマ】** 情報戦略
【内容・方法 等】 (廣田) 研究成果の特許出願と情報/自社製品に関する特許情報の分析と対応/他社製品に関する特許情報の分析と対応
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第10回 **【授業テーマ】** 係争戦略
【内容・方法 等】 (廣田) 係争戦略とは/他社の特許を侵害した場合/ライセンス交渉/他社からの製品・技術導入
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第11回 **【授業テーマ】** 経営と知財
【内容・方法 等】 (山崎) 企業経営と知的財産の関わり、経済の状況、知的財産戦略の動向
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第12回 **【授業テーマ】** コスト戦略
【内容・方法 等】 (山崎) 国内外代理人について/情報収集・分析の内部・外部処理/翻訳の内部・外部処理
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第13回 **【授業テーマ】** コスト戦略
【内容・方法 等】 (山崎) 明細書のページ数/出願ルートの選定(国内出願、国際出願)
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第14回 **【授業テーマ】** 管理戦略
【内容・方法 等】 (山崎) 特許(出願)の価値評価/関連契約の収集、分析、整備/特許(出願)の(クレーム)維持・放棄
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること
- 第15回 **【授業テーマ】** 管理戦略

【内容・方法 等】 (山崎) 特許知識の社内普及/社外発表、業務委託の規制/先使用権の確保/未活用特許の活用
【事前・事後学習課題】 教科書の予習
授業内容を教科書や参考書と共に復習すること

評価方法(基準)

各教員が毎回小テストを実施し合計点で評価する。

教材等

教科書…宇佐見弘文 企業発展に必要な特許戦略 北樹出版
参考書…竹田和彦 特許のわかる12章 ダイヤモンド社
外川英明 企業実務者のための実践的特許法 中央経済社

学生へのメッセージ

小テストの評価、受講態度の評価を厳正に行うので、真に勉強する強い意思を持った学生のみ受講すること。

関連科目

民法I
民法II

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

リスクマネジメント

Risk Management

久保貞也(クボ サダヤ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

リスクマネジメントは、経営活動において発生するリスクを組織的にマネジメントし、ハザード(危害)の発生、損失などを回避、もしくは、低減させる重要なマネジメント手法です。変化の激しい現代社会における重要な課題であり、リスクの評価手法、マネジメント体制の構築、その運用、および、個人単位でのリスクマネジメント意識の向上などが含まれます。これらについて、事例や手法を多く学ぶことで、実践力の高い専門職業人としての土台を築きます。

授業方法と留意点

講義形式で行う。適宜、スライドや映像資料を提示するとともに、外部講師による事例紹介やディスカッションなども実施する予定である。

科目学習の効果(資格)

リスクマネジメントの必要性の理解と自律的な対応の心構え

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法 等】 講義の狙い、進め方、採点方法など
【事前・事後学習課題】 シラバスを読んでおく
- 第2回 **【授業テーマ】** リスクマネジメントとは何か
【内容・方法 等】 リスクマネジメントの事例紹介
【事前・事後学習課題】 リスクマネジメントの事例の調査
- 第3回 **【授業テーマ】** リスクマネジメントの必要性
【内容・方法 等】 リスクマネジメントのメリット、コストバランスなど
【事前・事後学習課題】 実際のリスクマネジメントの費用対効果を考える
- 第4回 **【授業テーマ】** リスクマネジメントの実際
【内容・方法 等】 部分最適型から全体最適型への変化について
【事前・事後学習課題】 バイト先などのリスク管理について調査する
- 第5回 **【授業テーマ】** リスクの捉え方
【内容・方法 等】 リスクの定義、評価方法など
【事前・事後学習課題】 身近にあるリスクの評価
- 第6回 **【授業テーマ】** リスクマネジメントの基礎概念(1)
【内容・方法 等】 リスクマネジメントの定義、基本計画など
【事前・事後学習課題】 受講内容の実例を探す
- 第7回 **【授業テーマ】** リスクマネジメントの基礎概念(2)
【内容・方法 等】 対策の実施、モニタリング、危機管理など
【事前・事後学習課題】 受講内容の実例を探す
- 第8回 **【授業テーマ】** リスクマネジメントの体制
【内容・方法 等】 推進体制の構築、設計の前提について
【事前・事後学習課題】 マネジメント体制を自ら検討する
- 第9回 **【授業テーマ】** リスクマネジメントの教育
【内容・方法 等】 教育方法、評価方法、育成の視点など
【事前・事後学習課題】 教育方法の比較検討
- 第10回 **【授業テーマ】** 事例紹介
【内容・方法 等】 外部講師、もしくは、映像資料などによる事例紹介
【事前・事後学習課題】 これまで受講した内容との関係性の分析
- 第11回 **【授業テーマ】** ディスカッション
【内容・方法 等】 リスクマネジメント担当部署としてのロー

ルプレイ
【事前・事後学習課題】 ディスカッションテーマに関する情報収集
第12回 **【授業テーマ】** 事業継続計画
【内容・方法 等】 BCPとは何か、災害時の事業継続について
【事前・事後学習課題】 震災時の事例の調査
第13回 **【授業テーマ】** リスクマネジメントの実務（1）
【内容・方法 等】 現場でのリスクマネジメントについて
【事前・事後学習課題】 効果的なリスクマネジメントの検討
第14回 **【授業テーマ】** リスクマネジメントの実務（2）
【内容・方法 等】 今すぐ始められるリスク管理法について
【事前・事後学習課題】 リスクマネジメントの関連図書を読む
第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法 等】 本講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 講義内容の振り返り

評価方法（基準）
 期末試験、小テスト、ディスカッションでの発言などを総合的に評価する。

教材等
教科書…プリントなどの教材を適宜配布する。
参考書…適宜指定する。

学生へのメッセージ
 リスクマネジメントは企業の安定的な事業遂行にとってとても重要な考えであり、思考、技術でもあります。このリスクマネジメントの概念を理解し、これからの社会で期待される人財としての判断力を磨いて欲しいと思っています。

関連科目
 システム監査、情報倫理、企業倫理、情報法
担当者の研究室等
 11号館7階久保准教授室

データウェアハウス Data Warehouse Theory				
吉 田 博 一 (ヨシダ ヒロカズ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 データウェアハウスは、企業の保有する情報を経営資源として活用するために、情報を整理し体系的にまとめて保管するデータの倉庫である。企業経営に役立てるデータの蓄積と活用のためのデータウェアハウスの基礎から応用まで幅広く学習する。本講義においては、経営的側面からデータウェアハウスの活用方策について理解することを到達目標とする。

授業方法と留意点
 テキストの内容に従いプリントを配布し、適宜教科書を参照して講義を行う。毎回講義の終了前に、課題を与え、原則時間内にレポートを提出する。

科目学習の効果（資格）
 企業や各種団体の管理職、コンサルタントに必要な基礎知識として役立てることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第1回 **【授業テーマ】** 企業情報システムの進展
【内容・方法 等】 講義の概略と講義方法・学び方
 企業情報システムの進展とデータウェアハウスの概要
【事前・事後学習課題】 データウェアハウスについて、概要及び応用例を調べておくこと。
第2回 **【授業テーマ】** 企業経営とデータウェアハウス
【内容・方法 等】 企業経営におけるデータウェアハウスの役割をセブンイレブンを題材に解説
【事前・事後学習課題】 セブン・イレブンにおけるデータウェアハウスの活用について調べておくこと
第3回 **【授業テーマ】** データベースの仕組み
【内容・方法 等】 データベースの基本的な仕組み
【事前・事後学習課題】 データベースの基本的な仕組みについて調べておくこと
第4回 **【授業テーマ】** データベースとデータウェアハウス
【内容・方法 等】 データベースとデータウェアハウスの共通点と相違点
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章を読んでおくこと。
第5回 **【授業テーマ】** データウェアハウスの基本構成
【内容・方法 等】 データウェアハウスの基本的な構成要素であるデータソース、メタデータ、活用系等の概要
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章を読んでおくこと。
第6回 **【授業テーマ】** データウェアハウスの設計と構築
【内容・方法 等】 データウェアハウスやデータマートを設計し、データ統合を行い構築する手順と内容
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章を読んでおくこと。
第7回 **【授業テーマ】** データウェアハウスの設計と構築（続き）
【内容・方法 等】 データウェアハウスやデータマートを設計

し、データ統合を行い構築する手順と内容
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章を読んでおくこと。前回の復習をしておくこと。
第8回 **【授業テーマ】** データウェアハウスの活用系
【内容・方法 等】 データウェアハウスの活用系の仕組み
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章を読んでおくこと。
第9回 **【授業テーマ】** オンライン分析処理（OLAP）
【内容・方法 等】 多方面からのデータ分析と視覚に訴える方法で情報を表示するオンライン分析処理（OLAP）
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章を読んでおくこと。
第10回 **【授業テーマ】** オンライン分析処理（OLAP）（続き）
【内容・方法 等】 多方面からのデータ分析と視覚に訴える方法で情報を表示するオンライン分析処理（OLAP）
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章を読んでおくこと。前回の復習をしておくこと。
第11回 **【授業テーマ】** データマイニング
【内容・方法 等】 データから有用な知識を抽出するデータマイニング技術の概要と相関分析、決定木などの手法
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章のデータマイニングの項を読んでおくこと。
第12回 **【授業テーマ】** データマイニング（続き）
【内容・方法 等】 データから有用な知識を抽出するデータマイニング技術の概要と相関分析、決定木などの手法
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章のデータマイニングの項を読んでおくこと。前回の復習をしておくこと。
第13回 **【授業テーマ】** データウェアハウスの活用事例
【内容・方法 等】 製造業、金融業、小売業、サービス業におけるデータウェアハウスの事例
【事前・事後学習課題】 データウェアハウスの活用事例を調べておくこと。
第14回 **【授業テーマ】** データウェアハウスの活用事例と新技術
【内容・方法 等】 データウェアハウスの活用事例のまとめ
 データウェアハウスの新技術の活用
【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読んでおくこと。
第15回 **【授業テーマ】** データウェアハウスの活用事例を調べる
【内容・方法 等】 データウェアハウスを活用している企業について調べる
【事前・事後学習課題】 書籍・文献等により、データウェアハウスを活用している企業について調べておくこと。

評価方法（基準）
 期末の筆記試験と各授業のレポートを総合的に評価する。

教材等
教科書…鈴木健司『データウェアハウスがわかる本』オーム社（1,500円＋税）
参考書…適宜案内する。

学生へのメッセージ
 データウェアハウスをビジネスにいかに関活用できるかを学びます。経営にどう活用できるかという観点を常に持って受講してほしい。

関連科目
 経営統計学、データベース論、マーケティング論、企業情報システム関連科目を受講していれば、理解が容易である。

担当者の研究室等
 11号館6階(経営学部事務室)

システム設計 System Design				
星 山 幸 子 (ホシヤマ サチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標
 情報化社会においては、「問題を発見し、目的を設定して、解決するためのシステムを実現する」ためにコンピュータは極めて有用である。それがシステム設計の大きな意味付けとなる。例えば、「オリジナルなソフトウェアを作りたい」という希望が芽生えたとき、それをパソコンで実現する方法を構想し、パソコンを用いて作る手順がシステム設計である。それを推し進めると社会で利用されている情報処理システムを設計するという目標につながる。

授業方法と留意点
 配布資料とパソコンを用いて、ExcelVBAを使用した演習で授業を進める。毎回、課題が出題される。その課題を提出しない場合は欠席とみなされるので注意すること。授業時間内に課題を完成できない場合、次週までに提出することが求められる。出席率が8割に満たない場合は単位を認めない。

科目学習の効果（資格）
 基本情報処理技術者試験を受験する援助となる。
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法 等】 授業計画概要と受講注意事項、システム設計とは
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習(1)
【内容・方法 等】 例題についてのコード設計演習1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第3回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習(2)
【内容・方法 等】 例題についてのコード設計演習2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第4回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習(3)
【内容・方法 等】 例題についてのコード設計演習3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第5回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習(4)
【内容・方法 等】 例題についてのコード設計演習4
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第6回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習(5)
【内容・方法 等】 例題についてのコード設計演習5
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第7回 【授業テーマ】 情報システムの現状確認
ミニシステム設計演習(1)
【内容・方法 等】 基本ミニシステム設計1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第8回 【授業テーマ】 情報システムの現状確認
ミニシステム設計演習(2)
【内容・方法 等】 基本ミニシステム設計2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第9回 【授業テーマ】 情報システム開発環境
ミニシステム設計演習(3)
【内容・方法 等】 基本ミニシステム設計3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第10回 【授業テーマ】 情報システム開発環境
ミニシステム設計演習(4)
【内容・方法 等】 基本ミニシステム設計4
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第11回 【授業テーマ】 要求定義
ミニシステム設計演習(5)
【内容・方法 等】 基本ミニシステム設計5
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第12回 【授業テーマ】 要求定義
ミニシステム設計演習(6)
【内容・方法 等】 基本ミニシステム設計6
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第13回 【授業テーマ】 要求定義
ミニシステム設計演習(7)
【内容・方法 等】 基本ミニシステム設計7
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第14回 【授業テーマ】 要求定義
ミニシステム設計演習(8)
【内容・方法 等】 基本ミニシステム設計8
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第15回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習(1)
【内容・方法 等】 例題についてのコード設計演習1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第16回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習(2)
【内容・方法 等】 例題についてのコード設計演習2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第17回 【授業テーマ】 コード設計・入出力設計演習(3)
【内容・方法 等】 例題についてのコード設計演習3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第18回 【授業テーマ】 前半まとめと確認
【内容・方法 等】 テスト
【事前・事後学習課題】 前半総復習と習得度の確認
- 第19回 【授業テーマ】 システム設計演習(1)
【内容・方法 等】 システム開発と仕様設計演習1
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第20回 【授業テーマ】 システム設計演習(2)
【内容・方法 等】 システム開発と仕様設計演習2
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第21回 【授業テーマ】 システム設計演習(3)
【内容・方法 等】 システム開発と仕様設計演習3
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第22回 【授業テーマ】 システム設計応用ゲーム作成(1)
【内容・方法 等】 システム開発と仕様設計演習4
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第23回 【授業テーマ】 システム設計応用ゲーム作成(2)
【内容・方法 等】 システム開発と仕様設計演習5
【事前・事後学習課題】 配布資料の確認と課題提出
- 第24回 【授業テーマ】 作品制作(1)
【内容・方法 等】 システム設計の実践練習1
【事前・事後学習課題】 設計の方法と全体イメージの確認
- 第25回 【授業テーマ】 作品制作(2)
【内容・方法 等】 システム設計の実践練習2
【事前・事後学習課題】 コード化確認と実行、コード化の具現

- 化
第26回 【授業テーマ】 作品制作(3)
【内容・方法 等】 システム設計の実践練習3
【事前・事後学習課題】 ファイル操作方法確認と実行
- 第27回 【授業テーマ】 作品制作(4)
【内容・方法 等】 システム設計の実践練習4
【事前・事後学習課題】 コードバリエーションの考察
- 第28回 【授業テーマ】 作品制作(5)
【内容・方法 等】 システム設計の実践練習5
【事前・事後学習課題】 評価・検証・問題点の洗い出し
- 第29回 【授業テーマ】 まとめとプレゼンテーション
【内容・方法 等】 設計・開発したシステムの評価
【事前・事後学習課題】 評価・検証、問題点の洗い出し
- 第30回 【授業テーマ】 まとめとプレゼンテーション
評価方法(基準)
授業参加状況、課題、レポート、システム設計作品、必要に応じて実技を含む試験を行い、総合して評価する。

教材等
教科書…「Excel VBAのプログラミングのツボとコツがゼッタイにわかる本—最初からそう教えてくれればいいのに」
立山 秀利(著) 秀和システム 2,310円+税
参考書…必要に応じて参考資料を配付する。

学生へのメッセージ
使いこなすには多くの練習時間が必要です。情報処理演習室の空き時間を使って復習することをお勧めします。

関連科目
プログラミング基礎、基本情報処理Ⅰ、Ⅱ、経営情報システム論

担当者の研究室等
7号館2階(非常勤講師室)

人的資源管理論 Human Resources Management				
小 西 勝 (コニシ マサル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標
日本の人事管理の仕組みと課題を、わかりやすく解説します。人事管理の理論とともに日本企業の実例を紹介し、人事・労務管理関連の法律も交えながら理解を深めます。特に、従来から日本的人事管理の特徴ともいわれてきた、年功序列や終身雇用の変容や崩壊、そして今後の人事管理についての方向性についても解説します。

授業方法と留意点
講義を主としますが、必要に応じビデオやOHPを活用し、実社会の理解に努めます。経営学の基礎を理解しているのが望まれます。

科目学習の効果(資格)
中小企業診断士と社会保険労務士の受験に有効です。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 人事・労務管理の概要
【内容・方法 等】 人事・労務管理の果たす役割、経営環境の変化との関係を説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 人事管理の発生と変遷
【内容・方法 等】 科学的管理法、人間関係論などの人事・労務管理の歴史を説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第3回 【授業テーマ】 日本の人事管理の特徴
【内容・方法 等】 終身雇用、年功序列、企業内組合などの1970年代以降の特徴と課題を述べて、日本の経営と人事管理の特徴を説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 人事企画・要員計画
【内容・方法 等】 人事情報のシステム化、人事・労務管理の計画、特に人員計画のつくり方に重点をおいて説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第5回 【授業テーマ】 職能資格制度 その1
【内容・方法 等】 日本企業の人事管理の柱である職能資格制度を説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第6回 【授業テーマ】 職能資格制度 その2
【内容・方法 等】 日本企業の人事管理の柱である職能資格制度を説明します。

- 第7回** 【事前・事後学習課題】 レポート課題を出します。
【授業テーマ】 昇進・昇格管理
【内容・方法 等】 昇進・昇格管理の解説とその方法について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第8回** 【授業テーマ】 人事考課
【内容・方法 等】 能力主義管理のひとつのツールである人事考課制度を説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第9回** 【授業テーマ】 賃金の支払と決め方
【内容・方法 等】 賃金の基本的な考え方を説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第10回** 【授業テーマ】 賃金体系の意味
【内容・方法 等】 職能給と年齢給からなる日本の賃金体系を説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第11回** 【授業テーマ】 能力開発と教育訓練
【内容・方法 等】 企業における能力開発とOJT等の教育訓練について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第12回** 【授業テーマ】 福利厚生
【内容・方法 等】 企業における福利厚生制度について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第13回** 【授業テーマ】 労働法について その1
【内容・方法 等】 労働基準法に関する法律について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第14回** 【授業テーマ】 労働法について その2
【内容・方法 等】 労働基準法以外の労働に関する法律（労災法及び雇用保険法）について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第15回** 【授業テーマ】 労働法について その3
【内容・方法 等】 労働基準法以外の労働に関する法律（健康保険法及び厚生年金保険法）について説明します。
【事前・事後学習課題】 レポート課題を出します。
- 第16回** 【授業テーマ】 メンタルヘルス その1
【内容・方法 等】 企業におけるメンタルヘルスケアの概要について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第17回** 【授業テーマ】 メンタルヘルス その2
【内容・方法 等】 企業におけるメンタルヘルスケアの問題点について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第18回** 【授業テーマ】 モラールとモチベーション
【内容・方法 等】 仕事への意欲（モラール）と動機づけ（モチベーション）を説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第19回** 【授業テーマ】 マズローの欲求の5段階理論
【内容・方法 等】 マズローの欲求の5段階理論について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第20回** 【授業テーマ】 マグレガーのX理論、Y理論
【内容・方法 等】 マグレガーの動機付け理論について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第21回** 【授業テーマ】 ハーズバーグのM-H理論
【内容・方法 等】 ハーズバーグの動機づけ-衛星理論とM-R-H理論について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第22回** 【授業テーマ】 モラールサーベイ、労務関係調査
【内容・方法 等】 職場のモラールと労務管理施策を調査し問題点を把握する方法を説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第23回** 【授業テーマ】 個人属性の診断
【内容・方法 等】 職場ごとの個人の属性を調査し特長を把握する診断方法を説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。

- 第24回** 【授業テーマ】 組織風土の診断
【内容・方法 等】 組織的な雰囲気や調査し特長を把握する診断方法を説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第25回** 【授業テーマ】 リーダーシップの診断
【内容・方法 等】 管理者のリーダーシップを調査し特長を診断する方法を説明します。
【事前・事後学習課題】 レポート課題を出します。
- 第26回** 【授業テーマ】 総合演習Ⅰ
【内容・方法 等】 組織診断、意識調査のレポート作成の説明をします。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第27回** 【授業テーマ】 年功型から成果・能力給型賃金への改革事例Ⅰ
【内容・方法 等】 実際の企業における年功型から成果・能力給型賃金への改革事例について説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第28回** 【授業テーマ】 年功型から成果・能力給型賃金への改革事例Ⅱ
【内容・方法 等】 賃金制度の設計方法等実務の説明をします。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第29回** 【授業テーマ】 年功型から成果・能力給型賃金への改革事例Ⅲ
【内容・方法 等】 新賃金制度はどのように移行されていくのかを説明します。
【事前・事後学習課題】 新聞の経済欄に目を通しておいて下さい。
- 第30回** 【授業テーマ】 総合演習Ⅱ
評価方法（基準） レポート20%、期末テスト60%、総合20%で評価します。
教材等 教科書…羽石寛寿『人と組織のマネジメント』清風出版、2012（2000円）
 参考書…『経営組織診断の理念と技法』羽石寛寿・地代憲弘著、同友館、1998（3000円）
 『新しい人事労務管理』佐藤博樹・藤村博之・八代充史著、有斐閣、2001（1800円）

学生へのメッセージ
 人事労務管理は、経営管理を理解する上で重要な分野です。人事労務管理は、人事管理部門に必要であるのみでなく、将来管理・監督者になる皆さんに必要な管理知識です。新聞の経済欄の見出しを見て、常に実社会に関心を持つようにして下さい。

関連科目
 経営学、経営管理論、組織論
担当者の研究室等
 7号館2階 非常勤講師室

能力開発論 Human Capacity Development I				
福田市朗（フクダ イチロウ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 人間の3大精神機能である〈知・情・意〉のそれぞれの特徴を理解し、併せて経営における心理学的な課題と心理学の役割について理解する。特に、組織と人間・労働と健康・消費者の心理と行動の3領域における心理学的な知識を習得する。

授業方法と留意点
 授業は授業内容をまとめたプリントおよびスライドを用いて行う。配布した資料はなくさないように。また、授業内容に即した参考図書を適宜紹介する。

科目学習の効果（資格）
 経営における人的な要素を理解することができるので、職場への適応力が増すと考えられる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 講義ガイダンス：講義全体の構成を解説する。
【内容・方法 等】 講義全体の構成を配布資料に基づいて解説する。また、受講上の諸注意を伝える。
【事前・事後学習課題】 経営における心理学的な要素について考えておく。
- 第2回** 【授業テーマ】 人間の精神機能（1）：3大精神機能の関連性を解説する。
【内容・方法 等】 3大精神機能である〈知・情・意〉のそれぞれの特徴を示し、相互の関連性について解説する。また、それぞれの精神特性と大脳機能との結び付きについて解説

- する。
- 【事前・事後学習課題】** 知性と感情の違いを考えてみよう。また、両者の関係を考えてみよう。
- 第3回 【授業テーマ】** 人間の精神機能（2）：知の領域について解説する
- 【内容・方法 等】** 人間の基本能力である知能を定義し、知能研究の歴史と知能の測定法について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 知能検査の目的と意義について考えてみよう。また、知能テストの問題点を考えてみよう。
- 第4回 【授業テーマ】** 人間の精神機能（3）：人間の思考能力について解説する。
- 【内容・方法 等】** 人間における思考の発達と思考の様式について解説する。主として、ピアジェの知能の発達論を中心に論ずる。
- 【事前・事後学習課題】** なぜ、学問が大事かについて考えてみよう。
- 第5回 【授業テーマ】** 人間の精神機能（4）：情動および感情の機能について解説する。
- 【内容・方法 等】** 情動と感情の成立に関するジェイムズ・ランゲ説、キャノン・バード説、シャクター・シンガー説を紹介し、併せて最新の情動理論について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 日常生活における感情の役割について考えてみよう。
- 第6回 【授業テーマ】** 人間の精神機能（5）：ストレスと感情障害の関係を解説する。
- 【内容・方法 等】** 職場における適応異常あるいは適応不全について説明し、ストレスと病気の関係について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 職場への不適応は“うつ”症状として現れる。うつ病とは何かについて調べてみよう。
- 第7回 【授業テーマ】** 人間の精神機能（6）：意欲と意思について解説する。
- 【内容・方法 等】** 労働意欲と人間の要求水準について解説する。併せて、学習や労働における報酬と罰の効果について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 人間の能力的な違いは何によって生ずるのか、考えてみよう。
- 第8回 【授業テーマ】** 組織管理と心理学（1）：組織管理における人間的要素について解説する。
- 【内容・方法 等】** 企業組織の捉え方（組織論）の変遷について解説する。特に、産業心理学が生まれた背景について説明する。
- 【事前・事後学習課題】** 組織についての考え方が時代とともに変化してきたことを理解するように。
- 第9回 【授業テーマ】** 組織管理と心理学（2）：リーダーシップの機能を解説する。
- 【内容・方法 等】** リーダーとリーダーシップに関する心理学的な研究について概説する。
- 【事前・事後学習課題】** リーダーに必要な事柄は何かを考えてみよう。
- 第10回 【授業テーマ】** 組織管理と心理学（3）：モチベーションとモラルについて解説する。
- 【内容・方法 等】** 労働意欲に関わるモチベーション理論を解説する。併せて、人事管理における心理学的課題を解説する。
- 【事前・事後学習課題】** なぜ人は働くのか、その理由・動機について考えてみよう。
- 第11回 【授業テーマ】** 組織管理と心理学（4）：労働者の健康管理について解説する。
- 【内容・方法 等】** 企業における労働者の健康管理について解説する。併せて、今日の“メンタルヘルスケア”に対する企業の取り組みについて解説する。
- 【事前・事後学習課題】** “労災”とは何か、について調べてみよう。
- 第12回 【授業テーマ】** マーケティングと心理学（1）：マーケティングにおける心理学の役割を解説する。
- 【内容・方法 等】** 消費行動に関する様々な考え方を取り上げ、商品開発から広告に至る販売戦略について心理学の視点から解説する。
- 【事前・事後学習課題】** ある商品が生産されてから消費者の手に渡るまでの全体のプロセスについて考えてみよう。
- 第13回 【授業テーマ】** マーケティングと心理学（2）：消費者心理と消費行動を研究する。
- 【内容・方法 等】** 市場の変化に応じて消費者の購買心理や購買行動がどのように変化してきたかについて解説する。
- 【事前・事後学習課題】** スーパー・コンビニ・デパートにおける人々の購買行動の違いを考えてみよう。
- 第14回 【授業テーマ】** マーケティングと心理学（3）：消費者心理の分析手法を解説する
- 【内容・方法 等】** マーケティング・リサーチの様々な方法について解説する。併せて、心理学的な実験法や調査法について解説する。
- 【事前・事後学習課題】** 学生の購買行動・消費者心理を明らかにするための調査用紙を作成してみよう。
- 第15回 【授業テーマ】** 講義のまとめ：これまでの講義を振り返る。
- 【内容・方法 等】** 心理学が経営学においてどのような役割を

- 果たしているか。心理学的な知識がどのように役立っているかについて、整理する。
- 【事前・事後学習課題】** 講義内容を振り返り、最も関心があったところを自分なりにまとめてみよう。
- 評価方法（基準）**
期末定期試験の成績（80%）。小レポートの成績（20%）。小レポートは授業終了時に実施する。2つの成績をもとに総合的に評価する。
- 教材等**
教科書…指定せず。
参考書…授業の中で適宜紹介する。
- 学生へのメッセージ**
私語厳禁。遅刻厳禁。授業中の入退室厳禁。スマホ・携帯の使用厳禁。
これらに違反した学生には退室を命ずることがある。
- 関連科目**
経営管理論、人的資源管理論、人間社会と経営など
- 担当者の研究室等**
11号館7階
- 備考**
質問などは積極的。

能力開発論II Human Capacity Development II				
福 田 市 朗 (フクダ イチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
目的：有意義な職業生活をおくるための人間に特有な社会的能力を理解し、ビジネスに不可欠な言語処理能力と意思決定に必要な思考力ならびにコミュニケーション能力の向上を目指す。
概要：人間社会への適応力とされる社会的能力には、様々な社会的事象を理解する能力、優れた意思決定を導く思考力、さらに、複雑な課題を解決する論理力や利害の調整をはかるコミュニケーション能力などが含まれる。この講義ではこれらの能力に関する知識を学び、これらの能力の向上をはかる。
- 授業方法と留意点**
授業は配布した講義資料とスライドにもとづいて行われる。また、講義内容をよりよく理解するために具体的な課題解決を実践する。
- 科目学習の効果（資格）**
様々な社会事象を理解する思考法を習得することで、自ら考えて行動できる意思力の向上がはかれる。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】** 講義ガイダンス：講義概要と講義の進め方
【内容・方法 等】 15回にわたる本講義の全体像を解説する。
【事前・事後学習課題】 ビジネスで求められている社会人基礎力について下調べをしておく。
- 第2回 【授業テーマ】** 人間の社会：社会における人間
【内容・方法 等】 人間の精神性と人間社会の仕組みについて解説する。併せて、人間社会の問題点を考える。
【事前・事後学習課題】 人間と他の動物の違いは何かについて考えてみよう。
- 第3回 【授業テーマ】** 職業能力（1）：職業適性と職業発達
【内容・方法 等】 職業能力に関する一般的定義を示し、職業適性論と職業発達論の相違点を解説する。
【事前・事後学習課題】 職業選択における“ミスマッチ”について考えておこう。
- 第4回 【授業テーマ】** 職業能力（2）：一般的能力として教養
【内容・方法 等】 社会人基礎力としての思考力の重要性を解説し、学ぶこと・知識を豊かにすることの意義について考える。
【事前・事後学習課題】 何故学問が必要か。福沢諭吉の『学問のすすめ』を読もう。
- 第5回 【授業テーマ】** 知的能力（1）：知性の定義
【内容・方法 等】 人間の認識活動を概観し、生物学的知能に対する社会・心理的な人間の知性の相違点、および人間の知性の意義について解説する。
【事前・事後学習課題】 なぜ、人間は生物界の頂点に立てたのか考えてみよう。
- 第6回 【授業テーマ】** 知的能力（2）：言語の機能
【内容・方法 等】 知的な作業<理解と推理>を支えている言語の役割と機能について学ぶ。併せて、言語の活用方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 言語を用いないでどこまで考えられるか、また、意思の疎通ができるかについて考えてみよう。
- 第7回 【授業テーマ】** 知的能力（3）：思考の様式
【内容・方法 等】 思考に関する定義と思考の3つの様式について解説する。

- 第8回** 【事前・事後学習課題】 私たちの思考作業を分類し、思考作業にどのような違いがあるかを理解しよう。
【授業テーマ】 知的能力（4）：問題解決の技法
【内容・方法 等】 複雑な課題解決の方法を学び、併せて、仮説設定と仮説検証および科学的な思考法について解説する。
【事前・事後学習課題】 問いの立て方と問いに対する答え方は異なる作業である。どのように異なるか考えてみよう。
- 第9回** 【授業テーマ】 知的能力（5）：認知的錯誤と論理的誤謬
【内容・方法 等】 人間の認知能力の限界を指摘し、ヒューリスティックな思考法の意義について解説する。
【事前・事後学習課題】 直感やひらめきとよばれる思考の特徴を考えなさい。
- 第10回** 【授業テーマ】 意思決定と心理（1）：意思決定の合理性
【内容・方法 等】 合理的な意思決定法について解説する。併せて、合理性とは何かについて考える。
【事前・事後学習課題】 自らが下した決定が合理的であると判定される根拠について考えてみよう。
- 第11回** 【授業テーマ】 意思決定と心理（2）：意思決定の課題<価値について
【内容・方法 等】 価値の定義および価値の分類法を示し、多様な選択肢のもつ価値の合理的な判断法について解説する。
【事前・事後学習課題】 日ごろの選択行動を振り返り、意思決定における価値判断について考えよう。
- 第12回** 【授業テーマ】 意思決定と心理（3）：意思決定の課題<方法について
【内容・方法 等】 価値の実現をはかる方法の選択に関する問題を解説する。特に、あいまいで不確かな事象に関わる確率判断について解説する。
【事前・事後学習課題】 人々はいまいちな事象や不確実な事象にどのように対処してきたかについて考えてみよう。
- 第13回** 【授業テーマ】 社会的思考（1）：集団と個の葛藤
【内容・方法 等】 “共有地の悲劇”を取り上げて、個人の利と集団の利の関係について解説する。併せて、社会的な合意の成立要件と社会的ルールの持つ意義について考える。
【事前・事後学習課題】 人々は社会的な事柄や社会的な行為の公正性や公平性についてどのように考えているのか、調べてみよう。
- 第14回** 【授業テーマ】 社会的思考（2）：利害関係の調整
【内容・方法 等】 意思疎通は互いの利害関係を調整する大きな役割を持つ。ここでは、ゲーム理論の考え方を紹介し、2者間の利害対立を合理主義的な観点から考える。
【事前・事後学習課題】 とともに納得ができる合意とはどんな特徴を持つか考えてみよう。
- 第15回** 【授業テーマ】 講義のまとめ：15回の講義を振り返る
【内容・方法 等】 職業生活及び社会生活を営む上で必要な能力とは何かについて、まとめてみる。
【事前・事後学習課題】 ビジネスにおける判断や決定において最も重要なことは何かについて考えてみよう。

評価方法（基準）
 期末定期試験の成績（80%）。授業後の小レポート課題の成績（20%）。これらの成績をもとに総合的に評価する。

教材等
教科書…指定せず。
参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ
 私語厳禁。遅刻厳禁。授業中の入退室禁止。飲食等の禁止。スマホ・携帯の使用禁止。これらに違反した学生には退室を命ずることがある。

関連科目
 経営学、経営組織論、ビジネスゲーミングなど

担当者の研究室等
 福田研究室は11号館7階

備考
 質問等は積極的に行うように。

コミュニケーション論 Social Communication I				
牧野幸志 (マキノ コウシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 現代社会において人間関係は最も重要な相互影響過程である。本授業では、人間関係を多角的にとらえ、その構造、内容、効果などについて解説していく。人間関係論Ⅰでは、人間関係の基礎となる人と人との対人コミュニケーションを理解する。対人コミュニケーションの内容、役割から人間関係を理解することを目的とする。また、日常生活において、よりよい人間関係を構築できるようになることを到達目標とする。

授業方法と留意点

毎回パワーポイントによるプレゼンテーション形式で講義を行う。各自、ノートを取ること。第1回授業で授業ルールなどについて説明するので必ず参加すること。

科目学習の効果（資格）
 人間関係に関する理解が深まる。人間関係におけるコミュニケーション・スキルが身につく。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業内容、授業方法について説明します。
人間関係論とは？
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第2回** 【授業テーマ】 人間関係とコミュニケーション
【内容・方法 等】 人間関係におけるコミュニケーションの基本要素
【事前・事後学習課題】 復習課題1
- 第3回** 【授業テーマ】 人間関係と対人コミュニケーション
【内容・方法 等】 人と人とのコミュニケーション
【事前・事後学習課題】 復習課題2
- 第4回** 【授業テーマ】 人間関係と言葉
【内容・方法 等】 言葉で伝わること、言葉で伝わりにくいこと
【事前・事後学習課題】 復習課題3
- 第5回** 【授業テーマ】 人間関係と自己開示(1)
【内容・方法 等】 良好な人間関係を構築するには？
【事前・事後学習課題】 復習課題4
- 第6回** 【授業テーマ】 人間関係と自己開示(2)
【内容・方法 等】 より深い人間関係となるには？
【事前・事後学習課題】 復習課題5
- 第7回** 【授業テーマ】 人間関係と防衛的自己呈示
【内容・方法 等】 他者から悪い印象をもたれないようにするために
【事前・事後学習課題】 復習課題6
- 第8回** 【授業テーマ】 人間関係と主張的自己呈示
【内容・方法 等】 会社内での上司とのコミュニケーション
【事前・事後学習課題】 復習課題7
- 第9回** 【授業テーマ】 人間関係と説得
【内容・方法 等】 相手の心を動かす技術
【事前・事後学習課題】 復習課題8
- 第10回** 【授業テーマ】 人間関係と命令・強制
【内容・方法 等】 権威への服従とリアクタンス
【事前・事後学習課題】 復習課題9
- 第11回** 【授業テーマ】 人間関係と嘘
【内容・方法 等】 嘘が人間関係に与える影響とは？
【事前・事後学習課題】 復習課題10
- 第12回** 【授業テーマ】 人間関係と交渉術
【内容・方法 等】 取引に使える交渉テクニック
【事前・事後学習課題】 復習課題11
- 第13回** 【授業テーマ】 人間関係とコミュニケーション・スキル
【内容・方法 等】 コミュニケーション・スキルを上げるには
【事前・事後学習課題】 復習課題12
- 第14回** 【授業テーマ】 人間関係と噂
【内容・方法 等】 噂が人間関係や社会に及ぼす影響とは？
【事前・事後学習課題】 復習課題13
- 第15回** 【授業テーマ】 小テスト
【内容・方法 等】 これまでの理論や実践について試験を行う。
【事前・事後学習課題】 復習をしておくこと

評価方法（基準）
 授業中に出すレポート課題(上限20点)、小テスト(80点満点)の合計得点により判定する。

教材等
教科書…教科書・「インターパーソナル コミュニケーション」 深田 博巳著 北大路書房 (2500円)
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 人が生きていくうえで避けて通れないものが、人間関係です。人間関係はめんどくさいこともありますが、楽しいこともあります。よりよい人間関係を構築、継続するコミュニケーション・スキルを身につけましょう。人間関係論Ⅰでは、人間関係についての概論を解説していきます。

関連科目
 人間関係論Ⅱと関連する。人間関係論Ⅱを受ける前に本授業を受けてほしい。

担当者の研究室等
 11号館7階(牧野(幸)准教授室)

備考
 他人の迷惑と成る行為(遅刻、私語、居眠り、内職、スマホ、携帯電話の使用など)はすべて禁止とします。

コミュニケーション論II
Social Communication II

牧野幸志(マキノ コウジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代社会において人間関係は最も重要な相互影響過程である。本授業では、人間関係を多角的にとらえ、その構造、内容、効果などについて解説していく。人間関係論IIでは、社会の中の人間関係、特に会社社会の中の人間関係を心理学的な側面から包括的に解説していく。社会や集団と人との関係に関する心理学の理論や心理学的効果を理解することを目的とする。

授業方法と留意点

毎回パワーポイントによるプレゼンテーション形式で講義を行う。各自、ノートを取ること。第1回授業で授業ルールなどについて説明をするので必ず参加すること。

科目学習の効果(資格)

社会・集団(会社)内の人間関係に関するコミュニケーション・スキルが身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 授業内容、授業方法について説明します。社会と心理との関係
会社と人間関係
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習
- 第2回 【授業テーマ】 社会(集団)と心理学
【内容・方法等】 社会心理学の歴史と課題
【事前・事後学習課題】 復習課題1
- 第3回 【授業テーマ】 会社における社会的認知と集団心理
【内容・方法等】 原因帰属
【事前・事後学習課題】 復習課題2
- 第4回 【授業テーマ】 会社における自己の社会化と動機づけ
【内容・方法等】 自己知覚理論
【事前・事後学習課題】 復習課題3
- 第5回 【授業テーマ】 集団の中の態度と態度変容
【内容・方法等】 会社内における態度表明と説得
【事前・事後学習課題】 復習課題4
- 第6回 【授業テーマ】 会社内の対人行動
【内容・方法等】 ハラスメントと援助行動
【事前・事後学習課題】 復習課題5
- 第7回 【授業テーマ】 会社の中の対人関係
【内容・方法等】 印象形成、関係維持、関係崩壊
【事前・事後学習課題】 復習課題6
- 第8回 【授業テーマ】 会社内の対人関係と健康
【内容・方法等】 会社内のストレスとコーピング
【事前・事後学習課題】 復習課題7
- 第9回 【授業テーマ】 会社内の仲間関係と幸福感
【内容・方法等】 会社の中でのソーシャル・サポート
【事前・事後学習課題】 復習課題8
- 第10回 【授業テーマ】 会社内の影響過程とその効果
【内容・方法等】 同調と服従
【事前・事後学習課題】 復習課題9
- 第11回 【授業テーマ】 集団による影響と集団作業効率
【内容・方法等】 社会的促進と社会的手抜き
【事前・事後学習課題】 復習課題10
- 第12回 【授業テーマ】 会社内における集団の意思決定
【内容・方法等】 集団における意思決定過程
【事前・事後学習課題】 復習課題11
- 第13回 【授業テーマ】 会社という集団と集合・群衆
【内容・方法等】 群衆行動の生起メカニズム
【事前・事後学習課題】 復習課題12
- 第14回 【授業テーマ】 流言、流行と人間関係
【内容・方法等】 流言、流行の心理と経営戦略
【事前・事後学習課題】 復習課題13
- 第15回 【授業テーマ】 小テスト
【内容・方法等】 これまで学習してきたことに関して試験を行う。
【事前・事後学習課題】 復習しておく。

評価方法(基準)

授業中に出すレポート課題(上限20点)、小テスト(80点満点)の合計得点により判定する。

教材等

教科書…教科書・「ミニマムエッセンス社会心理学」和田実編著 北大路書房(1900円)
参考書…講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

人は社会の中で生きています。人は集団に流されたり、社会に踊らされたりします。そのようなときにどのような心理が働いているのかを解説していきます。特に、会社という集団の中での人間関係について解説していきます。

関連科目

「人間関係論I」と関連する。「人間関係論I」を受講した後に本授業を受けて欲しい。

担当者の研究室等

11号館7階 牧野(幸)准教授室

備考

他人に迷惑となる行為(遅刻、私語、居眠り、内職、スマホ、携帯電話の使用など)を禁止します。

相談心理学

Counselling Psychology

福田市朗(フクダ イチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

働く人々が自らの社会生活を充実させ、仕事に対する生きがいを感じるためには、何よりも心と身体の健康が大事である。本講義は、働く人々の健康問題、特にメンタルヘルスに関する問題を明らかにし、行政・企業の対応法や労働者の心身の健康管理に必要な知識の習得を目指す。

授業方法と留意点

本講義は、働く人々のかかりやすい病気を取り上げ、その背景に潜むストレス要因を多面的に解説する。また、健康維持のための心理学的、医学的、薬学的な知識の習得と企業における取り組みについて解説する。講義は各分野の専門家によって行われるリレー式の講義。なお、外部講師の事情により授業順序に変更があります。

科目学習の効果(資格)

人事労務・経営管理に関する人間的な側面の理解、さらに企業における人間関係を理解することによって、企業で働く意義をよりよく理解できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 講義ガイダンス：講義概要を解説する
[担当者 福田市朗]
【内容・方法等】 講義の全体像と講義の目的・学習目標・学習方法・学習成果の評価法などに関する解説を行う。
【事前・事後学習課題】 健康に働くための心得について考えてみよう。
- 第2回 【授業テーマ】 企業と人間(1)：働く人々の心理を理解する
[担当者 福田市朗]
【内容・方法等】 産業心理学の誕生の経緯と企業組織論の変遷を概観し、人間的な側面から見た組織行動に関する問題点について解説する。
【事前・事後学習課題】 企業の仕組みと企業における組織行動を想像してみよう。
- 第3回 【授業テーマ】 企業と人間(2)：仕事における疲労とストレスについて学ぶ
[担当者 田中健吾(大阪経済大学)]
【内容・方法等】 労働形態の変化や経営環境の変化がもたらす産業ストレスの実態を示し、その背景にある諸問題を解説する。
【事前・事後学習課題】 産業能率と疲労やストレスとの関係について考えてみよう。
- 第4回 【授業テーマ】 人間と病気(1)：病気とは何か。精神活動の異常と正常について学ぶ
[担当者 福田市朗]
【内容・方法等】 精神的な健康について解説し、心の病気とは何かについて学ぶ。精神疾患に関する基本的な知識を学び、併せて、様々な症状として表れる病気の意味について考える。
【事前・事後学習課題】 病気と健康の関係を考えてみよう。
- 第5回 【授業テーマ】 人間と病気(2)：病気の診断と治療の基本について理解する
[担当者 早川貫治(寝屋川医師会会長)]
【内容・方法等】 病気と健康の関係および心と身体の間を医師の立場から解説する。併せて診断と治療の関係について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 医師と患者における人間的な関係について考えよう。
- 第6回 【授業テーマ】 人間と病気(3)：高次精神機能を理解する
[担当者 福田市朗]
【内容・方法等】 精神的障害を概観し、高次脳機能障害の特徴について解説する。脳機能の特殊性と統合性について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 様々な精神症状で悩む労働者の実態について調べてみよう。(厚生労働省のホームページで公開されている資料を調べてみよう。)
- 第7回 【授業テーマ】 人間と病気(4)：ストレスとうつ、生活習慣病などについて学ぶ
[担当者 早川貫治]

【内容・方法等】うつ病や不安障害、生活習慣病など働く人々が罹りやすい病気を概観し、その診断と治療法について解説する。

【事前・事後学習課題】病気予防に関する心得を自分なりにまとめてみよう。

第8回 【授業テーマ】産業カウンセリング（1）：産業カウンセリングの目的と課題を理解する
 [担当者 佐野正剛 大阪メンタルサポートオフィス]

【内容・方法等】産業医と産業カウンセラーの役割と課題を解説する。併せて、上司の役割と人事管理における人間関係の重要性について解説する。

【事前・事後学習課題】組織における人間関係を円滑にするために、どのような工夫が必要かについて考えてみよう。

第9回 【授業テーマ】産業カウンセリング（2）：心理カウンセリングの理念と技法について学ぶ
 [担当者 佐野正剛]

【内容・方法等】心理療法に関する様々な理念と技法を紹介する。特に、職場で行われているカウンセリングの実践とその効果について解説する。

【事前・事後学習課題】様々なカウンセリング技法の特徴について考えてみよう。

第10回 【授業テーマ】産業カウンセリング（3）：産業カウンセリングを実践する
 [担当者 高原龍二 大阪経済大学]

【内容・方法等】職業性ストレスの自己診断法を解説する。併せて、認知行動療法などの具体的な心理療法を紹介する。

【事前・事後学習課題】ストレスに関する自己診断を行い、その結果について考えてみよう。

第11回 【授業テーマ】薬と病気（1）：精神薬理学の原理を理解する
 [担当者 荻田喜代一（薬学部）]

【内容・方法等】精神薬理学の基本的な考え方を解説し、病気治療における薬物の有効性を学ぶ。併せて、精神活動に関係する薬物の基礎知識について学ぶ。

【事前・事後学習課題】プラシーボ効果とは何か、調べてみよう。

第12回 【授業テーマ】薬と病気（2）：精神活動と薬物の関係を理解する
 [担当者 荻田喜代一（薬学部）]

【内容・方法等】様々な精神の働きに影響を及ぼす薬物の作用特性を解説し、薬と心の関係を解説する。併せて、神経伝達物質の働きについて解説する。

【事前・事後学習課題】薬物依存症について考えてみよう。

第13回 【授業テーマ】企業の人事管理（1）：職場のメンタルヘルスマネジメントを知る
 [担当者 根岸紘一（根岸経営支援事務所）]

【内容・方法等】労働者の健康に関わる労務管理の理念と方法を解説し、行政と企業の組織的な取り組みを紹介する。

【事前・事後学習課題】退職者や休職者が多くなってきた原因について考えてみよう。

第14回 【授業テーマ】企業の人事管理（2）：労働意欲を向上させる要素を考える
 [担当者 根岸紘一]

【内容・方法等】心身疲労に関する自己管理と組織的な管理法を紹介し、労働意欲を高める取り組みや従業員の健康管理について紹介する。

【事前・事後学習課題】働きがいを感じるために必要な要因を考えてみよう。

第15回 【授業テーマ】まとめ：組織における“メンタルヘルスマネジメント”を振り返る
 [担当者 根岸紘一]

【内容・方法等】組織行動における人間的な要素を解説し、企業組織の管理と運営について解説する。

【事前・事後学習課題】健康に働くために必要な事柄をまとめてみよう。

評価方法（基準）
 講義担当者ごとに小レポート課題を提出し、その合計点（60%）と期末試験の成績（40%）をもとに総合的に成績の評価を行う。

教材等
 教科書…指定せず
 参考書…講義の中で随時紹介する

学生へのメッセージ
 医師を始め、多彩な分野の専門家によって行われるリレー式の講義である。受講生は礼儀を重んじ、遅刻しないことまた私語を慎むこと。私語が多い学生、無断入退室の学生には退室を命ずる。

関連科目
 人的資源管理論、職業能力開発論ⅠとⅡ、組織診断および人材適性分析論など

担当者の研究室等
 講義に関する時間外の質問や相談、意見などは福田研究室（11号館7階）まで。気楽に尋ねてください。

備考
 講義内容に関する質問や意見は授業後に各担当者に尋ねること。なお、外部講師の事情により授業順序に変更があります。

組織診断
 Organizational Analysis

福田市朗（フクダ イチロウ）
 掛谷建郎（カケヤ ケンロウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 複雑化する産業社会を概観し、今日の企業の組織的な特性を多面的に解説する。併せて、企業の経営活動を診断する理念と方法について、企業の現実を例示しながら説明する。なお、本講義は企業経営に携わっておられる実務家との産学連携の授業である。受講生は企業経営の診断・評価に必要な知識と方法を習得すると共に、自らの就職活動に役立ててほしい。

授業方法と留意点
 講義内容によって授業担当者が代わることに留意し、その長所を活用するように。また、企業活動は社会の変化や政治・経済の動向にも左右され易い。受講生は授業の事前・事後の学習課題として新聞をよく読み、社会の動向に関心を持つこと。

科目学習の効果（資格）
 経営学検定、および就職活動に有益な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 授業ガイダンス
 【内容・方法等】 講義担当者を紹介し、授業の進め方と組織診断の現代的課題と意義について解説する。（掛谷・前川・河内・根岸・福田）

【事前・事後学習課題】 新聞をよく読み、社会の動向や経済活動について関心を深めよう。

第2回 【授業テーマ】 企業の経営理念（1）：経営理念と経営者
 【内容・方法等】 多様な企業組織を紹介し、会社経営における理念・目的を解説するとともに、経営者の役割について説明する。（掛谷建郎：掛谷工務店 代表取締役）

【事前・事後学習課題】 『経営者の条件』小倉昌男著 『夢を力に』本田宗一郎著

第3回 【授業テーマ】 企業の経営理念（2）：トップマネジメントとリーダーシップ
 【内容・方法等】 様々な経営者を取り上げ、トップリーダーの取るべき役割と組織目標について解説する。（掛谷）

【事前・事後学習課題】 『経営はロマンだ』小倉昌男著

第4回 【授業テーマ】 企業の組織管理（1）：組織設計と組織戦略
 【内容・方法等】 組織設計と組織戦略の理論と現実について解説する。（前川武彦：前川技術士事務所 代表）

【事前・事後学習課題】 新聞をよく読み、産業の変化について関心を深めること。また、問題解決に必要な科学的思考法を理解しよう。

第5回 【授業テーマ】 企業の組織管理（2）：組織の機能と効率
 【内容・方法等】 組織の機能性とその効率について概説するとともに、組織における指揮と命令系統について講述する。（前川）

【事前・事後学習課題】 新聞をよく読み、産業社会の変化について考えてみよう。

第6回 【授業テーマ】 企業の組織管理（3）：権限委譲と行動規範
 【内容・方法等】 組織における権限委譲と組織行動について解説し、加えて組織管理の問題点について講述する。（前川）

【事前・事後学習課題】 組織管理の効率化を考えてみよう。

第7回 【授業テーマ】 企業の組織運営（1）：組織の原理と原則
 【内容・方法等】 組織の原理・原則を解説し、組織の運営法について講述する。（河内弘茂：河内経営技術コンサルティング代表）

【事前・事後学習課題】 企業イメージを豊かにしよう。

第8回 【授業テーマ】 企業の組織運営（2）：マネジメント理論とリーダーシップ理論
 【内容・方法等】 組織におけるリーダーシップ機能とリーダーの資質について考える。併せて、現代企業のマネジメント理論について言及する。（河内）

【事前・事後学習課題】 企業における人間関係を理解しよう。

第9回 【授業テーマ】 企業の組織運営（3）：組織文化と人材育成
 【内容・方法等】 組織文化の役割を解説し、その形成と人材育成の方法について解説する。（福田）

【事前・事後学習課題】 企業文化の意義とその形成プロセスについて考えてみよう。

第10回 【授業テーマ】 企業の組織診断（1）：産業能率とチームワーク
 【内容・方法等】 組織の構造と機能を産業能率の観点から検証するための理念と方法について解説する。（根岸紘一：根岸経営支援事務所）

【事前・事後学習課題】 産業能率と合理性について考えてみよう。

第11回 【授業テーマ】 企業の組織診断（2）：組織診断の理論と方法
 【内容・方法等】 組織診断における士気（モラル）について

て解説すると共に、その測定法や分析法について説明する。
(根岸)

- 第12回** 【授業テーマ】 企業の組織診断 (3) : 労働意欲と労働ストレス
【内容・方法 等】 労働者の労働意欲と労働ストレスについて説明し、併せて、企業の人事管理や組織的なストレス対処法について解説する。(根岸)
【事前・事後学習課題】 産業の変遷と労働者の意識変化に関心を持つ。
- 第13回** 【授業テーマ】 企業の組織改善 (1) : コーポレート・ガバナンス
【内容・方法 等】 企業は誰のものか、企業を動かす力は何かなど、企業統治におけるコーポレート・ガバナンスの理念と課題について解説する (掛谷)
【事前・事後学習課題】 時代とともに変化する企業形態について考えてみよう。
- 第14回** 【授業テーマ】 企業の組織改善 (2) : 顧客満足と社会的責任
【内容・方法 等】 企業が公器であるという認識のもと、社会のニーズに応え、社会の維持と発展に貢献する企業とは何かについて解説する。(掛谷)
【事前・事後学習課題】 社会に貢献する企業の社会性について考えてみよう。
- 第15回** 【授業テーマ】 授業のまとめ
【内容・方法 等】 企業で働くための心構えや態度について、講師の先生方と意見を交換する。(掛谷・前川・河内・根岸・福田)
【事前・事後学習課題】 企業研究の方法や企業訪問における心構えなど、講師への質問を用意すること。

評価方法 (基準)

テーマごとに講師が代わるため、期末定期試験は実施しない。成績評価は、授業ごとに課されるレポートの成績などをもとに、総合的に評価する。

教材等

教科書…特に指定せず
参考書…講義の中で随時紹介する

学生へのメッセージ

実務家による授業であり、授業外での面談が難しいため、授業の中で積極的に質問してほしい。また、礼儀をわきまえ、私語をせず、遅刻をしないこと。私語が多い学生、30分以上の遅刻入室者には退室を命ずることがある。

関連科目

経営学、マネジメントサイエンスⅠ、Ⅱ、人的資源管理論 など

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

備考

授業時間外の質問や相談は授業担当者の一人である福田が受け付けます。遠慮せず、福田研究室 (11号館7階) まで。

人材適性分析論 Vocational Psychology 柏尾 眞津子 (カシオ マツコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

自分の特性を知り、将来の職業を選択することは自分自身にとっても、企業にとっても重要な問題である。本講義では、職業選択する上でのミスマッチを防ぐための方略を主として学ぶ。具体的には、心理学の知見にもとづいて、企業がどのような人材を求めているのか、他方で、私たちがどのようなパーソナリティやスキルをもっているのかについて種々の心理テストや集団での議論を通じ学ぶ。先行きが不透明な時代の中で、多くの人が不安を抱えていると言われている。そのような時代をどう生きていくのか、そして自分自身はどのような人材として社会に貢献しようのかについて深く考える一助にしたい。

授業方法と留意点

毎回資料を配布予定である。この授業では知識の習得も重要であるが、同時に自分自身のこととして、自分を関与して参加していなければ何も身につかないことになる。絶えずアンテナをはりめぐらせ、社会の動向と自分をめぐる他者そして自分自身を観察しつづけよう。

科目学習の効果 (資格)

広い視野の中で社会と自分との関係を見つめ、自分自身の強みと弱みを理解した上で、将来設計を描く力を身につけることができる。必要なスキル獲得のために、何が必要であるかを気づき、努力する力を養う。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 人材適性分析論とは
【内容・方法 等】 講義の目的と進め方を概説
本講義を受ける動機づけを高める。
【事前・事後学習課題】 この授業での主要なキーワードを理解しておく。
- 第2回** 【授業テーマ】 現代社会における生活・労働環境の大きな変化 その1
【内容・方法 等】 雇用形態の多様化、グローバル化の中で流動的な社会を明確に理解し、その中に生きている自分自身を位置づける。
【事前・事後学習課題】 関連する新聞記事、著書を読んでおこう。
- 第3回** 【授業テーマ】 現代社会における生活・労働環境の大きな変化 その2
【内容・方法 等】 雇用形態の多様化、グローバル化の中で流動的な社会を明確に理解し、その中に生きている自分自身を位置づける。
【事前・事後学習課題】 関連する新聞記事、著書を読んでおこう。
- 第4回** 【授業テーマ】 企業が求める人材への理解 その1
【内容・方法 等】 今どのような人材が求められているのかについてグループでのディスカッションを行う。
【事前・事後学習課題】 KJ法を理解しておこう。
- 第5回** 【授業テーマ】 企業が求める人材への理解 その2
【内容・方法 等】 いくつかの企業の人事担当者が求める人材観について紹介する。
【事前・事後学習課題】 従来の自分の考えとの差異をまとめておこう
- 第6回** 【授業テーマ】 7・5・3問題について考えよう
【内容・方法 等】 中卒の7割、高卒の5割、大卒の3割が就職後3年以内に離職すると言われる。この背景にあるミスマッチ問題を考える。
【事前・事後学習課題】 職業選択についてご自身の考えをまとめ、レポート提出の準備をしよう。
- 第7回** 【授業テーマ】 適性検査の歴史的背景とパーソナリティのアセスメント その1
【内容・方法 等】 心理テストを実習し、パーソナリティのアセスメントについて解説
【事前・事後学習課題】 心理テストについて体験した感想を提出してください。
- 第8回** 【授業テーマ】 パーソナリティのアセスメント その2
【内容・方法 等】 心理テストを実習し、パーソナリティのアセスメントについて解説
【事前・事後学習課題】 心理テストについて体験した感想を提出してください。
- 第9回** 【授業テーマ】 パーソナリティのアセスメント その3
【内容・方法 等】 心理テストを実習し、パーソナリティとスキルの違いについて解説。
【事前・事後学習課題】 心理テストについて体験した感想を提出してください。
自己分析やキャリアアアンカーに関する文献を紹介するので読んでおいてください。
- 第10回** 【授業テーマ】 私と仕事について その1
【内容・方法 等】 仕事とは自分にとって何なのか? 仕事の意味をグループで議論することで自分の仕事観への認識を再構成する。
【事前・事後学習課題】 何のために人は働くのか考えてみてください。
- 第11回** 【授業テーマ】 私と仕事について その2
【内容・方法 等】 仕事とは自分にとって何なのか? 仕事の意味をグループで議論することで自分の仕事観への認識を再構成する。
【事前・事後学習課題】 他者の視点を取り入れ、自分自身の考えにどのような変化が起きたのか考察しよう。
- 第12回** 【授業テーマ】 キャリアと時間的展望
【内容・方法 等】 時間的展望に関連する心理テストを実施しつつ、時間的展望をもつことと健康について、また自分自身の過去をどのように受容しつつ現在と未来を充実させていくのかについて学ぶ。キャリア発達についても学ぶ予定である。
【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおこう。
- 第13回** 【授業テーマ】 多様性とワークライフバランス その1
【内容・方法 等】 多様な雇用形態と価値感の中ときには、ワークライフバランスがうまくいかない場合がある。その具体的事例として、自殺と過労死そしてバーンアウトについて概説する。
【事前・事後学習課題】 関連する資料を配布するので読んでおいてください。
- 第14回** 【授業テーマ】 多様性とワークライフバランス その2
【内容・方法 等】 その具体的事例として、自殺と過労死そしてバーンアウトを防止する方略について概説する。うつ病への理解もあわせて深める。
【事前・事後学習課題】 関連する資料を配布するので読んでお

いてください。
第15回 【授業テーマ】 授業のまとめ
 【内容・方法 等】 これまでのまとめと将来にどのように生かすのかを明確にする。
 【事前・事後学習課題】 客観的なデータに基づきエピソードを交えながら自己分析および自己アピール文が書けるようにしよう。

評価方法 (基準)
 期末定期試験の成績(70%)と授業中に課したレポートと授業態度の評価(30%)を含め、総合的に評価する。

教材等
 教科書…指定しない
 参考書…授業中に紹介する

学生へのメッセージ
 よい授業は学生諸君と教員との相互作用で成り立つ。よい時間を共有しよう。

関連科目
 相談心理学
担当者の研究室等
 11号館6階(経営学部事務室)

組織心理学 Organizational Psychology				
田 中 健 吾 (タナカ ケンゴ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 組織心理学とは、産業活動に心理学的知見を活用していくための研究をする心理学の一領域である。企業組織における採用や人的資源管理等、心理学的知見を活用できる可能性のある分野は幅広く存在する。このような産業心理学についてその歴史的経緯から、現代的なトピックまで、網羅的に紹介する。

授業方法と留意点
 講義形式を中心とする。レジュメに空欄を用意するので、自分なりの視点で講義内容をノートにまとめること。

科目学習の効果 (資格)
 企業等に就職して組織の様々な問題に直面したときに、この講義を思い出してもらえば何か役立つことがあるかもしれない。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 組織心理学とは？
 【内容・方法 等】 組織とはどのような特徴を持っているのか、それを心理学という観点から捉えることにどのような意義があるのか論じていく。まずは導入ということで、今後の講義テーマを概観する。
 【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第2回 【授業テーマ】 組織心理学の歴史
 【内容・方法 等】 どういう社会的な要請があるのかという視点はどんな学問にも必要です。組織心理学の歴史的変遷とその学問的意義について考えます。
 【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第3回 【授業テーマ】 仕事への動機づけ (モチベーション) 1
 【内容・方法 等】 人は仕事に何を求めているのか、何が仕事に対するやる気を高めるのか、そして、どんなときに仕事に満足感を得ることができているのか論じていく。この回は特に、内容理論と呼ばれる理論を紹介する。
 【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第4回 【授業テーマ】 仕事への動機づけ (モチベーション) 2
 【内容・方法 等】 モチベーション理論のうち、過程理論と呼ばれる認知的プロセスを視野に入れた理論を紹介する。
 【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第5回 【授業テーマ】 作業の心理学
 【内容・方法 等】 産業領域を扱う組織心理学では、集団のパフォーマンスや疲労感をテーマにした研究も多い。こうした作業関連の心理学的研究を紹介する。
 【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第6回 【授業テーマ】 集団と組織 1
 【内容・方法 等】 集団行動に関する心理学的理論のうち、四人のジレンマゲームと社会的ジレンマに関する研究領域を紹介する。
 【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第7回 【授業テーマ】 集団と組織 2
 【内容・方法 等】 集団・組織行動で発生する様々な問題のうち、スケープゴートと呼ばれる現象と、集団的浅慮と呼ば

れる好ましくない意思決定過程について詳説する。
【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第8回 【授業テーマ】 集団と組織 3
 【内容・方法 等】 集団状況におけるパフォーマンスの問題を扱う。特に、能力とパフォーマンスの関係を規定する要因、社会的手抜き、社会的促進と呼ばれる現象について解説する。
【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第9回 【授業テーマ】 リーダーシップ
 【内容・方法 等】 組織や集団のリーダーはそこに所属するメンバーに対してどのような行動をとると円滑な運営が可能になるのか論じていく。
【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第10回 【授業テーマ】 職場ストレスとカウンセリング 1
 【内容・方法 等】 集団状況で発生する問題の一つであるストレスについて、基礎的な知識を説明するとともに、特に職場場面に特化して理解を深める。
【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第11回 【授業テーマ】 職場ストレスとカウンセリング 2
 【内容・方法 等】 ストレスに関する考え方のうち、医学的ストレスモデルと心理学的ストレスモデルの違いやそれぞれの利点について検討する。
【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第12回 【授業テーマ】 職場ストレスとカウンセリング 3
 【内容・方法 等】 組織の健康づくりに役立つ、調査に基づく組織的な保健活動について、社会的背景から実践まで解説する。
【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第13回 【授業テーマ】 人事アセスメント
 【内容・方法 等】 人的資源管理における個性を把握する働きやプロセスである人事アセスメントについて、最終的に経営の意思によって多くの情報を総合して決定される手続きや過程を理解する。
【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第14回 【授業テーマ】 消費者行動
 【内容・方法 等】 説得の方法に関する理論、広告、口コミ情報の効果など、心理的要因が経営に与える影響として消費者行動を解説する。
【事前・事後学習課題】 講義の内容に関する小レポートを次の講義で提出する。

第15回 【授業テーマ】 まとめ
 【内容・方法 等】 これまでの講義を概観する。また、組織に所属するとはどういうことか、そこで働くということは個人および組織にとって何を意味するのか、皆さんに考えてもらう。
【事前・事後学習課題】 これまでの講義を振り返り、大レポートに反映させる。

評価方法 (基準)
 学期末試験、課題レポートに受講姿勢等を加味して総合評価する。
 講義期間中は小レポートの提出を複数求めることがある。

教材等
 教科書…「産業・組織心理学への招待」 白樫三四郎 編 有斐閣 (2310円)
 参考書…適宜紹介します。

学生へのメッセージ
 エビデンス・ベースド(実証データに基づく)な心理学の立場に関心を持ち、将来企業内で心理学的知見を生かしたいと真摯に考える学生を希望します。

関連科目
 経営組織論
担当者の研究室等
 11号館6階(経営学部事務室)

産業社会論 Industrial Sociology				
針 尾 大 嗣 (ハリオ ダイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 携帯電話やスマートフォンといった移動体情報通信技術の急速な発展と普及により企業と消費者が情報通信ネットワークを介

して結ばれたことで、現在、その関係が大きく変わりつつある。企業は、消費者個人の嗜好や行動情報をもとに新たな需要を掘り起こし、消費者はそれらの情報の提供することで、パーソナル且つタイムリーで利便性の高いサービスを求めるようになる。すなわちこれは、従来の企業を中心とする産業社会から消費者を主体とする消費社会への移行を意味し、今後のビジネスにおいて消費者を理解することが益々重要性を増してくる。そこで本講義では、今日の消費活動の主要な場となりつつあるWebコミュニティや消費行動の傾向や特徴から現代消費者を捉えるとともに、それを支える要素技術及びこれらに関する企業側の取り組みについて、具体的事例をまじえながら解説する。

授業方法と留意点

講義は、プロジェクターを用いたプレゼン資料と配布資料を中心に解説を行なう。また一部のテーマについては学生による事前の文献調査とその発表をもとにすすめる予定である。なお講義で取り扱うテーマについては、受講生の関心や時の話題に応じて変更する場合もある。

科目学習の効果（資格）

身近な情報サービスを例に、それらがビジネスとして成り立つ仕組みについて理解することができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** インTRODクシヨソ
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 **【授業テーマ】** イソターネット広告（1）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネット広告各種
・インターネット広告の仕組み
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第3回 **【授業テーマ】** イソターネット広告（2）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネット広告技術
・インターネット広告の効果と測定
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第4回 **【授業テーマ】** モバイル広告（1）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・モバイル通信の歴史
・モバイルマーケティングの市場
・モバイル時代の消費者行動
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第5回 **【授業テーマ】** モバイル広告（2）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・モバイル広告各種
・モバイル広告の仕組み
・モバイル広告技術
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第6回 **【授業テーマ】** ブログとCGM（1）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・ブログとは何か
・CGMとは何か
・ブログやCGMの普及で変わる企業と顧客の関係性
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第7回 **【授業テーマ】** ブログとCGM（2）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・ブログの技術的な仕組み
・CGMの事例
・ブログ、CGMの導入企業のねらいと効果
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第8回 **【授業テーマ】** ソーシャルネットワークシステム（1）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・ソーシャルメディアとは何か
・Webコミュニティ、SNS、マイクロブログなどソーシャルメディアの事例
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第9回 **【授業テーマ】** ソーシャルネットワークシステム（2）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・ソーシャルメディアの発展史
・ソーシャルメディアの技術的な仕組み
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。

- 復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第10回 **【授業テーマ】** メディア戦略の理論（1）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・マスマーケティングとパーソナルマーケティング
・消費者行動論
・広告メディア
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第11回 **【授業テーマ】** メディア戦略の理論（2）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・企業戦略
・プロダクト・ライフサイクル
・ソーシャルメディア戦略
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第12回 **【授業テーマ】** メディア戦略の理論（3）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・ウェブの参入戦略
・製品市場戦略
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第13回 **【授業テーマ】** 企業のメディア戦略事例（1）
【内容・方法 等】 この回では、インターネットメディアを積極的に活用し、消費者との新たな関係を築く企業の活動事例を取り上げ、解説する。
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第14回 **【授業テーマ】** 企業のメディア戦略事例（2）
【内容・方法 等】 この回では、インターネットメディアを積極的に活用し、消費者との新たな関係を築く企業の活動事例を取り上げ、解説する。
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

評価方法（基準）

出席、レポート、試験、発言、発表の内容をもとに総合的に評価する。私語、携帯の使用、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。

教材等

教科書…配布資料中心
参考書…適時紹介

学生へのメッセージ

受け身の姿勢では何も身につけません。目的意識を持って積極的に講義に参加してください。

関連科目

インターネット概論、経営情報システム論、電子商取引など

担当者の研究室等

11号館7階（針尾准教授室）

産業社会論II
Industrial Sociology II

針尾大嗣（ハリオ ダイジ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

携帯電話やスマートフォンといった移動体情報通信技術の急速な発展と普及により企業と消費者が情報通信ネットワークを介して結ばれたことで、現在、その関係が大きく変わりつつある。企業は、消費者個人の嗜好や行動情報をもとに新たな需要を掘り起こし、消費者はそれらの情報の提供することで、パーソナル且つタイムリーで利便性の高いサービスを求めるようになる。すなわちこれは、従来の企業を中心とする産業社会から消費者を主体とする消費社会への移行を意味し、今後のビジネスにおいて消費者を理解することが益々重要性を増してくる。そこで本講義では、こうした消費者指向にシフトするわが国の代表的な産業・ビジネスの動きとその仕組みについて、具体的事例をまじえながら解説する。

授業方法と留意点

講義は、プロジェクターを用いたプレゼン資料と配布資料を中

心に解説を行なう。また一部のテーマについては学生による事前の文献調査とその発表をもとにすすめる予定である。なお講義で取り扱うテーマについては、受講生の関心や時の話題に応じて変更する場合もある。

科目学習の効果（資格）

身近な情報サービスを例に、それらがビジネスとして成り立つ仕組みについて理解することができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回** 【授業テーマ】 コンテンツ産業（1）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・コンテンツとは
・コンテンツ産業の構造、市場規模
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 コンテンツ産業（2）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・コンテンツビジネスとは
・コンテンツビジネスの仕組みとそれを支える情報技術
・知的財産権ほか
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 放送・通信産業（1）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・放送とは
・放送産業の構造、市場規模
・放送ビジネスの仕組みとそれを支える情報技術
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 放送・通信産業（2）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・通信とは
・通信産業の構造、市場規模
・通信ビジネスの仕組みとそれを支える情報技術
・放送と通信の融合
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 映画産業（1）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・映画産業の構造、市場規模
・映画ビジネスの仕組み
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 映画産業（2）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネットで変わる映画ビジネス
・ハリウッドの映画ビジネス
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 音楽産業（1）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・音楽産業の構造、市場規模
・音楽ビジネスの仕組み
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 音楽産業（2）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・インターネットを基盤とする新たな音楽ビジネス
・iPodがもたらしたもの
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 出版・広告産業（1）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・出版産業の構造、市場規模
・出版ビジネスの仕組み
・再販売価格維持制度
・電子書籍端末
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 出版・広告産業（2）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説する。
・広告産業の構造、市場規模
・広告ビジネスの仕組み

- ・Google社の広告ビジネス
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第12回** 【授業テーマ】 娯楽・レジャー産業（1）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説し、事前課題の内容について議論する。
・ゲーム産業の構造、市場規模
・ゲームビジネスの仕組み
・モバイルゲームのビジネスモデル
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第13回** 【授業テーマ】 娯楽・レジャー産業（2）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説し、事前課題の内容について議論する。
・テーマパーク産業の現状と市場
・テーマパークを支える情報技術
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第14回** 【授業テーマ】 娯楽・レジャー産業（3）
【内容・方法 等】 この回では、主に以下について解説し、事前課題の内容について議論する。
・観光産業の現状と市場
・情報技術を活用した観光関連サービスの事例
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 予習：事前に配布した資料に目を通し、関係する情報を調べておくこと。
復習：講義中に出した課題についてまとめておくこと。

評価方法（基準）

出席、レポート、試験、発言、発表の内容をもとに総合的に評価する。
私語、携帯の使用、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。

教材等

教科書…配布資料中心
参考書…適時紹介

学生へのメッセージ

受け身の姿勢では何も身につけません。目的意識を持って積極的に講義に参加してください。

関連科目

インターネット概論、サイバービジネスソリューション1、情報産業論、電子商取引など

担当者の研究室等

11号館7階（針尾准教授室）

企業者史I

History of Entrepreneurs I

佐藤正志（サトウ マサシ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

戦前期における日本経済・産業の発展過程をたどりながら、各時代を代表する企業者（家）を取り上げ、その経営活動と経営理念を分析します。企業者の形成過程を経済の発展段階との関連をふまえて考察し、これからの企業者像を考えていきます。

授業方法と留意点

資料の配付、ビデオ視聴などを行いながら、講義形式で実施します。

科目学習の効果（資格）

企業経営に関する基本的事項を歴史的観点から、また企業者の行動や考えを通して学びますので、他の専門科目の理解を深めるのに役立つと思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 戦間期の経済発展と企業家（1）
【内容・方法 等】 大衆消費社会の形成と都市型産業の発展
【事前・事後学習課題】 大衆消費社会とは何か、事前に調べて、講義後まとめる。
- 第2回** 【授業テーマ】 戦間期の経済発展と企業家（2）
【内容・方法 等】 阪急・小林一三（1）
【事前・事後学習課題】 小林一三の経歴について調べて、まとめる。
- 第3回** 【授業テーマ】 戦間期の経済発展と企業家（3）
【内容・方法 等】 阪急・小林一三（2）

- 【事前・事後学習課題】 小林一三の経営理念について、調べてまとめる。
- 第4回 【授業テーマ】 重化学工業の発展と新興コンツェルン（1）
【内容・方法等】 新興コンツェルンとは何か
【事前・事後学習課題】 財閥とは何か、調べてまとめる。
- 第5回 【授業テーマ】 重化学工業の発展と新興コンツェルン（2）
【内容・方法等】 日窒・野口遵
【事前・事後学習課題】 新興財閥の特色について調べて、まとめる。
- 第6回 【授業テーマ】 重化学工業の発展と新興コンツェルン（3）
【内容・方法等】 理化学研究所・大河内正敏
【事前・事後学習課題】 新興財閥と植民地との関連について、調べてまとめる。
- 第7回 【授業テーマ】 日本自動車産業の先駆者（1）
【内容・方法等】 戦前における日本の自動車産業の発展
【事前・事後学習課題】 自動車産業の発展史を調べて、まとめる。
- 第8回 【授業テーマ】 日本自動車産業の先駆者（2）
【内容・方法等】 日産・鮎川義介（1）日産の歴史と満洲重工業の設立
【事前・事後学習課題】 鮎川義介の履歴について調べて、まとめる。
- 第9回 【授業テーマ】 日本自動車産業の先駆者（3）
【内容・方法等】 日産・鮎川義介（2）「公衆持株会社」論
【事前・事後学習課題】 鮎川の経営理念、満重が挫折に至る過程を調べて、まとめる。
- 第10回 【授業テーマ】 日本自動車産業の先駆者（4）
【内容・方法等】 トヨタ（1）豊田佐吉から喜一郎へ
【事前・事後学習課題】 トヨタ自動車の現状について調べて、まとめる。
- 第11回 【授業テーマ】 日本自動車産業の先駆者（5）
【内容・方法等】 トヨタ（2）豊田喜一郎「自動車国産化」
【事前・事後学習課題】 豊田喜一郎がなぜ「国産化」を志向したか、調べて、まとめる。
- 第12回 【授業テーマ】 大衆消費社会と企業家（1）
【内容・方法等】 マーケティングの展開
【事前・事後学習課題】 マーケティングとは何か、事典等で調べて、講義後まとめる。
- 第13回 【授業テーマ】 大衆消費社会と企業家（2）
【内容・方法等】 森永・森永太郎
【事前・事後学習課題】 森永のマーケティング活動について、事前に調べて、講義後まとめる。
- 第14回 【授業テーマ】 大衆消費社会と企業家
【内容・方法等】 サントリー・鳥井信治郎
【事前・事後学習課題】 サントリーの経営の現状を調べて、まとめる。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 練習問題

評価方法（基準）

受講態度、試験得点等を総合して判断します。

教材等

教科書…とくに指定しません。資料を配付します。

参考書…適宜、紹介します。

学生へのメッセージ

授業内容に関する不明点、疑問は遠慮なく質問してください。紹介する参考文献はできるだけ目をとおして、より理解を深めていただきたい。

関連科目

企業者史Ⅱ、経営史Ⅰ・Ⅱ(D科科目)

担当者の研究室等

11号館8階（佐藤研究室）

企業者史Ⅱ
History of Entrepreneurs II

佐藤正志(サトウ マサシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

第2次大戦後の日本経済・産業の発展過程をたどりながら、各時代を代表する企業者（家）を取り上げ、その経営活動と経営理念を分析します。企業者の形成過程を、経済の発展段階との関連をふまえて考察し、これからの企業者像を考えていきます。

授業方法と留意点

資料の配付やビデオ視聴を行いながら講義形式で実施します。

科目学習の効果（資格）

企業経営に関する基本的事項を歴史的観点から、また企業者の行動や考えを通して学びますので、他の専門科目の理解を深めるのに役立つと思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 戦後の経済発展の枠組みと企業家（1）
【内容・方法等】 戦後復興の過程
【事前・事後学習課題】 第2次大戦後の経済の流れについて予習し、講義後にまとめる。
- 第2回 【授業テーマ】 戦後の経済発展の枠組みと企業家（2）
【内容・方法等】 高度経済成長の要因と企業家
【事前・事後学習課題】 戦後を代表する経営者をリストアップし、講義後その共通点について、まとめる。
- 第3回 【授業テーマ】 高度経済成長と企業家（1）
【内容・方法等】 「経営の神様」・松下幸之助（1）
【事前・事後学習課題】 松下幸之助の履歴について、まとめる。
- 第4回 【授業テーマ】 高度経済成長と企業家（2）
【内容・方法等】 「経営の神様」・松下幸之助（2）「水道哲学」
【事前・事後学習課題】 松下「水道哲学」とな何か。調べて、まとめる。
- 第5回 【授業テーマ】 高度経済成長と企業家（3）
【内容・方法等】 ホンダ・本田宗一郎
【事前・事後学習課題】 本田と藤沢武夫のパートナーシップについて調べて、まとめる。
- 第6回 【授業テーマ】 高度経済成長と企業家（4）
【内容・方法等】 ソニー・井深大
【事前・事後学習課題】 井深と盛田昭夫のパートナーシップについて調べて、まとめる。
- 第7回 【授業テーマ】 流通革命と企業家（1）
【内容・方法等】 戦後・流通産業の展開
【事前・事後学習課題】 戦後の流通業の変化を調べて、まとめる。
- 第8回 【授業テーマ】 流通革命と企業家（2）
【内容・方法等】 中内・ダイエー（1）経営理念と発展
【事前・事後学習課題】 中内の「流通革命論」について、調べて、まとめる。
- 第9回 【授業テーマ】 流通革命と企業家（3）
【内容・方法等】 中内・ダイエー（2）挫折と「流通革命」の後継者
【事前・事後学習課題】 ダイエーの経営の失敗について、その要因を調べて、まとめる。また、中内の「流通革命」の成果は現在どのような形で引き継がれているのかを考える。
- 第10回 【授業テーマ】 流通革命と企業家（4）
【内容・方法等】 セブンイレブン・鈴木敏文
【事前・事後学習課題】 鈴木による小売業の革新は、海外においても通用するか、まとめる。
- 第11回 【授業テーマ】 IT革命の進展と企業家（1）
【内容・方法等】 インターネットの発展と企業経営の変容
【事前・事後学習課題】 インターネットの歴史を調べて、まとめる。
- 第12回 【授業テーマ】 IT革命の進展と企業家（2）
【内容・方法等】 ソフトバンク・孫正義
【事前・事後学習課題】 孫正義の経営理念を調べて、まとめる。
- 第13回 【授業テーマ】 IT革命の進展と企業家（3）
【内容・方法等】 テレビゲームの攻防
【事前・事後学習課題】 テレビゲーム開発の歴史と現状を調べて、まとめる。
- 第14回 【授業テーマ】 IT革命の進展と企業家（4）
【内容・方法等】 山内・任天堂の戦略
【事前・事後学習課題】 任天堂の経営戦略を調べて、まとめる。
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 練習問題

評価方法（基準）

受講態度、試験の得点、レポート内容等を総合して判断します。

教材等

教科書…とくに指定しません。資料を配付します。

参考書…適宜、紹介します。

学生へのメッセージ

講義内容に対する不明点や疑問は遠慮なく質問してください。また、紹介する参考文献にはできる限り目を通してください。

関連科目

企業者史Ⅰ、経営史Ⅰ（D科科目）

担当者の研究室等

11号館8階（佐藤研究室）

現代コミュニティ論
New Community

針尾大嗣(ハリオ タイジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、都市化、少子高齢化、グローバル化、情報化といった社会環境の変化と、今日、メディア等で多く取り上げられ社会病理化するいくつかの問題（精神性疾患、自殺、いじめ、インターネット上の誹謗中傷など）を社会の近代化の文脈の中で捉え、その関係性について社会学的な考察を行う。ここでは「個（人）」の問題として理解・対応されがちなこれらの問題を、一層うえの「コミュニティ」や「地域社会」全体の問題として考える意識を身につけることを目的とする。

授業方法と留意点

講義は、プロジェクターを用いたプレゼン資料と配布資料を中心に解説を行ない、その後、その内容について議論する。また一部のテーマについては学生による事前の文献調査とその発表をもとにすすめる予定である。

科目学習の効果（資格）

特になし

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 本講義の概要、進め方について解説する。
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回** 【授業テーマ】 現代社会の様相
【内容・方法等】 現代の社会病理現象と考えられるいくつかの事象について各種統計データをもとに解説し議論する。
【事前・事後学習課題】 予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
- 第3回** 【授業テーマ】 格差社会
【内容・方法等】 格差社会に関する問題について取り上げ、その是非について議論する。また社会的排除のメカニズムについても解説する。
【事前・事後学習課題】 予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 自殺を生み出す社会（1）
【内容・方法等】 デュルケムの自殺論の考え方や各種統計データをもとに「自殺」を個人的行為ではなく社会的現象として捉え理解する。
【事前・事後学習課題】 予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
- 第5回** 【授業テーマ】 自殺を生み出す社会（2）
【内容・方法等】 教材映像を視聴し、それをもとに日本人と米国人の死生観とその違いについて議論する。
【事前・事後学習課題】 予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
- 第6回** 【授業テーマ】 個人化する社会（1）
【内容・方法等】 ジグムント・バウマンやデビット・リースマンの文献をもちいて、現代社会における「私」の存在について理解する。
【事前・事後学習課題】 予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
- 第7回** 【授業テーマ】 個人化する社会（2）
【内容・方法等】 C.H.クーリーやG.H.ミードらの文献をもちいて、自我の成立、自我の社会性について解説する。そこから個人と社会の関係性について理解する。
【事前・事後学習課題】 予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
- 第8回** 【授業テーマ】 現代社会システムとこころの問題（1）
【内容・方法等】 現代人が抱える「こころ」の問題について、各文献・資料をもちいて解説する。
【事前・事後学習課題】 予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
- 第9回** 【授業テーマ】 現代社会システムとこころの問題
【内容・方法等】 こころの問題に対する企業の取り組み事例について調査し、発表する。
【事前・事後学習課題】 予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。
復習：講義で解説した用語について確認しておくこと。
- 第10回** 【授業テーマ】 社会と犯罪（1）
【内容・方法等】 人はなぜ犯罪を犯すのか、反集団的行動をとるのか、人間の逸脱行動と社会システムとの関係について、ハワード・ベッカーのラベリング論など犯罪社会学の考え方をもちいて解説する。

【事前・事後学習課題】 予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。

第11回

【授業テーマ】 社会と犯罪（2）
【内容・方法等】 人はなぜ犯罪を犯すのか、反集団的行動をとるのか、人間の逸脱行動と社会システムとの関係について、ハワード・ベッカーのラベリング論など犯罪社会学の考え方をもちいて解説する。

【事前・事後学習課題】 予習：配布プリントに目を通し、関連する新聞記事、ニュースについて調べノートにまとめておくこと。

第12回

【授業テーマ】 情報ネットワーク社会と多元文化（1）
【内容・方法等】 多様な文化集団が接触・交流する情報ネットワーク上で起こる問題について、具体的事例をふまえて解説する。

【事前・事後学習課題】 予習：各自テーマを決め、関連する新聞記事、ニュースそれに対する自身の考えについてまとめ、発表資料を作成しておくこと。
復習：講義にて発表された内容及び資料について確認しておくこと。

第13回

【授業テーマ】 情報ネットワーク社会と多元文化（2）
【内容・方法等】 多様な文化集団が接触・交流する情報ネットワーク上で起こる問題について、具体的事例を調べ発表する。

【事前・事後学習課題】 予習：各自テーマを決め、関連する新聞記事、ニュースそれに対する自身の考えについてまとめ、発表資料を作成しておくこと。
復習：講義にて発表された内容及び資料について確認しておくこと。

第14回

【授業テーマ】 安全・安心な社会とは
【内容・方法等】 安全・安心に対する自治体の施策、各種技術、サービスについて紹介し、その問題点について解説する。

【事前・事後学習課題】 予習：各自テーマを決め、関連する新聞記事、ニュースそれに対する自身の考えについてまとめ、発表資料を作成しておくこと。
復習：講義にて発表された内容及び資料について確認しておくこと。

第15回

【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法（基準）

出席、レポート、試験および学生発表の内容をもとに総合的に評価する。
私語、携帯の使用、遅刻など講義の進行を妨げる者については厳しく評価するので注意すること。

教材等

教科書…配布資料
参考書…適時紹介する。

学生へのメッセージ

社会の見方を学ぶ社会学のひとつです。そのため現代の社会を皆さんがどう捉え、それに対し、どのような問題意識をもっていいのか、それについての発言を受けながら議論をすすめていきます。思考をフルに働かせ、積極的に受講して下さい。

関連科目

社会学、心理学など

担当者の研究室等

1 1号館7階（針尾准教授室）

ビジネスゲーミング Business Gaming for Society				
福田市朗（フクダ イチロウ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

ビジネスにおける多様な人間関係を維持し、企業の目的や個人目標の達成を図るための社会的思考法およびコミュニケーション技法の向上を目指す。そのために、ゲーム理論の基本を学び、戦略的な思考法を理解し、私たちが経験する様々な対立や葛藤を合理的に解決する方法を習得する。

授業方法と留意点

具体的な利害対立場面を想定し、自ら考えるという参加型の実践的な授業である。絶えず問題意識を持ち、自ら考える努力が大事である。授業後の復習に力を注ぎ、疑問点は必ず質問すること。

科目学習の効果（資格）

戦略的思考法・合理的な意思決定法を理解することによって、対人関係処理能力とビジネスにおける社会的スキルの向上が期待

待される。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回** 【授業テーマ】 講義概要：「ビジネスゲーミング」の講義内容を理解する
 【内容・方法等】 講義内容＜目的・方法・評価法＞を概説し、授業の進め方について説明する。ビジネスを理解するためのゲーミング手法の導入およびゲーム理論の活用方法を学び、人々の合理的な駆け引きについて考える。
 【事前・事後学習課題】 ビジネスにおける様々な対立を取り上げて、その解決プロセスを考えてみよう。
- 第2回** 【授業テーマ】 ビジネスゲームの世界（1）：ビジネスゲームの導入目的と意義を理解する
 【内容・方法等】 社会現象の分析や社会行動の解明のために開発された様々な技法の理念と実際の活用法について解説する。
 【事前・事後学習課題】 梶井厚志著、『戦略的思考の技術』（中公新書）を読んでみよう。
- 第3回** 【授業テーマ】 ビジネスゲームの世界（2）：ゲーム理論とシミュレーションゲームの基本的な考え方を学ぶ
 【内容・方法等】 戦略的意思決定の合理性や論理性、倫理性を解説し、ゲーム理論の目的を明らかにする。併せて、シミュレーションゲームの教育的意義について解説する。
 【事前・事後学習課題】 講義の中で実施する「公共財ゲーム」の内容を理解すること。このゲームは授業の開始時に毎回実施します。配布したプリントを後に回収しますので、なくさないこと。
- 第4回** 【授業テーマ】 社会的思考（1）：社会現象の理解と対人的思考の特徴を学ぶ
 【内容・方法等】 社会的事象および人々の経験する様々な対立について解説する。特に、対立を解消する技法を概観し、併せて、それらの対立を解明するためのゲーム活用の利点を解説する。
 【事前・事後学習課題】 説得行動や協力行動が成立するための要件は何か？人間は本当に利己的なのか？などを考えてみよう。
- 第5回** 【授業テーマ】 社会的思考（2）：ゲーム理論の導入目的を理解する
 【内容・方法等】 戦略論として発展したゲーム理論について解説する。併せて、戦略的意思決定における正しい合理的な思考法とは何かを考える。「農夫の選択」ゲームを解説する。
 【事前・事後学習課題】 過去の軍略論および様々なボードゲームやトランプゲームにおける戦略的な思考の特徴を調べてみよう。
- 第6回** 【授業テーマ】 ゲーム理論の世界：ゲーム理論の基本理念と戦略決定の合理性を理解する
 【内容・方法等】 ゲーム理論を構成する基本的な用語を解説する。併せて、展開型ゲーム理論と行列型ゲーム理論における戦略的な思考法の特徴を解説する。
 【事前・事後学習課題】 ゲームの必勝法は存在するのか？ある戦略が必勝法といえる根拠について考えてみよう。
- 第7回** 【授業テーマ】 ゼロ和ゲームの世界（1）：ゼロ和ゲームの基本理念を理解する
 【内容・方法等】 ゼロ和ゲーム理論を明らかにしたノイマンらの考え方と彼らが指摘したゲームの解法を解説する。また、ミニマックス戦略とマックスミニ戦略、均衡戦略と均衡点などの基本概念を解説する。
 【事前・事後学習課題】 じゃんけんゲームをゼロ和ゲーム理論の視点から考えてみよう。
- 第8回** 【授業テーマ】 ゼロ和ゲームの世界（2）：混合戦略と期待値を理解する
 【内容・方法等】 じゃんけんゲームの特徴を解説し、混合戦略と期待値の関係を述べる。競争型ゲームにおける合理的な解を計算する方法を解説する。
 【事前・事後学習課題】 練習課題を解くこと（宿題） 試験問題となるので要注意！
- 第9回** 【授業テーマ】 ゼロ和ゲームの世界（3）：ゼロ和ゲーム理論の活用法を理解する
 【内容・方法等】 ゼロ和ゲーム理論と心理学の関係を解説する。じゃんけんにおけるでたらめ戦略の有効性を考える。
 【事前・事後学習課題】 「専制者ゲーム」や「最後通牒ゲーム」の心理社会的な特徴を考えてみよう。
- 第10回** 【授業テーマ】 非ゼロ和ゲームの世界（1）：非ゼロ和ゲームの基本特性を理解する
 【内容・方法等】 対人関係で生ずるジレンマ問題を考えるために「囚人のジレンマゲーム」を解説する。併せて、約束もたらす経済的効果について解説する。
 【事前・事後学習課題】 ゲームの利得表を理解すること。試験問題となるので要注意！
- 第11回** 【授業テーマ】 非ゼロ和ゲームの世界（2）：非協力型ゲームと協力型ゲームの関係を理解する
 【内容・方法等】 ナッシュ均衡を解説し、合理的な交渉の進め方について説明する。特に、プレイヤー間でのコミュニケーションが可能なゲームの成立について解説する。

- 【事前・事後学習課題】** 松原望著、『ゲームとしての社会戦略』（丸善ライブラリ）を読み、戦略的場面における戦略的決定法や2者間の調整と交渉の意義について考えてほしい。
- 第12回** 【授業テーマ】 非ゼロ和ゲームの世界（3）：非ゼロ和ゲームの特徴を理解する
 【内容・方法等】 「囚人のジレンマゲーム」、「チキンゲーム」、「異文化対立ゲーム」などを紹介し、それらの特徴と心理学的課題について解説する。
 【事前・事後学習課題】 戦略的場面における様々な戦略的課題を明らかにするように。
- 第13回** 【授業テーマ】 ゲーム理論と社会分析（1）：複雑な社会的行動を分析するゲーム理論の有効性を理解する
 【内容・方法等】 「囚人のジレンマゲーム」や「共有地の悲劇ゲーム」の解説を通して、人々の社会行動を評価する基準としての公正や正義について考える。
 【事前・事後学習課題】 「公共財ゲーム」の結果についてレポートを提出（義務）。
- 第14回** 【授業テーマ】 ゲーム理論と社会分析（2）：社会的決定の成立について理解する
 【内容・方法等】 ゲーム理論の観点から、集団生活に必要な合意の形成や社会的ルールの成立について解説する。併せて、協力行動の成立と報酬の分配方法について解説する。
 【事前・事後学習課題】 「共有地の悲劇」が起こらないようにするためのルールを考えなさい。フリーライダー（ただ乗り者）に社会的な意義はあるかについても考えてみよう。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ：戦略的思考法の課題、利害対立の合理的解決法について考える
 【内容・方法等】 ビジネス場面における様々な利害対立を取り上げて、価値ある有意義な解決を図るための思考法を総覧する。
 【事前・事後学習課題】 戦略的思考法に必要な用語を正しく理解したか、振り返ってみよう。

評価方法（基準）
 小レポートの成績（30%）と期末定期試験の成績（70%）を合算し、総合的に評価する。

教材等
 教科書…指定せず
 参考書…梶井厚志著『戦略的思考の技術』（中公新書）、松原望著『ゲームとしての社会戦略』、草野耕一著『ゲームとしての交渉』（共に、丸善ライブラリー）など。そのほかの参考図書は授業の中で随時紹介する。いずれも新書版。必読書である。

学生へのメッセージ
 授業の中は私語を慎むこと。遅刻及び無断退室は禁止。また、授業中のスマホ・携帯の使用を禁止する。守れない学生には退室を命ずる。

関連科目
 職業能力開発論ⅠとⅡ、意思決定支援システム、リスクマネジメントなど関係する授業科目は多様。

担当者の研究など
 11号館7階（福田研究室）

備考
 現実には理論通りにはならない。しかし、理論を知ることは重要である。この授業を通して、抽象的な思考力（論理力）を身につけてほしい。

社会調査法 Methodology of Social Survey				
山本圭三(ヤマモト ケイゾウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 ひとくちに社会調査といっても、その方法はさまざまである。この講義では調査目的にあわせて調査方法を決定し、調査を設計、実施し、分析しうる形にまで整理していく具体的な手法を学ぶ。調査対象者の選定、全数調査と標本調査、標本調査に際してのさまざまな手法、調査票の作り方、調査の配布回収方法、調査データの整理方法などについて、実践的な例をとりあげつつ解説していく。

授業方法及び留意点
 配布資料を用いた講義が中心であるが、実習形式での学習も適宜おこなう。

科目学習の効果（資格）
 社会調査の全体的な流れが理解できる。「社会調査士」資格取得に必要な科目（B科目）である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 社会調査の目的と意義
 【内容・方法等】 社会調査とは何か、なぜ調査が必要なのか。
 【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習

- 第2回 【授業テーマ】 社会調査の全体的な流れ
【内容・方法等】 研究の企画から報告書の執筆までの流れ
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第3回 【授業テーマ】 調査を始める (1)
【内容・方法等】 問いと仮説の設定、概念の明確化
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第4回 【授業テーマ】 調査を始める (2)
【内容・方法等】 調査方法の種類
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第5回 【授業テーマ】 調査票を作成する (1)
【内容・方法等】 ワーディング
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第6回 【授業テーマ】 調査票を作成する (2)
【内容・方法等】 回答選択肢の作成
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第7回 【授業テーマ】 調査票を作成する (3)
【内容・方法等】 調査票全体の設計
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第8回 【授業テーマ】 調査の実施 (1)
【内容・方法等】 調査票の配布と回収の方法
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第9回 【授業テーマ】 調査の実施 (2)
【内容・方法等】 全数調査と標本調査、標本数の決定
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第10回 【授業テーマ】 調査の実施 (3)
【内容・方法等】 サンプリングの諸方法
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第11回 【授業テーマ】 データの作成 (1)
【内容・方法等】 コードブックの作成と入力作業
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第12回 【授業テーマ】 データの作成 (2)
【内容・方法等】 コーディング・エディティング・データク
リーニング
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第13回 【授業テーマ】 データ分析の基礎 (1)
【内容・方法等】 度数分布、代表値
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第14回 【授業テーマ】 データ分析の基礎 (2)
【内容・方法等】 変数間の関係の分析
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習と予習
- 第15回 【授業テーマ】 結果の報告
【内容・方法等】 報告書作成に関する注意事項
【事前・事後学習課題】 配布資料を用いた復習
- 評価方法 (基準)
提出物、試験
- 教材等
教科書…使用しない。
参考書…適宜指示する。
- 学生へのメッセージ
社会調査の知識は、今やどこに行っても必要とされるものです。
関心のある学生はぜひ受講して下さい。
- 関連科目
社会学Ⅰ、社会学Ⅱ、市場調査入門、経営統計学、ビジネスデ
ータ分析、マーケティング情報解析、市場調査実習
- 担当者の研究室等
11号館7階 山本講師室

電子商取引 E-Business				
吉田博一 (ヨシダ ヒロカズ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
インターネットを使ったネットビジネスの波が日本にも波及しつ
つあり、今後、ネットビジネスが日本の産業の分野に拡大して
いく。したがって、ネットおビジネスの歴史、ビジネス・モデ
ルの現状、方向性を知ることはこれからの社会に旅立つ学生に
とっては重要であろう。本講義では、ネットワーク、インター
ネット、EDI、EC (電子商取引) を構成する要素、ビジネス
・モデル、そしてそこに用いられている理論について丁寧に解説し、
ネットビジネスの現状と課題を理解できるようにする。学習者
がネットビジネスの方向性を理解することが到達目標である。
- 授業方法と留意点**
テキストに従ったプリントを配布し、適宜教科書を参照して、
講義を行う。毎回講義の終了前に、課題を与え、原則時間内に
レポートを提出する。
- 科目学習の効果 (資格)**
ネットビジネスの仕組みや活用方法、課題を習得し、実社会に
活用できる知識を身につける

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 ECの定義・分類・発展
【内容・方法等】 ECの定義・分類・発展
【事前・事後学習課題】 ECについて、概要と応用例を調べて
おくこと
- 第2回 【授業テーマ】 ECを取り巻く環境
【内容・方法等】 ネットビジネス、情報と情報化
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読んでおくこ
と
情報メディアセンターなどで、WWWなどインターネット
を触っておくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 企業における情報技術の活用
【内容・方法等】 サービスの価値化、情報処理とコンピュ
ータ
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章、第4章を読んでおくこ
と
- 第4回 【授業テーマ】 インターネットとWe
【内容・方法等】 インターネットとWebの仕組み
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章、第6章を読んでおくこ
と
- 第5回 【授業テーマ】 ビジネスモデル
【内容・方法等】 ビジネスモデル、収益モデルとその変化
【事前・事後学習課題】 テキスト第9章を読んでおくこと
- 第6回 【授業テーマ】 インターネットマーケティング
【内容・方法等】 Webによるマーケティング戦略、インター
ネットの活用
【事前・事後学習課題】 テキスト第11章を読んでおくこと
- 第7回 【授業テーマ】 BtoBの電子商取引
【内容・方法等】 BtoBの電子商取引の戦略と事例 (EDI)
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章を読んでおくこと
- 第8回 【授業テーマ】 BtoBの電子商取引 (続き)
【内容・方法等】 BtoBの電子商取引の戦略と事例 (eマーケ
ットプレイス、サブライチューンマーケティング)
【事前・事後学習課題】 授業で紹介したWebの事例について、
Web画面等を見ておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 BtoCの電子商取引
【内容・方法等】 BtoC電子商取引の市場と課題
【事前・事後学習課題】 授業で紹介したWebの事例について、
Web画面等を見ておくこと
- 第10回 【授業テーマ】 CtoC、GtoBの電子商取引
【内容・方法等】 CtoC及びGtoBの電子商取引の戦略と事例
【事前・事後学習課題】 授業で紹介したWebの事例について、
Web画面等を見ておくこと
- 第11回 【授業テーマ】 オンライン・オークション
【内容・方法等】 オンライン・オークションと関連ビジネス
【事前・事後学習課題】 オンライン・オークションのサイトの
Web画面等を見ておくこと
- 第12回 【授業テーマ】 バーチャル・コミュニティ
【内容・方法等】 バーチャル・コミュニティとモバイルビジ
ネス
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章を読んでおくこと
- 第13回 【授業テーマ】 ECの環境
【内容・方法等】 ECに関する法律、倫理
【事前・事後学習課題】 テキスト第14章を読んでおくこと
- 第14回 【授業テーマ】 ECのセキュリティ
【内容・方法等】 ECにおけるセキュリティ対策
【事前・事後学習課題】 テキスト第13章を読んでおくこと
- 第15回 【授業テーマ】 ECの決済
【内容・方法等】 ECにおける決済手段
【事前・事後学習課題】 ECにおける決済手段について、調べ
ておくこと
テキスト第12章を読んでおくこと
- 評価方法 (基準)
期末の筆記試験と各授業のレポートを総合的に評価する
- 教材等
教科書…中村忠之「ネットビジネス進化論」中央経済社(1,900円
+税)
参考書…幡鎌博「eビジネスの教科書 (第4版)」創成社(2,310円)
Gary Schneider, "Electronic Commerce", Course
Technology(5,340円)。
- 学生へのメッセージ
コンピュータとネットワークが作り出すECは、もうすでに新
しい流れを生み出している。今見える多くの話題から将来を想
起してほしい。
- 関連科目
情報セキュリティ
- 担当者の研究室等
11号館6階(経営学部事務室)

ネットビジネス構築演習

Practice of Net-Business Construction

久保 貞也 (クボ サダヤ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

情報社会の重要なビジネススタイルであるネットビジネスについて、その設計、構築、さらに運用に関する演習を行う。具体的には、実際のネットショップの分析を行い、次に、仮想店舗のコンセプトの提案、商品ページの設計、ウェブサイト全体のデザインを実習する。さらに、契約、決済などを現在の法制度に基づいて検討するとともに、コンテンツマネジメントシステムの利用を前提とした構築実習を行う。

授業方法と留意点

演習は毎時間情報処理室で行う。演習課題を実行しながら、現在のネット環境の理解を進める。

科目学習の効果 (資格)

情報技術を活用した経営の総合的な理解

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 本演習の狙い、評価方法についてなど
【事前・事後学習課題】 シラバスを読んでおくこと
- 第2回 【授業テーマ】 既存ネットショップの分析 (1)
【内容・方法 等】 実在するネットショップを調査し、傾向を分析する。
【事前・事後学習課題】 ネットショップの事例を探しておく
- 第3回 【授業テーマ】 既存ネットショップの分析 (2)
【内容・方法 等】 ネットショップの必要事項を把握する。
【事前・事後学習課題】 各自が構築を目指すネットショップのイメージを考える
- 第4回 【授業テーマ】 コンセプトの検討
【内容・方法 等】 構築するネットショップのコンセプトを明確にする。
【事前・事後学習課題】 既存のネットショップに対する位置付けを確認する
- 第5回 【授業テーマ】 商品群の企画
【内容・方法 等】 ネットショップのコンセプトに適した商品のデータを集める。
【事前・事後学習課題】 数多くの商品データの収集方法を検討する
- 第6回 【授業テーマ】 商品ページのデザイン
【内容・方法 等】 商品を提示する際の画面デザイン、説明文の規定などを検討する。
【事前・事後学習課題】 商品ページのデザインを分析しておく
- 第7回 【授業テーマ】 ウェブサイトの設計
【内容・方法 等】 商品群を魅力的に見せるための構成方法の検討を行なう。
【事前・事後学習課題】 情報のまとめ方、アクセスしやすいウェブサイトの要件を調べる
- 第8回 【授業テーマ】 取引書類の検討
【内容・方法 等】 免責事項、配送基準などの契約書類を作成する。
【事前・事後学習課題】 現在の法制度に基づく契約書類の調査
- 第9回 【授業テーマ】 CMS実習
【内容・方法 等】 コンテンツマネジメントの利用方法を学ぶ。
【事前・事後学習課題】 現在のCMSの利用可能性の把握
- 第10回 【授業テーマ】 構築実習 (1)
【内容・方法 等】 ネットショップの内容をCMSに登録する。
【事前・事後学習課題】 CMSの利用方法の予習・復習
- 第11回 【授業テーマ】 構築実習 (2)
【内容・方法 等】 ネットショップの内容をCMSに登録する。
【事前・事後学習課題】 CMSの利用方法の予習・復習
- 第12回 【授業テーマ】 グループ発表
【内容・方法 等】 各自が構築したネットショップを相互評価する。
【事前・事後学習課題】 既存のネットショップとの比較
- 第13回 【授業テーマ】 キャンペーン計画
【内容・方法 等】 ネットショップの活性化を考慮したイベントの企画を行う。
【事前・事後学習課題】 実際のネットショップのキャンペーンを調べる
- 第14回 【授業テーマ】 最新技術動向
【内容・方法 等】 これからのネットショップに用いられる技術動向の検討
【事前・事後学習課題】 インターネット技術の最新動向の調査
- 第15回 【授業テーマ】 本演習のまとめ
【内容・方法 等】 本演習で学んだことの振り返り
【事前・事後学習課題】 本演習で作成した課題の見直し

評価方法 (基準)

演習時での課題提出、期末試験などを総合的に評価する。

教材等

教科書…なし

参考書…適宜案内する。

学生へのメッセージ

この演習では、情報技術をいかに効果的に活用して新しいビジネスを立ち上げるかを体験しようと思っています。プログラミングが苦手でも大丈夫ですので、楽しく受講してください。

関連科目

プログラミング基礎、Webデザイン、コンピュータネットワーク

担当者の研究室等

11号館7階久保准教授室

ビジネスネットワーク管理

Business Network Management

堀井 千夏 (ホリイ チナツ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この授業では、ネットビジネスを効果的に運用するために必要なウェブ解析の方法をEXCELを用いた演習で学んでいく。具体的には、ウェブページの本文やリンクの解析方法、更には販売促進のための分析や販売予測などについて講義していく。

授業方法と留意点

授業には必ず教科書を持参すること。また、授業中に理解できなかったことは次の授業までに復習しておくこと。

科目学習の効果 (資格)

ウェブ情報の解析手法を通じて、データの整理や現象の本質を見抜く力を養うことが期待される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ネットビジネスの運用としくみ
【内容・方法 等】 ガイダンス、ウェブ解析の基本
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 ウェブページのデータ整理(1)
【内容・方法 等】 データ整理の基本(1) (ヒストグラム, 平均)
【事前・事後学習課題】 練習問題(1)
- 第3回 【授業テーマ】 ウェブページのデータ整理(2)
【内容・方法 等】 データ整理の基本(2) (分散, 標準偏差)
【事前・事後学習課題】 練習問題(2)
- 第4回 【授業テーマ】 演習(1)
【内容・方法 等】 EXCELによる解析演習(1)
【事前・事後学習課題】 練習問題(3)
- 第5回 【授業テーマ】 アクセスデータの解析
【内容・方法 等】 ウェブコンサルタントの業務内容、ウェブマーケティング
【事前・事後学習課題】 練習問題(4)
- 第6回 【授業テーマ】 データの分布特性(1)
【内容・方法 等】 正規分布
【事前・事後学習課題】 練習問題(5)
- 第7回 【授業テーマ】 データの分布特性(2)
【内容・方法 等】 標準正規分布と確率
【事前・事後学習課題】 練習問題(6)
- 第8回 【授業テーマ】 講義のまとめと小テスト
【内容・方法 等】 講義前半のまとめと小テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題(7)
- 第9回 【授業テーマ】 演習(2)
【内容・方法 等】 EXCELによる解析演習(2)
【事前・事後学習課題】 練習問題(8)
- 第10回 【授業テーマ】 ウェブデータの関連性を調査
【内容・方法 等】 ウェブページにおけるデータの相関関係を調査
【事前・事後学習課題】 練習問題(9)
- 第11回 【授業テーマ】 顧客満足度調査とアンケート分析
【内容・方法 等】 相関係数, アンケート分析法
【事前・事後学習課題】 練習問題(10)
- 第12回 【授業テーマ】 顧客ニーズの推定
【内容・方法 等】 標本, 点推定, 区間推定
【事前・事後学習課題】 練習問題(11)
- 第13回 【授業テーマ】 ネット・メール広告とスパムメールの統計的解釈
【内容・方法 等】 ネット・メール広告, スパムメール
【事前・事後学習課題】 練習問題(12)
- 第14回 【授業テーマ】 演習(3)
【内容・方法 等】 EXCELによる解析演習(3)
【事前・事後学習課題】 練習問題(13)
- 第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法 等】 講義全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)

授業中の演習と定期試験 (教科書持ち込み可) によって総合的

に評価する。ただし、授業に参加しない者（寝る、喋る、教科書の不携帯など）は受講の意思がないものとして退出してもらう。

教材等
教科書…『実践的なデータ解析のための確率統計学入門』堀井仙松・小寺千夏著、(株)文化書房博文社
参考書…なし

学生へのメッセージ
この授業は、ウェブ情報をEXCELを用いて解析する。このため、基本的なコンピュータの操作が可能であることが望ましい。また、解析には統計の考え方をを用いる。統計については教科書を参照しながら進めるので覚える必要はないが、毎回教科書を持参すること。

関連科目
情報処理関連の基礎科目
担当者の研究室等
11号館8階(堀井教授室)

コンピュータネットワーク Computer Network				
堀井千夏 (ホリイ チナツ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標
本講義では、社会、産業の重要なインフラストラクチャーであり、IT革命といわれるほどさまざまな分野に大きな衝撃を与えているコンピュータネットワークについて学習する。特に、ネットワークを構成する基本的な技術を整理し、どのようにして相互にデータのやりとりができるのか、それらの技術がどのように活用されているのかについて平易に解説する。また、LANやインターネットはもとより、携帯電話や衛星通信などについても、最新の技術動向やトピックスを交え、ネットワークの面白さ、奥深さについて議論する。

授業方法と留意点
授業は、本学コンピュータネットワークシステム、授業用サーバーを用いた実習を行う。
毎回講義ノートを配布する。レポートには、授業中に学んだ内容や自分の考えなどを手際よくまとめること。

科目学習の効果（資格）
ネットワークスペシャリストをはじめとする、コンピュータやネットワークに関連するあらゆる資格取得に有利な科目である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 【授業テーマ】 データ通信の仕組み
【内容・方法等】 データ通信の種類とその利用方法
【事前・事後学習課題】 _____
 - 第2回 【授業テーマ】 アナログ通信とデジタル通信
【内容・方法等】 アナログ通信とデジタル通信の仕組みと使い方
【事前・事後学習課題】 練習問題(1)
 - 第3回 【授業テーマ】 伝送技術
【内容・方法等】 変調方式と多重化方式
【事前・事後学習課題】 練習問題(2)
 - 第4回 【授業テーマ】 伝送システム
【内容・方法等】 データを送送する代表的な手順
【事前・事後学習課題】 練習問題(3)
 - 第5回 【授業テーマ】 交換システム
【内容・方法等】 交換システム(回線交換とパケット交換)
【事前・事後学習課題】 練習問題(4)
 - 第6回 【授業テーマ】 通信プロトコル
【内容・方法等】 通信プロトコルの役割、ネットワークアーキテクチャ
【事前・事後学習課題】 練習問題(5)
 - 第7回 【授業テーマ】 LANのネットワーク構成
【内容・方法等】 ネットワークの種類と特長
【事前・事後学習課題】 練習問題(6)
 - 第8回 【授業テーマ】 LANのプロトコル(1)
【内容・方法等】 LANを利用した通信の仕組み
【事前・事後学習課題】 練習問題(7)
 - 第9回 【授業テーマ】 LANのプロトコル(2)
【内容・方法等】 OSI (Open Systems Interconnection) 参照モデル
【事前・事後学習課題】 練習問題(8)
 - 第10回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法等】 講義(1~9回)の復習と小テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題(9)
 - 第11回 【授業テーマ】 無線LAN(1)
【内容・方法等】 無線LANの種類と特徴
【事前・事後学習課題】 練習問題(10)
 - 第12回 【授業テーマ】 無線LAN(2)
【内容・方法等】 無線LANの仕組み

- 【事前・事後学習課題】 練習問題(11)
- 第13回 【授業テーマ】 TCP(1)
【内容・方法等】 TCPの特徴
【事前・事後学習課題】 練習問題(12)
- 第14回 【授業テーマ】 TCP(2)
【内容・方法等】 TCPの役割
【事前・事後学習課題】 練習問題(13)
- 第15回 【授業テーマ】 TCP(3)
【内容・方法等】 TCPとUDP
【事前・事後学習課題】 練習問題(14)
- 第16回 【授業テーマ】 IP(1)
【内容・方法等】 IPの役割、IPパケット
【事前・事後学習課題】 練習問題(15)
- 第17回 【授業テーマ】 IP(2)
【内容・方法等】 IPアドレス、IPヘッダー
【事前・事後学習課題】 練習問題(16)
- 第18回 【授業テーマ】 IP(3)
【内容・方法等】 ICMP、チェックサム
【事前・事後学習課題】 練習問題(17)
- 第19回 【授業テーマ】 LANの構成要素
【内容・方法等】 ハブ、ルーター、Macアドレス、Macフレーム
【事前・事後学習課題】 練習問題(18)
- 第20回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法等】 講義(11~19回)の復習と小テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題(19)
- 第21回 【授業テーマ】 電子メール(1)
【内容・方法等】 電子メールの仕組み、メールクライアントとメールサーバ
【事前・事後学習課題】 練習問題(20)
- 第22回 【授業テーマ】 電子メール(2)
【内容・方法等】 メールヘッダーと本文の役割、DNSサーバ
【事前・事後学習課題】 練習問題(21)
- 第23回 【授業テーマ】 電子メール(3)
【内容・方法等】 メールセキュリティ
【事前・事後学習課題】 練習問題(22)
- 第24回 【授業テーマ】 情報社会のセキュリティ(1)
【内容・方法等】 情報セキュリティの基本
【事前・事後学習課題】 練習問題(23)
- 第25回 【授業テーマ】 情報社会のセキュリティ(2)
【内容・方法等】 ハッキングとクラッキング
【事前・事後学習課題】 練習問題(24)
- 第26回 【授業テーマ】 情報社会のセキュリティ(3)
【内容・方法等】 個人情報保護とプライバシー、情報漏洩
【事前・事後学習課題】 練習問題(25)
- 第27回 【授業テーマ】 コンピュータウイルス(1)
【内容・方法等】 コンピュータウイルスの特徴
【事前・事後学習課題】 練習問題(26)
- 第28回 【授業テーマ】 コンピュータウイルス(2)
【内容・方法等】 コンピュータウイルスによる被害
【事前・事後学習課題】 練習問題(27)
- 第29回 【授業テーマ】 セキュリティ対策
【内容・方法等】 安全性、暗号と認証技術
【事前・事後学習課題】 練習問題(28)
- 第30回 【授業テーマ】 講義のまとめ

評価方法（基準）
授業中に行う演習や課題とテスト等を総合的に評価する。詳細は授業中に指示する。ただし、授業に参加しない者（寝る、喋る、教科書の不携帯など）は受講の意思がないものとして退出してもらう。

教材等
教科書…なし
参考書…なし

学生へのメッセージ
ネットワークは、多くの技術的要素を含んでいるため難しいと思われるが、本講義では、ネットワークのしくみやその使われ方を分かりやすく説明する。前回までの授業内容をよく理解しておくこと。

関連科目
情報処理関連の基礎科目
担当者の研究室等
11号館8階(堀井教授室)

ビジネスデータベース Business Database				
安達康生 (アダチ ヤスオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

経営組織体において、情報が第4の経営資源であると言われてきてすでに久しい。ネットワーク社会が進展している現在、情報管理の重要性はますます増大しているといえよう。情報を資源として有効に管理・運用するためには、必要な情報を適切に収集・蓄積・加工し、有効活用することは必須のことである。このような情報管理の典型的な手段としてデータベースシステムが使われる。

本講義では、情報の管理に不可欠なデータベースの基礎的な知識としてデータの蓄積・管理・活用技法を学ぶ。

授業方法と留意点

テキストを用いた講義方式。毎講義ごとに小テストを行う。小テストの解説は次回の講義時に行う。

科目学習の効果（資格）

ITパスポート試験の受験に際して、データベースの知識は重要である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** データベースの概念・必要性
【内容・方法 等】 講義の進め方、データベースとは データベースの必要性
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
- 第2回 **【授業テーマ】** データベースの基本構成
【内容・方法 等】 データベースのしくみ、歴史
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第3回 **【授業テーマ】** データベースの処理形態
【内容・方法 等】 データベース処理のしくみ
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第4回 **【授業テーマ】** ファイル編成の基礎
【内容・方法 等】 ファイル編成の基礎知識
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第5回 **【授業テーマ】** ファイル編成の種類（1）
【内容・方法 等】 ファイル編成とその種類（順編成、直接編成）
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第6回 **【授業テーマ】** ファイル編成の種類（2）
【内容・方法 等】 ファイル編成とその種類（相対編成、VSAM編成）
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第7回 **【授業テーマ】** データベース管理システム
【内容・方法 等】 データベース管理システムの機能について
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第8回 **【授業テーマ】** リレーションの概念
【内容・方法 等】 リレーションナルモデル
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第9回 **【授業テーマ】** リレーショナルデータベース
【内容・方法 等】 関係の表現と処理
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第10回 **【授業テーマ】** 関係の正規化（1）
【内容・方法 等】 キーとは、第1、第2正規化
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第11回 **【授業テーマ】** 関係の正規化（2）
【内容・方法 等】 第3、第4正規化
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第12回 **【授業テーマ】** データベース言語・SQLの概要
【内容・方法 等】 SQLの歴史、SQLのコマンド体系
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第13回 **【授業テーマ】** SQL言語（1）
【内容・方法 等】 問合わせ処理
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第14回 **【授業テーマ】** SQL言語（2）
【内容・方法 等】 副問合せ処理、表結合
【事前・事後学習課題】 次回の教科書の内容確認
小テストの理解確認
- 第15回 **【授業テーマ】** データベースの設計と管理
【内容・方法 等】 データモデル、データベースの設計手法と管理
【事前・事後学習課題】 小テストの理解確認

評価方法（基準）

前期定期試験、小テスト、平常点などを総合的に評価します。

教材等

教科書…「<最新>図解でわかる データベースのすべて」小泉 修著、日本実業出版社、2007（2500円）

参考書…特になし

学生へのメッセージ

データベースは社会で最もよく使われるアプリケーションソフトの一つである。データベースの応用範囲は広いので、データベースに関して少しでも興味を持ってもらいたい。

関連科目

応用情報処理Ⅲ

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

ネットワークプログラミング

Network Programming

堀井千夏(ホリイ チナツ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

電子ビジネスやWebアプリケーションなど、インターネットを用いたコミュニケーションは社会にとって必要不可欠なものとなっている。本講義では、こうしたネットワークコミュニケーションの理解を深めるために、Webクライアント/サーバシステムの仕組みについて解説し、更には、Webサーバ側のプログラミングとしてPHPを用いた演習を行い、動的なWebページを実現するための技術を習得する。

授業方法と留意点

初回は座席指定を行うため、必ず出席すること。連絡無く欠席した場合は受講する意思がないとみなす（2回目以降は受講できない）。私語等で授業の邪魔となる場合は退場並びにそれ以降の受講を遠慮してもらうので注意すること。

科目学習の効果（資格）

ネットワークスペシャリストをはじめとする、コンピュータやネットワークに関連するあらゆる資格取得に有利な科目である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** ネットワークコミュニケーションの利用
【内容・方法 等】 ネットワークを用いたコミュニケーションの利点とその利用方法
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 **【授業テーマ】** Webブラウザの仕組み
【内容・方法 等】 Webクライアント/サーバシステム、HTTPプロトコル
【事前・事後学習課題】 練習問題(1)
- 第3回 **【授業テーマ】** Webブラウザの拡張機能
【内容・方法 等】 Webブラウザの拡張機能
【事前・事後学習課題】 練習問題(2)
- 第4回 **【授業テーマ】** ホームページの基礎知識
【内容・方法 等】 HTMLによるホームページ作成の基本技術
【事前・事後学習課題】 練習問題(3)
- 第5回 **【授業テーマ】** 講義のまとめと小テスト
【内容・方法 等】 講義1～4までのまとめと小テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題(4)
- 第6回 **【授業テーマ】** JavaScriptプログラミング(1)
【内容・方法 等】 プログラミング環境の設定、操作手順
【事前・事後学習課題】 練習問題(5)
- 第7回 **【授業テーマ】** JavaScriptプログラミング(2)
【内容・方法 等】 イベントハンドラ
【事前・事後学習課題】 練習問題(6)
- 第8回 **【授業テーマ】** JavaScriptプログラミング(3)
【内容・方法 等】 関数
【事前・事後学習課題】 練習問題(7)
- 第9回 **【授業テーマ】** JavaScriptプログラミング(4)
【内容・方法 等】 条件分岐、繰り返し
【事前・事後学習課題】 練習問題(8)
- 第10回 **【授業テーマ】** JavaScriptプログラミング(5)
【内容・方法 等】 クッキー情報の活用
【事前・事後学習課題】 練習問題(9)
- 第11回 **【授業テーマ】** PHPプログラミング(1)
【内容・方法 等】 PHPプログラミングの基本
【事前・事後学習課題】 練習問題(10)
- 第12回 **【授業テーマ】** PHPプログラミング(3)
【内容・方法 等】 フォーム
【事前・事後学習課題】 練習問題(11)
- 第13回 **【授業テーマ】** PHPプログラミング(2)
【内容・方法 等】 配列関数、おみくじ機能
【事前・事後学習課題】 練習問題(12)
- 第14回 **【授業テーマ】** PHPプログラミング(4)
【内容・方法 等】 Webクライアントとサーバの通信(掲示板)
【事前・事後学習課題】 練習問題(13)
- 第15回 **【授業テーマ】** 講義のまとめ
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)

授業中に行う演習や課題とテスト等を総合的に評価する。詳細は授業中に指示する。ただし、授業に参加しない者(寝る、喋るなど)は受講の意思がないものとして退出してもらう。また、プログラム演習のため、欠席すると授業を理解することが困難になることから、3回以上の欠席をした者は受講を遠慮してもらう。

教材等

教科書…なし
参考書…はじめてのPHP5プログラミング基礎編 (秀和システム)

学生へのメッセージ

この授業は、情報関連分野の専門科目として情報処理の基礎科目やプログラミング演習を習得した中級者向けに講義を行っていく。このため、コンピュータの利用が不得手な初心者やネットワーク技術に興味の無い学生は、授業の内容をよく確認してから受講して欲しい。

関連科目

情報処理関連の基礎科目、ネットビジネス構築演習、Webデザインコンテンツ

担当者の研究室等

11号館8階(堀井教授室)

マルチメディア処理 Multimedia Processing				
堀井千夏(ホリイ チナツ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期(30回)	選択	4

授業概要・目的・到達目標

マルチメディア技術は、教育、医療、経営など、我々の生活に関わるさまざまな分野で活用されている。今後も画像や音声によって表現力を高めた情報をネットワーク経由で伝達する技術は、ますます高度化していき、必要不可欠なコミュニケーション手段となるに違いない。本講義では、マルチメディアの基礎技術となる「デジタル画像処理」と「コンピュータグラフィックス」をとりあげ、その利用技術と生成手法について学んでいく。さらに、プログラミング演習を行うことで授業内容の理解を深める。

授業方法と留意点

初回は座席指定を行うため、必ず出席すること。連絡無く欠席した場合は受講する意思がないとみなす(2回目以降は受講できない)。私語等で授業の邪魔となる場合は退場並びにそれ以降の受講を遠慮してもらうので注意すること。

科目学習の効果(資格)

CG検定、画像処理検定、マルチメディア検定のための基礎知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 マルチメディアと画像処理
【内容・方法等】 マルチメディアの応用技術
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 CG演習(1)
【内容・方法等】 CG作成手順、コンピュータグラフィックスの実例
【事前・事後学習課題】 練習問題(1)
- 第3回 【授業テーマ】 CG演習(2)
【内容・方法等】 基本的なシーンファイルの作成
【事前・事後学習課題】 練習問題(2)
- 第4回 【授業テーマ】 人間の知覚特性
【内容・方法等】 恒常現象、錯覚、図と地、ヒストグラム、濃度変換
【事前・事後学習課題】 練習問題(3)
- 第5回 【授業テーマ】 CG演習(3)
【内容・方法等】 簡単な立体形状の作成
【事前・事後学習課題】 練習問題(4)
- 第6回 【授業テーマ】 CG演習(4)
【内容・方法等】 移動・回転・拡大縮小
【事前・事後学習課題】 練習問題(5)
- 第7回 【授業テーマ】 色彩表現
【内容・方法等】 加法混色、減法混色、RGB/XYZ表示系、マンセル表色系
【事前・事後学習課題】 練習問題(6)
- 第8回 【授業テーマ】 CG演習(5)
【内容・方法等】 立体の色彩表現
【事前・事後学習課題】 練習問題(7)
- 第9回 【授業テーマ】 2次元画像処理の基礎
【内容・方法等】 画像の標準化と量子化、2値化処理、濃淡、陰線・陰面消去
【事前・事後学習課題】 練習問題(8)
- 第10回 【授業テーマ】 合成と変換(1)

- 【内容・方法等】 平滑化、鮮鋭化、モザイク処理
【事前・事後学習課題】 練習問題(9)
【授業テーマ】 合成と変換(2)
- 【内容・方法等】 コントラストの変換、特殊効果
【事前・事後学習課題】 練習問題(10)
【授業テーマ】 立体の表現方法
【内容・方法等】 ステレオ画像処理、時分割メガネ方式、ステレオペア方式
【事前・事後学習課題】 練習問題(11)
【授業テーマ】 CG演習(6)
【内容・方法等】 複雑な立体形状の作成(1)
- 【事前・事後学習課題】 練習問題(12)
【授業テーマ】 CG演習(7)
【内容・方法等】 複雑な立体形状の作成(2)
- 【事前・事後学習課題】 練習問題(13)
【授業テーマ】 講義のまとめと小テスト
【内容・方法等】 講義全体のまとめと小テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題(14)
【授業テーマ】 模様と凹凸表現
【内容・方法等】 質感とテクスチャ
【事前・事後学習課題】 練習問題(15)
- 【授業テーマ】 CG演習(8)
【内容・方法等】 質感の変更、テクスチャマッピング、バンマッピング
【事前・事後学習課題】 練習問題(16)
【授業テーマ】 カメラとライティング
【内容・方法等】 ワールド座標とローカル座標、座標変換、透視変換
【事前・事後学習課題】 練習問題(17)
【授業テーマ】 CG演習(9)
【内容・方法等】 カメラや光源の種類の設定
【事前・事後学習課題】 練習問題(18)
【授業テーマ】 モデリング
【内容・方法等】 モデリング手法
【事前・事後学習課題】 練習問題(19)
- 【授業テーマ】 レンダリング
【内容・方法等】 レンダリング手法
【事前・事後学習課題】 練習問題(20)
【授業テーマ】 CG演習(10)
【内容・方法等】 複雑な立体形状の作成(3)
【事前・事後学習課題】 練習問題(21)
- 【授業テーマ】 立体表現の応用
【内容・方法等】 スイープ表現、曲線表現(スプライン曲線、ベジェ曲線)
【事前・事後学習課題】 練習問題(22)
【授業テーマ】 CG演習(11)
【内容・方法等】 正多面体、半多面体、トラス図形、CG文字の作成
【事前・事後学習課題】 練習問題(23)
【授業テーマ】 CGアニメーション
【内容・方法等】 アニメーションの原理、映画などで利用されているCGの実例紹介
【事前・事後学習課題】 練習問題(24)
- 【授業テーマ】 CG演習(11)
【内容・方法等】 CGアニメーションの作成
【事前・事後学習課題】 練習問題(25)
- 【授業テーマ】 講義のまとめと小テスト
【内容・方法等】 講義全体のまとめと小テスト
【事前・事後学習課題】 練習問題(26)
- 【授業テーマ】 作品制作
【内容・方法等】 作品制作
【事前・事後学習課題】 練習問題(27)
- 【授業テーマ】 作品制作
【内容・方法等】 作品制作
【事前・事後学習課題】 練習問題(28)
- 【授業テーマ】 作品制作

評価方法 (基準)

授業中の課題と期末試験により評価する。ただし、欠席回数が高全授業数の1/3を超える場合は、期末試験の点数に関わらず単位を得ることはできない。また、授業に参加しない者(寝る、喋る等)は欠席扱いとする。

教材等

教科書…なし
参考書…POV-Rayで学ぶ実習コンピュータグラフィックス(アスキー出版局)

学生へのメッセージ

この授業は、情報関連分野の専門科目として情報処理の基礎科目やプログラミング演習を習得した中級者向けに講義を行っていく。このため、コンピュータの利用が不得手な初心者やネットワーク技術に興味の無い学生は、授業の内容をよく確認してから受講して欲しい。

関連科目

情報処理関連の基礎科目、Webデザインコンテンツ

担当者の研究室等

Webコンテンツデザイン

Web Contents Design

堀井千夏(ホリイ チナツ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

インターネットの急速な普及にともない、多くの企業や団体がWebサイトを立ち上げ、ネットワークを経由して様々な情報を発信している。しかし、Webページは単に作れば良いということではない。本講義では、発信者が効果的に情報を提供し、閲覧者が目的の情報を逸早く見つけることのできるWebページの作成技術について習得する。まず、HTMLによるWebページの制作方法を学習し、配色や見易くするテクニックについて習得する。

授業方法と留意点

初回は座席指定を行うため、必ず出席すること。連絡無く欠席した場合は受講する意思がないとみなす(2回目以降は受講できない)。私語等で授業の邪魔となる場合は退場並びにそれ以降の受講を遠慮してもらうので注意すること。

科目学習の効果(資格)

マルチメディア検定、色彩検定のための基礎知識を習得する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Web制作のワークフロー(1)
【内容・方法等】 WebデザイナーとWeb制作
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 Web制作のワークフロー(2)
【内容・方法等】 目的と用途によるテーマの決定
【事前・事後学習課題】 練習問題(1)
- 第3回 【授業テーマ】 Webとマーケティング・コミュニケーション
【内容・方法等】 Webとマーケティング・コミュニケーション
【事前・事後学習課題】 練習問題(2)
- 第4回 【授業テーマ】 Webデザインと表現(1)
【内容・方法等】 デザインに必要な視点
【事前・事後学習課題】 練習問題(3)
- 第5回 【授業テーマ】 Webデザインと表現(2)
【内容・方法等】 見せる・読ませるWeb文章技術
【事前・事後学習課題】 練習問題(4)
- 第6回 【授業テーマ】 Webデザインの要素(1)
【内容・方法等】 配色と色の調和
【事前・事後学習課題】 練習問題(5)
- 第7回 【授業テーマ】 Webデザインの要素(2)
【内容・方法等】 色とイメージとコーポレートカラー
【事前・事後学習課題】 練習問題(6)
- 第8回 【授業テーマ】 Webデザインの要素(3)
【内容・方法等】 タイトル・見出し・本文
【事前・事後学習課題】 練習問題(7)
- 第9回 【授業テーマ】 HTMLの書き方(1)
【内容・方法等】 HTML演習(基本事項)
【事前・事後学習課題】 練習問題(8)
- 第10回 【授業テーマ】 Webデザインの要素(4)
【内容・方法等】 画像の見せ方と加工
【事前・事後学習課題】 練習問題(9)
- 第11回 【授業テーマ】 HTMLの書き方(2)
【内容・方法等】 HTML演習(画像と動画)
【事前・事後学習課題】 練習問題(10)
- 第12回 【授業テーマ】 レイアウト
【内容・方法等】 効果的なレイアウト表現
【事前・事後学習課題】 練習問題(11)
- 第13回 【授業テーマ】 HTMLの書き方(3)
【内容・方法等】 HTML演習(フレーム)
【事前・事後学習課題】 練習問題(12)
- 第14回 【授業テーマ】 ナビゲーションとデザインプラン
【内容・方法等】 情報分類とナビゲーション
【事前・事後学習課題】 練習問題(13)
- 第15回 【授業テーマ】 講義のまとめ
【内容・方法等】 講義全体のまとめ
【事前・事後学習課題】

評価方法(基準)

課題と期末試験により総合的に評価する。ただし、欠席回数が全授業数の1/3を超える場合は、期末試験の点数に関わらず単位を得ることはできない。また、授業に参加しない者(寝る、喋る等)は欠席扱いとする。

教材等

教科書…なし

参考書…やさしいWebデザイン(インプレスコミュニケーションズ)・伝わる文章デザイン1000の鉄則(秀和システム)

学生へのメッセージ

この授業は、情報関連分野の専門科目として情報処理の基礎科目やプログラミング演習を習得した中級者向けに講義を行っていく。このため、コンピュータの利用が不得手な初心者やネットワーク技術に興味の無い学生は、授業の内容をよく確認してから受講して欲しい。

関連科目

情報処理関連の基礎科目、マルチメディア処理、ネットワークプログラミング

担当者の研究室等

11号館8階(堀井教授室)

アルゴリズムとデータ構造

Algorithm and Data Structure

牧野 純(マキノ ジュン)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

プログラムを作成するためには、まず、対象となるデータをどのように表現し、問題をどのような手順で解くかを決める必要がある。つまり、データ構造やアルゴリズムを決定しなければならない。この授業では、代表的なアルゴリズムやデータ構造について学習する。また、Cによる実際のプログラミングを通して、アルゴリズムの重要性を理解する。

授業方法と留意点

内容の解説と演習による。欠席や遅刻は授業の理解を著しく妨げる。

科目学習の効果(資格)

基本情報技術者試験

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法等】 ・アルゴリズムとは
・データ構造とは
・Cのデータ型
【事前・事後学習課題】 課題1
- 第2回 【授業テーマ】 2進法
【内容・方法等】 ・2進法
・符号無し整数型
・符号無し整数演算のオーバーフロー
【事前・事後学習課題】 課題2
- 第3回 【授業テーマ】 2の補数表現
【内容・方法等】 ・符号付き整数型
・2の補数表現
・符号付き整数演算のオーバーフロー
【事前・事後学習課題】 課題3
- 第4回 【授業テーマ】 浮動小数点法
【内容・方法等】 ・実数型
・浮動小数点法
・実数の表現誤差
【事前・事後学習課題】 課題4
- 第5回 【授業テーマ】 乱数生成
【内容・方法等】 ・乱数とは
・Cの標準乱数
・線形合同法
【事前・事後学習課題】 課題5
- 第6回 【授業テーマ】 計算量
【内容・方法等】 ・計算量とは
・O記法
・CPU時間の測定
【事前・事後学習課題】 課題6
- 第7回 【授業テーマ】 入出力
【内容・方法等】 ・入出力の切り替え
・データの入出力
・文字の入出力
・行の入出力
【事前・事後学習課題】 課題7
- 第8回 【授業テーマ】 総和とカウント
【内容・方法等】 ・総和の計算
・カウント
・平均
【事前・事後学習課題】 課題8
- 第9回 【授業テーマ】 最大値と最小値
【内容・方法等】 ・最大値・最小値の計算
・2番目の最大・最小
【事前・事後学習課題】 課題9
- 第10回 【授業テーマ】 探索
【内容・方法等】 ・線形探索法
・二分探索法

第11回 【事前・事後学習課題】 課題1 0
【授業テーマ】 文字列の探索
【内容・方法等】 ・素朴な方法
・ポイヤール・ムーア法

第12回 【事前・事後学習課題】 課題1 1
【授業テーマ】 単純なソート
【内容・方法等】 ・バブルソート
・単純選択ソート
・単純挿入ソート

第13回 【事前・事後学習課題】 課題1 2
【授業テーマ】 速いソート
【内容・方法等】 ・クイックソート
・マージソート

第14回 【事前・事後学習課題】 課題1 3
【授業テーマ】 スタックとキュー
【内容・方法等】 ・スタックとは
・配列を用いたスタック
・キューとは
・環状バッファを用いたキュー

第15回 【事前・事後学習課題】 課題1 4
【授業テーマ】 線形リスト
【内容・方法等】 ・線形リストとは
・構造体による線形リストの表現
・線形リストの操作

【事前・事後学習課題】 課題1 5

評価方法 (基準)
授業中に課せられる課題の提出と、随時実施する小テストで評価する。

教材等
教科書…なし
参考書…疋田輝雄「Cで書くアルゴリズム」サイエンス社 (1470円)

学生へのメッセージ
アルゴリズムとデータ構造の、考え方と実際の手順を十分に理解した上で、実際にプログラムコードを作成してみます。理解なくしてプログラムを入力しても、ほとんど何も身に付かないでしょう。頭を働かせてアルゴリズムの面白さを味わいましょう。

関連科目
「C言語プログラミング」程度のC言語の知識を仮定する。

担当者の研究室等
11号館7階(牧野(純)教授室)

応用プログラミング Advanced Programming				
久保 貞也 (クボ サダヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	全	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本講義では、VB、C#などの実用的なプログラミング言語でのアプリケーション設計・構築について学ぶ。オブジェクト指向、API利用などのプログラミング技法を実際に使うことと、既存のプログラムソースを読解する方法について学ぶ。講義を通じて、実践的なプログラミング能力を身に付けることを目標としている。

授業方法と留意点
プログラミングの実習と実際のプログラム制作 (簡単なゲームを予定) を行う。また、受講者の状況によって新しい言語による学習も追加する。

科目学習の効果 (資格)
プログラム設計から制作までの一連の流れの理解

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 本講義の狙い、受講者の興味についてのアンケート
【事前・事後学習課題】 シラバスを読んでおく

第2回 【授業テーマ】 プログラミング知識の確認
【内容・方法等】 変数宣言、配列の定義
【事前・事後学習課題】 これまでのプログラミング実習を復習する

第3回 【授業テーマ】 プログラミング知識の確認
【内容・方法等】 ループ処理
【事前・事後学習課題】 これまでのプログラミング実習を復習する

第4回 【授業テーマ】 プログラミング知識の確認
【内容・方法等】 条件分岐
【事前・事後学習課題】 これまでのプログラミング実習を復習する

第5回 【授業テーマ】 アルゴリズムの読解
【内容・方法等】 フローチャート作成による実習

第6回 【事前・事後学習課題】 演習課題の復習
【授業テーマ】 Visual Basicの基礎
【内容・方法等】 Visual Basicの基本操作、プログラム設計の考え方
【事前・事後学習課題】 Visual Basicの活用現場について調べる

第7回 【授業テーマ】 画面設計
【内容・方法等】 コンポーネントの配置
【事前・事後学習課題】 画面設計とデザインの基礎について調べる

第8回 【授業テーマ】 効率的なプログラミング
【内容・方法等】 APIを使ったプログラミング
【事前・事後学習課題】 APIの考え方について調べる

第9回 【授業テーマ】 イベント駆動プログラミング
【内容・方法等】 イベント駆動の考え方
【事前・事後学習課題】 普段使うソフトウェアを観察する

第10回 【授業テーマ】 オブジェクト指向言語
【内容・方法等】 最近のプログラミング環境での実習
【事前・事後学習課題】 演習内容の復習

第11回 【授業テーマ】 プログラム実習
【内容・方法等】 簡単なゲームの設計
【事前・事後学習課題】 昔のゲームについて調べる

第12回 【授業テーマ】 プログラム実習
【内容・方法等】 簡単なゲームの製作
【事前・事後学習課題】 プログラムのテスト方法を考える

第13回 【授業テーマ】 プレゼンテーション
【内容・方法等】 プログラムの発表会
【事前・事後学習課題】 発表課題のプレゼン資料を作成する

第14回 【授業テーマ】 プロジェクトマネジメントの概要
【内容・方法等】 実際の制作現場での管理手法について学ぶ
【事前・事後学習課題】 演習課題の復習

第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 本講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 本講義で学んだことの要点をまとめておく

評価方法 (基準)
期末試験、小テスト、提出物によって総合的に評価する。

教材等
教科書…プリント等の教材を適宜配布する
参考書…適宜指定する。

学生へのメッセージ
プログラミングでは上手に最新の技術を活用していくことが必要です。予習・復習を心がけて、プログラミングを楽しむようになってください。

関連科目
プログラミング基礎、C言語プログラミング

担当者の研究室等
11号館7階 久保准教授室

コンピュータシミュレーション Computer Simulation				
牧野 純 (マキノ ジュン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
コンピュータシミュレーションでは、現実のシステムをモデル化してコンピュータで再現する。問題の種類と規模によってはExcelで解決できる場合もあるが、多くの場合はプログラミングが必要である。また、精度が要求される場面ではスーパーコンピュータのような計算力が要求されることも多い。この授業では、コンピュータシミュレーションの技法を解説と実習を通して学習する。

授業方法と留意点
内容の解説と演習による。欠席や遅刻は授業の理解を著しく妨げる。

科目学習の効果 (資格)
ITパスポート試験や基本情報試験には、乱数に関連する問題が出題されることがある。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 シミュレーションとは
【内容・方法等】 ・シミュレーションとは
・シミュレーションとモデル化
・シミュレーションとゲーム
・コンピュータシミュレーションの特長
【事前・事後学習課題】 課題 (1)

第2回 【授業テーマ】 Cの標準乱数
【内容・方法等】 ・モンテカルロシミュレーションと乱数
・rand関数とsrand関数
・[0,1) 実数乱数

第3回	・[0,1) 実数乱数の使い方 【事前・事後学習課題】 課題(2) 【授業テーマ】 乱数の分布 【内容・方法等】 ・一様分布 ・一様分布の平均値 ・一様分布の分散
第4回	【事前・事後学習課題】 課題(3) 【授業テーマ】 モンテカルロ法による面積の計算 【内容・方法等】 ・面積比と確率 ・面積の計算 ・モンテカルロ法による円周率の計算
第5回	【事前・事後学習課題】 課題(4) 【授業テーマ】 ランダムウォーク 【内容・方法等】 ・ランダムウォークとは ・2次元ランダムウォーク ・1次元ランダムウォーク
第6回	【事前・事後学習課題】 課題(5) 【授業テーマ】 線形合同法の欠点 【内容・方法等】 ・C標準乱数を用いたランダムウォークの異常 ・線形合同法とその周期 ・多次元分布の問題
第7回	【事前・事後学習課題】 課題(6) 【授業テーマ】 Lagged Fibonacci 型乱数 【内容・方法等】 ・Fibonacci 数列 ・Lagged Fibonacci 数列 ・Lagged Fibonacci 型乱数 ・Lagged Fibonacci 型乱数の実装
第8回	【事前・事後学習課題】 課題(7) 【授業テーマ】 モンテカルロ法の誤差 【内容・方法等】 ・誤差を測定する ・モンテカルロ法の精度 ・中心極限定理
第9回	【事前・事後学習課題】 課題(8) 【授業テーマ】 ギャンブルのシミュレーション 【内容・方法等】 ・ギャンブラーの破産問題 ・公平なギャンブル ・不公平なギャンブル ・目標額を決めたギャンブル
第10回	【事前・事後学習課題】 課題(9) 【授業テーマ】 待ち行列のシミュレーション 【内容・方法等】 ・待ち行列とは ・シミュレーションのモデル ・乱数による確率の表現
第11回	【事前・事後学習課題】 課題(10) 【授業テーマ】 在庫管理のシミュレーション 【内容・方法等】 ・需要の分布 ・在庫管理のしかた ・在庫管理のシミュレーション
第12回	【事前・事後学習課題】 課題(11) 【授業テーマ】 任意範囲の乱数生成 【内容・方法等】 ・任意範囲の実数乱数 ・任意範囲の整数乱数 ・簡単な応用
第13回	【事前・事後学習課題】 課題(12) 【授業テーマ】 ランダムな選択 【内容・方法等】 ・等確率の選択 ・応用問題
第14回	【事前・事後学習課題】 課題(13) 【授業テーマ】 シャッフルリング 【内容・方法等】 ・トランプのシャッフルリング ・カードシャッフルリングのシミュレーション ・シャッフルリングのアルゴリズム
第15回	【事前・事後学習課題】 課題(14) 【授業テーマ】 シャッフルリングの応用 【内容・方法等】 ・シャッフルリングアルゴリズムの実装 ・応用問題
第15回	【事前・事後学習課題】 課題(15)
評価方法(基準)	授業中に課せられる課題の提出と、随時実施する小テストで評価する。
教材等	教科書…使用しない。 参考書…授業中に適宜紹介する。
学生へのメッセージ	シミュレーションのプログラムコードには長大なものもあり、全体にわたって細部までは解説できないこともあるが、学習のポイントとなる重要な部分については、理解をするように努力して欲しい。
関連科目	「C言語プログラミング」程度のC言語の知識を仮定する。
担当者の研究室等	11号館7階(牧野(純)教授室)

現代メディア論 Modern Media

有馬 善一 (アリマ センイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代の社会においてメディア、特に、マス・メディアは非常に大きな役割を果たしている。しかし、テレビで横行する「やらせ」や報道機関の情報操作など、解決すべき問題もまた多い。この講義ではもともと「媒介」「手段」という意味であった「メディア」が、現代社会においてどのような発達を遂げていったのかを明らかにすることで、今日ではメディアが我々の〈現実〉そのものとなっていることを明らかにする。さらに、報道などのマス・メディアが陥っている構造的な問題を具体例をもとに考える。

授業方法と留意点

テキストを用いない「ノート講義」方式だが、自分で問題を調査する積極性が求められる。

科目学習の効果(資格)

教員免許(「情報」)取得のための必修科目

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回	【授業テーマ】 講義への導入 【内容・方法等】 ・メディアとは何か ・メディアと情報 ・マス・メディアとは何か 【事前・事後学習課題】 メディア、マス・メディアという言葉について調べておく。
第2回	【授業テーマ】 マス・メディアと現代社会 【内容・方法等】 ・マス・メディアの社会と個人に与える影響 ・メディア論の変遷 【事前・事後学習課題】 マス・メディアの自分に対する影響について感想をまとめる。
第3回	【授業テーマ】 現代メディアの発達史 —新聞(1) 【内容・方法等】 ・新聞と何か? ・新聞と民主主義社会における世論形成 【事前・事後学習課題】 『現代メディア史』第4章第1～2節を参照のこと。
第4回	【授業テーマ】 現代メディアの発達史 —新聞(2) 【内容・方法等】 ・新聞の主要各国における発達史 【事前・事後学習課題】 前掲書第4章第3～6節を参照のこと。
第5回	【授業テーマ】 現代メディアの発達史 —映画(1) 【内容・方法等】 ・映画の発明と映画産業の形成 【事前・事後学習課題】 前掲書第6章第2～3節を参照のこと。
第6回	【授業テーマ】 現代メディアの発達史 —映画(2) 【内容・方法等】 ・映画の主要国における発達史 ・アメリカの映画産業の独占支配と日本の映画 【事前・事後学習課題】 前掲書、第5章第6節、第6章を参照のこと。
第7回	【授業テーマ】 現代メディアの発達史 —ラジオ 【内容・方法等】 ・ラジオと総動員体制 ・ラジオの主要国における発達史 【事前・事後学習課題】 前掲書第7章を参照のこと。
第8回	【授業テーマ】 現代メディアの発達史 —テレビ(1) 【内容・方法等】 ・テレビの特徴とラジオ、映画 ・大衆社会の質的変様とテレビの影響 【事前・事後学習課題】 前掲書第9章第1～2節を参照のこと。
第9回	【授業テーマ】 現代メディアの発達史 —テレビ(2) 【内容・方法等】 ・テレビの主要国における発達史 ・ビデオの登場とテレビ 【事前・事後学習課題】 前掲書第9章第3～6節を参照のこと。
第10回	【授業テーマ】 現代メディアの発達史 —まとめと展望 【内容・方法等】 ・メディアの「主役」の変遷 ・メディア・ミックスと新しいメディア 【事前・事後学習課題】 前掲書終章を参照のこと。
第11回	【授業テーマ】 マス・メディアの功罪(1) 【内容・方法等】 ・新聞と世論形成 ・報道の中立性と新聞の「偏向」 【事前・事後学習課題】 新聞に関するサイト(授業中に指示)を見ておく。
第12回	【授業テーマ】 マス・メディアの功罪(2) 【内容・方法等】 ・テレビと「やらせ」の問題 ・商業放送の「墮落」とテレビ離れ

- 【事前・事後学習課題】** テレビと自分の関わりについて意見をまとめてくる。
- 第13回 **【授業テーマ】** マス・メディアの功罪(3)
【内容・方法 等】 ・メディアへの政府の介入問題
 ・メディアの経営基盤とコングロマリット化の問題
【事前・事後学習課題】 日本の主要テレビの株主についてしらべておく。
- 第14回 **【授業テーマ】** メディア社会の行方
【内容・方法 等】 ・マス・メディアの巨大化と情報発信手段のパーソナル化
 ・インターネットによるマス・メディアの浸食
 ・メディア・リテラシーについて
【事前・事後学習課題】 メディア・リテラシーという言葉について調べておく。
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法 等】 ・講義全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 これまでの授業ノートをまとめておく。
- 評価方法 (基準)**
 ・講義内容に沿ったレポートを作成してもらう。課題は適宜指示する。
 ・期末試験を実施。
 ・授業態度(正当な理由のない欠席、遅刻・途中退席・私語・携帯電話の使用)も評価の対象とする。
- 教材等**
教科書…なし
参考書…佐藤卓己 『現代メディア史』 岩波書店 2625円
- 学生へのメッセージ**
 マス・メディアの問題は身近な問題であるが、それだけに意識化することが難しい。マス・メディアに対して批判的に距離をとる能力の必要性を理解して欲しい。
- 関連科目**
 情報倫理学、情報倫理
- 担当者の研究室等**
 11号館7階(有馬准教授室)

情報社会論 Information Society				
山本圭三(ヤマモト ケイゾウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 社会の情報化が進むにつれ、一方では携帯電話やインターネットの普及に見られるように生活がより便利になっていくが、他方ではネット犯罪や個人情報の漏洩など社会問題も多くなっていく。この講義では、情報と情報化とは何かということから始めて、情報化社会の特質と問題を幅広い視点から考察していく。特に、ここ最近大きな関心の対象となっている「ネット社会」に関する議論を中心に取上げていくことにする。

授業方法と留意点
 特定のテキストは用いず、配布レジュメをもとにした講義形式で授業を進める。

科目学習の効果(資格)
 情報化の利点だけでなく問題点に関しても目を向けられるようになることは、情報化社会で生きる我々にとって欠かすことのできない教養になる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 **【授業テーマ】** インタログクッション
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 **【授業テーマ】** 1 情報と情報化社会
【内容・方法 等】 情報化社会をとらえる視点
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習
- 第3回 **【授業テーマ】** 1 情報と情報化社会
【内容・方法 等】 コンピュータ、インターネットの発達史
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習
- 第4回 **【授業テーマ】** 1 情報と情報化社会
【内容・方法 等】 メディアの発達と情報化の進展の様子
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習
- 第5回 **【授業テーマ】** 1 情報と情報化社会
【内容・方法 等】 メディア発達による人々の変化
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習
- 第6回 **【授業テーマ】** 2 情報化に関わる社会問題
【内容・方法 等】 情報化社会の裏側で(1)
 —デジタル・デバイド
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習

- く予習
- 第7回 **【授業テーマ】** 2 情報化に関わる社会問題
【内容・方法 等】 情報化社会の裏側で(2)
 —個人情報保護と情報漏洩
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習
- 第8回 **【授業テーマ】** 2 情報化に関わる社会問題
【内容・方法 等】 情報化社会の裏側で(3)
 —著作権問題
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習
- 第9回 **【授業テーマ】** 2 情報化に関わる社会問題
【内容・方法 等】 情報化社会の裏側で(4)
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習
- 第10回 **【授業テーマ】** 3 情報化とコミュニケーション
【内容・方法 等】 コミュニケーションの様々なありよう(1)
 —匿名掲示板・ブログ・SNS
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習
- 第11回 **【授業テーマ】** 3 情報化とコミュニケーション
【内容・方法 等】 コミュニケーションの様々なありよう(2)
 —web2.0
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習
- 第12回 **【授業テーマ】** 3 情報化とコミュニケーション
【内容・方法 等】 コミュニケーションに関わる問題
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習
- 第13回 **【授業テーマ】** 4 情報化社会と経済
【内容・方法 等】 ビジネスにおける新しい可能性
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習
- 第14回 **【授業テーマ】** 5 情報化社会における人々のありよう
【内容・方法 等】 連帯の新しい可能性
【事前・事後学習課題】 授業内容の復習と配布レジュメに基づく予習
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法 (基準)
 授業態度、レポート、定期試験

教材等
教科書…特に指定しない。
参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ
 情報の洪水とも言える状況の中で我々は生活しています。これに流されるのか、逆に、それを活かすのかは私たちの心構え一つで変わっていきます。

関連科目
 社会学Ⅰ、社会学Ⅱ

担当者の研究室等
 11号館7階 山本講師室

情報法 Information Law				
砂金伸一(イサゴ シンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 ・授業概要：今日の高度情報化社会における法的な諸問題について概観する。
 ・目的：今日の高度情報化社会においては、情報に関する法律(情報法)の知識は、万人の教養となってきている。情報化社会における被害者および加害者にならないように、情報法の基礎的知識の習得を目指す。
 ・到達目標：企業人、市民として今日のネット社会を支える知識と判断力を育成する。

授業方法と留意点
 講義形式

科目学習の効果(資格)
 情報産業に就職する際には役立つであろう。また、情報化社会における被害者や加害者とならない基礎的知識が習得できる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 **【授業テーマ】** ガイダンス
【内容・方法 等】 情報法の概要の説明等
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 **【授業テーマ】** 個人情報保護

- 【内容・方法 等】** 個人情報保護法を概説し、個人情報取扱事業者等の法的義務について取り扱う。
- 【事前・事後学習課題】** 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第3回** **【授業テーマ】** プライバシー侵害
【内容・方法 等】 具体例(裁判例)を通じて、インターネットにおけるプライバシー侵害を説明する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第4回** **【授業テーマ】** 名誉毀損、誹謗中傷
【内容・方法 等】 インターネットにおける名誉毀損、誹謗中傷事件について取り扱う。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第5回** **【授業テーマ】** 著作権法
【内容・方法 等】 著作権法を概説し、デジタル著作権(インターネット上での不正コピーの流通やいわゆる「書籍の自炊」問題 等)を説明する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第6回** **【授業テーマ】** 産業財産権(1)
【内容・方法 等】 産業財産権(特許権、実用新案権、意匠権、商標権)を概説し、特許権(ソフトウェア特許など)を詳述する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第7回** **【授業テーマ】** 産業財産権(2)
【内容・方法 等】 実例(例えば、インターネット上での偽ブランド品販売)を通じて、インターネットにおける商標権侵害を説明する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第8回** **【授業テーマ】** プロバイダー責任法
【内容・方法 等】 プロバイダーの責任制限について取り扱う。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第9回** **【授業テーマ】** 不正アクセス禁止法
【内容・方法 等】 不正アクセス行為の態様を理解すると共に、平成24年改正についても言及する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第10回** **【授業テーマ】** 電子商取引
【内容・方法 等】 電子商取引(e-Commerce)法制について取り扱う。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第11回** **【授業テーマ】** サイバー犯罪
【内容・方法 等】 ネット詐欺、電子計算機使用詐欺およびコンピュータウイルス作成等を取り扱う。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第12回** **【授業テーマ】** ネットの悪徳商法
【内容・方法 等】 ネットの悪徳商法について取り扱う。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第13回** **【授業テーマ】** ネットにおける違法情報
【内容・方法 等】 ネットにおける違法情報について取り扱う。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第14回** **【授業テーマ】** 情報法制の概要
【内容・方法 等】 情報手段(コンピュータとネット)を規律する法制はどのような構造体系になっているかを概説する。
【事前・事後学習課題】 該当する項目について参考書等をもとに予習・復習を行うこと。
- 第15回** **【授業テーマ】** 知識のまとめ
【内容・方法 等】 これまでの講義で扱ったテーマについて総合的に捉えなおす。
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法(基準)
試験、提出物、その他

教材等

教科書…使用しない。

参考書…高橋和之、松井茂記、鈴木秀美/編「インターネットと法 第4版」有斐閣

学生へのメッセージ

経営学部生、経営情報学部生であっても、情報法(インターネットに関係する法律)の知識は、今日の情報化社会では不可欠となっています。これはフィッシング詐欺事件、音楽の違法コピー事件等、インターネットに関する事件(犯罪)が報道の多さから分かります。「法律は関係ない」と思わず、情報法に関心をもって受講して頂きたいと思っています。

関連科目

情報倫理
担当者の研究室等
11号館6階 経営学部事務室

キャリアデザイン入門

Introduction to Career Design

安久典宏(アグ ミチヒロ)

高尾明照(タカオ アキテル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	全	前期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

大学に入学してきた学生に早い段階で目的意識を持たせ、4年間のキャンパス・ライフを有意義に送るための大学生活導入教育です。

この講義を通して、

- ①自己理解を深め自分の「強み」と自信が持てるようになる。
 - ②コミュニケーションについて、理解を深める。
 - ③社会(企業)の変革に対して、自分のワーキングスタイルを今後どう考えるかの理解を深める。
 - ④大学生活およびライフプラン設計ができるようになる。
- を講義の到達目標とします。

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参加方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れます。

科目学習の効果(資格)

将来の目標を設定するための情報収集や、目標達成に向けた具体的な行動が起こせるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法 等】 ・講義の全体的な流れと進め方に関する説明
・社会が求める人材について考える
【事前・事後学習課題】 大学に進学して、何がしたいかを整理しておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第2回** **【授業テーマ】** 大学4年間で何をするか①
【内容・方法 等】 ・4年間の行動計画を考える
・目標達成意欲度を診断します
【事前・事後学習課題】 4年間で3大目標をはっきりと決めてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第3回** **【授業テーマ】** 大学4年間で何をするか②
【内容・方法 等】 ・目標に向かってどれだけ頑張ろうとしているかを計画に落とし込む
【事前・事後学習課題】 アルバムなどを見て、自分の過去の出来事を思い出しておいてください。
今までの経験から自分のアピールポイントを考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第4回** **【授業テーマ】** 「やる気グラフ」から自分を振りかえろう
【内容・方法 等】 ・自分の過去を振りかえり、自分のアピール材料を探す
・自己PR文をまとめるワークをおこなう
【事前・事後学習課題】 自分の将来の夢や目標について、考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第5回** **【授業テーマ】** 自分発見マップ作り①
【内容・方法 等】 ・大学生活の過ごし方と将来の目標や夢について、グループワークを通じ発見、確認をする
【事前・事後学習課題】 カードに書き出した内容以外にもエピソードを考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第6回** **【授業テーマ】** 自分発見マップ作り②
【内容・方法 等】 自分発見マップのレイアウトと内容を整理、作成
【事前・事後学習課題】 自分発見マップのワークから見えてきた夢などを整理しておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第7回** **【授業テーマ】** 自分発見マップ作り③
【内容・方法 等】 ・自分の将来像を一枚の絵にまとめ、グループ発表する
【事前・事後学習課題】 将来設計について自分なりの計画を考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第8回** **【授業テーマ】** ライフプラン設計を考える
【内容・方法 等】 ・大学生活とライフプランの設計図(リファインシート)作成を通して、目標設定の考え方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 フリーターとニートの意味を調べてき

- てください。
(安久・高尾担当)
- 第9回** 【授業テーマ】 ワーキングスタイルについて考える
【内容・方法 等】 ・日本企業の大きな変化について
・正社員とフリータ、ニートについて考える
【事前・事後学習課題】 コミュニケーションの意味について考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第10回** 【授業テーマ】 コミュニケーションとは
【内容・方法 等】 ・コミュニケーションについて再考し、クリティカルコミュニケーションとフィードバックコミュニケーションについて考える
【事前・事後学習課題】 キャリア教育について調べてきてください。
モチベーションの意味を調べてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第11回** 【授業テーマ】 キャリア教育とは
【内容・方法 等】 ・キャリア教育とは
・モチベーション
・マズローの5段階の欲求説
【事前・事後学習課題】 「セレンディピティ」の意味を調べてきてください。
あなたの知っている業界をできるだけ多く書き出してきてください。
(安久・高尾担当)
- 第12回** 【授業テーマ】 社会を知ろう
【内容・方法 等】 ・「セレンディピティ」という魔法のことは
・「働く」ということ
・あなたは、どの業界やポジションで仕事をしたいですか？
【事前・事後学習課題】 SPI試験の問題集などで事前に対策をしておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第13回** 【授業テーマ】 SPI試験対策
【内容・方法 等】 ・SPI模擬試験
【事前・事後学習課題】 将来計画について、まとめてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第14回** 【授業テーマ】 大学生活とライフプランの設計図を発表しよう①
【内容・方法 等】 ・各人が大学生活とライフプランの設計図を作成します
【事前・事後学習課題】 ライフプランについて完成させてきてください
(安久・高尾担当)
- 第15回** 【授業テーマ】 大学生活とライフプランの設計図を発表しよう②
【内容・方法 等】 ・各人が作成したライフプランをグループの中で発表し代表を選出します
・SPI模擬試験結果の解説
【事前・事後学習課題】 ライフプランについて、さらに完成度をたかめておいてください。
夏休み中に後期のSPI模擬試験の準備をしておいてください。
(安久・高尾担当)
- 評価方法 (基準)**
レポート (提出物)、授業態度、定期期末試験による総合評価とします。
- 教材等**
教科書…「キャリアデザイン」 安久典宏、羽石寛寿 清風出版
参考書…「大学生のためのキャリア開発入門」 渡辺峻 中央経済社、 「就職筆記試験パーフェクト問題集」 安久典宏 P H P 研究所
- 学生へのメッセージ**
・毎回、出席カードや提出物等で授業の習熟度の確認をします。欠席をしないように。
・グループ学習などでは、他人に迷惑 (遅刻・欠席) をかけないように。
・大学生活のスタートとして重要な科目ですので必修となっています。
・授業の進捗状況で一部内容や進め方を変更することがあります。
- 関連科目**
・「キャリアデザイン入門 (前期)」と「インターンシップ基礎 (後期)」は通年でカリキュラム構成しているので、通年受講することが望ましい。
・「ベンチャービジネス論」の講義は関連が深く、受講しておくことが社会に対する理解を深めることに役立ちます。
・インターンシップの就業体験を希望する者は、「インターンシップ基礎」を履修 (合格) しておくことが望ましい。
- 担当者の研究室等**
11号館6階(経営学部事務室)

キャリアデザイン入門
Introduction to Career Design

安久典宏 (アグ ミチヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	全	後期	必修	2

授業概要・目的・到達目標

大学に入学してきた学生に早い段階で目的意識を持たせ、4年間のキャンパス・ライフを有意義に送るための大学生活導入教育です。

- この講義を通して、
- ①自己理解を深め自分の「強み」と自信が持てるようになる。
 - ②コミュニケーションについて、理解を深める。
 - ③社会 (企業) の変革に対して、自分のワーキングスタイルを今後どう考えるかの理解を深める。
 - ④大学生活およびライフプラン設計ができるようになる。
- を講義の到達目標とします。

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参与方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れます。

科目学習の効果 (資格)

将来の目標を設定するための情報収集や、目標達成に向けた具体的な行動が起こせるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 ・講義の全体的な流れと進め方に関する説明
・社会が求める人材について考える
【事前・事後学習課題】 大学に進学して、何がしたいかを整理しておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第2回** 【授業テーマ】 大学4年間で何をするか①
【内容・方法 等】 ・4年間の行動計画を考える
・目標達成意欲度を診断します
【事前・事後学習課題】 4年間で3大目標をはっきりと決めてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第3回** 【授業テーマ】 大学4年間で何をするか②
【内容・方法 等】 ・目標に向かってどれだけ頑張ろうとしているかを計画に落とし込む
【事前・事後学習課題】 アルバムなどを見て、自分の過去の出来事を思い出しておいてください。
今までの経験から自分のアピールポイントを考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第4回** 【授業テーマ】 「やる気グラフ」から自分を振りかえろう
【内容・方法 等】 ・自分の過去を振りかえり、自分のアピール材料を探す
・自己PR文をまとめるワークをおこなう
【事前・事後学習課題】 自分の将来の夢や目標について、考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第5回** 【授業テーマ】 自分発見マップ作り①
【内容・方法 等】 ・大学生活の過ごし方と将来の目標や夢について、グループワークを通じ発見、確認をする
【事前・事後学習課題】 カードに書き出した内容以外にもエピソードを考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第6回** 【授業テーマ】 自分発見マップ作り②
【内容・方法 等】 自分発見マップのレイアウトと内容を整理、作成
【事前・事後学習課題】 自分発見マップのワークから見えてきた夢などを整理しておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第7回** 【授業テーマ】 自分発見マップ作り③
【内容・方法 等】 ・自分の将来像を一枚の絵にまとめ、グループ発表する
【事前・事後学習課題】 将来設計について自分なりの計画を考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第8回** 【授業テーマ】 ライフプラン設計を考える
【内容・方法 等】 ・大学生活とライフプランの設計図 (リファインシート) 作成を通して、目標設定の考え方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 フリーターとニートの意味を調べてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第9回** 【授業テーマ】 ワーキングスタイルについて考える
【内容・方法 等】 ・日本企業の大きな変化について
・正社員とフリータ、ニートについて考える
【事前・事後学習課題】 コミュニケーションの意味について考えてきてください。
(安久・高尾担当)

- 第10回** 【授業テーマ】 コミュニケーションとは
 【内容・方法 等】 ・コミュニケーションについて再考し、クリティカルコミュニケーションとフィーリングコミュニケーションについて考える
 【事前・事後学習課題】 キャリア教育について調べてきてください。
 モチベーションの意味を調べてきてください。
 (安久・高尾担当)
- 第11回** 【授業テーマ】 キャリア教育とは
 【内容・方法 等】 ・キャリア教育とは
 ・モチベーション
 ・マズローの5段階の欲求説
 【事前・事後学習課題】 「セレンディピティ」の意味を調べてきてください。
 あなたの知っている業界をできるだけ多く書き出してきてください。
 (安久・高尾担当)
- 第12回** 【授業テーマ】 社会を知ろう
 【内容・方法 等】 ・「セレンディピティ」という魔法のことは
 ・「働く」ということ
 ・あなたは、どの業界やポジションで仕事をしたいですか？
 【事前・事後学習課題】 SPI試験の問題集などで事前に対策をしておいてください。
 (安久・高尾担当)
- 第13回** 【授業テーマ】 SPI試験対策
 【内容・方法 等】 ・SPI模擬試験
 【事前・事後学習課題】 将来計画について、まとめてきてください。
 (安久・高尾担当)
- 第14回** 【授業テーマ】 大学生活とライフプランの設計図を発表しよう①
 【内容・方法 等】 ・各人が大学生活とライフプランの設計図を作成します
 【事前・事後学習課題】 ライフプランについて完成させてきてください
 (安久・高尾担当)
- 第15回** 【授業テーマ】 大学生活とライフプランの設計図を発表しよう②
 【内容・方法 等】 ・各人が作成したライフプランをグループの中で発表し代表を選出します
 ・SPI模擬試験結果の解説
 【事前・事後学習課題】 ライフプランについて、さらに完成度を高めておいてください。
 夏休み中に後期のSPI模擬試の準備をしておいてください。
 (安久・高尾担当)
- 評価方法 (基準)**
 レポート (提出物)、授業態度、定期期末試験による総合評価とします。
- 教材等**
 教科書…「キャリアデザイン」 安久典宏、羽石寛寿 清風出版
 参考書…「大学生のためのキャリア開発入門」 渡辺峻 中央経済社、「就職筆記試験パーフェクト問題集」 安久典宏 P H P 研究所
- 学生へのメッセージ**
 ・毎回、出席カードや提出物等で授業の習熟度の確認をします。欠席をしないように。
 ・グループ学習などでは、他人に迷惑 (遅刻・欠席) をかけないように。
 ・大学生活のスタートとして重要な科目ですので必修となっています。
 ・授業の進捗状況で一部内容や進め方を変更することがあります。
- 関連科目**
 ・「キャリアデザイン入門 (前期)」と「インターンシップ基礎 (後期)」は通年でカリキュラム構成しているので、通年受講することが望ましい。
 ・「ベンチャービジネス論」の講義は関連が深く、受講しておくことが社会に対する理解を深めることに役立ちます。
 ・インターンシップの就業体験を希望する者は、「インターンシップ基礎」を履修 (合格) しておくことが望ましい。
- 担当者の研究室等**
 11号館6階(経営学部事務室)

インターンシップ基礎
 Introduction to Internship

安久典宏 (アグ ミチヒロ)
 高尾明照 (タカオ アキテル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

- ①前期のキャリアデザインで履修した自己理解をさらに深め、グループワークなどを通じて自ら発信できるコミュニケーション能力を高めていく。
- ②履歴書の書き方やアピールの方法を学ぶことにより、今やるべきことや将来設計を明確にする。
- ③希望者による工場見学や短期インターンシップを実施し、仕事や社会に対する理解を深める。

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的・自律的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものにする。
 また、より深く仕事について学ぶため、企業見学を行う。

科目学習の効果 (資格)

「ビジネスインターンシップⅡ」の就業体験を有意義に行うための基礎的な考え方や社会の理解を深めるのに役立ちます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
 【内容・方法 等】 ・授業ガイダンス
 ・インターンシップとは
 ・先輩の就職活動状況と社会の動き、組織人に求められる新しい仕事観
 【事前・事後学習課題】 インターンシップの意味を調べてください。
 (安久・高尾担当)
- 第2回** 【授業テーマ】 SPI試験対策
 【内容・方法 等】 ・SPI模擬試験
 【事前・事後学習課題】 SPI試験の問題集などで事前に対策をしておいてください。
 (安久・高尾担当)
- 第3回** 【授業テーマ】 コミュニケーション①
 【内容・方法 等】 ・コミュニケーションの目的
 ・傾聴とは
 【事前・事後学習課題】 傾聴の意味を調べてきてください。
 (安久・高尾担当)
- 第4回** 【授業テーマ】 コミュニケーション②
 【内容・方法 等】 ・アサーションとは
 ・ケースワーク
 ・SPI模擬試験結果の解説
 【事前・事後学習課題】 自分の主張をうまく伝えるには、どうすればいいか考えてきてください。
 (安久・高尾担当)
- 第5回** 【授業テーマ】 社会人基礎力
 【内容・方法 等】 ・社会人基礎力の理解
 ・働くことについて再確認
 【事前・事後学習課題】 社会人に求められる能力について調べてきてください。
 (安久・高尾担当)
- 第6回** 【授業テーマ】 自己分析①
 【内容・方法 等】 ・自分自身の振り返り
 ・心の中にある5人の私
 【事前・事後学習課題】 今までに思い出に残る出来事を5つ書き出してきてください。
 (安久・高尾担当)
- 第7回** 【授業テーマ】 自己分析②
 【内容・方法 等】 ・自己PRのロールプレイング
 ・診断を活用し、自分の職業適性を考える
 【事前・事後学習課題】 他人からほめられたことを3つ書き出してきてください。
 (安久・高尾担当)
- 第8回** 【授業テーマ】 グループ討論①
 【内容・方法 等】 ・グループ討論とは
 ・ブレイン・ストーミング
 【事前・事後学習課題】 グループで話をする場合に大切なことを3つ考えてきてください。
 (安久・高尾担当)
- 第9回** 【授業テーマ】 グループ討論②
 【内容・方法 等】 ・ディベートとは
 ・ロールプレイング
 【事前・事後学習課題】 ディベートの意味を調べてきてください。
 (安久・高尾担当)
- 第10回** 【授業テーマ】 履歴書の書き方を学ぶ
 【内容・方法 等】 ・履歴書を書いてみる

- ・どうすれば、アピールできるか
- 【事前・事後学習課題】履歴書を見る人の立場になって、どんなところに注意したらいいかを3つ考えてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第11回 【授業テーマ】将来設計を考える①
【内容・方法等】・学生生活と将来設計を再確認、修正する
・自分の夢について考える
【事前・事後学習課題】今の目標と将来の夢とうまくつながっているかを考えておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第12回 【授業テーマ】将来設計を考える②
【内容・方法等】・学生生活と将来設計を再確認、修正する
・自分の夢について考える
【事前・事後学習課題】今の目標と将来の夢とうまくつながっているかを考えておいてください。
(安久・高尾担当)
- 第13回 【授業テーマ】マナーを学ぶ
【内容・方法等】・社会人のマナー VTR学習
【事前・事後学習課題】改まった話し方や敬語について調べてきてください。
(安久・高尾担当)
- 第14回 【授業テーマ】インターンシップとは
【内容・方法等】・インターンシップについて考えてみよう
・グループによるプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】企業見学のポイントを考えて書き出してください。
(安久・高尾担当)
- 第15回 【授業テーマ】企業見学・短期インターンシップのための準備
【内容・方法等】・企業見学や短期インターンシップのために何を準備すべきかを考えていきます
・それらの体験を通じ、何を学びたいのかを深めます
【事前・事後学習課題】企業見学やインターンシップになぜ参加したいかを考えてきてください。
(安久・高尾担当)

評価方法 (基準)

講義感想レポート、授業態度、期末試験による総合評価とします。

教材等

教科書…「キャリア教育ワークブック」 羽石寛寿 安久典宏 清風出版
・必要に応じてプリントを配布します
参考書…摂南大学「インターンシップ体験報告集」(2012年度)、「就職筆記試験パーフェクト問題集」(PHP研究所)

学生へのメッセージ

- ・毎回、出席カードや提出物で授業の習熟度の確認をします。欠席をしないように。
- ・グループワークを取り入れます積極的に参画し発言してください
- ・グループ学習などでは、他人に迷惑を(遅刻・欠席)をかけないように
- ・授業の進捗状況で一部内容や進め方を変更することがあります。

関連科目

- ・「キャリアデザイン入門(前期)」と「インターンシップ基礎(後期)」は通年でカリキュラム構成しているので、通年受講することが望ましい。
- ・「ベンチャービジネス論」の講義は関連が深く、受講しておくことが社会に対する理解を深めることに役立ちます。
- ・インターンシップの就業体験を希望する者は、「インターンシップ基礎」を履修(合格)しておくことが望ましい。

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

ビジネスプラン Business Plan				
萩原 貞 幸 (ハギハラ サダユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	全	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

社会経済が激動する昨今、キャリアプランを考える際に「起業」が一つの選択肢になりつつあります。起業は自らの価値観にあった働き方であり、ひいては経済に活力を与える源泉であるといえます。そこで「ビジネスプラン」の講義では、起業環境を認識し、そして起業する際に必要とされるものの学習をはじめ、起業成功確率を高める「ビジネスプラン」の書き方、作り方学びます。また「ビジネスプラン」を実行する際の経営戦略法、市場戦略手法についても解説します。

授業方法と留意点

レジュメ(プリント)を用い講義し、起業・ビジネスプラン・経

営戦略に関する知識の習得だけでなく、実際の起業現場において、どのようなビジネスプランが作成されているのかを体験します。

科目学習の効果(資格)

ビジネス系資格取得のプラス知識になります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 起業・起業環境を知る
【内容・方法等】 起業の現状と課題
日本経済社会の現状とこれからを考える
【事前・事後学習課題】 「生きる」「仕事をする」ことについて考える機会を得る
- 第2回 【授業テーマ】 「働くということ」を考える
【内容・方法等】 自分のキャリアプランを考える
【事前・事後学習課題】 自分の人生について考えてみる
- 第3回 【授業テーマ】 起業家の条件
【内容・方法等】 起業を成功させるためのポイント
【事前・事後学習課題】 自分自身の「起業家」に向いている部分について考えてみる
- 第4回 【授業テーマ】 ビジネスプランとは?
【内容・方法等】 ビジネスプランの目的・必要性・ポイント
【事前・事後学習課題】 ビジネスをはじめるということについて考える
- 第5回 【授業テーマ】 ビジネスアイデアとビジネスモデル
【内容・方法等】 ビジネスアイデアによるビジネスモデルの違い
【事前・事後学習課題】 同業態企業であってもアイデアによってビジネスモデルが違っている
その違いを分析してみる
- 第6回 【授業テーマ】 ビジネスプランニング
【内容・方法等】 ビジネスアイデア発想とビジネスとしての採算性
【事前・事後学習課題】 ビジネスを発想してみる
そしてその採算性について検討しビジネスとして成立するかどうかを考える
- 第7回 【授業テーマ】 ビジネスモデルの構築
【内容・方法等】 ビジネスモデルとは何か、またそのポイントを知る
【事前・事後学習課題】 知っている企業のビジネスモデルについて考える
- 第8回 【授業テーマ】 起業とSNSマーケティング
【内容・方法等】 SNSを活用したマーケティングを知る
【事前・事後学習課題】 SNSを体験してみる
- 第9回 【授業テーマ】 ビジネスプランの書き方・作り方
【内容・方法等】 ビジネスプランの書き方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 ビジネスプランを書いてみる
- 第10回 【授業テーマ】 ビジネスプランの構成と経営戦略
【内容・方法等】 ビジネスプランの構成を学び、実行する際の経営戦略について考える
【事前・事後学習課題】 知っている企業の戦略について考える
- 第11回 【授業テーマ】 ビジネスプラン作成実習(1)
【内容・方法等】 起業家になったつもりで自分の考えていることを、ビジネスプランとして明文化化する
【事前・事後学習課題】 いろいろな業種業態について考えてみる
- 第12回 【授業テーマ】 ビジネスプラン作成実習(2)
【内容・方法等】 フリー時代にマッチしたビジネスプランを作成する
【事前・事後学習課題】 フリー時代の生き方について考えてみる
- 第13回 【授業テーマ】 ビジネスプランのプレゼンテーション
【内容・方法等】 ビジネスプランを完成させ、表現する
【事前・事後学習課題】 作成したビジネスプランをプレゼンテーションしてみる
- 第14回 【授業テーマ】 ビジネスプランのまとめ
【内容・方法等】 ビジネスプラン作成のポイントをおさえる
【事前・事後学習課題】 ビジネスプランのポイントを覚える
- 第15回 【授業テーマ】 レポート作成
【内容・方法等】 「ビジネスプラン」に関して
【事前・事後学習課題】 レポート課題を課す

評価方法 (基準)

授業態度及びレポート

教材等

教科書…プリントを配布します
参考書…中小企業白書(簡易版)

学生へのメッセージ

起業・事業創業は生きがいを求める人生へのチャレンジ。今後のキャリアプランにおいて「起業」という選択肢を用意しておいた方がいい。

関連科目

「ベンチャービジネス論」「ビジネスインターンシップI・II」

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)
11号館8階(羽石教授室)

ビジネスインターンシップI
Business Internship I

安久典宏 (アグ ミチヒロ)
高尾明照 (タカオ アキテル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

- ①組織人に求められる社会的役割および責任、仕事への情熱等を身につけ、主体的に発言できるプレゼンテーション能力の開発を目指す。
- ②インターンシップ体験や就職活動などを積極的にアプローチし、かつ、臨機応変な対応ができるバランスのとれた人格の形成を目指す。

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参加方式の授業のため、演習や発表を多く取り入れたものにする。

科目学習の効果(資格)

将来の職業選択意識を高め適切に行動できるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 ・授業の全体的な流れと進め方に関する説明
・インターンシップの狙いと重要性について
【事前・事後学習課題】 自分がなぜ、インターンシップに参加したいのかを考え、整理しておいてください
(安久・高尾)
- 第2回** 【授業テーマ】 やりたい仕事を探してみよう
【内容・方法 等】 ・自分がやりたい仕事についてワークを通じて考える
・自分の行動特性を考える
【事前・事後学習課題】 自分のやりたい職種を3つ考えてきてください
(安久・高尾)
- 第3回** 【授業テーマ】 アルバイトと正社員の違いについて考える
【内容・方法 等】 ・仕事の内容から求められる能力や資質について考える
【事前・事後学習課題】 アルバイトと正社員との違いを比較表にしてまとめてきてください
(安久・高尾)
- 第4回** 【授業テーマ】 自分のキャリアスタイルを考える
【内容・方法 等】 ・キャリアスタイルの分析を通じて、自分の行動特性をチェックする
・見えてきた自分の強みをグループでPRする
【事前・事後学習課題】 自分の長所と短所を3つずつ考えてきてください
(安久・高尾)
- 第5回** 【授業テーマ】 業界研究①
【内容・方法 等】 ・業界研究ワーク
・企業研究の仕方
・求人票の見方
【事前・事後学習課題】 自分の興味がある業界を3つ考えてきてください
(安久・高尾)
- 第6回** 【授業テーマ】 業界研究②
【内容・方法 等】 ・同じ業界グループで求められる人材像を考える
【事前・事後学習課題】 自分が希望する業界の優先順位を付け、その理由も考えてきてください
(安久・高尾)
- 第7回** 【授業テーマ】 事前訪問事業所の調査
【内容・方法 等】 ・事業所への事前訪問のシナリオを考える
【事前・事後学習課題】 事前訪問企業の業種や職種を決めておいてください
(安久・高尾)
- 第8回** 【授業テーマ】 インターンシップ先の選定について
【内容・方法 等】 ・インターンシップ先を自分の学科と関連ある企業とマッチングをはかる
【事前・事後学習課題】 自分のインターンシップの目的を明確にしておいてください
(安久・高尾)
- 第9回** 【授業テーマ】 企業の求める人材像
【内容・方法 等】 ・企業管理者による講演会(予定)
【事前・事後学習課題】 ・企業管理者の業界について調べ、400字程度にまとめてきてください
(安久・高尾)
- 第10回** 【授業テーマ】 履歴書・エントリーシートについて①
【内容・方法 等】 ・履歴書・エントリーシートの書き方と留意点
【事前・事後学習課題】 自分のPR材料を探し、200字程度のPR文章を書いてきてください

- (安久・高尾)
- 第11回** 【授業テーマ】 履歴書・エントリーシートについて②
【内容・方法 等】 履歴書とエントリーシートの作成
【事前・事後学習課題】 面接場面を想定し、自己アピールできる文章を考えてきてください
(安久・高尾)
- 第12回** 【授業テーマ】 企業研究①
【内容・方法 等】 ・企業の採用側と応募者側とのロールプレイング①
【事前・事後学習課題】 自分が関心ある企業のホームページから採用情報を集めてきてください
(安久・高尾)
- 第13回** 【授業テーマ】 企業研究②
【内容・方法 等】 ・企業の採用側と応募者側とのロールプレイング②
【事前・事後学習課題】 ロールプレイングを行う企業について、ホームページでも調べてきてください
(安久・高尾)
- 第14回** 【授業テーマ】 事前訪問の報告
【内容・方法 等】 ・グループで事前訪問した事業所の報告
・グループでの代表者による発表
【事前・事後学習課題】 事前訪問結果をまとめておいてください
(安久・高尾)
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 ・インターンシップ体験に向けての準備
・インターンシップに参加するための目的を明確にする
【事前・事後学習課題】 なぜ、インターンシップに参加するかを明確にし、200字程度の文章にまとめてください
(安久・高尾)

評価方法(基準)

レポート、授業態度、定期期末試験による総合評価とします。

教材等

教科書…「キャリア教育ワークブック」羽石寛寿、安久典宏 清風出版
参考書…摂南大学「インターンシップ体験レポート集」、「就職筆記試験パーフェクト問題集」安久典宏 P H P 研究所

学生へのメッセージ

インターンシップの流れ(予定)
4月下旬に事業所リスト公開→5月上旬に希望事業所の絞り込み
→5月下旬に受け入れ可能かの回答→7月上旬に事前訪問→8月11日(日)～9月10日(火)の間(夏季休暇期間中)に、原則2週間(実質10日以上)のインターンシップ体験をすること。

関連科目

「ビジネスインターンシップII」(企業等での就業体験実習)を希望する学生は、必ずこの科目を同時履修すること。

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

備考

授業の進捗状況により一部内容や進め方を変更することがあります。

ビジネスインターンシップII
Business Internship II

安久典宏 (アグ ミチヒロ)
高尾明照 (タカオ アキテル)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期非終講	選択	2

授業概要・目的・到達目標

- ①就職の準備をしている学生を対象に、職業人としての社会的役割および責任、仕事への情熱と意欲、組織人としての在り方等について自ら学習します。
- ②責任を自覚して主体的に発言・行動ができるバランスのとれた人格の形成を目指す。
- ③インターンシップを通して「企業とは」「組織とは」「仕事とは」について学び、就職に対する心構えを養う。

授業方法と留意点

- ①「事前指導(講義)」「インターンシップ(実習・研修)」「事後指導(就業体験の発表)」すべてに出席(参加)すること。
- ②無断欠席は絶対にしないこと。必ず事前連絡を事務室にすること。
- ③事前に授業のある土曜日のスケジュールは、確保しておくこと。
- ④全学部代表による発表会を11月上旬の土曜日に予定しているため、全員リクルートスーツ着用で出席のこと。
- ⑤体験報告書のゼミ担当教員名欄には署名と押印がされたものを、期日までに提出のこと。
- ⑥「ビジネスインターンシップ」実習記録簿は、毎日実習日誌を書き、受け入れ先担当者のコメントと署名押印をもらい、イ

ンターシップ終了後は、所定の必要事項を記入しゼミ担当教員氏名欄に署名、押印されたものを、期日までに提出のこと。
⑦実習期間は、実質10日間以上でないとう単位履修したことにはならないので、くれぐれも注意すること。

科目学習の効果（資格）

- ①就業体験を通して、実社会への足掛かりをつかむ
- ②職業意識を高め、職業選択を適切に行い、就職活動への意欲を高める。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 事前教育① 6月29日(土) 1限目
【内容・方法 等】 インターンシップの心構え、体験報告書等について
マナー講座（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】 ビジネスマナーについて考える
★（スーツ着用で参加してください）
（安久・高尾）
- 第2回** 【授業テーマ】 事前教育② 6月29日(土) 2限目
【内容・方法 等】 マナー講座（学外講師を含む）
（授業終了後、インターンシップ先が同一の他学部の学生との顔合わせを行います）
【事前・事後学習課題】 正しい電話のかけ方を考える
（スーツ着用で参加してください）
★次回の授業前に「履歴書」と体験実習先での「テーマと内容」を提出してください
（安久・高尾）
- 第3回** 【授業テーマ】 事前教育③ 7月13日(土) 1限目
【内容・方法 等】 パソコン講習Ⅰ（情報センター職員を含む）
【事前・事後学習課題】 エクセルとワードについて事前にトレーニングしてください
（安久・高尾）
- 第4回** 【授業テーマ】 事前教育④ 7月13日(土) 2限目
【内容・方法 等】 パソコン講習Ⅱ（情報センター職員を含む）
【事前・事後学習課題】 エクセルとワードについて事前にトレーニングしてください
（安久・高尾）
- 第5回** 【授業テーマ】 インターンシップ（就業体験実習）
【内容・方法 等】 夏期休暇期間中の8月11日（日）～9月10日（火）の間、原則2週間（実質10日間以上）の実習を行う
【事前・事後学習課題】 事前に企業等の理念や事業内容について調べ、ノートにまとめておいてください
（安久・高尾）
- 第6回** 【授業テーマ】 インターンシップ（就業体験実習）
【内容・方法 等】 夏期休暇期間中の8月11日（日）から9月10日（火）日の間に、原則2週間（実質10日間以上）の実習を行う
【事前・事後学習課題】 インターンシップのテーマ（ねらい、目的）を決め参加してください
（安久・高尾）
- 第7回** 【授業テーマ】 体験報告書の作成
【内容・方法 等】 体験報告書の作成指導
【事前・事後学習課題】 報告書の書き方を熟読してください
（安久・高尾）
- 第8回** 【授業テーマ】 体験報告書のゼミ教員指導
【内容・方法 等】 ゼミの先生による体験報告書のチェック（署名、押印）と指導
【事前・事後学習課題】 誤字・脱字がないか確かめてから指導を受けてください
（安久・高尾）
- 第9回** 【授業テーマ】 報告書の提出
【内容・方法 等】 インターンシップ担当教員における体験報告書のチェックと指導
★（担当教員への提出と教務課へ電子データを<期日厳守>9月19日（木）までに提出）
【事前・事後学習課題】 何度も読み返して報告書の内容を推敲してください
（安久・高尾）
- 第10回** 【授業テーマ】 事後指導① 9月21日(土) 1限目
【内容・方法 等】 「インターンシップに参加して」①
インターンシップ終了学生によるグループ発表と選抜
【事前・事後学習課題】 7分間で体験報告ができるように各自まとめて出席してください
（時間が短かったり、長すぎないように注意してください）
（安久・高尾）
- 第11回** 【授業テーマ】 事後指導② 9月21日(土) 2限目
【内容・方法 等】 「インターンシップに参加して」②
グループ代表による発表と選抜
【事前・事後学習課題】 7分間で体験報告ができるように各自まとめて出席してください
（時間が短かったり、長すぎないように注意してください）
（安久・高尾）
- 第12回** 【授業テーマ】 事後指導③ 9月28日(土) 1限目
【内容・方法 等】 グループ代表者の発表「インターンシップに参加して」③
★発表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備し

てください

【事前・事後学習課題】 グループ代表者は12分で報告できるようなパワーポイントにまとめてください
（パワーポイントは、文字の大きさや見やすさに気を配ってください）
（安久・高尾）

- 第13回** 【授業テーマ】 事後指導④ 9月28日(土) 2限目
【内容・方法 等】 グループ代表者の発表「インターンシップに参加して」④
学生代表の発表と選抜
★発表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください
【事前・事後学習課題】 グループ代表者は12分で報告できるようなパワーポイントにまとめてください
（パワーポイントは、文字の大きさや見やすさに気を配ってください）
（安久・高尾）
- 第14回** 【授業テーマ】 事後指導⑤ 10月26日（土） 1限目
【内容・方法 等】 全体報告（経営学部）「インターンシップに参加して」⑤
★学生代表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください
★授業開始前までに体験報告書と実習記録簿を提出すること
【事前・事後学習課題】 学生代表者はパワーポイントで報告してください(15分程度)
（安久・高尾）
- 第15回** 【授業テーマ】 事後指導⑥ 10月26日（土） 2限目
【内容・方法 等】 全体報告（経営学部）「インターンシップに参加して」⑥
★学生代表者は、当日までにパワーポイントでの発表を準備してください
★体験及び報告会の感想をレポートにまとめて提出してください
【事前・事後学習課題】 ★参加者全員、リクルートスーツ着用
（安久・高尾）
- 評価方法（基準）**
企業が採点する報告書と学生が提出するインターンシップ報告書および体験発表、授業態度による総合評価とする。
- 教材等**
教科書…「キャリア教育ワークブック」 羽石寛寿 安久典宏 清風出版
・適宜プリントやVTR、パワーポイントを使用する。
参考書…摂南大学「インターンシップ 体験報告集」(2012年度)
- 学生へのメッセージ**
①「ビジネスインターンシップⅠ」を同時履修すること。
②3年次で履修するのが望ましい。
③3月28日（木）に行うガイダンスに出席し、「ビジネスインターンシップⅡ」の受講申込書を提出すること。
④履修希望者が多い場合は、選考する場合がある。
- 関連科目**
教養科目「ビジネスインターンシップⅠ」を必ず合格していること。
- 担当者の研究室等**
11号館6階(経営学部事務室)
- 備考**
授業の進捗状況により一部内容や進め方を変更することがある。

情報と職業
Information and Career

北尾隆夫 (キタオ タカオ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

社会に巣立っていく学生諸氏を対象に、情報化の進展がいろいろな職業や我々の生活に及ぼす影響、情報社会における職業観や勤労観について講義する。特に職業人としての情報活用能力の必要性や社会的役割および責任、組織人としてのコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の重要性について探求する。
学習・教育目標：情報の教員免許として要求されている「情報と職業」の内容について理解させます。
学科の学習・教育目標との対応[A]

授業方法と留意点

教師からの一方的な講義ではなく、学生自身による主体的な参画方式の授業のため、レポートや発表を多く取り入れたものにする。
必要に応じてプリントやパワーポイントにより新しい動向を紹介いたします。

科目学習の効果（資格）

教員免許(情報)を取得するためには、この科目が必修となっています。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 はじめに - 職業開発と情報化の意義 -
 【内容・方法 等】 ・授業ガイダンス
 ・教育免許法施行規則での位置づけについて解説します。
 【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んでください。
- 第2回** 【授業テーマ】 情報社会の概念
 【内容・方法 等】 ・情報社会とは、どのようなことを指すのかを説明すると同時に、情報社会への対応策について解説します。
 【事前・事後学習課題】 新聞から情報社会についての記事を探して持ってきてください。
- 第3回** 【授業テーマ】 情報社会における職業観や労働観
 【内容・方法 等】 ・わが国の産業界の特徴について解説します。
 ・職業観と職業生活に対する意識について解説します。
 【事前・事後学習課題】 情報産業についてどのようなものがあるか調べてください。
- 第4回** 【授業テーマ】 情報化社会と私たちの暮らし I
 【内容・方法 等】 ・情報化社会における危機管理について解説します。
 ・高齢化社会と社会保障について解説します。
 【事前・事後学習課題】 高齢化社会の問題について調べてください。
- 第5回** 【授業テーマ】 情報化社会と私たちの暮らし II
 【内容・方法 等】 ・高学歴社会と自己学習力について解説します。
 ・労働時間の短縮と余暇の利用について解説します。
 【事前・事後学習課題】 余暇の使い方について考えてください。
- 第6回** 【授業テーマ】 情報技術と高等教育
 【内容・方法 等】 ・情報社会で活躍する人材について解説します。
 ・情報通信技術遠隔学習について解説します。
 【事前・事後学習課題】 生涯学習の意味を調べてください。
- 第7回** 【授業テーマ】 情報技術と社会の改革 I
 【内容・方法 等】 ・情報と情報通信技術について解説します。
 ・情報化社会とIT革命について解説します。
 【事前・事後学習課題】 IT革命とは何でしょう、調べてください。
- 第8回** 【授業テーマ】 情報技術と社会の改革 II
 【内容・方法 等】 ・企業組織の情報化について解説します。
 ・政府・電子自治体の情報化について解説します。
 【事前・事後学習課題】 電子決済について調べてください。
- 第9回** 【授業テーマ】 情報技術と人材育成 I
 【内容・方法 等】 ・企業活動と人材育成について解説します。
 ・公的資格と社会認知について解説します。
 【事前・事後学習課題】 皆さんに関係する資格を書き出してください。
- 第10回** 【授業テーマ】 情報技術と人材育成 II
 【内容・方法 等】 ・情報技術を利用した企業教育について解説します。
 ・情報産業における職制と職種について解説します。
 【事前・事後学習課題】 企業における教育の必要性について考えてください。
- 第11回** 【授業テーマ】 情報産業と国際化 I
 【内容・方法 等】 ・情報技術革命とは何かについて解説します。
 ・インターネット革命と日本企業について解説します。
 【事前・事後学習課題】 情報社会における企業の姿について考えてください。
- 第12回** 【授業テーマ】 情報産業と国際化 II
 【内容・方法 等】 ・情報産業における国際規格について解説します。
 ・情報産業におけるビジネスモデルと情報倫理について解説します。
 【事前・事後学習課題】 情報と国際化について、今後の姿を考えてください。
- 第13回** 【授業テーマ】 情報と職業のまとめ
 【内容・方法 等】 ・情報が職業開発に及ぼす影響についてのプレゼンテーション
 【事前・事後学習課題】 授業を受けてのまとめをしてください。
- 第14回** 【授業テーマ】 情報と職業のレポート発表
 【内容・方法 等】 ・レポートを発表していただきます。
 【事前・事後学習課題】 レポートの発表準備をしてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 授業全体のまとめ
 【内容・方法 等】 ・情報と職業の講義についてのまとめと感想
 【事前・事後学習課題】 情報と職業の全体のまとめをしてください。

評価方法（基準）

全体評価は、平常評価（35%）と学期末試験評価（65%）により行います。

平常評価は、課題レポートまたは小テスト、授業ごとの感想レポートにより行い、学期末試験評価は、文章力向上の目的も兼ねて論述中心の試験を実施し評価します。

教材等

教科書…近藤 勲編著 「情報と職業」 丸善株式会社
 参考書…熊田三喜男編著 「情報時代の社会・経営」 学文社

学生へのメッセージ

- ・ 毎回出席をとります〔連絡カード配付〕。遅刻をしないようにしてください。
- ・ 座席は前から詰めて着席してください〔座席は指定しません〕。
- ・ 授業中の私語は謹んでください〔真面目な受講者の弊害となる場合は退場戴く場合もあります〕。

関連科目

情報科学関連や職業開発に関する講義を受講しておくことが理解を深めることに役立ちます。

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

民法I Civil Law I				
大川 謙 蔵(オオカワ ケンゾウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

民法Iおよび民法IIを通じて、民法というものの全体を扱います。各講座は選択制ですので、民法は財産法と呼ばれる部分を、民法講は家族法と呼ばれる部分を扱います。しかし、時間との関係から全体像をとらえることが中心となります。そこで、重要な部分については資料などで補足も行う予定です。

授業方法と留意点

講義形式で行う予定です。復習などのために資料を配布することもします。また、法律科目ですので、六法が必要であるということを留意してください。

科目学習の効果（資格）

宅地建物取引主任者、行政書士などをを目指す人の入門として

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 法律学および民法
 【内容・方法 等】 法律科目というもののガイダンス、法律一般および民法の概要について確認する予定です。
 【事前・事後学習課題】 新聞などから、目次も含め、教科書から興味を持てる部分を是非見つけてください。
- 第2回** 【授業テーマ】 民法と財産法総論
 【内容・方法 等】 法律というものが対象としているものなどを大きく捉え、その中で民法典の役割を確認し、さらに財産法の内容を確認していく予定です。
 【事前・事後学習課題】 1回目の内容から、自分の周りに存在する財産法と関連する問題を考えてみて下さい。
- 第3回** 【授業テーマ】 民法と契約という制度①
 【内容・方法 等】 契約という制度を通して、社会における法律関係を確認していく予定です。
 【事前・事後学習課題】 現実の生活の中で、どのような契約をしているのかなどを把握してみてください。
- 第4回** 【授業テーマ】 民法と契約という制度②
 【内容・方法 等】 契約をするうえで、何らかの問題がある場合を前回に続いて確認する予定です。
 【事前・事後学習課題】 人は間違いをしてしまうものです。契約において何らかの問題があった場合の事例の対処方法などを考えてください。
- 第5回** 【授業テーマ】 民法における人という存在
 【内容・方法 等】 契約をすることができるのは誰なのか、また単独では契約ができない人がいるのかなどを確認する予定です。
 【事前・事後学習課題】 これまでの経験から、法的に自分が置かれている立場を理解し、なぜ親の同意が必要だったのかを考えてください。
- 第6回** 【授業テーマ】 代理
 【内容・方法 等】 人は完全に自分ひとりで物事を処理できません。契約もそうです。その場合に、代わりに契約を行ってくれる人が必要となります。そのような人についてみていく予定です。
 【事前・事後学習課題】 他人が自分のために契約をしてくれる便利さと怖さを確認してください。
- 第7回** 【授業テーマ】 時効
 【内容・方法 等】 契約は無限に続くのか、他人の物を知らずに占有しているとどのようなこととなるのかなどを確認する予定です。
 【事前・事後学習課題】 犯罪捜査における時効とは何が違い、また時効の必要性についても考えてください。

- 第8回** 【授業テーマ】 契約の締結
 【内容・方法 等】 契約を締結するとはどのようなことなのかを確認する予定です。
 【事前・事後学習課題】 友達との約束についても法的に考えてみてください。
- 第9回** 【授業テーマ】 所有権を通しての物権
 【内容・方法 等】 人が物を所持すること、すなわち支配することを、法律はどのように考えているのかを見ていく予定です。
 【事前・事後学習課題】 他人が自分の物を返さないという経験がこれまでありましたか？これを、法的に考えてみてください。
- 第10回** 【授業テーマ】 不法行為①
 【内容・方法 等】 他人に損害を与えてしまい、賠償をしなければならぬことを、法的に見ていきます。
 【事前・事後学習課題】 交通事故や約束違反によって生じた損害は、賠償により回復することができるのでしょうか。考えてみてください。
- 第11回** 【授業テーマ】 不法行為②
 【内容・方法 等】 現代社会は進歩が激しく、法律も新しい局面に向かいあう必要が生じています。そこで、不法行為の制度をより多角的に見ていく予定です。
 【事前・事後学習課題】 他人に損害賠償を請求するということの難しさを考えてみてください。
- 第12回** 【授業テーマ】 事務管理・不当利得
 【内容・方法 等】 契約や不法行為とは異なった形で、他人との間で法的な関係が生じる場合をみます。
 【事前・事後学習課題】 人情を法律でとらえることや、契約終了後の関係について考えてください。
- 第13回** 【授業テーマ】 債務の弁済について①
 【内容・方法 等】 契約を守ってもらえない場合に対して、あらかじめ対処する方法などを見る予定です。
 【事前・事後学習課題】 お金の貸し借りの難しさと、その対処方法を考えてみてください。
- 第14回** 【授業テーマ】 債務の弁済について②
 【内容・方法 等】 担保をという制度を把握し、それが実行されたのちの関係などをみる予定です。
 【事前・事後学習課題】 他人を信頼することの難しさ、債権というものを担保する必要性を今一度考えてください。
- 第15回** 【授業テーマ】 講義のまとめ
 【内容・方法 等】 講義全体のまとめをしながら、財産法を持つ意義をもう一度確認する予定です。
 【事前・事後学習課題】 全体的な復習を通して、財産法とはどのような視点から見るべきかを考えてみてください。

評価方法（基準）
 講義中の復習テストを2回行い、各10点として評価に加えます。残りは定期試験で評価します。ただし、講義の進行状況により適宜課題を求め、それを考慮することがあり得ることも留意しておいてください。

教材等
 教科書…野村豊弘『民法入門（第5版補訂版）』（有斐閣）（1600円+税）。
 出版社は問いませんので、六法を必携としています。初回に案内はいたします。
 参考書…適宜指示いたします。

学生へのメッセージ
 講義内容の性質から、民法以外の法律にも触れることとなります。それゆえ、民法以外の法にも興味を持っていただけると、より理解が進むと思います。

関連科目
 後期の民法Ⅱと共に受講をしていただきたいと思います。
担当者の研究室等
 11号館9階 大川研究室

民法Ⅱ Civil Law II				
大川 謙 蔵 (オオカワ ケンゾウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 民法Ⅰおよび民法Ⅱを通じて、民法というものの全体を扱います。各講座は選択制ですので、民法は財産法と呼ばれる部分を、民法講は家族法と呼ばれる部分を扱います。しかし、時間との関係から全体像をとらえることが中心となります。そこで、重要な部分については資料などで補足も行う予定です。

授業方法と留意点
 講義形式で行う予定です。復習などのために資料を配布することもあります。また、法律科目ですので、六法が必要であるということ留意してください。

- 科目学習の効果（資格）**
 宅地建物取引主任者、行政書士などを目指す人の入門として
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回** 【授業テーマ】 財産法と家族法の確認
 【内容・方法 等】 民法Ⅰでみた財産法の内容について確認しつつ、家族法の全体を確認する予定です。
 【事前・事後学習課題】 前期で扱った財産法の部分を復習しておいて下さい。
- 第2回** 【授業テーマ】 家族法総論
 【内容・方法 等】 家族法全体について、また家族とはどのようなものなのかを見ていく予定です。
 【事前・事後学習課題】 家族とはどのような人たちか、法的にどのように考えられているのかを確認すること。ここで確認した用語を今後使用します。
- 第3回** 【授業テーマ】 婚姻
 【内容・方法 等】 婚姻がどのようにすると成立し、その結果どのような義務が生じるのかなどを見ていく予定です。
 【事前・事後学習課題】 誰とでも婚姻できるのか、婚姻する意味を考えてください。
- 第4回** 【授業テーマ】 婚姻の効果ならびに離婚
 【内容・方法 等】 婚姻が成立するとどのような権利義務が生じるのかを確認する予定です。また、婚姻関係が終了する場合の一つである、離婚についても簡単に確認する予定です。
 【事前・事後学習課題】 一緒に住むこと以外にも、婚姻には大きな意義があることを確認すること。
- 第5回** 【授業テーマ】 離婚に関する諸問題
 【内容・方法 等】 離婚原因を確認し、離婚の際に生じる問題を確認していく。
 【事前・事後学習課題】 国家が認める婚姻関係を解消することの重大性を今一度確認すること。
- 第6回** 【授業テーマ】 婚姻類似の関係
 【内容・方法 等】 婚姻関係にないが内縁関係のように、類似する場面もある。それを法的にどのようにとらえるのかをみる。
 【事前・事後学習課題】 なぜ、そのような関係を保護するのか、その必要性を考えること。
- 第7回** 【授業テーマ】 親子関係
 【内容・方法 等】 親子は互いにどのような権利義務関係があるのか、また、子の扱いが異なる現状を確認する。
 【事前・事後学習課題】 法律が完全に正義を実現しているのかどうかを考える重要な問題が出てきます（非嫡出子の問題）。それを考えること。
- 第8回** 【授業テーマ】 養子縁組
 【内容・方法 等】 実子以外と親子関係を形成する手段である養子縁組の制度を見ながら、現代の生殖補助の問題も確認する予定です。
 【事前・事後学習課題】 養子制度の必要性や現代における科学技術の進歩についても意識する必要がある。
- 第9回** 【授業テーマ】 親権
 【内容・方法 等】 親は子に対してどのような義務を負うのかを確認していく。
 【事前・事後学習課題】 法的に負わされた義務を本当に社会において実現されているのかを考えてみること。
- 第10回** 【授業テーマ】 相続について
 【内容・方法 等】 相続の意義や誰が相続できるのかについて確認する。
 【事前・事後学習課題】 法律がどのような範囲で相続を認めているのかを理解するため、家族というものを復習しておくこと。
- 第11回** 【授業テーマ】 相続できる者とは
 【内容・方法 等】 相続とはどのような人間関係に成立するのかを見る予定です。
 【事前・事後学習課題】 誰でも相続できるのでしょうか。なぜ相続で争うのでしょうか。考えて下さい。
- 第12回** 【授業テーマ】 相続分について
 【内容・方法 等】 誰がどのような内容を相続するのかについて確認する。
 【事前・事後学習課題】 多少の計算が必要となります。自分の家族などに置き換えて、頭の中で考えること。
- 第13回** 【授業テーマ】 相続分の調整原理
 【内容・方法 等】 相続が開始したとしても、それまでに多くの財産をもらっていた人や、財産形成に寄与した人もいます。その場合の調整方法を確認する。
 【事前・事後学習課題】 計算などの場合、具体例を想定して考える必要があるため、あわせて考えること。
- 第14回** 【授業テーマ】 遺言
 【内容・方法 等】 相続における被相続人の意思を遺す方法やその問題点を確認する。
 【事前・事後学習課題】 遺言の重要性と、不明確な場合の問題を現実の例から確認すること。
- 第15回** 【授業テーマ】 遺留分および、講義のまとめ
 【内容・方法 等】 相続人が最低限確保することが認められている相続分の意義について確認していく。また、講義全体のまとめにも入りたい。

【事前・事後学習課題】 全体の復習をしておくこと。

評価方法 (基準)

講義中の復習テストを2回行い、各10点として評価に加えます。残りは定期試験で評価します。ただし、講義の進行状況により適宜課題を求め、それを考慮することがあり得ることも留意しておいてください。

教材等

教科書…教科書の指定はしません。ただし、出版社は問いませんので、六法を必携としています。初回に案内はいたします。

参考書…野村豊弘『民法入門 (第5版)』(有斐閣) (1600円+税)。

学生へのメッセージ

講義内容の性質から、民法以外の法律にも触れることとなります。それゆえ、民法以外の法にも興味を持っていただけると、より理解が進むと思います。

関連科目

民法Ⅰの内容を前提に講義をいたします。ただし、やる気のある方は受講して下さってかまいません。

担当者の研究室等

11号館9階 大川研究室

会社法Ⅰ Corporate Law I				
高田尚彦 (タカダ ナオヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

会社法Ⅰでは、各種会社のうち株式会社を中心に会社法の講義を行います。株式会社の設立、株式、株式会社の機関について、その基本的な制度および概念を理解することに主眼を置き、理解しやすいように具体例を示しながら解説します。もちろん、法律科目であるから、条文についても適宜参照し、理解を深めることができるように説明を行います。

授業方法と留意点

会社法の教科書に合わせて授業を進行します。必要に応じて補足資料を配布します。

科目学習の効果 (資格)

会社就職後に必要な知識を習得できるとともに、各種試験 (法学検定、法科大学院、公務員、公認会計士など) の対策となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 授業内容、授業の進め方、評価方法についての説明。会社法の概要。
【事前・事後学習課題】 教科書p.1~p.4を読んでおくこと。
- 第2回 【授業テーマ】 会社法総論
【内容・方法等】 会社の概念、会社の種類、会社法総則。
【事前・事後学習課題】 教科書p.5~p.18を読んでおくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 株式会社の設立
【内容・方法等】 株式会社の設立総説、設立手続、設立の無効。
【事前・事後学習課題】 教科書p.19~p.34を読んでおくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 株式 (1)
【内容・方法等】 株式総説、株主名簿。
【事前・事後学習課題】 教科書p.34~p.41を読んでおくこと。
- 第5回 【授業テーマ】 株式 (2)
【内容・方法等】 株式の譲渡、自己株式。
【事前・事後学習課題】 教科書p.41~p.47を読んでおくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 株式 (3)
【内容・方法等】 株式の併合・分割・無償割当て、単元株式数、募集株式の発行、株券。
【事前・事後学習課題】 教科書p.47~p.54を読んでおくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 新株予約権
【内容・方法等】 新株予約権の意義、新株予約権原簿、新株予約権の譲渡。
【事前・事後学習課題】 教科書p.54~p.59を読んでおくこと。
- 第8回 【授業テーマ】 株式会社の機関 (1)
【内容・方法等】 株式会社の機関総説。
【事前・事後学習課題】 教科書p.59~p.61を読んでおくこと。
- 第9回 【授業テーマ】 株式会社の機関 (2)
【内容・方法等】 株主総会、種類株主総会。
【事前・事後学習課題】 教科書p.62~p.76を読んでおくこと。
- 第10回 【授業テーマ】 株式会社の機関 (3)
【内容・方法等】 役員等の選任および終任、取締役、取締役会。
【事前・事後学習課題】 教科書p.76~p.95を読んでおくこと。
- 第11回 【授業テーマ】 株式会社の機関 (4)
【内容・方法等】 会計参与、監査役・監査役会、会計監査人。
【事前・事後学習課題】 教科書p.95~p.104を読んでおくこと。
- 第12回 【授業テーマ】 株式会社の機関 (5)
【内容・方法等】 委員会設置会社。

【事前・事後学習課題】 教科書p.104~p.115を読んでおくこと。

第13回

【授業テーマ】 株式会社の機関 (6)

【内容・方法等】 役員等の責任、株主の差止請求権、株主代表訴訟。

【事前・事後学習課題】 教科書第p.115~p.132を読んでおくこと。

第14回

【授業テーマ】 計算、定款の変更

【内容・方法等】 会計帳簿、計算書類、資本金と準備金、剰余金の配当、定款の変更。

【事前・事後学習課題】 教科書p.132~p.145を読んでおくこと。

第15回

【授業テーマ】 解散、清算、会社法Ⅰまとめ

【内容・方法等】 解散原因、解散の効果、通常清算、特別清算、会社法Ⅰ総括。

【事前・事後学習課題】 教科書p.146~p.150を読んでおくこと。

評価方法 (基準)

原則として、定期試験の結果によって評価する。

教材等

教科書…加藤徹・塚本和彦 (編)「新会社法の基礎」(法律文化社2009年) (2,600円+税130円)

参考書…授業中に適宜示します。

学生へのメッセージ

会社法は、条文が多く複雑な印象を受けますが、理解が進むにつれて経済に深く関わる新聞記事も理解できるようになってきます。積極的に授業に参加し、基本的知識を習得してください。最新版六法を必携のこと。

関連科目

会社法Ⅱ、民法、企業論、企業簿記。

担当者の研究室等

11号館6階 法学部

会社法Ⅱ Corporate Law II				
高田尚彦 (タカダ ナオヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

会社法Ⅱでは、会社法Ⅰで習得した知識をもとに、組織再編を中心に会社法の講義を行います。株式会社の合併・分割・事業譲渡について、その基本的な制度および概念を理解することに主眼を置き、理解しやすいように具体例を示しながら解説します。もちろん、法律科目であるから、条文についても適宜参照し、理解を深めることができるように説明を行います。

授業方法と留意点

会社法の教科書に合わせて授業を進行します。必要に応じて補足資料を配布します。

科目学習の効果 (資格)

会社就職後に必要な知識を習得できるとともに、各種試験 (法学検定、法科大学院、公務員、公認会計士など) の対策となる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 授業内容、授業の進め方、評価方法についての説明。会社法の概要。
【事前・事後学習課題】 教科書p.1~p.4を読んでおくこと。
- 第2回 【授業テーマ】 会社法Ⅰまとめ (1)
【内容・方法等】 会社法総論、株式会社の設立について、会社法Ⅰのまとめ。
【事前・事後学習課題】 教科書p.5~p.34を読んでおくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 会社法Ⅰまとめ (2)
【内容・方法等】 株式、新株予約権について、会社法Ⅰのまとめ。
【事前・事後学習課題】 教科書p.34~p.59を読んでおくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 会社法Ⅰまとめ (3)
【内容・方法等】 株式会社の機関、計算について、会社法Ⅰのまとめ。
【事前・事後学習課題】 教科書p.59~p.148を読んでおくこと。
- 第5回 【授業テーマ】 持分会社
【内容・方法等】 持分会社の設立、社員、計算等。
【事前・事後学習課題】 教科書p.151~p.169を読んでおくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 社債
【内容・方法等】 社債の種類、社債の発行、社債権者の権利、社債権者集会。
【事前・事後学習課題】 教科書p.170~p.180を読んでおくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 組織再編 (1)
【内容・方法等】 組織再編総説
【事前・事後学習課題】 事前に配布する補足資料を読んでおくこと。
- 第8回 【授業テーマ】 組織再編 (2)
【内容・方法等】 合併の手続き、簡易合併、合併無効の訴え、合併対価の柔軟化。

- 第9回 【事前・事後学習課題】 教科書p.181～p.191を読んでおくこと。
【授業テーマ】 組織再編（3）
【内容・方法等】 会社分割の意義、吸収分割と新設分割、分割手続、会社分割無効の訴え。
- 第10回 【事前・事後学習課題】 教科書p.191～p.194を読んでおくこと。
【授業テーマ】 組織再編（4）
【内容・方法等】 株式交換の意義、手続、株式交換の無効の訴え。
- 第11回 【事前・事後学習課題】 教科書p.194～p.197を読んでおくこと。
【授業テーマ】 組織再編（5）
【内容・方法等】 株式移転の意義、手続、株式移転の無効の訴え。
- 第12回 【事前・事後学習課題】 前回の授業の復習をしておくこと。
【授業テーマ】 組織再編（6）
【内容・方法等】 事業譲渡・事業の譲受け
- 第13回 【事前・事後学習課題】 教科書p.197～p.200を読んでおくこと。
【授業テーマ】 組織再編（7）
【内容・方法等】 組織変更の意義、株式会社から持分会社への組織変更、持分会社から株式会社への組織変更。
- 第14回 【事前・事後学習課題】 教科書p.200～p.202を読んでおくこと。
【授業テーマ】 外国会社・雑則
【内容・方法等】 外国会社、会社の解散命令、公告。
- 第15回 【事前・事後学習課題】 教科書p.203～p.211を読んでおくこと。
【授業テーマ】 会社法Ⅱまとめ
【内容・方法等】 会社法Ⅱ総括
【事前・事後学習課題】 会社法Ⅱで学習したことを見直しておくこと。

評価方法（基準）

原則として、定期試験の結果によって評価する。

教材等

教科書…加藤徹・塚本和彦（編）「新会社法の基礎」（法律文化社2009年）（2,600円+税130円）
参考書…授業中に適宜示します。

学生へのメッセージ

会社法は、条文が多く複雑な印象を受けますが、理解が進むにつれて経済に深く関わる新聞記事も理解できるようになってきます。積極的に授業に参加し、基本的知識を習得してください。最新版六法を必携のこと。

関連科目

会社法Ⅰ、民法、企業論、企業簿記。

担当者の研究室等

11号館6階 法学部

労働法 I Labor Law I				
榎原 義比古 (カシハラ ヨシヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

労働者の保護を目的とする法規のすべてを労働法の中でも労働者保護法と呼ぶことがある。この授業では、労働者保護法の分野の中から、労働契約、労働時間、休憩、休日、変形労働時間制、年次有給休暇、賃金、退職金、人事異動、就業規則、労働契約の終了、雇用保障などの問題を取り上げる。授業の中では、判例の中から近時問題となっている論争的テーマを織込み、紛争解決のあり方などを検討する。

授業方法と留意点

教科書、判例、資料等を用いて検討する。判例や関係資料を指定するので各自で問題点を整理するなどして、予習をしておくこと。

科目学習の効果（資格）

労働基準監督官など

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 労働契約
【内容・方法等】 ・募集、採用、採用内定、試用期間、契約上の権利義務、労務の提供と報酬の支払、職場規律の維持、配慮義務
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.78-89
- 第2回 【授業テーマ】 労働契約
【内容・方法等】 ・労働契約と法的規制、契約の期間、労働条件の明示義務、賠償予定の禁止、前借金相殺の禁止、強制貯金の禁止
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.89-96
- 第3回 【授業テーマ】 有期労働契約等
【内容・方法等】 ・労働者派遣法
・パートタイム労働者、外人労働者問題
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.37-49
- 第4回 【授業テーマ】 労働時間
【内容・方法等】 ・労働時間の規制、規制の弾力化、除外と

- 例外、割増賃金、時間外・休日労働
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.132-159
- 第5回 【授業テーマ】 休憩、休日
【内容・方法等】 ・休憩時間の長さ、一せい休憩の原則、自由利用の原則
・週休の付与、週休の振替、代休、変形労働時間と振替
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.152-159
- 第6回 【授業テーマ】 変形労働時間制
【内容・方法等】 ・一ヶ月以内変形労働時間制、一年以内変形労働時間制、非定型変形労働時間制
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.140-142
- 第7回 【授業テーマ】 変形労働時間制
【内容・方法等】 ・一週間単位の変形労働時間制
・フレックスタイム制
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.142-144
- 第8回 【授業テーマ】 労働時間制の適用除外
【内容・方法等】 ・除外と例外、対象労働者
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.144-148
- 第9回 【授業テーマ】 年次有給休暇
【内容・方法等】 ・意義、成立要件、時季指定権、時季変更権、年休権の行使と不利益変更
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.160-170。
- 第10回 【授業テーマ】 賃金
【内容・方法等】 ・労基法上の賃金、賃金請求権、支払方法、平均賃金
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.113-117
- 第11回 【授業テーマ】 退職金
【内容・方法等】 ・退職金、退職年金
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.117-120
- 第12回 【授業テーマ】 人事異動
【内容・方法等】 ・転配、出向、転籍
・会社分割と労働契約承継法、営業譲渡
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.102-111
- 第13回 【授業テーマ】 就業規則
【内容・方法等】 ・就業規則の意義と法規制、作成義務と記載事項
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.198-204
- 第14回 【授業テーマ】 就業規則
【内容・方法等】 ・就業規則の法的性質、就業規則の不利益変更
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.204-214
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 以上の総括
【事前・事後学習課題】 課題 レポート提出

評価方法（基準）

学期末テスト、授業出席時の質疑応答への積極性、レポート等を総合して評価する。

教材等

教科書…「労働法（第10版）」安枝英紳・西村健一郎著（有斐閣）
参考書…「労働法（第七版補正第二版）」菅野和夫著（弘文堂）

学生へのメッセージ

教科書、判例、その他の資料を事前に読み、疑問点については、質問あるいは自分の考えを主張し、知識の習得と同時に、各自で自分の考えを的確に表現できる能力を養うことにも努めてほしい。

関連科目

法学、憲法、民法、労働法Ⅱ

担当者の研究室等

11号館10階(榎原研究室)

労働法 II Labor Law II				
榎原 義比古 (カシハラ ヨシヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

労働組合と使用者もしくは使用者団体の関係、あるいは労働組合内部の関係を規律する法として団体的労働関係法があり、同法は労使関係法とも呼ばれる。団体的労働関係法の分野の中から、労働組合、団体交渉、争議行為、労働協約、不当労働行為などの問題を取り扱う。授業の中では、近時問題となっている論争的テーマを織込み、問題の背景、状況、判例などの分析を通じて法的対応や紛争解決のあり方を検討する。

授業方法と留意点

教科書、判例、資料等を用いて検討する。判例や関係資料を指定するので各自で問題点を整理するなどして、予習をしておくこと。

科目学習の効果（資格）

労働基準監督官など

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 労働法の授業
【内容・方法等】 ・労働法の意義
・労働法の性格
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.2-6
- 第2回 【授業テーマ】 労働基本権
【内容・方法等】 ・団結権、団体交渉権、団体行動権（労働三権）、理念、限界
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.15-22
- 第3回 【授業テーマ】 労働組合
【内容・方法等】 ・目的、態様
・労働組合法上の要件
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.270-276
- 第4回 【授業テーマ】 労働組合
【内容・方法等】 ・内部統制、ユニオンショップ協定
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.276-283
- 第5回 【授業テーマ】 団体交渉
【内容・方法等】 ・意義、形態、当事者、担当者
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.284-288
- 第6回 【授業テーマ】 団体交渉
【内容・方法等】 ・団交事項、効力
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.289-290
- 第7回 【授業テーマ】 団体行動
【内容・方法等】 ・組織活動
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.334-344
- 第8回 【授業テーマ】 争議行為
【内容・方法等】 ・争議行為
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.309-325
- 第9回 【授業テーマ】 争議行為
【内容・方法等】 ・ロックアウト
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.325-328
- 第10回 【授業テーマ】 労働協約
【内容・方法等】 ・意義、効力発生、要件、効力-規範的効力、債務的効力
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.291-303
- 第11回 【授業テーマ】 労働協約
【内容・方法等】 ・協約の拡張、一般的拘束力
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.303-305
- 第12回 【授業テーマ】 不当労働行為
【内容・方法等】 ・意義、態様-不利益取扱、団交拒否、支配介入、経費援助
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.345-361
- 第13回 【授業テーマ】 不当労働行為の救済
【内容・方法等】 ・行政救済
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.364-370
- 第14回 【授業テーマ】 不当労働行為の救済
【内容・方法等】 ・司法救済
【事前・事後学習課題】 課題 テキスト p.366
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 ・以上の総括
【事前・事後学習課題】 レポートの提出

評価方法（基準）

学期末テスト、出席時の質疑応答への積極性、レポート等を総合して評価する。

教材等

教科書…「労働法（第10版）」安枝英紳・西村健一郎著（有斐閣）
参考書…「労働法（第七版第補正第二版）」菅野和夫著（弘文堂）

学生へのメッセージ

教科書、判例、その他の資料を事前に読み、疑問点については、質問あるいは自分の考えを主張し、知識の習得と同時に、各自で自分の考えを的確に表現できる能力を養うことにも努めてほしい。

関連科目

憲法、民法、刑法、労働法Ⅰ

担当者の研究室等

11号館10階(榎原研究室)

経営学特講V

Up-to-date Topics of Business Administration V

仲 秀 樹 (ナカ ヒデキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この授業では、監査の中でも企業会計の監査である財務諸表監査を中心に講義する。監査の本質を理解するために、監査の意義・種類について解説し、まず監査の基本的概念について検討したい。また実際の財務諸表監査とは、いかなる証拠を収集し、評価するのかなど、監査人の具体的な手続についても見ていくことにする。

授業方法と留意点

教科書にもとづいた講義方式。監査について学生諸君はイメージを描きにくいと思われるので、具体例を交えながら平易な講義を心がけたい。

科目学習の効果（資格）

監査論の基礎知識を得ることにより、公認会計士試験の初歩的な知識を獲得できる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 監査のフレームワーク (1)
【内容・方法等】 監査とは何か。監査がなぜ必要とされるのか。その意義について検討する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第2回 【授業テーマ】 監査のフレームワーク (2)
【内容・方法等】 監査の生成要因と監査の種類について解説する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第3回 【授業テーマ】 監査のフレームワーク (3)
【内容・方法等】 財務諸表監査の特質と監査の経済的機能について説明する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第4回 【授業テーマ】 監査制度のフレームワーク
【内容・方法等】 アメリカにおける監査基準の生成と展開を概説し、わが国の商法監査制度および証券取引法監査制度について説明する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第5回 【授業テーマ】 監査規範の意義とわが国の監査基準 (1)
【内容・方法等】 監査規範の意義と体系について解説する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第6回 【授業テーマ】 監査規範の意義とわが国の監査基準 (2)
【内容・方法等】 監査基準の生成と展開について解説する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第7回 【授業テーマ】 監査規範の意義とわが国の監査基準 (3)
【内容・方法等】 監査基準における一般基準、実施基準、報告基準について概説する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第8回 【授業テーマ】 監査意見形成のプロセス (1)
【内容・方法等】 監査意見形成のプロセスはどのような論理に支えられているか、を説明する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第9回 【授業テーマ】 監査意見形成のプロセス (2)
【内容・方法等】 財務諸表監査における経営者の主張と監査要点について考える。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第10回 【授業テーマ】 監査意見形成のプロセス (3)
【内容・方法等】 監査手続と監査技術の関係、および監査技術の詳細につき講義する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第11回 【授業テーマ】 リスク・アプローチと監査戦略
【内容・方法等】 リスク・アプローチの意義と監査リスクの構成要素について説明する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第12回 【授業テーマ】 リスク評価、実証手続および監査の完了
【内容・方法等】 固有リスクの評価と統制リスクの評価について講義する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第13回 【授業テーマ】 監査報告書と情報提供機能
【内容・方法等】 監査業務の最終成果物である監査報告書について、その意義と機能、利害関係者にとっての意味や監査報告書の利用方法について説明する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第14回 【授業テーマ】 総論
【内容・方法等】 現在の会計監査の重要性とその将来性について検討する。
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する
- 第15回 【授業テーマ】 おわりに
【内容・方法等】 講義のまとめ
【事前・事後学習課題】 講義関連資料を配布するので、それをもとに授業時間中に簡単なレポートを作成し、提出する

評価方法（基準）

定期試験による。授業中の小テストにより加点されることがある。

教材等

教科書…「五訂版 ベーシック監査論」伊豫田隆俊・松本祥尚・林隆敏共著 同文館出版 (3,990円)

参考書…特になし

学生へのメッセージ

講義中の私語は厳禁。質問は大歓迎です。学生の講義の理解度に応じて講義内容を変更する場合があります。

関連科目

会計関連科目、とくに財務会計論を履修していることが望ましい。

担当者の研究室等

11号館6階 (経営学部事務室)

基礎演習 Reference Studies				
黒澤敏朗 (クロザワ トシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業 (reference studies) です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子 (『FIRST YEAR STUDY GUIDE』) を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし (適宜資料を配付する)
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習 Reference Studies				
久保貞也 (クボ サダヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業 (reference studies) です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子 (『FIRST YEAR STUDY GUIDE』) を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし (適宜資料を配付する)
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習 Reference Studies				
武居奈緒子 (タケエ ナオコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業 (reference studies) です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子 (『FIRST YEAR STUDY GUIDE』) を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…書籍名：マーケティングの基本
著書：野口智雄
出版社：日本経済新聞社
価格：1000円
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習 Reference Studies				
針尾大嗣 (ハリオ ダイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業 (reference studies) です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子 (『FIRST YEAR STUDY GUIDE』) を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし (適宜資料を配付する)
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習 Reference Studies				
樋口友紀 (ヒグチ ユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業 (reference studies) です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子 (『FIRST YEAR STUDY GUIDE』) を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

コミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし (適宜資料を配付する)
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習 Reference Studies				
牧野純 (マキノ ジュン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業 (reference studies) です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子 (『FIRST YEAR STUDY GUIDE』) を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし (適宜資料を配付する)
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習 Reference Studies				
牧野幸志 (マキノ コウシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業 (reference studies) です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
 演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子（『FIRST YEAR STUDY GUIDE』）を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
 参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
 基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習 Reference Studies				
有馬 善一 (アリマ センイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	G	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業（reference studies）です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生として身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
 演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子（『FIRST YEAR STUDY GUIDE』）を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
 参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
 基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

基礎演習 Reference Studies				
高尾 裕二 (タカオ ヒロジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	H	前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

基礎演習は、大学教育に入るための導入的な授業（reference studies）です。基礎演習では、経営学部における勉学のためのガイダンスを行うとともに、経営学部の学生と情報して身につけるべき基本的能力の修得と後続学年での専門的な学びへの学習意欲を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
 演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部における勉学のためのガイダンスを行う。前半では本学が作成した初年次教育ガイド冊子（『FIRST YEAR STUDY GUIDE』）を用いて、大学生が身につけるべきマナー、大学での授業の特徴や学習法、講義の受け方、ノートの取り方やレポートの書き方等を学び、図書館やメディアセンター等大学の施設のサービスや利用方法に関して学ぶ。後半は、現代社会や経済・経営の動きに関心をもち目的意識をもって充実した学生生活を送れるよう、雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
 参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
 基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べる場として開講されている。実りある大学生活を送るための基礎づくりの授業です。基礎演習が有意義な学生生活の第一歩となることを期待しています。

専門基礎演習 Information Semina				
武居 奈緒子 (タケスエ ナオコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	A	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立つため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
 演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、

早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスを
行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・
レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合
的に評価する。

教材等

教科書…書籍名：流通の基本
著書：小林隆一
出版社：日本経済新聞社
価格：1000円

参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、
多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に
進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場と
して開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの
個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れ
るよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習

Information Semina

針尾大嗣 (ハリオ ダイジ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	B	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入
的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、
読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向
上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージで
き、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活
を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2
年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻
分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、
資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制
で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。
やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教
員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起
できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、
発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能
力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技
法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進
路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意
義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、
税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、
早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスを
行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・
レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合
的に評価する。

教材等

教科書…なし (適宜資料を配付する)
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、
多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に
進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場と
して開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの
個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れ
るよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習

Information Semina

佐藤正志 (サトウ マサシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	C	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入
的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、
読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向
上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージで
き、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活
を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2
年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻
分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、
資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制
で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。
やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教
員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起
できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、
発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能
力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技
法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進
路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意
義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、
税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、
早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスを
行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・
レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合
的に評価する。

教材等

教科書…なし (適宜資料を配付する)
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】

専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、
多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に
進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場と
して開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの
個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れ
るよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習

Information Semina

有馬善一 (アリマ ゼンイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	D	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入
的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、
読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向
上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージで
き、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活
を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2
年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻
分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、
資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制
で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。
やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教
員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起
できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、
発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能
力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技
法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進
路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意
義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、
税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、
早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスを
行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・
レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合
的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習 Information Semina				
高尾 裕二 (タカオ ヒロジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	E	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習 Information Semina				
牧野 純 (マキノ ジュン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	F	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習 Information Semina				
樋口 友紀 (ヒグチ ユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	G	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な学生生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。
演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組む姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし（適宜資料を配付する）
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの

個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

専門基礎演習 Information Semina				
久保貞也 (クボ サダヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	H	後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

専門基礎演習は、後続学年における専門教育に入るための導入的な授業です。専門基礎演習では、基礎教養としての文章力、読解力、コミュニケーション能力などの基本的能力をさらに向上させるとともに後続学年での専門教育を具体的にイメージでき、興味・関心を高め、目的意識をもって有意義な大学生活を送れるようさまざまな支援をすることを目的としています。2年次以降のゼミを選択する際に役立てるため、各先生方の専攻分野などゼミの概要を紹介することも予定している。

授業方法と留意点

少人数ゼミ形式での講義、グループワークによる課題の発見、資料収集・分析、レポートの作成・発表、討論などをクラス制で行う。

演習には、毎回、必ず出席して、無断欠席・遅刻は謹んで下さい。やむを得ず欠席・遅刻するときには、できるだけ事前に担当教員まで連絡して下さい。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

経営学部での専門教育に関心を高め、具体的なイメージが想起できるような雑誌・新聞記事、課題図書などを用いて、輪読、発表、討議などを体験する。これらを通じて、読解力、作文能力を身につけるとともに、社会で役立つコミュニケーション技法や、多面的で柔軟な思考方法を学習する。また、卒業後の進路と大学生活での目標とスケジュールなど各自が自覚し、有意義な学生生活を過ごせるよう支援する。例えば公務員試験対策、税理士や会計士試験対策、就職への心構え、大学院進学など、早い段階から準備できるよう相談にのり、適切なアドバイスをを行う。

評価方法・評価基準

平常点、すなわち授業への参加、課題へ取り組み姿勢、レポート・レジュメの達成度、プレゼンテーション、討論の内容等を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし (適宜資料を配付する)
参考書…必要に応じて、適宜紹介する。

備考

【学生へのメッセージ】
専門基礎演習は、大学における教育の目標を理解するとともに、多様な社会問題を捉え、考え、意見を述べ、さらに専門教育に進むための心構えをする場であり、将来の進路を模索する場として開講されている。専門基礎演習は、教員が学生の皆さんの個々の希望にできるだけ対応しながら実りある大学生活を送れるよう道筋を示すことをめざしています。必ず出席して下さい。

演習I Seminar I				
武居奈緒子 (タケスエ ナオコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

近年の成熟市場環境下における企業間競争の激化によって、マーケティングの重要性がますます高まっています。この演習では、企業の存続・成長にとって必要不可欠なマーケティングについて研究します。マーケティングは、身近な学問なので、どこからでも課題の研究が始められます。この演習を通じて、マーケティングの基本的知識とマーケティングを学ぶことの楽しさを理解してもらいたいと思います。

授業方法と留意点

演習で与えられた問題・課題について、真摯に取り組み、充実した大学生活にしていきたいと思います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

ゼミで与えられた課題には、真摯に取り組むように。

評価方法・評価基準

授業態度、授業への参加度・貢献度などにより総合的に評価します。

教材等

教科書…武居奈緒子 (2000)『消費行動』晃洋書房。

参考書…その都度、指示します。

演習I Seminar I				
黒澤敏朗 (クロザワ トシロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

ゼミでは「データに基づく合理的な経営・管理」を行うための種々の技術・技法についての研究・教育を行います。

企業の活動でとくに重要なものは、付加価値をつける行動 (オペレーション) のことで、ハードウェアの製造だけでなく、ソフトウェアや販売・物流・観光などの各種サービスも対象に含まれます。演習や卒業研究を通じて、このような活動を合理的に行い、高い生産性をあげるためのさまざまな理論や手法を学び、企業で活躍できるための基礎力を養います。

授業方法と留意点

グループ対抗で「ビジネスゲーム」を1年間にわたり実施しますので、休まないようにしてください。長期休暇期間などに行う事業所や工場などの見学にも積極的に参加してください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

2年次の演習では、まず経営活動の全体像を理解してもらうことに重点をおきます。具体的には、中規模・中程度の複雑さ・難しさの「ビジネスゲーム」をグループ対抗で1年間にわたり実施し、その結果を分析することで、経営に必要なさまざまな基礎知識に加えて集団意思決定や経営分析の方法を学びます。さらに、長期休暇期間などを活用して各種の事業所や工場などの見学も行います。

評価方法・評価基準

まずは出席し、ビジネスゲームの意思決定に参加すること。次に、結果の分析を行い、発表すること。そして見学などを含んだ最終レポートを提出すること。以上の3つで総合的に評価します。

教材等

教科書…毎回、必要な内容を含んだハンドアウト (プリント) を配布します。
参考書…授業中に適切な参考書を推薦します。

演習I Seminar I				
岩田 浩 (イワタ ヒロシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

現代は組織の時代である。私たちは、好むと好まざるにかかわらず、この組織との関係抜きに生活することはできない。それゆえ、組織についての知識を深めることは、今後ますます重要視されてくるものと考えられる。そこで本演習では、この組織とその存続・発展を担う管理について基礎から段階的に学んでいくことを通して、そうした知識の蓄積を図っていきたい。

授業方法と留意点

教科書の輪読を通して、組織と管理の理解を深めていく

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：組織と管理に関する基本的考察
教科書の輪読を通して、標記についての理解を深めていく。報告者はレジュメを用意し、他の者はあらかじめ質問事項を用意しておくこと。

評価方法・評価基準

出席 (40%) と提出物 (60%) の総合評価

教材等

教科書…庭本佳和・藤井一弘編著『経営を動かす』文真堂、2,835円
参考書…適宜指示する

演習I Seminar I				
堀井千夏 (ホリエ チナツ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

21世紀は、コンピュータとインターネットを始めとするIT（情報技術）が社会活動全般にわたって革新的な変化を起す時代である。このIT時代の実社会で活躍するには「情報リテラシー（情報活用能力）」を磨くことが必要不可欠である。本演習では、実践に向けた情報活用能力を養うための情報技術や理論を習得することが目的である。ここでいう情報活用能力とは、情報機器を操作する能力だけでなく、情報ネットワークを活用して必要な情報を効率よく収集・整理・加工・管理・伝達し、さらには新たな情報を発信する能力を指す。大学教育においては、専門分野の研究における「情報収集(サーベイ)」、「情報の加工(構造化)」、「情報の発信(デザイン化)」といった一連の研究過程が情報活用能力を発揮する場といえるであろう。そこで、高度情報化社会におけるインターネット情報の活用現状を把握し、その上で実社会や研究に向けて情報活用能力を養うための演習を行っていく。演習課題を通して学生独自のアイデアをプレゼンテーションやディスカッションする機会を設け、情報発信能力を高めることを目指す。

授業方法と留意点

講義ノートはPDFファイルで配布する。主にプレゼンテーションとディスカッション形式で行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

情報関連のテーマについてグループごとに演習課題を与え、取り組んだ結果をプレゼンテーション形式で議論する。主な授業内容は以下である。

- (1) 情報化社会におけるインターネット情報の活用技術
- (2) コンピュータネットワークの基礎知識
- (3) 効果的なプレゼンテーション方法

評価方法・評価基準

出席状況、授業態度、演習レポートの内容を総合的に評価する。

教材等

教科書…教科書なし。必要な資料は適宜配布する。

参考書…教科書なし。必要な資料は適宜配布する。

備考

コンピュータやインターネットの使い方を覚えるのではなく、情報技術に対する関心や疑問を持ち、知的探求心を磨く過程で情報理論の重要性を学んでもらいたい。特に予備知識は必要としないが、理解に必要なことは授業で順を追って説明するので、毎回出席を心掛けて欲しい。

演習I Seminar I				
久保 貞也 (クボ サダヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

ゼミでは、研究活動を通じて、実践力の高い情報技術と専門知識の修得、グループでの取組みによる人間力の向上、ならびに、課題設定から問題解決へとつなげる統合力の養成を目指す。また、総合的な研究・教育を目指すために、自治体、地元企業、団体などと積極的に交流を行い、活動の場を広げる。

演習Iでは、プレゼンテーションの実習や、関連する文献の分析、文章作成のルールについて学ぶ。

演習IIの前半では、研究テーマに関する調査や課題設定、および、その解決策の検討や実習を行い、協調作業の重要性や研究活動の意義を学ぶ。

日頃から経営や情報に関する情報収集に努め、ディスカッションでの発言を増やすことが重要である。

後半は、前半の経験を活かして、さらなる研究テーマの追究と卒業研究の準備として必要な調査、議論を行う。

そして、卒業研究において、大学4年間で学んだ知識や技術に裏付けられた主張を示し、研究論文、または、卒業制作としてまとめる。

ゼミでは、研究という最高の知的活動を通じて、人としての成長を遂げることを目的としている。

授業方法と留意点

授業は学生参画型であり、予習・復習は必須である。自発的に学ぶ姿勢で出席すること。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

前期は、経営情報全般、プログラミング、TeX、プレゼンテーションなどについてゼミ生自らが参考書を選び学習する。後期は、研究という行為がどのようなものなのか、議論とはどのようなものかについて学ぶために、各自が演習Iで発表するテーマについて選定する。テーマは、「経営」か「情報」に関するものとする。発表は、原則として前期1回、後期1回、計2回おこなう。発表に際しては、A4用紙2枚のレジュメを準備する。レジュメは、TeXを用いて作成するものとし、事前に、文章チェックを受ける。

評価方法・評価基準

演習中の発表内容、議論での積極性と内容を中心に評価する。

教材等

教科書…なし

参考書…各自で選定する。

備考

【学生へのメッセージ】

ゼミでの活動においては、知識、技術、そして、心を鍛えていきます。自らが「経営情報」の最先端で学んでいる者として誇りを持って、課題に挑んでください。

演習I Seminar I				
針尾 大嗣 (ハリオ ダイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

演習では、主に以下の2つの内容について学ぶ。

1. 企業のマーケティング活動におけるメディア戦略
 2. コンピュータとデータ解析ソフトを使った消費者行動・心理情報の分析
- これらの学習を通じて、インターネットや情報端末を使った企業のITマーケティングに関する取り組み及びネットワーク技術に詳しくなり、同時に、高度なデータ解析技術を習得していく。

授業方法と留意点

【すすめ方】

- ・グループワークによる資料作成、発表が中心（グループ作業に必要な基本的設備については研究室にて準備）
- ・前半は、企業のWebCMを制作、後半は、メディア戦略理論の学習を行う。
- ・他学年ゼミ生を含めた合同演習（年2回予定）とゼミ合宿を実施し、ゼミ生学生間の交流を深めながら、研究・学習の質を高めていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

主に以下の内容に取り組む。

- 前期：インターネット技術関連の基本的学習、ウェブビジネスの動向調査
- 後期：データ解析技術の学習、ネットユーザの行動分析

評価方法・評価基準

出席状況、参加姿勢（発言、資料準備）、提出物

教材等

教科書…演習内で指定する

参考書…演習内で紹介する

備考

【学生へのメッセージ】

グループワークが中心ですので、時間や約束事をしっかり守って誠実に取り組んでください。

演習I Seminar I				
栢木 紀哉 (カヤキ ノリヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

栢木ゼミでは、高度情報化社会と言われる社会へのIT（情報技術）の積極的な導入によって、産業や生活環境がどのように変化してきたのかを考え、これからのITの在り方について探っていく。コンピュータやインターネットに代表されるITが、生活のあらゆる場面で取り入れられるようになり、生活が豊かになるとともに、情報セキュリティなどの新たな問題が生じてきている。こうした時代においては、ITをいかにして取り入れ、問題点を理解した上で、生活の一部として活用していくかが重要となってくる。そのために、社会の様々な分野でITがどのように取り入れられ活用されているのかについて、現状分析を通じて明らかにし、新たな活用の可能性を見出していかなければならない。

こうした活動をスムーズに進めるためには、ITに関する技能だけでなく、経営手法や統計手法についての知識も必要となる。これらの手法について積極的に学んでいくという姿勢が必要となる。また、コンピュータを自身の目的に応じた道具として活用していこうという意識も求められる。

ゼミ活動の基本としては、自ら課題を設定し、課題の解決方法を資料や文献を読みながら考えることで、問題解決能力の習得を目指すことである。また、工場見学など学外での活動も随時取り入れていく予定である。

授業方法と留意点

ゼミでの活動は、社会に出てからも大いに役に立ちます。技能の習得だけでなく、どのようなことに対しても常に考えることを意識し、多くの経験を身につけてください。ゼミへの自主的な参加と積極的な提案を期待します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

専門性の高い文献を読みながら、文章を読み解く力、考えをまとめ上げる力の習得を目指すとともに、簡単なシステム開発を通してIT（情報技術）に関する基礎的な技能を身につける。

評価方法・評価基準

出席状況、演習への参加状況（出席、課題提出など）

教材等

教科書…演習中に指定する。

参考書…演習中に適宜紹介する。

演習I Seminar I				
牧野 純 (マキノ ジュン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

[授業概要]

コンピュータサイエンスのゼミである。コンピュータは人類の英知の結晶とも言えるもので、パソコン1台の中にも、実にさまざまなアイデアが生かされている。こうしたアイデアを開発し、応用していくのがコンピュータサイエンスである。

このゼミではコンピュータのハードウェア・ソフトウェアを通じて幅広い知識を習得し、プログラミング等の技能を身につけると同時に、こうしたアイデアを正しく理解する。

[目的]

コンピュータ・情報技術のエキスパートを目指す。情報技術の発展は目覚しく、今日の知識も明日は古くなっているかも知れないという状況である。したがって、情報技術のエキスパートは、常に自分の知識や技能を更新し、高めていく必要がある。その際に必要なのが個々の知識や技術を有機的に関連付け、統合する能力であり、それは背景にあるアイデアの理解によってはじめて得られる。

このゼミでは、コンピュータ・情報技術に関する個々の「知識」や「技能」の習得に止まらず、それらを統合的に捉え、発展させていくために必要な「理解」を得ることを目的とする。

授業方法と留意点

講義と実習、レポーターによる発表とそれに対する質疑応答の両形式で進める。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

[授業テーマ]

コンピュータと情報に関する基礎的な知識と技能を習得する。

[内容]

TeX と Java の学習を通じて、コンピュータ全般に関して学習する。

評価方法・評価基準

平常の学習状況、報告内容、レポートなどにより総合的に評価する。

教材等

教科書…授業中に指示する。

参考書…授業中に指示する。

備考

【学生へのメッセージ】

プログラミングは作曲や、楽器の演奏、絵を描いたりするのと同様な知的創造活動です。皆さんにもプログラミングの喜びを知ってほしいと思います。ただし、楽器の練習と同様、基礎的な技能をコツコツと高めていく必要があります。

また、ゼミでは全員が積極的に議論に参加し、意見等を述べるのが求められます。そのためにはレポーターだけでなく、全員が十分な準備をしてゼミに臨む必要があります。

演習I Seminar I				
山本圭三 (ヤマモト ケイゾウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本ゼミでは、大きく2つのテーマに沿って学習していく。1つは「仕事、労働、職業を主題とした社会学的研究」である。なぜ人は働くのか、働くことは人々にとってどのような意味をもつ

のか、などについてじっくり考えていく。もう1つは「社会調査に関わる種々の知識・技術」である。様々な場面で求められる「調査」の能力の獲得を目指す。

授業方法と留意点

テキスト等の読解（要約の報告、それをもとにした全体での議論）

データ収集や分析の実習

論文やレポートの書き方についての指導

学生の希望があれば学外でのフィールドワークも設ける

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【テーマ・内容】

社会学一般および社会調査の基礎知識

今後の研究の土台となる知識の獲得を目指す。

【方法】

担当者による報告、全体での議論

【事前・事後課題】

適宜指示する

評価方法・評価基準

授業への参加状況（出席、発言、資料）、提出物

教材等

教科書…授業時に指示する。

参考書…授業時に指示する。

備考

「物事をじっくり考える」姿勢をもち、積極的に参加してほしい。

演習I Seminar I				
牧野幸志 (マキノ コウシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

牧野(幸)ゼミは経営学部で心理学を学ぶゼミである。ゼミでは心理学の基礎知識を身につけ、心理学の研究法について学ぶ。その後、自分自身でテーマを探し、心理学の研究ができるようにし、卒業研究をまとめていく。演習Iでは、基本的な心理学の知識を身につける。教科書の内容をまとめて、発表しながら担当者と一緒に演習を行う。演習の方法は、毎回担当者がレジュメ(A4判4枚程度)を作成し、発表を行う。演習Iの前半では、心理学研究法(実験法、調査法)を学ぶとともに、分析方法も習得する。分析は主に、Excel, SAS, SPSSを用いて行う。担当者の専門とする社会心理学では統計法を用いるため確率統計の基礎知識が不可欠である。演習IIの後半では自分でテーマを決め、実際に心理学の研究を行ってみる。卒業研究では、演習IIの後半に行った研究を改善するか、新たにテーマを見つけ研究を行い卒業論文をまとめていく。

授業方法と留意点

演習Iでは、心理学の基礎知識を身につける。前期は心理学の概論書を使って担当者と一緒に演習を行う。演習の方法は、毎回担当者がPPによる資料を作成し、発表を行う。後期は専門書の内容をまとめてPPで発表を行なう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ・内容：社会における人間関係と消費者心理について

方法：担当者がパワーポイントを用いてプレゼンを行う。

事前・事後課題：事前に予習、事後に復習

評価方法・評価基準

演習中の発表、授業態度、発表課題の評価などで総合的に判断する。

教材等

教科書…前期：「ミニマムエッセンス社会心理学」 和田実編著 北大路書房

後期：「消費行動の社会心理学」 竹村和久編 北大路書房

参考書…授業中に適宜紹介する。

備考

牧野(幸)ゼミは、経営学部で心理学を学ぶゼミである。心理学に興味のある人に来てほしい。特別な情報の技術(プログラミングなど)は必要としないが、確率統計の知識は必要となる。また、プレゼンテーションを行うことが多いため、Word, Excel, PowerPointなどが普通に使える必要がある。何よりも人としての常識を大切にするゼミであるので、「あいさつをする、時間を守る、約束を守る、授業中私語をしない、寝ない」など人としての最低限のマナーは必ず守ること。

演習II Seminar II				
岩 坪 加 紋 (イツツボ カモン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
 今般の金融危機は米国のサブプライムローンという住宅ローンに端を発している。巨大国家米国とはいえ、一国家の住宅ローンの問題、さらに言えばサブプライムローンは全住宅ローンの一部に過ぎず、その一国家の一部の住宅ローン問題が、今や世界のあらゆる国の経済に損失をもたらしている。この問題を通して我々は如何に金融が身近な存在であるのかを改めて痛感させられた。

本演習では主として金融問題を扱い、学生諸君自身がこれらを解き明かすことを目的とする。扱うテーマは、例えば資金の借り手としての企業や貸し手としての銀行、また証券会社、格付け機関といった金融市場のプレイヤーから、株式・債券市場といったマクロ的な金融市場を取り上げて良い。また、マクロ金融政策やブルードレンス政策など政策的観点からテーマを選んでも良い。

ただし、本演習の論文作成においては、論理・理論に基づくことは言うまでもないが、さらにそれらを支えるデータや統計学的手法、同時にパソコンを駆使する傾向が強くなる。したがって本演習を希望する学生には、入門水準でよいので、できる限りこれらの知識を習得しておいて欲しい。そして何より、ヤル気や積極性が重要である。テーマ選定や演習の運営については学生諸君に任せるという意味で自由だがその反面、積極的な参加姿勢求められると思っておいて欲しい。

授業方法と留意点
 演習は基本的に学生によるプレゼンテーション形式で進める。プレゼンテーションの準備をする人はいずれも積極的に準備し、プレゼンテーションを聞いてくれる学生にも積極性を求める。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
 演習IIでは、卒業研究のテーマ選定と卒業研究作成開始を目標とする。
 (1)研究成果について、一回の演習で2,3人が報告する。(2)年度中に完成度50%を目標に卒業研究の作成を試みる。

評価方法・評価基準
 学習態度、プレゼンテーションの出来映えなどを総合的に判断する。

教材等
 教科書…別途指示する
 参考書…別途指示する

備考
 【学生へのメッセージ】
 昨今の就職状況を鑑み、本演習では卒業論文の作成を前倒しに行う。したがって、演習の進捗状況は通常よりも早く、少々、キツイかもしれませんが、その点、覚悟願う。

演習II Seminar II				
福 田 市 朗 (フクダ イチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
 目標：経営学における心理学の役割とその有効性を理解し、ビジネスにおける研究課題を見出し、心理学的な研究方法を用いて明らかにすることが目標である。

授業方法と留意点
 【授業内容】
 前期>ゲーム理論の理解と実践
 意思決定における理論的な解と現実の相違を明らかにする。併せて、実験を計画しデータの分析法を学ぶ。
 後期>卒研テーマの設定
 組織開発法の一つであるKJ法を習得し、KJ法を用いて研究テーマを確定する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
 意見を述べる場合、まず、目的や課題を明らかにし、次に、目標を達成する方法や課題の解決方法を示すこと。最後に、結果に関する評価方法を示すこと。
 知識や情報は現実の行動に結びついていること、行動は必ず何らかの成果をもたらす行動であることを心がけてほしい。

評価方法・評価基準
 卒研のテーマの提出、ゼミにおける発言、資料の整理、データの分析、それらの発表、などにもとづいて総合的に判定する。

教材等

教科書…テキストは指定しない。ただし、必要な図書は随時紹介する。配布された資料は常に整理し、自分のコメントをつけて保管せよ。他学生の配布した資料についても同様である。
参考書…ゼミ授業の中で随時参考図書を紹介する。

備考
 【学生へのメッセージ】
 ゼミの無断欠席は認めない。課題内容に応じて教室を出たり、授業時間外に行なわれる場合がある。また、テーマによっては集団で行なうこともある。楽しく元気に明るいゼミを心掛けて欲しい。

演習II Seminar II				
三 木 僚 祐 (ミキ リョウスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
 本演習では、管理会計について学んでいく。管理会計とは、企業内部の各階層の経営管理者に、経営管理に有用な会計情報の提供を目的とする会計である。管理会計は、経営管理を有効に行うために不可欠な手段であり、管理会計を学ぶことは今後社会に出るにあたって、大変意義のあることであると考える。本演習の目的は、演習Iで学んだことを踏まえて、さらに高度な管理会計の理論および、管理会計が実務の世界でどのように活用されているのかについて理解をしてもらうことである。また、授業を通じて卒業研究論文のテーマについても考えてもらう。

授業方法と留意点
 演習Iと同様に、毎担当番を決めて、教科書の内容についてまとめた資料を作成した上で、それを発表してもらう。また、その発表内容について議論を行う。
授業の合同に卒業研究論文作成の準備のため、論文の書き方、研究テーマの探し方、資料の収集の仕方などについても説明を行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題
 管理会計に対する理解を深めるため、上級の管理会計の教科書を使って授業を行う。また、理論と実務のつながりを理解するため、管理会計に関する企業事例も補足資料として用いる。毎回の授業進度は教科書1章分。
 本授業で扱う項目としては、「ABC/ABM」、「バランスト・スコアカード」、「原価企画」、「ライフサイクル・コストング」、「品質原価計算」といった戦略管理会計と呼ばれる新しい管理会計領域に関するものを中心とする予定である。
 発表者以外の人も、当日の授業内容について事前に自分なりにまとめておくこと。

評価方法・評価基準
 授業態度、授業中の発言などを考慮して評価する。

教材等
 教科書…未定、第1回目の授業のときに指示する。
 参考書…未定、第1回目の授業のときに指示する。

備考
 【学生へのメッセージ】
 授業の無断欠席や遅刻は認めません。授業には、真剣に取り組んで下さい。また、授業中は、積極的に発言することを期待します。演習参加者全員の努力で、演習での学びを、充実した実りのあるものにしましょう。

演習II Seminar II				
牧 野 純 (マキノ ジュン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標
【授業概要】
 コンピュータサイエンスのゼミである。
 コンピュータは人類の英知の結晶とも言えるもので、パソコン1台の中にも、実にさまざまなアイデアが生かされている。こうしたアイデアを開発し、応用していくのがコンピュータサイエンスである。
 このゼミではコンピュータのハードウェア・ソフトウェアを通じて幅広い知識を習得し、プログラミング等の技能を身につけると同時に、こうしたアイデアを正しく理解する。
【目的】
 コンピュータ・情報技術のエキスパートを目指す。
 情報技術の発展は目覚しく、今日の知識も明日は古くなって

いるかも知れないという状況である。したがって、情報技術のエキスパートは、常に自分の知識や技能を更新し、高めていく必要がある。その際に必要なのが個々の知識や技術を有機的に関連付け、統合する能力であり、それは背景にあるアイデアの理解によってはじめて得られる。

このゼミでは、コンピュータ・情報技術に関する個々の「知識」や「技能」の習得に止まらず、それらを統合的に捉え、発展させていくために必要な「理解」を得ることを目的とする。

授業方法と留意点

講義と実習、レポーターによる発表とそれに対する質疑応答の両形式で進める。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

[授業テーマ]

コンピュータと情報に関する基礎的な知識と技能を習得する。
[内容]

Java の学習を通じて、コンピュータ全般に関して学習を進め、卒業研究の準備をする。

評価方法・評価基準

平常の学習状況、報告内容、レポートなどにより総合的に評価する。

教材等

教科書…授業中に指示する。

参考書…授業中に指示する。

備考

【学生へのメッセージ】

プログラミングは作曲や、楽器の演奏、絵を描いたりするのと同様な知的創造活動です。皆さんにもプログラミングの喜びを知ってほしいと思います。ただし、楽器の練習と同様、基礎的な技能をコツコツと高めていく必要があります。

また、ゼミでは全員が積極的に議論に参加し、意見等を述べるのが求められます。そのためにはレポーターだけでなく、全員が十分な準備をしてゼミに臨む必要があります。

演習II Seminar II				
堀 井 千 夏 (ホリイ チナツ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

21世紀は、コンピュータとインターネットを始めとするIT（情報技術）が社会活動全般にわたって革命的な変化を起す時代である。このIT時代の実社会で活躍するには「情報リテラシー（情報活用能力）」を磨くことが必要不可欠である。本演習では、実践に向けた情報活用能力を養うための情報技術や理論を習得することが目的である。ここでいう情報活用能力とは、情報機器を操作する能力だけでなく、情報ネットワークを活用して必要な情報を効率よく収集・整理・加工・管理・伝達し、さらには新たな情報を発信する能力を指す。大学教育においては、専門分野の研究における「情報収集(サーベイ)」、「情報の加工(構造化)」、「情報の発信(デザイン化)」といった一連の研究過程が情報活用能力を発揮する場といえるであろう。そこで、高度情報化社会におけるインターネット情報の活用現状を把握し、その上で実社会や研究に向けて情報活用能力を養うための演習を行っていく。演習課題を通して学生独自のアイデアをプレゼンテーションやディスカッションする機会を設け、情報発信能力を高めることを目指す。

授業方法と留意点

講義ノートはPDFファイルで配布する。主にプレゼンテーションとディスカッション形式で行う。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業内容のテーマについて各自が演習課題を決めて、取り組む。その結果をプレゼンテーション形式で議論する。主な授業内容は、以下である。

- (1) コンピュータネットワークの基礎知識
- (2) 電子ビジネスのプランニングと試作システム
- (3) データベースと情報検索
- (4) インターネットとWEB統合技術

評価方法・評価基準

出席状況、授業態度、演習レポートの内容を総合的に評価する。

教材等

教科書…教科書なし。必要な資料は適宜配布する。

参考書…教科書なし。必要な資料は適宜配布する。

備考

【学生へのメッセージ】

コンピュータやインターネットの使い方を覚えるのではなく、情報技術に対する関心や疑問を持ち、知的探求心を磨く過程で情報理論の重要性を学んでもらいたい。特に予備知識は必要としないが、理解に必要なことは授業で順を追って説明するので、毎回出席を心掛けて欲しい。

演習II Seminar II				
牧 野 幸 志 (マキノ コウシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

牧野(幸)ゼミは経営学部で心理学を学ぶゼミである。ゼミでは心理学の基礎知識を身につけ、心理学の研究法について学ぶ。その後、自分自身でテーマを探し、心理学の研究ができるようにし、卒業研究をまとめていく。演習Iでは、基本的な心理学の知識を身につける。教科書と基礎の研究論文を使って担当者と一緒に演習を行う。演習の方法は、毎回担当者がレジュメ(A4判4枚程度)を作成し、発表を行う。演習IIの前半では、心理学研究法(実験法、調査法)を学ぶとともに、分析方法も習得する。分析は主に、Excel, SAS, SPSSを用いて行う。担当者の専門とする社会心理学では統計法を用いるため確率統計の基礎知識が不可欠である。演習IIの後半では自分でテーマを決め、実際に心理学の研究を行ってみる。卒業研究では、演習IIの後半に行った研究を改善するか、新たにテーマを見つけ研究を行い卒業論文をまとめていく。

授業方法と留意点

演習IIでは、経営と心理について演習を進める。前期は、自分の興味のある本や論文を読み、全体の前で発表する。後期は、先行研究を基に、各自で実験や調査を行い、データの分析を行なう。あるいは、先行研究をまとめる文献研究を行う。これらを基に卒業研究の準備をする。その際、研究のまとめ方などを指導する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ・内容：卒論に向け本や論文を選択し、購読する。自分の興味のある研究テーマを見つける。
実施方法：購読した内容をまとめ、発表する。
事前事後学習課題：事前に読んだ内容をまとめる。事後に修正する。

評価方法・評価基準

遅刻、無断欠席を認めない(やむをえない場合、減点とする)。演習中の発表内容、授業態度、研究課題の評価などで総合的に判断する。

教材等

教科書…自分自身で興味のある分野の本や論文を購読する。

参考書…授業中適宜紹介する。

備考

牧野(幸)ゼミは、経営学部で心理学を学ぶゼミである。心理学に興味のある人に来てほしい。特別な情報の技術(プログラミングなど)は必要としないが、確率統計の知識は必要となる。また、プレゼンテーションを行うことが多いため、Word, Excel, PowerPointなどが普通に使える必要がある。何よりも人としての常識、思いやりを大切にせるゼミであるので、“あいさつをする、時間を守る、約束を守る、授業中私語をしない、寝ない”など最低限のマナーは必ず守ること。

演習II Seminar II				
針 尾 大 嗣 (ハリオ タイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

演習では、主に以下の2つの内容について学ぶ。

1. 企業のマーケティング活動におけるメディア戦略
 2. コンピュータとデータ解析ソフトを使った消費者行動・心理情報の分析
- これらの学習を通じて、インターネットや情報端末を使った企業のITマーケティングに関する取り組み及びネットワーク技術に詳しくなり、同時に、高度なデータ解析技術を習得していく。

授業方法と留意点

【すすめ方】

- ・グループワークによる資料作成、発表が中心(グループ作業に必要な基本的設備については研究室にて準備)
- ・前半は、消費者行動・心理分析のための理論・技術、後半は、消費者行動・心理情報の分析を行う。
- ・他学年ゼミ生を含めた合同演習(年2回予定)とゼミ合宿を実施し、ゼミ学生間の交流を深めながら、研究・学習の質を高めていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

主に以下の内容に取り組む。

- 前期：データ解析技術の学習、ネットユーザの行動分析
- 後期：メディア戦略の理論、事例調査

評価方法・評価基準

出席状況、参加姿勢（発言、資料準備）、提出物

教材等

教科書…演習内で指定する
参考書…演習内で紹介する

備考

【学生へのメッセージ】
グループワークが中心ですので、時間や約束事をしっかり守って誠実に取り組んでください。

演習II Seminar II				
栢木紀哉(カヤキ ノリヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

栢木ゼミでは、高度情報化社会と言われる社会へのIT（情報技術）の積極的な導入によって、産業や生活環境がどのように変化してきたのかを考え、これからのITの在り方について探っていく。コンピュータやインターネットに代表されるITが、生活のあらゆる場面で取り入れられるようになり、生活が豊かになるとともに、情報セキュリティなどの新たな問題が生じてきている。こうした時代にあっては、ITをいかにして取り入れ、問題点を理解した上で、生活の一部として活用していくかが重要となってくる。そのために、社会の様々な分野でITがどのように取り入れられ活用されているのかについて、現状分析を通じて明らかにし、新たな活用の可能性を見出し、いかなければならない。こうした活動をスムーズに進めるためには、ITに関する技能だけでなく、経営手法や統計手法についての知識も必要となる。これらの手法について積極的に学んでいこうという姿勢が必要となる。また、コンピュータを自身の目的に応じた道具として活用していこうという意識も求められる。ゼミ活動の基本としては、自ら課題を設定し、課題の解決方法を資料や文献を読みながら考えることで、問題解決能力の習得を目指すことである。また、工場見学など学外での活動も随時取り入れていく予定である。

授業方法と留意点

ゼミでの活動は、社会に出てからも大いに役に立ちます。技能の習得だけでなく、どのようなことに対しても常に考えることを意識し、多くの経験を身につけてください。ゼミへの自主的な参加と積極的な提案を期待します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒業研究に結び付く研究テーマを決定し、研究テーマに関する事例研究、問題調査、解決方法の提案を行う。類似の研究テーマを持つ学生同士でグループを形成し、グループによる共同活動を通して、より深い洞察力と客観的な視点を身につけることを目指す。

評価方法・評価基準

出席状況、演習への参加状況（出席、課題提出など）

教材等

教科書…演習中に指定する。
参考書…演習中に適宜紹介する。

演習II Seminar II				
山本圭三(ヤマモト ケイゾウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	9	通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本ゼミでは、大きく2つのテーマに沿って学習していく。1つは「仕事、労働、職業を主題とした社会学的研究」である。なぜ人は働くのか、働くことは人々にとってどのような意味をもつか、などについてじっくり考えていく。もう1つは「社会調査に関わる種々の知識・技術」である。様々な場面で求められる「調査」の能力の獲得を目指す。

授業方法と留意点

テキスト等の読解（要約の報告、それをもとにした全体での議論）
データ収集や分析の実習
論文やレポートの書き方についての指導
学生の希望があれば学外でのフィールドワークも設ける

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【テーマ・内容】
仕事・労働・職業に関する社会学的研究

古典研究

【方法】
担当者による報告、全体での議論
【事前・事後課題】
適宜指示する

評価方法・評価基準

授業への参加状況（出席、発言、資料）、提出物

教材等

教科書…授業時に指示する。
参考書…授業時に指示する。

備考

卒業研究において自らの関心に基づいた研究を存分におこなえるよう、必要な知識を獲得したい。

卒業研究 Senior Thesis				
岩坪加紋(イワツボ カモン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

今般の金融危機は米国のサブプライムローンという住宅ローンに端を発している。巨大国家米国とはいえ、一国家の住宅ローン問題、さらに言えばサブプライムローンは全住宅ローンの一部に過ぎず、その一国家の一部の住宅ローン問題が、今や世界のあらゆる国の経済に損失をもたらしている。この問題を通して我々は如何に金融が身近な存在であるのかを改めて痛感させられた。

本演習では主として金融問題を扱い、学生諸君自身がこれらを解き明かすことを目的とする。扱うテーマは、例えば資金の借り手としての企業や貸し手としての銀行、また証券会社、格付け機関といった金融市場のプレイヤーから、株式・債券市場といったマクロ的な金融市場を取り上げて良い。また、マクロ金融政策やブルーデンス政策など政策的観点からテーマを選んでも良い。

ただし、本演習の論文作成においては、論理・理論に基づくことは言うまでもないが、さらにそれらを支えるデータや統計学的手法、同時にパソコンを駆使する傾向が強くなる。したがって本演習を希望する学生には、入門水準でよいので、できる限りこれらの知識を習得しておいて欲しい。そして何より、ヤル気や積極性が重要である。テーマ選定や演習の運営については学生諸君に任せるという意味で自由だがその反面、積極的な参加姿勢求められると思っておいて欲しい。

授業方法と留意点

演習は基本的に学生によるプレゼンテーション形式で進める。プレゼンテーションの準備をする人はいうまでもないが、プレゼンテーションを聞いている学生にも積極性を求める。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒業研究の完成を目標とする。
(1)研究成果について、一回の演習で2.3人が報告する。(2)年度前半中に完成度90%を目標に卒業論文の作成を試みる。

評価方法・評価基準

学習態度、プレゼンテーションの出来映えなどを総合的に判断する。

教材等

教科書…別途指示する
参考書…別途指示する

備考

【学生へのメッセージ】
昨今の就職状況を鑑み、本演習では卒業論文の作成を前倒しに行う。したがって、演習の進捗状況は通常よりも早く、少々、キツイかもしれず、その点、覚悟願う。

卒業研究 Senior Thesis				
福田市朗(フクダ イチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

目標：様々な社会事象、ビジネスにおける諸問題から最も関心のあるテーマを選定し、卒研の研究課題として確定させる。
概要：今日の社会は情報化・少子高齢化・グローバル化の波を受けて様々な問題を抱えている。卒研テーマはこれらの問題に答えていくテーマが望ましい。また、一度決めたテーマは結論が見えるまで変更しないこと。

授業方法と留意点

研究テーマの設定には様々な知識や情報が不可欠である。必要な情報や知識は散逸しないように整理しまとめておく。また、ゼミ時間で発表することで研究に対する視点の広げ、思考を深めてほしい。ゼミ生は互いの研究について関心を持ち、いろんなアイデアや意見の交換を積極的に行うことが重要である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒研は、自分一人の作業成果ではなく、他のゼミ生の協力を得て仕上げるものと心得て、あらゆる機会に自分が調べた事柄を発表し、他のゼミ生から意見を聞くという姿勢で臨むこと。何よりも大事なことは収集した資料やデータを整理し、そこで明らかにされた事柄を他のゼミ生に発表することである。

評価方法・評価基準

卒業研究の成果と卒研発表におけるプレゼンテーションにもとづいて、総合的に評価する。

教材等

教科書…指定しない。
参考書…研究テーマに応じて随時必要な文献や図書を紹介する。卒業してからも振り返ることができるように、研究活動のスケジュールをまとめておくこと。

備考

【学生へのメッセージ】
ゼミ授業は、調査や実験あるいは研究課題に応じて教室を出て行われることがある。また、授業時間外に行なうことがある。

卒業研究 Senior Thesis				
三 木 僚 祐 (ミキ リョウスケ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本授業では、演習Ⅰおよび演習Ⅱで学んだことを踏まえて、管理会計領域の卒業研究論文を作成してもらう。論文の作成過程で、管理会計に対する理解を深め、また問題発見能力・問題解決能力についても養ってもらう。

授業方法と留意点

毎回の授業において、資料を作成の上、各自の研究の進捗状況について報告してもらう。報告後、研究の進め方について議論を行う。

最初の授業の日までに、卒業研究論文の論題、目次までを各自決めておくこと。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

夏休み明けまでには、一通り論文を書き上げてもらい、後期は、論文の細かい修正を行っていく。また、卒業研究論文完成後、その内容について発表会を行う。

評価方法・評価基準

授業態度、授業中の発言、卒業論文の内容などを総合的に考慮して評価する。

教材等

教科書…特になし。
参考書…特になし。

備考

【学生へのメッセージ】
授業の無断欠席や遅刻は認めません。授業には、真剣に取り組んで下さい。また、授業中は、積極的に発言することを期待します。演習参加者全員の努力で、演習での学びを、充実した実りのあるものにしましょう。

卒業研究 Senior Thesis				
岩 田 浩 (イワタ ヒロシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

個人別の卒業研究指導を行うことで、卒業論文の完成をめざす。

授業方法と留意点

【授業内容】
3年次末に提出した卒研課題について、各人の個人発表を行う。ゼミの中で研究を報告し、仲間から意見をもらい、さらに研究を深めることにより、卒研を進めていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒業論文の完成に向けて、個人別に指導していく。適宜、中間報告の発表会も行う予定である。

評価方法・評価基準

ゼミでの報告と最終論文を総合的に評価する。

教材等

教科書…なし
参考書…なし

備考

【学生へのメッセージ】

卒業研究 Senior Thesis				
牧 野 純 (マキノ ジュン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】
コンピュータサイエンスのゼミである。
コンピュータは人類の英知の結晶とも言えるもので、パソコン1台の中にも、実にさまざまなアイデアが生かされている。こうしたアイデアを開発し、応用していくのがコンピュータサイエンスである。
このゼミではコンピュータのハードウェア・ソフトウェアを通じて幅広い知識を習得し、プログラミング等の技能を身につけると同時に、こうしたアイデアを正しく理解する。

【目的】

コンピュータ・情報技術のエキスパートを目指す。
情報技術の発展は目覚しく、今日の知識も明日は古くなっているかも知れないという状況である。したがって、情報技術のエキスパートは、常に自分の知識や技能を更新し、高めていく必要がある。その際に必要なのが個々の知識や技術を有機的に関連付け、統合する能力であり、それは背景にあるアイデアの理解によってはじめて得られる。

このゼミでは、コンピュータ・情報技術に関する個々の「知識」や「技能」の習得に止まらず、それらを統合的に捉え、発展させていくために必要な「理解」を得ることを目的とする。

授業方法と留意点

講義と実習、レポーターによる発表とそれに対する質疑応答の両形式で進める。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【授業テーマ】
コンピュータと情報に関する基礎的な知識と技能を習得する。
【内容】
各自の選択したテーマについて研究を進め、卒業論文を作成する。

評価方法・評価基準

平常の学習状況、報告内容、レポートなどにより総合的に評価する。

教材等

教科書…授業中に指示する。
参考書…授業中に指示する。

備考

【学生へのメッセージ】
プログラミングは作曲や、楽器の演奏、絵を描いたりするのと同様な知的創造活動です。皆さんにもプログラミングの喜びを知ってほしいと思います。ただし、楽器の練習と同様、基礎的な技能をコツコツと高めていく必要があります。
また、ゼミでは全員が積極的に議論に参加し、意見等を述べるのが求められます。そのためにはレポーターだけでなく、全員が十分な準備をしてゼミに臨む必要があります。

卒業研究 Senior Thesis				
武 居 奈 緒 子 (タケスエ ナオコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	6	通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

各自選定したテーマに基づいて、卒業論文の作成・指導を行います。卒業論文は、各自がテーマを設定し、文献・資料を収集し、論文を完成させていきます。授業では、調べた内容を発表してもらって、意見交換しながら、内容面・形式面の充実を図っていきます。

並行して、定期的に卒業論文経過報告書を提出してもらって、各人の進捗状況に応じて、個別指導も行います。

授業方法と留意点

卒業論文の作成に真摯に取り組み、4年間の大学生活の集大成をしましょう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒業論文の完成度を高めていきます。

評価方法・評価基準

ゼミでの報告と最終論文を総合的に評価して決定します。

教材等

教科書…その都度、指示します。

参考書…その都度、指示します。

卒業研究 Senior Thesis				
堀井千夏 (ホリイ チナツ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

21世紀は、コンピュータとインターネットを始めとするIT（情報技術）が社会活動全般にわたって革命的な変化を起す時代である。このIT時代の実社会で活躍するには「情報リテラシー（情報活用能力）」を磨くことが必要不可欠である。本演習では、実践に向けた情報活用能力を養うための情報技術や理論を習得することが目的である。ここでいう情報活用能力とは、情報機器を操作する能力だけでなく、情報ネットワークを活用して必要な情報を効率よく収集・整理・加工・管理・伝達し、さらには新たな情報を発信する能力を指す。大学教育においては、専門分野の研究における「情報収集(サーベイ)」、「情報の加工(構造化)」、「情報の発信(デザイン化)」といった一連の研究過程が情報活用能力を発揮する場といえるであろう。そこで、高度情報化社会におけるインターネット情報の活用現状を把握し、その上で実社会や研究に向けて情報活用能力を養うための演習を行っていく。演習課題を通して学生独自のアイデアをプレゼンテーションやディスカッションする機会を設け、情報発信能力を高めることを目指す。

授業方法と留意点

卒業論文の作成と就職活動について個別に指導していく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

演習Iおよび演習IIで取り組んだ問題をさらに専門的な視点から解析する。この結果を卒業論文としてまとめる。

評価方法・評価基準

出席状況、授業態度、演習レポートの内容を総合的に評価する。

教材等

教科書…教科書なし。必要な資料は適宜配布する。

参考書…教科書なし。必要な資料は適宜配布する。

備考

【学生へのメッセージ】

コンピュータやインターネットの使い方を覚えるのではなく、情報技術に対する関心や疑問を持ち、知的探求心を磨く過程で情報理論の重要性を学んでもらいたい。特に予備知識は必要としないが、理解に必要なことは授業で順を追って説明するので、毎回出席を心掛けて欲しい。

卒業研究 Senior Thesis				
久保貞也 (クボ サダヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4	8	通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

ゼミでは、研究活動を通じて、実践力の高い情報技術と専門知識の修得、グループでの取組みによる人間力の向上、ならびに、課題設定から問題解決へとつなげる統合力の養成を目指す。また、総合的な研究・教育を目指すために、自治体、地元企業、団体などと積極的に交流を行い、活動の場を広げる。

演習Iでは、プレゼンテーションの実習や、関連する文献の分析、文章作成のルールについて学ぶ。

演習IIの前半では、研究テーマに関する調査や課題設定、およびその解決策の検討や実習を行い、協調作業の重要性や研究活動の意義を学ぶ。

後半は、前半の経験を活かして、さらなる研究テーマの追究と卒業研究の準備として必要な調査、議論を行う。

そして、卒業研究において、大学4年間で学んだ知識や技術に裏付けられた主張を示し、研究論文、または、卒業制作としてまとめる。

ゼミでは、研究という最高の知的活動を通じて、人としての成長を遂げることを目的としている。

授業方法と留意点

適宜、全員進捗状況を報告する。中間報告、経過報告での議論

とブラッシュアップを重視すること。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

大学における学びの集大成として、卒業研究もしくは卒業制作をおこなう。演習I・演習IIを通じて身に付けた専門知識を体系化し、自らが定めたテーマに関して研究を進める。研究、制作の成果は、卒業研究発表会において報告し、卒業研究論文を作成する。

評価方法・評価基準

卒業研究論文の内容（中間報告、発表会、報告書のすべてを満たしていることが条件）

教材等

教科書…なし

参考書…各自の研究テーマに応じて選定する。

備考

ゼミでの活動においては、知識、技術、そして、心を鍛えていきます。自らが「経営情報」の最先端で学んでいる者として誇りを持って、課題に挑んでください。

卒業研究 Senior Thesis				
牧野幸志 (マキノ コウシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

牧野(幸)ゼミは経営学部で心理学を学ぶゼミである。ゼミでは心理学の基礎知識を身につけ、心理学の研究法について学ぶ。その後、自分自身でテーマを探し、経営に関する心理の研究ができるようにし、卒業研究をまとめていく。演習Iでは、基本的な心理学の知識を身につける。教科書と基礎の研究論文を使って担当者と一緒に演習を行う。演習の方法は、毎回担当者がパワーポイント資料を作成し、発表を行う。演習IIの前半では、心理学研究法(実験法、調査法)を学ぶとともに、分析方法も習得する。分析は主に、Excel, SAS, SPSSを用いて行う。担当者の専門とする社会心理学では統計法を用いるため確率統計の基礎知識が不可欠である。演習IIの後半では自分でテーマを決め、実際に心理学の研究を行ってみる。卒業研究では、演習IIの後半に行った研究を改善するか、新たにテーマを見つけ研究を行い卒業論文をまとめていく。

授業方法と留意点

授業は演習形式とする。各自自分でできたところまでを発表すること。

前期は卒業研究の実験や調査を行ない、後期はその結果を論文にまとめていく。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒業研究は、自分自身で研究計画を立て、実験や調査を実施し、データをまとめるか、先行研究を読み、まとめて文献研究を行う。最終的に、卒業論文に仕上げていく。

評価方法・評価基準

遅刻、無断欠席を認めない(やむをえない場合、減点とする)。演習中の発表内容、授業態度、卒業研究の評価などで総合的に判断する。

教材等

教科書…自分の卒論に関連する図書や論文を読むこと。

参考書…授業中適宜紹介していく。

備考

牧野(幸)ゼミは、経営学部で心理学を学ぶゼミである。心理学に興味のある人に来てほしい。特別な情報の技術(プログラミングなど)は必要としないが、確率統計の知識は必要となる。また、プレゼンテーションを行うことが多いため、Word, Excel, PowerPointなどを使えるほうがよい。何よりも人としての常識、人とのコミュニケーションを大切にするゼミであるので、“あいさつをする、時間を守る、約束を守る、授業中私語をしない、寝ない”など最低限のマナーは必ず守ること。

卒業研究 Senior Thesis				
針尾大嗣 (ハリオ ダイジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

演習では、主に以下の2つの内容について学ぶ。

1. 企業のマーケティング活動におけるメディア戦略
2. コンピュータとデータ解析ソフトを使った消費者行動・心理情報の分析

これらの学習を通じて、インターネットや情報端末を使った企業のITマーケティングに関する取り組み及びネットワーク技術に詳しくなり、同時に、高度なデータ解析技術を習得していく。

授業方法と留意点

【授業内容】

- 1) 各自が定めたテーマについて研究し、その発表を行う
- 2) 卒業論文を作成する

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

卒論のための個別研究テーマについて取り組む。

評価方法・評価基準

提出物、発表内容

教材等

教科書…演習内で指定する

参考書…演習内で紹介する

備考

【学生へのメッセージ】
就職活動と合わせて計画的にすすめてください。

卒業研究 Senior Thesis				
栢 木 紀 哉 (カヤキ ノリヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

栢木ゼミでは、高度情報化社会と言われる社会へのIT（情報技術）の積極的な導入によって、産業や生活環境がどのように変化してきたのかを考え、これからのITの在り方について探っていく。コンピュータやインターネットに代表されるITが、生活のあらゆる場面で取り入れられるようになり、生活が豊かになるとともに、情報セキュリティなどの新たな問題が生じてきている。こうした時代にあっては、ITをいかにして取り入れ、問題点を理解した上で、生活の一部として活用していくかが重要となってくる。そのために、社会の様々な分野でITがどのように取り入れられ活用されているのかについて、現状分析を通じて明らかにし、新たな活用の可能性を見出し、いかなければならない。

こうした活動をスムーズに進めるためには、ITに関する技能だけでなく、経営手法や統計手法についての知識も必要となる。これらの手法について積極的に学んでいこうという姿勢が必要となる。また、コンピュータを自身の目的に応じた道具として活用していこうという意識も求められる。

ゼミ活動の基本としては、自ら課題を設定し、課題の解決方法を資料や文献を読みながら考えることで、問題解決能力の習得を目指すことである。また、工場見学など学外での活動も随時取り入れていく予定である。

授業方法と留意点

ゼミでの活動は、社会に出てからも大いに役に立ちます。技能の習得だけでなく、どのようなことに対しても常に考えることを意識し、多くの経験を身につけてください。ゼミへの自主的な参加と積極的な提案を期待します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

各自が定めた研究テーマに基づいて、文献調査を行いながら研究内容を絞り込み、卒業論文を完成させる。その際、演習1・2を通じて身につけた専門知識を取り入れながら、各自工夫して研究を進める。就職活動も伴うため、効率良い作業を求める。

評価方法・評価基準

出席状況、演習への参加状況（出席、課題提出など）

教材等

教科書…演習中に指定する。

参考書…演習中に適宜紹介する。

卒業研究 Senior Thesis				
樋 口 友 紀 (ヒグチ ユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	必修	4

授業概要・目的・到達目標

本ゼミではマーケティングの知識を習得するとともに、プレゼンテーション能力を伸ばし、最終的には卒業論文を仕上げることを目標とする。

それぞれの関心テーマや3年次の学習内容などに基づいて、各自がマーケティングに関連のある研究テーマを選択する。選択した研究テーマをベースに、教員の指導や他のゼミ参加者などとの討論を取り入れながら、学生自らが調査と準備をすすめる

ことで、卒業論文を完成させる。

授業方法と留意点

ゼミ内では、必要に応じてマーケティング・リサーチ手法などの知識を蓄積する。また、各自の研究テーマに沿った指導を行う。研究における経過や成果は各自が発表資料としてまとめ、他のゼミ参加者に対してプレゼンテーションし、これにより研究内容をブラッシュアップしてゆくものとする。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

3年次の学習内容などに基づき、卒業論文を完成させる。マーケティングに関連する文献を幅広く参照し、必要に応じてアンケート調査等を実施することでより現実の姿を反映するような論文に仕上げる。

評価方法・評価基準

研究テーマの分析方法、調査分析成果のまとめ方、卒業論文内容及び報告内容

教材等

教科書…未定（必要に応じて指示する）。

参考書…卒業論文作成に関連する必要な文献を適宜指示する。

備考

社会で起こる様々な現象について常に好奇心と探求心を持ち、その原因に目を向け、生活してほしい。必要に応じて各種の分析手法、分析ソフトの利用法なども講義する予定である。

英語 I a
English I a

岩永道子 (イワナガ ミチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	4	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英語の4技能のうち、主にリーディング能力を高めることを目標にするが、テキスト本文を精読していく過程で、文法事項の復習と定着のため、練習問題の形でライティングも行う。テキストの内容は、社会情勢、歴史、哲学、環境、科学と広い範囲に題材を取る。大学生の時期に一度は原典で触れていて欲しいと思うものである。原典からの抜粋のものはさらに興味をもって読み進んでもらい、英文の読解にとどまらず、内容を自分の感性でとらえ、知性を高めてもらいたい。

授業方法と留意点

演習形式で進めるので、予習は欠かせない。2回で1章を終え、章ごとに小テストを行う。
また英語単語集を用いて毎回単語テストを行い、期末の統一単語テストに備える。

科目学習の効果(資格)

世界に起こっていることに興味を持ち、視野を広げる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 授業方針の説明と第1章前半 「ジョン・レノン、Imagineに込めたメッセージ」
【内容・方法等】 Chapter 1 Message from John Lennon
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第2回 【授業テーマ】 第1章後半と小テスト
【内容・方法等】 Chapter 1
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第3回 【授業テーマ】 第2章前半 「ソフィーの世界、14歳の少女とたどる哲学ファンタジー」
【内容・方法等】 Chapter 2 Sophie's World
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第4回 【授業テーマ】 第2章後半と小テスト
【内容・方法等】 Chapter 2
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第5回 【授業テーマ】 第3章前半 「冥王星が惑星の地位を剥奪された理由」
【内容・方法等】 Chapter 3 Pluto Demoted Under New Definition of Planet
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第6回 【授業テーマ】 第3章後半と小テスト
【内容・方法等】 Chapter 3
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第7回 【授業テーマ】 第4章前半 「ダライ・ラマへのインタビュー」
【内容・方法等】 Chapter 4 The Dalai Lama Interview
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第8回 【授業テーマ】 第4章後半と小テスト
【内容・方法等】 Lesson 4
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第9回 【授業テーマ】 第5章前半 「古代エジプト、数の世界」
【内容・方法等】 Chapter 5 Egyptian Math
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第10回 【授業テーマ】 第5章後半と小テスト
【内容・方法等】 Lesson 5
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第11回 【授業テーマ】 第6章前半 「従順ならざる日本人、白洲次郎の手紙」
【内容・方法等】 Chapter 6 The Jeep Way Letter from Shirasu to General Whitney
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第12回 【授業テーマ】 第6章後半と小テスト
【内容・方法等】 Lesson 6
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第13回 【授業テーマ】 総合復習
【内容・方法等】 前期授業内容の復習
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第14回 【授業テーマ】 総合復習

【内容・方法等】 前期授業内容の復習

【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。

第15回 【授業テーマ】 総合復習

【内容・方法等】 前期授業内容の復習

【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。

評価方法(基準)

最終授業でのテスト60%、 テキストの章末小テスト10%、
統一単語集からの単語テストの合計30%、

教材等

教科書…「Wisdom Explorer」

編集者：上村淳子、岩永道子、吉田澄子、吉岡みのり
(¥1700) 朝日出版
"The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book, 成美堂
(¥1700)

参考書…特になし

学生へのメッセージ

よく準備した上で、内容に興味を持ってほしい。積極的な態度を望む。

関連科目

日頃から、新聞(できれば英字新聞が望ましいが)を読んでおくこと。

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語 I b
English I

岩永道子 (イワナガ ミチコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	4	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英語の4技能のうち、主にリーディング能力を高めることを目標にするが、テキスト本文を精読していく過程で、文法事項の復習と定着のため、練習問題の形でライティングも行う。テキストの内容は、社会情勢、歴史、哲学、環境、科学と広い範囲に題材を取る。大学生の時期に一度は原典で触れていて欲しいと思うものである。原典からの抜粋のものはさらに興味をもって読み進んでもらい、英文の読解にとどまらず、内容を自分の感性でとらえ、知性を高めてもらいたい。

授業方法と留意点

演習形式で進めるので、予習は欠かせない。2回で1章を終え、章ごとに小テストを行う。
また英語単語集を用いて毎回単語テストを行い、期末の統一単語テストに備える。

科目学習の効果(資格)

世界に起こっていることに興味を持ち、視野を広げる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 第7章前半 「太古の大陸は1つだった、ウェゲナーの大陸移動説」
【内容・方法等】 Chapter 7 Wegener's Continental Drift
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第2回 【授業テーマ】 第7章後半と小テスト
【内容・方法等】 Chapter 7
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第3回 【授業テーマ】 第8章前半 「ムハマド・ユヌス博士のノーベル平和賞受賞演説」
【内容・方法等】 Chapter 8 Nobel Lecture by Muhammad Yunus
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第4回 【授業テーマ】 第8章後半と小テスト
【内容・方法等】 Chapter 8
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第5回 【授業テーマ】 第9章前半 「感情についての科学的分析」
【内容・方法等】 Chapter 9 Emotion
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第6回 【授業テーマ】 第9章後半と小テスト
【内容・方法等】 Chapter 9
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の前習・復習に追加すること。
- 第7回 【授業テーマ】 第10章前半 「戦場のピアニスト、究極の調べ」

- 【内容・方法 等】** Chapter 10 The Pianist
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の予習・復習に追加すること。
- 第8回 **【授業テーマ】** 第10章後半と小テスト
【内容・方法 等】 Lesson 10
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の予習・復習に追加すること。
- 第9回 **【授業テーマ】** 第11章前半 「ミトコンドリア・イブ、人類はたった1人のアフリカ人女性にたどり着く」
【内容・方法 等】 Chapter 11 Mitochondrial Eve
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の予習・復習に追加すること。
- 第10回 **【授業テーマ】** 第11章後半と小テスト
【内容・方法 等】 Lesson 11
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の予習・復習に追加すること。
- 第11回 **【授業テーマ】** 第12章前半 「世界を『無』から救う、終りのない物語」
【内容・方法 等】 Chapter 12 The Neverending Story
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の予習・復習に追加すること。
- 第12回 **【授業テーマ】** 第12章後半と小テスト
【内容・方法 等】 Lesson 12
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の予習・復習に追加すること。
- 第13回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法 等】 後期授業内容の復習
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の予習・復習に追加すること。
- 第14回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法 等】 後期授業内容の復習
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の予習・復習に追加すること。
- 第15回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法 等】 後期授業内容の復習
【事前・事後学習課題】 各章関連の参考資料として配布するプリントを、通常の予習・復習に追加すること。

評価方法 (基準)

最終授業でのテスト60%、 テキストの章末小テスト10%、
 統一単語集からの単語テストの合計30%、

教材等

教科書…「Wisdom Explorer」
 編集者：上村淳子、岩永道子、吉田澄子、吉岡のり
 (¥1700) 朝日出版
 "The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test; Word Book" 成美堂
 (¥1700)

参考書…特になし。

学生へのメッセージ

よく準備した上で、内容に興味を持ってほしい。積極的な態度を望む。

関連科目

日頃から、新聞(できれば英字新聞が望ましいが)を読んでおくこと。

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語II a English Ila				
藤岡真樹(フジオカ マサキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	4	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業は、アメリカ合衆国の政治や経済、社会構造や文化について平易な文章で書き下ろされた文献の読解を通じて、学生の皆さんに、1. 基本的な語彙力と文法力を身につけてもらうこと、2. 一定量の英文から必要な情報をできるだけ速く、正確に読み取る力を身につけてもらうことを目的として実施するものです。最終的な目標は、皆さんに、英字新聞や英字雑誌、あるいは英語で記されたインターネット上の情報に自信を持って接するだけの知識とスキルを養ってもらうことです。

授業方法と留意点

授業は毎回1. 単語テスト(約20分)、2. 語彙習得についての簡単な議論(約10分)、3. テキストの読解・解説(約60分)で構成し、この順番で進めます。

1. 単語テストについて：問題はThe 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test WORD BOOKから出題します(範囲は「事前・事後学習課題」の項目に記した通り)。単語テストは授業の冒頭に

実施しますので、遅刻などのないようにしてください。

2. 語彙習得の議論について：毎回の課題として、テキストの他に「英単語速習術」を1章ずつ読んできてもらいます(英単語は覚えなくてもかまいません)。授業では、講師が指名した学生に、読んできた部分の内容を口頭で説明してもらいます。その上で、どのようにすれば語彙力をアップさせることができるのかについて受講者全員で討議してもらいます。

3. テキストの読解・解説について：A Changing America in a New World: Understanding Culture Society and Peopleを「授業テーマ」の項目に沿って進めます。前期では、アメリカの政治・社会制度に関するトピックを読んできていきます。授業では皆さんに本文の内容と問題の解答を尋ねますので、事前に必ずテキストを読み、問題を解いてきてください。難解な点や背景知識については、講師から解説します。後期は、アメリカの社会や文化についてのトピックを読んできていきますので、英語IIcとの連続履修を推奨します。

(留意点1)

リーダーズなど中レベル以上の英和辞典を毎回必ず持参してください。書籍型でも電子型でもかまいません。

(留意点2)

この授業は、講師が一方向的に教授するのではなく、講師と受講者全員とが力を合わせて英語力の向上を図ることを目的としています。したがって授業中は、私語をしないなどの最低限の常識は守ってください。講師の注意・指導に従わない学生は、単語テストや定期試験の出来いかにかわからず、単位を認定しません。

科目学習の効果 (資格)

英語力、特に読解力の向上

現代世界を構造的に把握するのに欠かせないアメリカ合衆国の政治、経済、社会、文化についての理解を深める

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** イントロダクション

【内容・方法 等】 授業内容・評価方法についての説明

英単語の習得についての説明

基礎的な文法事項の確認

【事前・事後学習課題】 なし

第2回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める(移民)

【内容・方法 等】 単語テスト

語彙習得のための議論

Chapter 1: The New Immigrantsの読解、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 1の文章を読み、問題を解く

WORD BOOK, 714~793の暗記

「英単語速習術」「プロローグ」を読む

第3回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める(移民)

【内容・方法 等】 単語テスト

語彙習得のための議論

Chapter 1: The New Immigrantsの読解、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 1の文章を読み、問題を解く

WORD BOOK, 794~874の暗記

「英単語速習術」「第1章」を読む

第4回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める(移民)

【内容・方法 等】 単語テスト

語彙習得のための議論

Chapter 1: The New Immigrantsの読解、答え合わせ、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 1の文章を読み、問題を解く

WORD BOOK, 875~958の暗記

「英単語速習術」「第2章」を読む

第5回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める(司法制度)

【内容・方法 等】 単語テスト

語彙習得のための議論

Chapter 2: The Legal Systemの読解、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 2の文章を読み、問題を解く

WORD BOOK, 959~1037の暗記

「英単語速習術」「第3章」を読む

第6回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める(司法制度)

【内容・方法 等】 単語テスト

語彙習得のための議論

Chapter 2: The Legal Systemの読解、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 2の文章を読み、問題を解く

WORD BOOK, 1038~1121の暗記

「英単語速習術」「第4章」を読む

第7回 **【授業テーマ】** 読解力を高める

アメリカの社会と制度への理解を深める(司法制度)

【内容・方法 等】 単語テスト

語彙習得のための議論

Chapter 2: The Legal Systemの読解、答え合わせ、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 2の文章を読み、問題を解く

WORD BOOK, 1122~1216の暗記

- 『英単語速習術』「第6章」を読む
- 第8回** 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカの社会と制度への理解を深める（選挙制度）
【内容・方法等】 単語テスト
語彙習得のための議論
Chapter 3: Elections in Novemberの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 3の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 714～793の復習
『英単語速習術』「第7章」を読む
- 第9回** 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカの社会と制度への理解を深める（選挙制度）
【内容・方法等】 単語テスト
語彙習得のための議論
Chapter 3: Elections in Novemberの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 3の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 794～874の復習
『英単語速習術』「第8章」を読む
- 第10回** 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカの社会と制度への理解を深める（選挙制度）
【内容・方法等】 単語テスト
語彙習得のための議論
Chapter 3: Elections in Novemberの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 3の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 875～958の復習
『英単語速習術』「第9章」を読む
- 第11回** 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカの社会と制度への理解を深める（教育）
【内容・方法等】 単語テスト
語彙習得のための議論
Chapter 4: Education; Democratic and Diverseの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 4の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 959～1037の復習
『英単語速習術』の復習
- 第12回** 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカの社会と制度への理解を深める（教育）
【内容・方法等】 単語テスト
Chapter 4: Education; Democratic and Diverseの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 4の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 1038～1121の復習
- 第13回** 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカの社会と制度への理解を深める（教育）
【内容・方法等】 単語テスト
Chapter 4: Education; Democratic and Diverseの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 4の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 1122～1216の復習
- 第14回** 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカ文化への理解を深める（自由）
【内容・方法等】 単語テスト
Chapter 5: Homeland Security in a Free Societyの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 5の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 714～958の復習
- 第15回** 【授業テーマ】 読解力を高める
アメリカ文化への理解を深める（自由）
【内容・方法等】 単語テスト
Chapter 5: Homeland Security in a Free Societyの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 5の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 959～1216の復習

評価方法（基準）

平常点（授業態度、予習の有無、単語テストなど）50%、定期試験50%の割合で評価します。

教材等

教科書…William M. Balsamo・廣田典子, *A Changing America in a New World: Understanding Culture Society and People*, 金星堂 (1,680円)

NISHIYA Koji, *The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test* WORD BOOK, 成美堂 (1,785円)

晴山陽一『英単語速習術—この1000単語で英文が読める』、ちくま新書 (714円)

参考書…渡辺靖編『現代アメリカ』、有斐閣アルマ (1,995円)

学生へのメッセージ

英語の習得において、多くの単語の暗記や文法の理解は不可欠です。そして、この授業の毎回の課題も決して「楽」でないでしょう。しかしそれを乗り越えたところには、英語を読む「楽しさ」があります。その楽しさを感じることでできる力を身につけるため、共にがんばりましょう。

関連科目

他の英語全科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語II b English II				
本 多 善 (ホンダ タクミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	4	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

英語を運用するためには、まず英語に慣れ親しむことが重要です。このクラスでは英語のコミュニケーションにおける方法論をテキストを使用しながら学び、単語・文法・コミュニケーション法までを習得します。最終的な到達目標としては、英語による日常のコミュニケーションと自分でプレゼンテーションができる運用能力を身に着けます。

授業方法と留意点

授業では文法の習得に限らず、「使える」英語が身に付くよう、繰り返しのリーディングとジュスチャー等を使ったコミュニケーションに取り組んでもらいます。授業には必ず出席してください。授業中は積極的に発言してください。

科目学習の効果（資格）

原稿を見ながらの簡単なプレゼンテーションができる。或いは少し専門的な英語を理解し、それに対する質問やコメントができるだけの運用能力の強化を図ります。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 Unit1. The Japanese Bow
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の予習
- 第2回** 【授業テーマ】 Unit 2. Smiles
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第3回** 【授業テーマ】 Unit 3. Eye Contact
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第4回** 【授業テーマ】 Unit 4. Touching Behavior
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第5回** 【授業テーマ】 Unit 5. Hand Gestures
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第6回** 【授業テーマ】 Unit 6. Body Movements
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第7回** 【授業テーマ】 Unit 7. Space
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習。
次週に行う小テストの勉強。
- 第8回** 【授業テーマ】 Unit.1～7 までの復習
【内容・方法等】 Unit1～7の小テスト。簡単なプレゼンテーション。
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第9回** 【授業テーマ】 Unit 8. Same Words Different Meaning
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第10回** 【授業テーマ】 Unit 9. Intonation
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第11回** 【授業テーマ】 Unit 10. Succinct or Elaborate
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第12回** 【授業テーマ】 Unit 11. Personal or Contextual
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第13回** 【授業テーマ】 Unit 12. Sarcasm
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
- 第14回** 【授業テーマ】 Unit 13. Politically Correct
【内容・方法等】 リーディングを通しての読解と自己表現・

単語・文法の習得、単語のテスト
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習・予習
【授業テーマ】 テストと単語の総復習
【内容・方法 等】 Unit1～13の単語・重要な英文等を中心としたテスト、簡単なプレゼンテーション
【事前・事後学習課題】 単語と文法の復習、プレゼンの準備
評価方法 (基準)
 評価方法
 「授業前準備20%、授業態度40%、テスト40%」とします。

教材等
教科書…What Do You Mean? Exploring Communication Gaps
 「コミュニケーション・ギャップと異文化理解」矢代京子/Cecilia Ikeguchi/ Robin Sakamoto (金星堂)
 〒1995 (税込)

参考書…なし
学生へのメッセージ
 このクラスでは異文化交流について英語で学び、言語を習得します。単にペーパーテストをするだけでなく、少しでも英語を運用できるよう進めていきます。そのためには単語を覚える必要もあります。世界中で英語は使用されており、英語も多様化しています。失敗を恐れず積極的に発言してみてください。

関連科目
 特になし
担当者の研究室等
 7号館2階 (非常勤講師室)

英語IIc English IIC				
藤岡真樹 (フジオカ マサキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	4	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 この授業は、アメリカ合衆国の政治や経済、社会構造や文化について平易な文章で書き下ろされた文献の読解を通じて、学生の皆さんに、1. 基本的な語彙力と文法力を身につけてもらうこと、2. 一定量の英文から必要な情報をできるだけ速く、正確に読み取る力を身につけてもらうことを目的として実施するものです。最終的な目標は、皆さんに、英字新聞や英字雑誌、あるいは英語で記されたインターネット上の情報に自信を持って接するだけの知識とスキルを養ってもらうことです。

授業方法と留意点
 授業は毎回1. 単語テスト (約20分)、2. テキストの読解・解説 (約70分) で構成し、この順番で進めます。
 1. 単語テストについては：問題はThe 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test WORD BOOKから出題します (範囲は「事前・事後学習課題」の項目に記した通り)。単語テストは授業の冒頭に実施しますので、遅刻などのないようにしてください。
 2. テキストの読解・解説については：A Changing America in a New World: Understanding Culture Society and Peopleを「授業テーマ」の項目に沿って進めます。後期では、アメリカの社会や文化に関するトピックを読んでいきます。授業では皆さんに本文の内容と問題の解答を尋ねますので、事前に必ずテキストを読み、問題を解いてきてください。難解な点や背景知識については、講師から解説します。前期の英語IIaとの連続履修を推奨します。
(留意点1)
 リーダーズなど中レベル以上の英和辞典を毎回必ず持参してください。書籍型でも電子型でもかまいません。
(留意点2)
 この授業は、講師が一方向的に教授するのではなく、講師と受講者全員とが力を合わせて英語力の向上を図ることを目的としています。したがって授業中は、私語をしないなどの最低限の常識は守ってください。講師の注意・指導に従わない学生は、単語テストや定期試験の出来いかにかわからず、単位を認定しません。

科目学習の効果 (資格)
 英語力、特に読解力の向上
 現代世界を構造的に把握するのに欠かせないアメリカ合衆国の政治、経済、社会、文化についての理解を深める

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第1回 **【授業テーマ】** イントロダクション
【内容・方法 等】 前期の内容の復習
 基礎的な文法事項の確認
【事前・事後学習課題】 なし
第2回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (夏時間)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 9: Daylight Savings Timeの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 9の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1080～1176の暗記

第3回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (夏時間)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 9: Daylight Savings Timeの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 9の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1177～1257の暗記
第4回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (夏時間)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 9: Daylight Savings Timeの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 9の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1258～1338の暗記
第5回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (休暇)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 10: Holidays and Vacationsの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 10の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1339～1419の暗記
第6回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (休暇)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 10: Holidays and Vacationsの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 10の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1420～1500の暗記
第7回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (休暇)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 10: Holidays and Vacationsの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 10の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1080～1176の復習
第8回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (映画と政治)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 12: Hollywood Actors and Political Activistsの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 12の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1177～1257の復習
第9回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (映画と政治)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 12: Hollywood Actors and Political Activistsの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 12の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1258～1338の復習
第10回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカ社会と文化への理解を深める (映画と政治)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 12: Hollywood Actors and Political Activistsの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 12の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1339～1419の復習
第11回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカの健康・福祉と科学技術への理解を深める (健康)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 13: Obesity-A New Health Problemの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 13の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1420～1500の復習
第12回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカの健康・福祉と科学技術への理解を深める (健康)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 13: Obesity-A New Health Problemの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 13の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1080～1216の復習
第13回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカの健康・福祉と科学技術への理解を深める (健康)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 13: Obesity-A New Health Problemの読解、答え合わせ、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 13の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1217～1338の復習
第14回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカの健康・福祉と科学技術への理解を深める (科学技術)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 15: The Future of the Space Shuttleの読解、解説
【事前・事後学習課題】 Chapter 15の文章を読み、問題を解く
 WORD BOOK, 1339～1419の復習
第15回 **【授業テーマ】** 読解力を高める
 アメリカの健康・福祉と科学技術への理解を深める (科学技術)
【内容・方法 等】 単語テスト
 Chapter 15: The Future of the Space Shuttleの読解、答え

合わせ、解説

【事前・事後学習課題】 Chapter 15の文章を読み、問題を解く
WORD BOOK, 1420~1500の復習

評価方法 (基準)

平常点 (授業態度、予習の有無、単語テストなど) 50%、定期試験50%の割合で評価します。

教材等

教科書…William M. Balsamo・廣田典子, *A Changing America in a New World: Understanding Culture, Society and People*, 金星堂 (1,680円)

NISHIYA Koji, *The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test WORD BOOK*, 成美堂 (1,785円)

参考書…渡辺靖編『現代アメリカ』、有斐閣アルマ (1,995円)

学生へのメッセージ

英語の習得において、多くの単語の暗記や文法の理解は不可欠です。そして、この授業の毎回の課題も決して「楽」でないでしょう。しかしそれを乗り越えたところには、英語を読む「楽しさ」があります。その楽しさを感じることが出来る力を身につけるため、共にがんばりましょう。

関連科目

他の英語全科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語II d English IId				
本 多 善 (ホンダ タクミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	4	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、リーディングの基礎を学び、単語・文法・読解の3要素を身につけると同時に、発声等のイントネーションを学ぶことで、英語の運用能力を向上させます。最終的には、基礎的な英文を自分で理解し、自分の言葉で文章化することを目標とします。

授業方法と留意点

教科書に沿って毎回1ユニットずつ、英文法の確認と練習問題の解答・解説を行います。また毎回単語テストを行いますので、しっかりと予習・復習してきてください。

科目学習の効果 (資格)

基礎的な英文法を修得し、英語の語彙力を増強することで、将来必要となる実用的な英語学習へのステップとなることを目指します。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業内容、授業の進め方、成績評価の説明
【事前・事後学習課題】 Unit 1 の予習
- 第2回** 【授業テーマ】 Unit 1 To Drive or to Ride? トピックセンテンスとパラグラフの構造を理解する
【内容・方法 等】 単語テスト、文法事項の確認、聴き取り練習、英作文
【事前・事後学習課題】 授業の予習・復習、単語テスト対策
- 第3回** 【授業テーマ】 Unit 2 Help Yourselfs 原因と結果を述べる
【内容・方法 等】 単語テスト、文法事項の確認、聴き取り練習、英作文
【事前・事後学習課題】 授業の予習・復習、単語テスト対策
- 第4回** 【授業テーマ】 Unit 3 What I Learned from Fay 経験を語る (物語)
【内容・方法 等】 単語テスト、文法事項の確認、聴き取り練習、英作文
【事前・事後学習課題】 授業の予習・復習、単語テスト対策
- 第5回** 【授業テーマ】 Unit 4 Ways to Help Others 分類しながら説明する
【内容・方法 等】 単語テスト、文法事項の確認、聴き取り練習、英作文
【事前・事後学習課題】 授業の予習・復習、単語テスト対策
- 第6回** 【授業テーマ】 Unit 5 Can Fish Fall from the Sky?! 報告する (時事ニュース)
【内容・方法 等】 単語テスト、文法事項の確認、聴き取り練習、英作文
【事前・事後学習課題】 授業の予習・復習、単語テスト対策
- 第7回** 【授業テーマ】 Unit 6 How to Prepare a Presentation 手順を説明する
【内容・方法 等】 単語テスト、文法事項の確認、聴き取り練習、英作文
【事前・事後学習課題】 授業の予習・復習、単語テスト対策
- 第8回** 【授業テーマ】 復習テスト
【内容・方法 等】 復習テスト (Unit 1-6)
【事前・事後学習課題】 これまでの授業の復習

- 第9回** 【授業テーマ】 Unit 7 International Date Line 事実を時系列に沿って説明する
【内容・方法 等】 単語テスト、文法事項の確認、聴き取り練習、英作文
【事前・事後学習課題】 授業の予習・復習、単語テスト対策
- 第10回** 【授業テーマ】 Unit 8 What Is Friendship? 定義を示して例示する
【内容・方法 等】 単語テスト、文法事項の確認、聴き取り練習、英作文
【事前・事後学習課題】 授業の予習・復習、単語テスト対策
- 第11回** 【授業テーマ】 Unit 9 Entering a Photo Contest 情報を効率的に伝える (e-mail)
【内容・方法 等】 単語テスト、文法事項の確認、聴き取り練習、英作文
【事前・事後学習課題】 授業の予習・復習、単語テスト対策
- 第12回** 【授業テーマ】 Unit 10 Getting Money for a Big Project 比較する
【内容・方法 等】 単語テスト、文法事項の確認、聴き取り練習、英作文
【事前・事後学習課題】 授業の予習・復習、単語テスト対策
- 第13回** 【授業テーマ】 Unit 11 Accepting the "Salesperson of the Year" Award スピーチの文体に慣れる
【内容・方法 等】 単語テスト、文法事項の確認、聴き取り練習、英作文
【事前・事後学習課題】 授業の予習・復習、単語テスト対策
- 第14回** 【授業テーマ】 Unit 12 Written Art コミュニケーションのスタイルを理解する
【内容・方法 等】 単語テスト、文法事項の確認、聴き取り練習、英作文
【事前・事後学習課題】 授業の予習・復習、単語テスト対策
- 第15回** 【授業テーマ】 復習テスト
【内容・方法 等】 復習テスト (Unit 7-12)
【事前・事後学習課題】 これまでの授業の復習

評価方法 (基準)

定期試験40点、単語テスト30点、授業評価30点で評価します。

教材等

教科書…Reading Stream: Elementary
竹内 理/藪越知子/住 政二郎/植木美千子 編著
金星堂 (¥1785)

参考書…辞書

学生へのメッセージ

世界で英語が使用され、英語の多様化がますます進んでいます。自分の言葉でいいので英語で表現すれば、簡単に習得することができます。そのためにも単語を覚え、自分の言葉で表現することを心掛けてみてください。

関連科目

なし

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師控室

英語III a English IIIa				
玉 木 晋 太 (タマキ シンタ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

TOEIC Testに準じたテキストを使用しながら「世界から見た日本」に関する英文を読んでいく中で、語いの強化・英文法の知識を整理し、読解力を身につける。また、リスニングにも取り組むことで、TOEIC受験に必要な総合的な力をのばすことが目標である。

授業方法と留意点

本講義では、授業内で英文を読んでいくため、辞書 (特に英和) が毎回必要となる。また、毎回の授業の最初に小テストを行うので、必ず事前学習が必要である。

科目学習の効果 (資格)

TOEIC試験に順ずるテキストを用いて英文読解を進めることによって、試験の際に必要な語彙の定着、読解力の向上が期待される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の進め方、評価方法について
【事前・事後学習課題】 事前学習：毎回単語テストを行うので、指定された範囲の単語 (意味と綴りの両方) を暗記しておく。(毎回10単語程度)
事後学習：指定された範囲の問題を次回授業までに解いておく。(宿題)
- 第2回** 【授業テーマ】 Unit 1 Japanese Sushi Students Aim for a

- Job Overseas 【1】
【内容・方法等】 小テスト
 寿司専門学校の日本人学生、海外での仕事をめざす
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 1 Japanese Sushi Students Aim for a Job Overseas 【2】
【内容・方法等】 小テスト
 寿司専門学校の日本人学生、海外での仕事をめざす
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 3 Sumo's Ties to Japan Underworld Go Beyond Limits 【1】
【内容・方法等】 小テスト
 相撲の日本裏社会とのつながり一線を越える
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 3 Sumo's Ties to Japan Underworld Go Beyond Limits 【2】
【内容・方法等】 小テスト
 相撲の日本裏社会とのつながり一線を越える
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 4 Japan Retreats With Release of Chinese Boat Captain 【1】
【内容・方法等】 小テスト
 中国人船長の保釈で日本譲歩
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 4 Japan Retreats With Release of Chinese Boat Captain 【2】
【内容・方法等】 小テスト
 中国人船長の保釈で日本譲歩
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 5 Centenarians 'missing' Ahead of Japanese Day Honouring Elderly 【1】
【内容・方法等】 小テスト
 敬老の日を目の前に百歳以上の老人が“行方不明”
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 5 Centenarians 'missing' Ahead of Japanese Day Honouring Elderly 【2】
【内容・方法等】 小テスト
 敬老の日を目の前に百歳以上の老人が“行方不明”
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 6 Spirits, Gods and Pastel Paints: The Weird World of Master Animator Hayao Miyazaki 【1】
【内容・方法等】 小テスト
 精霊、異教の神々、そしてパステル調の絵画—マスター・アニメーター宮崎駿の不思議な世界
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 6 Spirits, Gods and Pastel Paints: The Weird World of Master Animator Hayao Miyazaki 【2】
【内容・方法等】 小テスト
 精霊、異教の神々、そしてパステル調の絵画—マスター・アニメーター宮崎駿の不思議な世界
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 7 Oscar and the Dolphins: Coming to a Japanese Cinema? 【1】
【内容・方法等】 小テスト
 オスカーとイルカ—日本で上映するか
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 7 Oscar and the Dolphins: Coming to a Japanese Cinema? 【2】
【内容・方法等】 小テスト
 オスカーとイルカ—日本で上映するか
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 8 Japan: One Week on and Struggle to Cool Nuclear Plant Continues 【1】
【内容・方法等】 小テスト
 日本 — 一週間経過 核燃料プラント冷却への奮闘が続く
【事前・事後学習課題】 同上
【授業テーマ】 Unit 8 Japan: One Week on and Struggle to Cool Nuclear Plant Continues 【2】
【内容・方法等】 小テスト
 日本 — 一週間経過 核燃料プラント冷却への奮闘が続く
【事前・事後学習課題】 同上

評価方法 (基準)

- 小テスト 30%
- 平常点 (授業に取り組む姿勢など) 30%
- 期末試験 40%

教材等

- 教科書…Hideo TAKEMURA, Toshiaki MATSUMOTO, Yoshifumi NAGATA 『The World Watches Japan (南雲堂)』 (1900円)
 NISHIYA Koji 『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂)』 (1700円)
 参考書…なし

学生へのメッセージ

何事も日々の努力の積み重ねによって成せるものです。全ての授業が終わって、何をもらえるのかは、個人個人の努力量によって異なります。できる限り多くのものが得られるようにしましょう。

関連科目

すべての英語科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

備考

辞書等持参。
 授業開始後1ヶ月以内にテキストを所持していないものには単位を認定しないので、必ずテキストを入手しておくように。

英語III b English III				
玉 木 晋 太 (タマキ シンタ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

TOEIC Testに準じたテキストを使用しながら「世界から見た日本」に関する英文を読んでいく中で、語いの強化・英文法の知識を整理し、読解力を身につける。また、リスニングにも取り組むことで、TOEIC受験に必要な総合的な力をのばすことが目標である。

授業方法と留意点

本講義では、授業内で英文を読んでいくため、辞書(特に英和)が毎回必要となる。
 また、毎回の授業の最初に小テストを行うので、必ず事前学習が必要である。

科目学習の効果(資格)

TOEIC試験に順ずるテキストを用いて英文読解を進めることによって、試験の際に必要な語彙の定着、読解力の向上が期待される。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法等】 授業の進め方、評価方法について
【事前・事後学習課題】 事前学習：毎回単語テストを行うので、指定された範囲の単語(意味と綴りの両方)を暗記しておく。(毎回10単語程度)
 事後学習：指定された範囲の問題を次回授業までに解いておく。(宿題)
- 第2回** **【授業テーマ】** Unit 9 Japanese Students Explore Rural Lifestyle 【1】
【内容・方法等】 小テスト
 日本人学生、田園生活を探る
【事前・事後学習課題】 同上
- 第3回** **【授業テーマ】** Unit 9 Japanese Students Explore Rural Lifestyle 【2】
【内容・方法等】 小テスト
 日本人学生、田園生活を探る
【事前・事後学習課題】 同上
- 第4回** **【授業テーマ】** Unit 10 For The Benefit of Peace 【1】
【内容・方法等】 小テスト
 平和的利益のために
【事前・事後学習課題】 同上
- 第5回** **【授業テーマ】** Unit 10 For The Benefit of Peace 【2】
【内容・方法等】 小テスト
 平和的利益のために
【事前・事後学習課題】 同上
- 第6回** **【授業テーマ】** Unit 11 Japan Comes Closer to Mumbai This Winter 【1】
【内容・方法等】 小テスト
 この冬、日本にムンバイが近くなる
【事前・事後学習課題】 同上
- 第7回** **【授業テーマ】** Unit 11 Japan Comes Closer to Mumbai This Winter 【2】
【内容・方法等】 小テスト
 この冬、日本にムンバイが近くなる
【事前・事後学習課題】 同上
- 第8回** **【授業テーマ】** Unit 12 The Only Filipino Nurse To Pass Japan's Nursing Exam 【1】
【内容・方法等】 小テスト
 フィリピン人看護師 日本の看護師試験に一人だけ合格
【事前・事後学習課題】 同上
- 第9回** **【授業テーマ】** Unit 12 The Only Filipino Nurse To Pass Japan's Nursing Exam 【2】
【内容・方法等】 小テスト
 フィリピン人看護師 日本の看護師試験に一人だけ合格

- 【事前・事後学習課題】** 同上
- 第10回 **【授業テーマ】** Unit 13 Standard & Poor's Cuts Japan's Sovereign Debt Rating 【1】
【内容・方法 等】 小テスト
 スタンダード・アンド・プアーズ社、日本のソブリン格付けをワンランクダウン
- 【事前・事後学習課題】** 同上
- 第11回 **【授業テーマ】** Unit 13 Standard & Poor's Cuts Japan's Sovereign Debt Rating 【2】
【内容・方法 等】 小テスト
 スタンダード・アンド・プアーズ社、日本のソブリン格付けをワンランクダウン
- 【事前・事後学習課題】** 同上
- 第12回 **【授業テーマ】** Unit 14 Hello Kitty Making Aliyah 【1】
【内容・方法 等】 小テスト
 ハロー・キティ、聖地イスラエルに移住か
- 【事前・事後学習課題】** 同上
- 第13回 **【授業テーマ】** Unit 14 Hello Kitty Making Aliyah 【2】
【内容・方法 等】 小テスト
 ハロー・キティ、聖地イスラエルに移住か
- 【事前・事後学習課題】** 同上
- 第14回 **【授業テーマ】** Unit 15 Japan: Russian President Visit to Isle Regrettable + Japan Recalls Ambassador to Moscow Over Islands Row 【1】
【内容・方法 等】 小テスト
 日本 — ロシア大統領北方領土訪問を遺憾+日本、北方領土問題で駐ロ大使を召還
- 【事前・事後学習課題】** 同上
- 第15回 **【授業テーマ】** Unit15 Japan: Russian President Visit to Isle Regrettable + Japan Recalls Ambassador to Moscow Over Islands Row 【2】
【内容・方法 等】 小テスト
 日本 — ロシア大統領北方領土訪問を遺憾+日本、北方領土問題で駐ロ大使を召還
- 【事前・事後学習課題】** 同上

評価方法 (基準)
 小テスト 30%
 平常点 (授業に取り組む姿勢など) 30%
 期末試験 40%

教材等
教科書…Hideo TAKEMURA, Toshiaki MATSUMOTO, Yoshifumi NAGATA「The World Watches Japan (南雲堂)」(1900円)
 NISHIYA Koji 「The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test (成美堂)」 (1700円)

参考書…なし

学生へのメッセージ
 何事も日々の努力の積み重ねによって成せるものです。全ての授業が終わって、何をえられるのかは、個人個人の努力量によって異なります。できる限り多くのものが得られるようにしましょう。

関連科目
 すべての英語科目

担当者の研究室等
 7号館2階(非常勤講師室)

備考
 辞書等持参。
 授業開始後1ヶ月以内にテキストを所持していないものには単位を認定しないので、必ずテキストを入手しておくように。

ビジネスイングリッシュ Business English				
松井信義 (マツイ ノブヨシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	123	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 グローバル化・通信技術の進歩とともにビジネス英語を取り巻く環境も変化している。この講座は会話文・通信文などを通して、新しいビジネス環境に対応したビジネス英語を基礎から総合的に学ぶことを目的とし、リーディング・ライティング・リスニング・スピーキングの4技能を高めることを目標とする。

授業方法と留意点
 授業は「Active Participation in Class」(授業への前向きな参加)が大前提である。双方向の全員参加の前向きな授業を目指すので予習が必須で、辞書(特に、英和辞典)は必ず持ってくること。

科目学習の効果(資格)
 ビジネス英語の基礎知識を習得することに加え、所謂、英語の4技能を高めることを目指すので結果としてTOEICのスコアアップにもつながる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** シラバス説明
 Part 1 の導入
【内容・方法 等】 授業目的・計画・方法の説明、受講の心構え、英語学習の方法など
【事前・事後学習課題】 Part I. ビジネス通信の基本
 1. 「手紙」の予習
- 第2回 **【授業テーマ】** 1. 「手紙」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 1. 「手紙」・TOEIC問題の復習・定着
 2. 「ファックス」の予習
- 第3回 **【授業テーマ】** 2. 「ファックス」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 2. 「ファックス」・TOEIC問題の復習・定着
 3. 「電子メール」の予習
- 第4回 **【授業テーマ】** 3. 「電子メール」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 3. 「電子メール」・TOEIC問題の復習・定着
 4. 「電話」の予習
- 第5回 **【授業テーマ】** 4. 「電話」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 4. 「電話」・TOEIC問題の復習・定着
 Part II. 社交関係の英語
 5. 「面会の申し入れ」の予習
- 第6回 **【授業テーマ】** 5. 「面会の申し入れ」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 5. 「面会の申し入れ」・TOEIC問題の復習・定着
 6. 「ホテルの予約」の予習
- 第7回 **【授業テーマ】** 6. 「ホテルの予約」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 6. 「ホテルの予約」・TOEIC問題の復習・定着
 7. 「オフィスの移転通知」の予習
- 第8回 **【授業テーマ】** 7. 「オフィスの移転通知」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 7. 「オフィスの移転通知」・TOEIC問題の復習・定着
 8. 「支店の開設案内」の予習
- 第9回 **【授業テーマ】** 8. 「支店の開設案内」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 8. 「支店の開設案内」・TOEIC問題の復習・定着
 9. 「レセプションへの招待」の予習
- 第10回 **【授業テーマ】** 9. 「レセプションへの招待」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 9. 「レセプションへの招待」・TOEIC問題の復習・定着
 10. 「アンケートの回答依頼」の予習
- 第11回 **【授業テーマ】** 10. 「アンケートの回答依頼」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 10. 「アンケートの回答依頼」・TOEIC問題の復習・定着
 11. 「資料の送付依頼」の予習
- 第12回 **【授業テーマ】** 11. 「資料の送付依頼」
 TOEIC問題
【内容・方法 等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 11. 「資料の送付依頼」・TOEIC問題の復習・定着

- 1 2. 「慶弔」の予習
- 第13回 【授業テーマ】 1 2. 「慶弔」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 1 2. 「慶弔」・TOEIC問題の復習・定着
Part III. 社内の英語
- 1 3. 「会議の通知」の予習
- 第14回 【授業テーマ】 1 3. 「会議の通知」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 1 3. 「会議の通知」・TOEIC問題の復習・定着
- 1 4. 「議事録」の予習
- 第15回 【授業テーマ】 1 4. 「議事録」
TOEIC問題
【内容・方法等】 内容把握、語彙・発音・練習問題、TOEIC問題
【事前・事後学習課題】 1 4. 「議事録」・TOEIC問題の復習・定着
定期試験（前期末）の準備

評価方法（基準）

定期試験（60%）
授業への参加（発表など）（20%）
小テスト・レポート（20%）

教材等

教科書…「Essentials of Global Business English」、南雲堂、豊田暁、2100円+税
参考書…英和・和英辞典

学生へのメッセージ

There is no royal road to English learning. (英語学習に王道なし)にあるように英語学習に王道などありません。英語に触れる絶対的な量を増やさない限り、英語の力は絶対に伸びません。Slow and (or but) steady wins the race. (急がば回れ)を心に留め、ゆっくりでも着実に勉強を続けることです。そうすれば英語の力は必ず上達します。諦めずに頑張ってください・・・。

関連科目

他の英語科目

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

備考

特になし

ビジネスイングリッシュ Business English				
梅田 尋道 (ウメダ ヒロミチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	45	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

このクラスでは、ビジネスの場で必要となるような基本語彙や重要表現を学びます。また、様々なビジネスシーンを想定したダイアログなどを通して英語での実践的コミュニケーション力を磨きます。

授業方法と留意点

Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.

科目学習の効果（資格）

Toeicのスコアアップ

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 導入
【内容・方法等】 講義の進め方、評価方法などを説明
【事前・事後学習課題】 授業時に説明します。
- 第2回 【授業テーマ】 第1課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第3回 【授業テーマ】 第1課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第4回 【授業テーマ】 第2課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第5回 【授業テーマ】 第2課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題

- 【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第6回 【授業テーマ】 第3課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第7回 【授業テーマ】 第3課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第8回 【授業テーマ】 おさらいと期間外試験1
【内容・方法等】 midterm exam
【事前・事後学習課題】 第1-3課の復習
- 第9回 【授業テーマ】 第4課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第10回 【授業テーマ】 第4課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第11回 【授業テーマ】 第5課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第12回 【授業テーマ】 第5課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第13回 【授業テーマ】 第6課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第14回 【授業テーマ】 第6課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第15回 【授業テーマ】 おさらいと期間外試験2
【内容・方法等】 final exam
【事前・事後学習課題】 第4-6課の復習

評価方法（基準）

授業活動への参加、vocabulary test、課題、期間外試験(midterm & final exams)から総合的に判断する。

教材等

教科書…Mark Stafford 「Gear up for the Toeic test」 Kinseido (1,900円)
参考書…Longman Dictionary of Contemporary English

学生へのメッセージ

外国語学習は時間と忍耐が必要です。一年を通し地道に学習を続けると、必ず効果が表れます。

関連科目

ビジネスイングリッシュ2

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

ビジネスイングリッシュ Business English				
ダニエル リー コステロ マリンズ				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3	67	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

This is a course for students wishing to pursue a career in international business where strong English skills are required. Students will learn to communicate confidently in everyday business situations using both American and International English. We will also explore global business customs.

授業方法と留意点

All students are expected to purchase the textbook and bring it to every class. Students should actively participate in all written, aural and oral activities, but must not speak when other students are speaking.

科目学習の効果（資格）

Students will develop their skills and confidence when communicating in English. Students should also see an increase in their vocabulary, and an improvement in their grammar and listening abilities.

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 Course Orientation, Introductions, Greetings
【内容・方法等】 Orientation, meeting someone for the first time, introductions and 'small-talk', then greeting people

- you know, using role-plays. Complete textbook exercises in pairs and groups.
- 【事前・事後学習課題】** After the class, practice common phrases used when greeting people you know. You will use these phrases at the beginning of every class from next lesson onward.
- 第2回** **【授業テーマ】** Unit 1: First Meetings
【内容・方法 等】 Meeting a client - introductions / talking about yourself / telephone numbers.
 Complete textbook vocabulary, conversation, grammar, pronunciation, listening and reading exercises in pairs and groups.
【事前・事後学習課題】 Workbook review exercises for this unit.
- 第3回** **【授業テーマ】** Unit 1: First Meetings
【内容・方法 等】 Meeting a client - introductions / talking about yourself / telephone numbers.
 Complete textbook vocabulary, conversation, grammar, pronunciation, listening and reading exercises in pairs and groups.
【事前・事後学習課題】 Workbook review exercises for this unit.
- 第4回** **【授業テーマ】** Unit 2: You & Your Company
【内容・方法 等】 Introducing your company / company activities / departments and daily activities.
 Complete textbook vocabulary, conversation, grammar, pronunciation, listening and reading exercises in pairs and groups.
【事前・事後学習課題】 Workbook review exercises for this unit.
- 第5回** **【授業テーマ】** Unit 2: You & Your Company
【内容・方法 等】 Introducing your company / company activities / departments and daily activities.
 Complete textbook vocabulary, conversation, grammar, pronunciation, listening and reading exercises in pairs and groups.
【事前・事後学習課題】 Workbook review exercises for this unit.
- 第6回** **【授業テーマ】** Unit 3: Visiting A Client
【内容・方法 等】 Arriving for an appointment / meeting people / explaining directions / numbers 100-10,000 / addresses.
 Complete textbook vocabulary, conversation, grammar, pronunciation, listening and reading exercises in pairs and groups.
【事前・事後学習課題】 Workbook review exercises for this unit.
- 第7回** **【授業テーマ】** Unit 3: Visiting A Client
【内容・方法 等】 Arriving for an appointment / meeting people / explaining directions / numbers 100-10,000 / addresses.
 Complete textbook vocabulary, conversation, grammar, pronunciation, listening and reading exercises in pairs and groups.
【事前・事後学習課題】 Workbook review exercises for this unit.
- 第8回** **【授業テーマ】** Unit 4: Business Activities
【内容・方法 等】 Describing routines / How often... ?' / numbers and times.
 Complete textbook vocabulary, conversation, grammar, pronunciation, listening and reading exercises in pairs and groups.
【事前・事後学習課題】 Workbook review exercises for this unit.
- 第9回** **【授業テーマ】** Unit 4: Business Activities
【内容・方法 等】 Describing routines / How often... ?' / numbers and times.
 Complete textbook vocabulary, conversation, grammar, pronunciation, listening and reading exercises in pairs and groups.
【事前・事後学習課題】 Workbook review exercises for this unit.
- 第10回** **【授業テーマ】** Unit 5: Fixing an Appointment
【内容・方法 等】 Arranging to meet / speaking to reception / numbers and dates.
 Complete textbook vocabulary, conversation, grammar, pronunciation, listening and reading exercises in pairs and groups.
【事前・事後学習課題】 Workbook review exercises for this unit.
- 第11回** **【授業テーマ】** Unit 5: Fixing an Appointment
【内容・方法 等】 Arranging to meet / speaking to reception / numbers and dates.
 Complete textbook vocabulary, conversation, grammar,

- pronunciation, listening and reading exercises in pairs and groups.
- 【事前・事後学習課題】** Workbook review exercises for this unit.
- 第12回** **【授業テーマ】** Unit 6: Requests & Offers
【内容・方法 等】 Placing an order / decimals and exchange rates / ordering by phone.
 Complete textbook vocabulary, conversation, grammar, pronunciation, listening and reading exercises in pairs and groups.
【事前・事後学習課題】 Workbook review exercises for this unit.
- 第13回** **【授業テーマ】** Unit 6: Requests & Offers
【内容・方法 等】 Placing an order / decimals and exchange rates / ordering by phone.
 Complete textbook vocabulary, conversation, grammar, pronunciation, listening and reading exercises in pairs and groups.
【事前・事後学習課題】 Workbook review exercises for this unit.
- 第14回** **【授業テーマ】** End-of-Semester Test
【内容・方法 等】 Written test
【事前・事後学習課題】 Prepare to share your holiday plans with the class next week.
- 第15回** **【授業テーマ】** Test Feedback, Course Review and Holiday Plans
【内容・方法 等】 Information session on group test performance and suggested methods to maintain English levels during the holidays. Holiday plans discussion using 'will' and 'going to'.
【事前・事後学習課題】 Practice English 'maintenance' methods.
- 評価方法 (基準)**
 Class Participation / Homework assignments (10%)
 Unit review tests (2x30%)
 End-of-Semester Test (30%)
- 教材等**
教科書…Business Venture 3rd Edition 1 Beginner Student Book with CD, Barnard, R. & Cady, J., OXFORD (3,108円)
 ISBN: 9780194578196
参考書…Business Venture Book Movie: http://fdslive.oup.com/www.oup.com/elt/general_content/global/business_venture.html
- 学生へのメッセージ**
 If you have any queries or need advice about your successful completion of the course, feel free to contact me anytime. I may also be able to answer your questions regarding starting a business in Japan, overseas travel or 'homestays' - particularly in Australia - should you have any.
- 関連科目**
 なし
- 担当者の研究室等**
 7号館2階(非常勤講師室)

ビジネスイングリッシュII Business EnglishII				
梅田 尋道 (ウメダ ヒロミチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
 このクラスでは、ビジネスの場で必要となるような基本語彙や重要表現を学びます。また、様々なビジネスシーンを想定したダイアログなどを通して英語での実践的コミュニケーション力を磨きます。
- 授業方法と留意点**
 Regular attendance and active participation are the two basic requirements for success in this course.
- 科目学習の効果 (資格)**
 ToEICのスコアアップ
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** **【授業テーマ】** 導入
【内容・方法 等】 講義の進め方、評価方法などを説明
【事前・事後学習課題】 授業時に説明します。
- 第2回** **【授業テーマ】** 第7課
【内容・方法 等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
- 第3回** **【授業テーマ】** 第7課
【内容・方法 等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問

- 題、音読・ペアワーク、提出課題
- 第4回 【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
【授業テーマ】 第8課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
- 第5回 【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
【授業テーマ】 第8課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
- 第6回 【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
【授業テーマ】 第9課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
- 第7回 【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
【授業テーマ】 第9課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
- 第8回 【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
【授業テーマ】 おさらいと期間外試験1
【内容・方法等】 midterm exam
【事前・事後学習課題】 第7-9課の復習
- 第9回 【授業テーマ】 第10課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
- 第10回 【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
【授業テーマ】 第10課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
- 第11回 【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
【授業テーマ】 第11課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
- 第12回 【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
【授業テーマ】 第11課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
- 第13回 【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
【授業テーマ】 第12課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
- 第14回 【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
【授業テーマ】 第12課
【内容・方法等】 リスニング、内容把握、語彙・文法練習問題、音読・ペアワーク、提出課題
- 第15回 【事前・事後学習課題】 vocabulary testの準備
【授業テーマ】 おさらいと期間外試験2
【内容・方法等】 final exam
【事前・事後学習課題】 第10-12課の復習

評価方法 (基準)
授業活動への参加、vocabulary test、課題、期間外試験(midterm & final exams)から総合的に判断する。

教材等
教科書…Mark Stafford他 「Gear up for the ToEIC test」 Kinseido (1,900円)
参考書…Longman Dictionary of Contemporary English

学生へのメッセージ
外国語学習は時間と忍耐が必要です。一年を通し地道に学習を続けると、必ず効果が表れます。

関連科目
ビジネスイングリッシュ3
担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

英語基礎会話 a Basic English Conversation a				
日 高 俊 夫 (ヒダカ トシオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	必修	1

授業概要・目的・到達目標
電子ファイルやプリント等を用いて基本的な文構造を理解すると同時に、教科書を使ってTOEICの実践的な力を養う。「将来仕事で英語を使う」ことを想定した基礎力をつけていきたい。

授業方法と留意点
出席は単位取得の最低条件とする。基本的に毎時間、授業のはじめに単語テストや復習テストを行う。辞書は必携。

科目学習の効果 (資格)
TOEIC等
毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション

- Lesson 1: 動詞と語順
【内容・方法等】 授業の概要説明、座席決定、General Introduction
動詞と、特にその後にくる語句の語順を理解して使えるようになる。
- 第2回 【事前・事後学習課題】 英作文、語句整序演習等
【授業テーマ】 Lesson 1: 動詞と語順
TOEIC Pre-test
単語テスト1-30
【内容・方法等】 動詞の意味とその動詞がとる要素の語順を理解する。
TOEIC模擬問題演習
【事前・事後学習課題】 英作文、語句整序演習等
TOEIC問題演習
- 第3回 【授業テーマ】 Lesson 2: 進行形と受動態
TOEIC演習 Unit 1
単語テスト31-60
【内容・方法等】 進行形・受動態の形と意味を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 進行形・受動態の問題演習
TOEIC問題演習
- 第4回 【授業テーマ】 Lesson 2: 進行形と受動態
TOEIC演習 Unit 1
単語テスト61-90
【内容・方法等】 進行形・受動態の形と意味を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 進行形・受動態の問題演習
TOEIC問題演習
- 第5回 【授業テーマ】 Lesson 3: 助動詞
TOEIC演習 Unit 2
単語テスト1-90
【内容・方法等】 主な助動詞の意味と用法を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 助動詞の問題演習
TOEIC問題演習
- 第6回 【授業テーマ】 Lesson 4: 前置詞と前置詞句
TOEIC演習 Unit 2
単語テスト91-120
【内容・方法等】 前置詞と前置詞句の文構造における役割と位置を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 前置詞を含んだ問題演習
TOEIC問題演習
- 第7回 【授業テーマ】 Review
TOEIC演習 Unit 3
単語テスト121-150
【内容・方法等】 これまでの学習内容を確認する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 復習問題演習
TOEIC問題演習
- 第8回 【授業テーマ】 TOEIC演習 Unit 3
単語テスト151-180
【内容・方法等】 TOEIC問題演習に特化
【事前・事後学習課題】 TOEIC問題演習
- 第9回 【授業テーマ】 Lesson 5: 副詞節と主節
TOEIC演習 Unit 4
単語テスト91-180
【内容・方法等】 副詞節の役割を理解し、副詞節を導く接続詞を習得する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 副詞節を含む問題演習
TOEIC問題演習
- 第10回 【授業テーマ】 Lesson 6 名詞節と主節
TOEIC演習 Unit 4
単語テスト181-210
【内容・方法等】 名詞節の役割を理解し、名詞節を導く接続詞を習得する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 名詞節を含む問題演習
TOEIC問題演習
- 第11回 【授業テーマ】 Lesson 6 名詞節と主節
TOEIC演習 Unit 5
単語テスト210-240
【内容・方法等】 名詞節の役割を理解し、名詞節を導く接続詞を習得する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 名詞節を含む問題演習
TOEIC問題演習
- 第12回 【授業テーマ】 Lesson 7 副詞と副詞的語句
TOEIC演習 Unit 6
単語テスト241-270
【内容・方法等】 副詞および副詞的語句の定義を理解し、それらを含む文の読み書きができるようになる。
TOEIC問題演習

- 【事前・事後学習課題】** 副詞・副詞的語句を含む問題演習
TOEIC問題演習
- 第13回 【授業テーマ】** Lesson 8 形容詞節と主節
TOEIC演習 Unit 6
単語テスト181-270
【内容・方法 等】 関係詞の機能を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 関係詞を含む問題演習
TOEIC問題演習
- 第14回 【授業テーマ】** Lesson 8 形容詞節と主節
TOEIC演習 Unit 6
単語テスト271-300
【内容・方法 等】 関係詞の機能を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 関係詞を含む問題演習
TOEIC問題演習
- 第15回 【授業テーマ】** 復習演習
単語テスト1-300
【内容・方法 等】 TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 試験勉強

評価方法 (基準)

出席は単位取得の必要条件とする。最終的な成績は、単語テスト20%、スピーチ評価20%、小テスト等20%、期末試験40%を目安に評価する。

教材等

教科書…『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test Word Book (学校語彙で学ぶTOEICテスト 単語集)』成美堂 (1,700円+税)

Jonathan Lynch他『Before-After Practice for the TOEIC TEST』センテージ (2,000円+税)
プリント、電子ファイル等

参考書…中辞典程度の辞書(電子辞書でも可)

学生へのメッセージ

「使える英語」に向けての「トレーニング」をやっていきましょう。繰り返し練習し「考えなくてもできる」レベルまで身につけていくことが大切です。

関連科目

他の英語関連科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

英語基礎会話 b Basic English Conversation				
日 高 俊 夫 (ヒダカ トシオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	必修	1

授業概要・目的・到達目標

電子ファイルやプリント等を用いて基本的な文構造を理解すると同時に、教科書を使ってTOEICの実践的な力を養う。「将来仕事で英語を使う」ことを想定した基礎力をつけていきたい。なお、初回の授業には正当な欠席理由がない場合は必ず出席すること(欠席すると減点となるので注意)。

授業方法と留意点

出席は単位取得の最低条件とする。基本的に毎時間、授業のはじめに単語テストや復習テストを行う。辞書は必携。

科目学習の効果 (資格)

TOEIC等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】** オリエンテーション, 座席決定
Lesson 9: 不定詞
TOEIC演習 Unit 7
【内容・方法 等】 不定詞の意味と用法を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 不定詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第2回 【授業テーマ】** Lesson 9: 不定詞
TOEIC演習 Unit 7
単語テスト 301-330
【内容・方法 等】 不定詞の意味と用法を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 不定詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第3回 【授業テーマ】** Lesson 10: 動名詞
TOEIC演習 Unit 8
単語テスト 331-360
【内容・方法 等】 動名詞の働きと用法を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 動名詞演習問題
TOEIC問題演習

- 第4回 【授業テーマ】** Lesson 10: 動名詞
TOEIC演習 Unit 8
単語テスト 361-390
【内容・方法 等】 動名詞の働きと用法を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 動名詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第5回 【授業テーマ】** Lesson 11: 分詞
TOEIC演習 Unit 9
単語テスト 301-390
【内容・方法 等】 分詞の意味と文中での役割を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 分詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第6回 【授業テーマ】** Lesson 11: 分詞
TOEIC演習 Unit 9
単語テスト 391-420
【内容・方法 等】 分詞の意味と文中での役割を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 分詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第7回 【授業テーマ】** Lesson 11: 分詞
TOEIC演習 Unit 10
単語テスト 421-450
【内容・方法 等】 分詞の意味と文中での役割を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 分詞演習問題
TOEIC問題演習
- 第8回 【授業テーマ】** Lesson 12: 分詞構文
TOEIC演習 Unit 10
単語テスト 451-480
【内容・方法 等】 分詞構文の文中での役割と、分詞構文を含む文の構造・意味を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 分詞構文演習問題
TOEIC問題演習
- 第9回 【授業テーマ】** Lesson 12: 分詞構文
TOEIC演習 Unit 11
単語テスト 391-480
【内容・方法 等】 分詞構文の文中での役割と、分詞構文を含む文の構造・意味を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 分詞構文演習問題
TOEIC問題演習
- 第10回 【授業テーマ】** Lesson 13: -ingについてのまとめ
TOEIC演習 Unit 11
単語テスト 481-510
【内容・方法 等】 -ingが持つ機能をまとめ、文中での働きを理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 -ingの見分け演習問題
TOEIC問題演習
- 第11回 【授業テーマ】** Lesson 13: -ingについてのまとめ
TOEIC演習 Unit 12
単語テスト 511-540
【内容・方法 等】 -ingが持つ機能をまとめ、文中での働きを理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 -ingの見分け演習問題
TOEIC問題演習
- 第12回 【授業テーマ】** Lesson 14: SVOC
TOEIC演習 Unit 12
単語テスト 541-570
【内容・方法 等】 SVOCという構文の意味と動詞の関係を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 SVOC演習問題
TOEIC問題演習
- 第13回 【授業テーマ】** Lesson 14: SVOC
TOEIC演習 Unit 13
単語テスト 481-570
【内容・方法 等】 SVOCという構文の意味と動詞の関係を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 SVOC演習問題
TOEIC問題演習
- 第14回 【授業テーマ】** Lesson 15: 共通関係の把握
TOEIC演習 Unit 13
単語テスト 571-600
【内容・方法 等】 andやorが文中で果たす「等位接続」を理解する
TOEIC問題演習
【事前・事後学習課題】 and, orを含む文の解釈演習
TOEIC問題演習

第15回 【授業テーマ】 Lesson 15: 共通関係の把握
 TOEIC演習: Post Test
 単語テスト 301-600
 【内容・方法 等】 andやorが文中で果たす「等位接続」を理解する
 TOEIC問題演習
 【事前・事後学習課題】 試験勉強

評価方法 (基準)
 出席は単位取得の必要条件とする。最終的な成績は、単語テスト20%、スピーチ20%、小テスト等20%、期末試験40%を目安に評価する。

教材等
教科書…『The 1500 Core Vocabulary for the TOEIC Test Word Book (学校語彙で学ぶTOEICテスト 単語集)』成美堂 (1,700円+税)
 Jonathan Lynch他『Before-After Practice for the TOEIC TEST』センテージ (2,000円+税)
 プリント、電子ファイル等

参考書…特になし
学生へのメッセージ
 「使える英語」に向けての「トレーニング」をやっつけていこうと思います。繰り返し練習し「考えなくてもできる」レベルまで身につけていくことが大切です。

関連科目
 他の英語関連科目
担当者の研究室等
 7号館2階(非常勤講師室)

日本語表現 I Japanese Expression I				
船田 淳一 (フナタ ジュンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABC	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
 大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
 考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
 文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果 (資格)
 文章作成の能力が身につく。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 導入
 【内容・方法 等】 授業の目的、進め方の説明
 【事前・事後学習課題】 _____
 - 第2回 【授業テーマ】 文章の書き方1
 【内容・方法 等】 文章表現の基礎を学ぶ (第1章)
 【事前・事後学習課題】 前回の復習
 - 第3回 【授業テーマ】 文章の書き方2
 【内容・方法 等】 文章表現の基礎を学ぶ (第2章)
 【事前・事後学習課題】 前回の復習
 - 第4回 【授業テーマ】 事実の記述と意見の記述
 【内容・方法 等】 事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ (第2章、第3章 (1))
 【事前・事後学習課題】 前回の復習
 - 第5回 【授業テーマ】 【課題1】
 【内容・方法 等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
 【事前・事後学習課題】 前回の復習
 - 第6回 【授業テーマ】 要約1
 【内容・方法 等】 要約の方法を学ぶ (第3章 (2) (3))
 【事前・事後学習課題】 これまでの復習
 - 第7回 【授業テーマ】 フィードバック
 要約2
 【内容・方法 等】 課題1のフィードバック
 要約文を作成する
 【事前・事後学習課題】 前回の復習
 - 第8回 【授業テーマ】 引用1
 【内容・方法 等】 文章を引用する方法を学ぶ (第3章 (2) (3))
 【事前・事後学習課題】 課題1を見直す
 - 第9回 【授業テーマ】 引用2
 【内容・方法 等】 グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ

【事前・事後学習課題】 前回の復習
第10回 【授業テーマ】 構成
 【内容・方法 等】 レポートなどの文章構成を学ぶ (第4章)
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第11回 【授業テーマ】 【課題2】
 【内容・方法 等】 資料を引用して意見を述べる
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第12回 【授業テーマ】 レポートの書き方
 【内容・方法 等】 レポートの書き方を学ぶ (第4章)
 レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

第13回 【授業テーマ】 フィードバック
 【内容・方法 等】 課題2のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習

第14回 【授業テーマ】 小テストの復習
 【レポート】
 【内容・方法 等】 小テストの復習テスト
 レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 課題2を見直す
 レポートを作成する

第15回 【授業テーマ】 フィードバック
 【内容・方法 等】 レポートを返却し、講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習

評価方法 (基準)
 課題・レポート (70%)、授業への取り組みなど (30%) により総合的に評価する。
 課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等
教科書…庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴『日本語表現法 [改訂版] 21世紀を生きる社会人のたしなみ』翰林書房 (980円+税)
参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ
 日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目
 キャリアデザイン

担当者の研究室等
 7号館2階 (非常勤講師室)

日本語表現 I Japanese Expression I				
西尾 元伸 (ニシオ モトノブ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	DEF	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
 大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
 考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
 文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果 (資格)
 文章作成の能力が身につく。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 導入
 文章の書き方1
 【内容・方法 等】 授業の目的、進め方の説明
 文章表現の基礎を学ぶ
 【事前・事後学習課題】 _____
 - 第2回 【授業テーマ】 文章の書き方2
 【内容・方法 等】 文章表現の基礎を学ぶ
 【事前・事後学習課題】 前回の復習
 - 第3回 【授業テーマ】 事実と意見
 【内容・方法 等】 事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ
 【事前・事後学習課題】 前回の復習
 - 第4回 【授業テーマ】 【課題1】
 【内容・方法 等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
 【事前・事後学習課題】 前回の復習
 - 第5回 【授業テーマ】 構成
 【内容・方法 等】 レポートなどの文章構成を学ぶ

- 第6回 【事前・事後学習課題】 これまでの復習
【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法等】 課題1のフィードバック
- 第7回 【事前・事後学習課題】 前回の復習
【授業テーマ】 要約
【内容・方法等】 要約の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題1を見直す
- 第8回 【授業テーマ】 引用1
【内容・方法等】 文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第9回 【授業テーマ】 引用2
【内容・方法等】 グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第10回 【授業テーマ】 【課題2】
【内容・方法等】 資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第11回 【授業テーマ】 レポートの書き方1
【内容・方法等】 レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第12回 【授業テーマ】 フィードバック
レポートの書き方2
【内容・方法等】 課題2のフィードバック
レポート作成の注意点を教える
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第13回 【授業テーマ】 レポートの書き方3
【内容・方法等】 レポートを書くための資料収集の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題2を見直す
- 第14回 【授業テーマ】 小テストの復習
【レポート】
【内容・方法等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 小テストの復習
レポートを作成する
- 第15回 【授業テーマ】 レポートの講評
【内容・方法等】 レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 評価方法 (基準)
課題・レポート (70%)、授業への取り組みなど (30%) により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。
- 教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。
- 学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。
- 関連科目
キャリアデザイン
- 担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語表現I Japanese Expression I				
大石 真由香 (オオishi マユカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を高めることを目的とする。
大学でのレポート・論文の作成、また社会に出てからの文書の作成に必要な、「事実を客観的に説明する」、「意見を論理的に記述する」力を養成することに重点を置く。
考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、など、文章化する際の基礎を実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点
文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、文章作成を行う。数回の課題を提出し、最後にはレポートを提出する。毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果 (資格)
文章作成の能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 導入
文章の書き方1
【内容・方法等】 授業の目的、進め方の説明
文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 _____

- 第2回 【授業テーマ】 文章の書き方2
【内容・方法等】 文章表現の基礎を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第3回 【授業テーマ】 事実と意見
【内容・方法等】 事実を述べる文章と意見を述べる文章の違い、論理的に説明する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第4回 【授業テーマ】 【課題1】
【内容・方法等】 ある事物について、論理的に説明する文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第5回 【授業テーマ】 構成
【内容・方法等】 レポートなどの文章構成を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第6回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法等】 課題1のフィードバック
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第7回 【授業テーマ】 要約
【内容・方法等】 要約の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題1を見直す
- 第8回 【授業テーマ】 引用1
【内容・方法等】 文章を引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第9回 【授業テーマ】 引用2
【内容・方法等】 グラフなどのデータを引用する方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第10回 【授業テーマ】 【課題2】
【内容・方法等】 資料を引用して意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第11回 【授業テーマ】 レポートの書き方1
【内容・方法等】 レポートの体裁について学ぶ
レポート課題の説明
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第12回 【授業テーマ】 フィードバック
レポートの書き方2
【内容・方法等】 課題2のフィードバック
レポート作成の注意点を教える
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第13回 【授業テーマ】 レポートの書き方3
【内容・方法等】 レポートを書くための資料収集の方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題2を見直す
- 第14回 【授業テーマ】 小テストの復習
【レポート】
【内容・方法等】 小テストの復習テスト
レポートを提出する
【事前・事後学習課題】 小テストの復習
レポートを作成する
- 第15回 【授業テーマ】 レポートの講評
【内容・方法等】 レポートについて講評する
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 評価方法 (基準)
課題・レポート (70%)、授業への取り組みなど (30%) により総合的に評価する。
課題、レポートの提出は必須。場合によっては再提出も求める。
- 教材等
教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に指示します。
- 学生へのメッセージ
日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。これからの大学生活、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。
- 関連科目
キャリアデザイン
- 担当者の研究室等
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語表現II Japanese Expression II				
船田 淳一 (フナタ ジュンイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ABC	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。大学生活、就職活動、社会生活に必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点

文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、スピーチ、文章作成を行う。3回の課題を提出する。

科目学習の効果（資格）

社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 導入
【内容・方法 等】 授業の目的、進め方の説明
第1・2章
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 **【授業テーマ】** レポートの書き方
【内容・方法 等】 資料を引用して、意見の引用と分析、意見の述べ方（第3・4章）
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第3回 **【授業テーマ】** 【課題1】レポートの作成
【内容・方法 等】 資料を引用して、意見を述べる
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第4回 **【授業テーマ】** 敬意を表す言葉
【内容・方法 等】 敬語の種類と用法（第6章）
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第5回 **【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法 等】 課題1のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】 課題1の見直し
- 第6回 **【授業テーマ】** 手紙
【内容・方法 等】 手紙の書式・用語・マナー（第7章）
【事前・事後学習課題】 教科書による予習
- 第7回 **【授業テーマ】** 【課題2】手紙
【内容・方法 等】 手紙の作成
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第8回 **【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法 等】 課題2のフィードバック
【事前・事後学習課題】 課題2の見直し
- 第9回 **【授業テーマ】** 電子メールの書き方
【内容・方法 等】 電子メールの基本とマナー（第8章）
敬語と手紙の復習
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第10回 **【授業テーマ】** ディスカッション1
【内容・方法 等】 グループ分けとディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマの下調べ
- 第11回 **【授業テーマ】** ディスカッション2
【内容・方法 等】 ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第12回 **【授業テーマ】** プレゼンテーション1
【内容・方法 等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う（第5章）
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第13回 **【授業テーマ】** プレゼンテーション2
【内容・方法 等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う（第5章）
報告文の準備
【事前・事後学習課題】 発表の反省
- 第14回 **【授業テーマ】** 【課題3】報告文
【内容・方法 等】 ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】 報告文の準備
- 第15回 **【授業テーマ】** 授業の総括
【内容・方法 等】 小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】 小テストの復習

評価方法（基準）

課題（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。

課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等

教科書…庄司達也・山岸郁子・小野美典・安達原達晴『日本語表現法（改訂版）21世紀を生きる社会人のたしなみ』翰林書房（980円＋税）

参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ

日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別してはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目

キャリアデザイン

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

日本語表現II

Japanese Expression II

西尾元伸（ニシオ モトノブ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	DEF	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。

大学生活、就職活動、社会生活に必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点

文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。3回の課題を提出する。

毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）

社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** 導入
【内容・方法 等】 授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 **【授業テーマ】** レポートの書き方
【内容・方法 等】 レポートの構成、資料の引用と分析、意見の述べ方
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第3回 **【授業テーマ】** 【課題1】レポートの作成
【内容・方法 等】 資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第4回 **【授業テーマ】** 敬意を表す言葉
【内容・方法 等】 敬語の種類と用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第5回 **【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法 等】 課題1のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第6回 **【授業テーマ】** 手紙
【内容・方法 等】 手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題1を見直す
- 第7回 **【授業テーマ】** 【課題2】手紙
【内容・方法 等】 手紙を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第8回 **【授業テーマ】** フィードバック
【内容・方法 等】 課題2のフィードバック
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第9回 **【授業テーマ】** 電子メールの書き方
【内容・方法 等】 電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題2の見直し
- 第10回 **【授業テーマ】** ディスカッション1
【内容・方法 等】 グループ分けとディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマの下調べ
- 第11回 **【授業テーマ】** ディスカッション2
【内容・方法 等】 ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 資料作成の準備
- 第12回 **【授業テーマ】** プレゼンテーション1
【内容・方法 等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第13回 **【授業テーマ】** プレゼンテーション2
【内容・方法 等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第14回 **【授業テーマ】** 【課題3】報告文
【内容・方法 等】 ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】 報告文の準備
- 第15回 **【授業テーマ】** 小テストの復習
授業の総括
【内容・方法 等】 小テストの復習テスト
【事前・事後学習課題】 小テストの復習

評価方法（基準）

課題（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。

課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等

教科書…プリントを配布します。

参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ

日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目

キャリアデザイン

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

日本語表現II Japanese Expression II				
大石 真由香 (オオishi マユカ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	GH	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

文章表現の基礎を習得し、日本語表現力を全般的に高めることを目的とする。

大学生活、就職活動、社会生活に必要な、考えや経験をどうまとめるか、他人に読んでもらう文章をどう書くか、他人に納得してもらうためにはどのような話し方が適切か、などを実践的にトレーニングする。

授業方法と留意点

文章表現の基本を再確認し、身につけた上で、グループディスカッションやプレゼンテーション、文章作成を行う。3回の課題を提出する。

毎回語彙力・表現力を養成するテストを行う。

科目学習の効果（資格）

社会生活に必要な書く・話す能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 導入
【内容・方法 等】 授業の目的、進め方の説明
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 レポートの書き方
【内容・方法 等】 レポートの構成、資料の引用と分析、意見の述べ方
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第3回 【授業テーマ】 【課題1】 レポートの作成
【内容・方法 等】 資料を引用して、意見を述べる文章を書く
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第4回 【授業テーマ】 敬意を表す言葉
【内容・方法 等】 敬語の種類と用法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第5回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法 等】 課題1のフィードバック
敬語の練習問題
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第6回 【授業テーマ】 手紙
【内容・方法 等】 手紙の書式・用語・マナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題1を見直す
- 第7回 【授業テーマ】 【課題2】 手紙
【内容・方法 等】 手紙を作成する
【事前・事後学習課題】 前回の復習
- 第8回 【授業テーマ】 フィードバック
【内容・方法 等】 課題2のフィードバック
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第9回 【授業テーマ】 電子メールの書き方
【内容・方法 等】 電子メールの基本とマナーを学ぶ
【事前・事後学習課題】 課題2の見直し
- 第10回 【授業テーマ】 ディスカッション1
【内容・方法 等】 グループ分けとディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマの下調べ
- 第11回 【授業テーマ】 ディスカッション2
【内容・方法 等】 ディスカッションとプレゼンテーション資料の作成
【事前・事後学習課題】 資料作成の準備
- 第12回 【授業テーマ】 プレゼンテーション1
【内容・方法 等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第13回 【授業テーマ】 プレゼンテーション2
【内容・方法 等】 資料を用いて、グループ単位でプレゼンテーションを行う
報告文の準備
【事前・事後学習課題】 発表の準備
- 第14回 【授業テーマ】 【課題3】 報告文
【内容・方法 等】 ディスカッションの経過と結論を文書で報告する
【事前・事後学習課題】 報告文の準備
- 第15回 【授業テーマ】 小テストの復習

授業の総括

【内容・方法 等】 小テストの復習テスト

【事前・事後学習課題】 小テストの復習

評価方法（基準）

課題（70%）、授業への取り組みなど（30%）により総合的に評価する。

課題の提出は必須。場合によっては再提出も求める。

教材等

教科書…プリントを配布します。

参考書…授業中に指示します。

学生へのメッセージ

日常会話で使っている日本語と、レポートなどで書く日本語は区別しなくてはなりません。また、人前で話す日本語と日常の話し言葉も異なります。これからの大学生活、就職活動、社会生活のためにも、真面目に日本語と向き合ってください。

関連科目

キャリアデザイン

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

海外語学研修

Overseas Language Training

齋藤 安以子 (サイトウ アイコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この研修は、語学力（英語力）の向上と研修地の歴史・文化およびそこで生活する人々に触れ、国際的な知識と理解を深め、広範囲な国の人々と協力し合える国際感覚を身につけることを目的とする。研修先での授業は、月曜日から金曜日に実施し、語学力別に分けたクラス内で行われる。宿泊はホームステイ形式である。費用は約35～40万円程度を予定（為替レートにより変動の可能性あり）。*詳細は、3月～4月の募集ガイダンスで周知する。

学科の学習・教育目標との対応：「D」

授業方法と留意点

研修前に3回の事前ガイダンスを行う（6月～8月）

研修先では、語学学習を中心とした授業を受講する。授業を担当する先生やホームステイ先の家族を含め、授業内外を問わず現地の人と交流する積極的な行動が求められる。2週間、3週間という短い滞在期間を有意義に過ごすためにも、研修計画を前もって立て、事前学習を怠らないことが大切である。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

3月上旬～4月下旬

募集ガイダンス（日時等の詳細はポータルおよび掲示で連絡する）、事前学習としては事前のガイダンス出席が義務づけられている。また、事後には成果報告およびレポート提出を要請されている。

5月

申込書の提出

5月下旬

派遣学生の決定および履修申請

6月～8月

事前ガイダンスを実施（全3回）

8月上旬

結団式

研修スケジュール>

[2週間コース]

8月中旬～8月下旬（予定）

[3週間コース]

8月中旬～9月上旬（予定）

9月

成果報告書の提出

9月中旬

成果報告会

評価方法・評価基準

帰国後に提出する成果報告書（20%）および研修先での成績（80%）を基に評価する。

教材等

教科書…事前ガイダンスでは、その都度プリントを配布。研修先では受入大学が指定するもの。

参考書…・研修先の国、地域の観光局等のホームページ

・そのほか、ガイダンスや事前研修授業で紹介されるもの

備考

①参加学生は事前ガイダンスに必ず出席すること。欠席の場合は、事前に国際交流センターへ連絡すること。

②事前に参加申込みをし、参加許可を得た者に限り履修申請をすることができる。通常の履修申請とは方法が異なるので注意

すること。

心理学I Psychology I				
山本雅代(ヤマモト マサヨ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

心理学とは、我々が周囲のさまざまな環境とのかかわりの中で行う行動やその背景にある心を客観的に理解しようとする学問である。授業では人間の心と行動に関して科学的に認められる傾向性や法則性について検討し、心理学における専門的基礎知識を学習することを目的とする。特に心理学Iでは、個人に焦点をあて、かつ社会的現実と対比した日常での問題を取り上げ人間の理解を目指す。

授業方法と留意点

基本的に講義形式だが、より理解を深めるために必要に応じてVTRを使用したり、簡単な心理学実験を行う。その際レポートの提出を求めることがある。

科目学習の効果(資格)

教養としての心理学を学ぶ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 心理学とはどのような学問か
【内容・方法等】 心理学、心理学研究の考え方、今までの歩みについて概説する。
【事前・事後学習課題】 心理学について、現在いただいている印象について自分なりの考えをまとめておいて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 生物学的基礎
【内容・方法等】 他の動物が行う行動と比較しながら、生得的行動とは何か、初期経験が人間に与える影響について説明する。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 学習(1)
【内容・方法等】 人間はいかに学ぶのか、また愛着について説明する。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 学習(2)
【内容・方法等】 条件づけとは何か、古典的条件づけ、オペラント条件づけについて説明する。
【事前・事後学習課題】 前回の授業で紹介したVTRについてA4にまとめ提出する。
- 第5回 【授業テーマ】 学習(3)
【内容・方法等】 学習とは学校での勉強のことでなく、経験のことをいう。人間における経験がいかに大切であるかまた学習効果について説明する。
【事前・事後学習課題】 関連する文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 学習(4)
【内容・方法等】 心理学実験「両側性転移」を行い学習についての理解を深めるとともに心理学の研究方法について理解を深める。
【事前・事後学習課題】 実験の概要について確認しておくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 学習(5)
【内容・方法等】 実験結果から読み取れる問題、人間の傾向性についての検討。学習全般のまとめを行なう。
【事前・事後学習課題】 実験結果から何が読み取れるかA4用紙にまとめ提出する。
- 第8回 【授業テーマ】 動機づけ(1)
【内容・方法等】 人間が行動に駆り立てられる状況、様々な動機、動機の階層について説明する。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第9回 【授業テーマ】 動機づけ(2)
【内容・方法等】 生物的動機、内発的動機の違いについて説明する。
【事前・事後学習課題】 授業の中で紹介した人物の動機について自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。
- 第10回 【授業テーマ】 動機づけ(3)
【内容・方法等】 社会的動機について説明する。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第11回 【授業テーマ】 パーソナリティ(1)
【内容・方法等】 パーソナリティがどのようなものであるのか概説する。
【事前・事後学習課題】 パーソナリティについて自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。
- 第12回 【授業テーマ】 パーソナリティ(2)

【内容・方法等】 パーソナリティのとらえ方。パーソナリティの形成について説明する。

【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。

- 第13回 【授業テーマ】 パーソナリティ(3)
【内容・方法等】 実際に使用されている様々なパーソナリティテストについて解説する。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。

- 第14回 【授業テーマ】 パーソナリティ(4)
【内容・方法等】 パーソナリティについて自己分析を行う。
【事前・事後学習課題】 パーソナリティテストの結果について自分なりに解釈しA4用紙にまとめ提出する。

- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 授業全体のまとめを行う。
【事前・事後学習課題】 疑問点がどこであるのか考えておく。

評価方法(基準)

定期試験、実験結果レポート、その他各種提出物を総合して評価を行う。

教材等

教科書…特になし。講義中に資料配布。

参考書…「心理学の基礎」今田寛、宮田洋、賀集寛共編、培風館(1650円)。その他、講義中に適宜配布。

学生へのメッセージ

心理学は大学で初めて学ぶ学問ですがすでに何らかの印象を持っていると思います。授業を受けて自分の持つ心理学のイメージと違う所があり驚くかもしれませんが、現実社会で起こっている身近なトピックも取り上げて授業を行ってまいりますので、主体的に取り組んでくださいね。

関連科目

心理学IIと併せて履修することが望ましい。

担当者の研究室等

11号館6階(経営学部事務室)

心理学II Psychology II				
山本雅代(ヤマモト マサヨ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

心理学とは、我々が周囲のさまざまな環境とのかかわりの中で行う行動やその背景にある心を客観的に理解しようとする学問である。授業では人間の心と行動に関して科学的に認められる傾向性や法則性について検討し、心理学における専門的基礎知識を学習することを目的とする。特に心理学IIでは、社会的現実と対比した日常での問題を多く取り上げ現実社会における対人間、集団関係でおこる心理状況の理解を目指す。

授業方法と留意点

基本的には講義形式だがより理解を深めるために必要に応じてVTRを使用したり、簡単な心理学実験を行う。その際レポートの提出を求めることがある。

科目学習の効果(資格)

教養としての心理学を学ぶ。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 心理学とは何か、社会、集団の中でおこる心理
【内容・方法等】 心理学、心理学研究についての考え方について説明する。後期において取り扱うトピックの概要説明。
【事前・事後学習課題】 VTRについて自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。
- 第2回 【授業テーマ】 知覚(1)
【内容・方法等】 人間理解につながる「見えのしくみ」について概説する。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 知覚(2)
【内容・方法等】 知覚の種類や見えに及ぼす社会的影響について説明する。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 知覚(3)
【内容・方法等】 心理学の基礎実験の1つである「ミューラリヤーの錯視」実験を実施する。心理学におけるデータの取り扱い方、考え方や人間の知覚行為についての理解を深める。
【事前・事後学習課題】 実験結果について読み取れる問題をA4用紙にまとめ提出する。
- 第5回 【授業テーマ】 対人関係(1)
【内容・方法等】 人はどのように他者を認知し自分を呈示し

ていくものなのか、対人認知や印象形成について説明する。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第6回 **【授業テーマ】** 対人関係(2)
【内容・方法等】 人はどのような事をきっかけに親しくなったり、愛したりしていくものなのか、対人魅力について説明する。
【事前・事後学習課題】 対人魅力について自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。

第7回 **【授業テーマ】** 対人関係(3)
【内容・方法等】 人が態度を変えるとき、説得されるときとはどのようなときなのか、態度変容について説明する。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第8回 **【授業テーマ】** 対人関係(4)
【内容・方法等】 集団の持つ影響力として「同調」や「服従」について説明する。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第9回 **【授業テーマ】** 対人関係(5)
【内容・方法等】 リーダシップについて説明する。
【事前・事後学習課題】 自己のリーダーシップのあり方についてA4用紙にまとめ提出する。

第10回 **【授業テーマ】** うわさ
【内容・方法等】 うわさの分類、社会的機能、発生、消滅のメカニズム等について、実際に世界でおきた事件を例に説明する。
【事前・事後学習課題】 授業で体験した伝達現象について自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。

第11回 **【授業テーマ】** 攻撃行動(1)
【内容・方法等】 人間の攻撃行動について概説する。
【事前・事後学習課題】 VTRについて自分なりの考えをA4用紙にまとめ提出する。

第12回 **【授業テーマ】** 攻撃行動(2)
【内容・方法等】 人間が行なう攻撃行動の機能性について様々な実験例とともに説明する。またドメスティックヴァイオレンスなどについて説明を行なう。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第13回 **【授業テーマ】** 援助行動(1)
【内容・方法等】 援助行動の形成や発達の仕方について、また援助行動が行われる状況、行われない状況とはどのような状況か、実際のニュースなどを例に説明する。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第14回 **【授業テーマ】** 援助行動(2)
【内容・方法等】 援助行動と対人ネットワークの重要性について説明する。
【事前・事後学習課題】 関連文献を紹介するので読んでおくこと。

第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法等】 授業全体のまとめを行う。
【事前・事後学習課題】 疑問点がどこであるのかを考える。

評価方法(基準)
 定期試験、実験結果レポート、その他各種提出物を総合して評価を行う。

教材等
教科書…特になし。講義中に資料配布。
参考書…「心理学の基礎」今田寛、宮田洋、賀集寛共編、培風館(1650円)。その他、講義中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 心理学は大学で初めて学ぶ学問ですがすでに何らかの印象を持たれていると思います。イメージと違う所があり驚くかもしれませんが、現実社会で起こるトピックを取り上げて授業を行いたいと思っています。特にⅡではより身近な心理学を扱う予定ですので主体的に取り組んで下さい。

関連科目
 心理学Ⅰ
担当者の研究室等
 11号館6階(経営学部事務室)

哲学 Philosophy I				
島田喜行(シマダ ヨシユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 本講義では、人間のより善い生を実現するために哲学者がどのような思索と努力を重ねてきたのかを学ぶ。その際、私たちの

社会のルールや規範はいかなる仕方で決定するのがよいのか、という問いを軸にしてこの問いと格闘した代表的な哲学者の思想を取り上げる。

到達目標:
 (1) 社会人にとって必要な一般教養としての哲学に関する基礎的知識が習得できる。
 (2) 合意説や契約説についての代表的な理論を学ぶことを通じて、哲学的な視点からこの社会の一員として主体的に生きていくことの意味を考えられるようになる。

授業方法と留意点
 ノート講義方式
 講義のなかで取り上げる哲学者とその思想についての一般的な知識を問う小テストを数回実施する。受講者は講義の初回に提示する小テストの問題について事前に予習しておく必要がある。

科目学習の効果(資格)
 人間と社会の関わりについての哲学的な見方を学ぶことができる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法等】 講義の説明
【事前・事後学習課題】 特になし
- 第2回** **【授業テーマ】** ソクラテス・プラトンの哲学
【内容・方法等】 哲学とは何か、哲学と倫理学とは別物か
【事前・事後学習課題】 予習 ソクラテスとプラトンがどのような哲学者か調べる。
- 第3回** **【授業テーマ】** ホッブズの哲学
【内容・方法等】 合意説/国家の役割について
【事前・事後学習課題】 予習 ホッブズがどのような哲学者か調べる。
- 第4回** **【授業テーマ】** ロックの哲学
【内容・方法等】 自然状態/自然法/所有権について
【事前・事後学習課題】 予習 ロックがどのような哲学者か調べる。
- 第5回** **【授業テーマ】** ルソーの哲学
【内容・方法等】 自然人/社会契約説について
【事前・事後学習課題】 予習 ルソーがどのような哲学者か調べる。
- 第6回** **【授業テーマ】** カントの哲学(1)
【内容・方法等】 義務論的/形式主義的/人格について
【事前・事後学習課題】 予習 カントがどのような哲学者か調べる。
- 第7回** **【授業テーマ】** カントの哲学(2)
【内容・方法等】 自律とは何か(1)
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第8回** **【授業テーマ】** フッサールの哲学
【内容・方法等】 自律とは何か(2)
【事前・事後学習課題】 予習 フッサールがどのような哲学者か調べる。
- 第9回** **【授業テーマ】** アーベルの哲学
【内容・方法等】 討議倫理学の思想(1)
【事前・事後学習課題】 予習 アーベルがどのような哲学者か調べる。
- 第10回** **【授業テーマ】** ハーバーマスの哲学
【内容・方法等】 討議倫理学の思想(2)
【事前・事後学習課題】 予習 ハーバーマスがどのような哲学者か調べる。
- 第11回** **【授業テーマ】** ベンサム
【内容・方法等】 功利的快樂計算の思想(1)
【事前・事後学習課題】 予習 ベンサムがどのような哲学者か調べる。
- 第12回** **【授業テーマ】** J. S. ミルの哲学
【内容・方法等】 功利的快樂計算の思想(2)
【事前・事後学習課題】 予習 J. S. ミルがどのような哲学者か調べる。
- 第13回** **【授業テーマ】** 功利主義批判
【内容・方法等】 功利主義の問題点とその克服の可能性
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第14回** **【授業テーマ】** ロールズの哲学
【内容・方法等】 無知のヴェール/重なり合う合意について
【事前・事後学習課題】 予習 ロールズがどのような哲学者か調べる。
- 第15回** **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法等】 講義のふりかえり
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

評価方法(基準)
 定期試験60%、平常点(小テスト、受講態度、出席状況)40%の割合で総合的に評価する。

教材等
教科書…なし
参考書…講義のなかで適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 わたしたちの社会のきまりやルールがどのような考え方に基いて作り出されてきたのかを知ることから、これからの社会の在り方について考えるヒントを見つけてください。

私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目

哲学 I I

担当者の研究室等

非常勤講師控室

哲学II
Philosophy II

島田 喜行 (シマダ ヨシユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本講義では、人間のより善い生を実現するために哲学者がどのような思索と努力を重ねてきたのかを学ぶ。その際、日常生活においてもっとも自明なものとみなされている<わたし>について改めて問い直すことを議論の手引きにして、<わたし>の不可解さと格闘した代表的な哲学者の思想を取り上げる。

到達目標

- (1) 社会人にとって必要な一般教養としての哲学に関する基礎的知識が習得できる。
- (2) 自己を知ることの難しさと自己と真摯に向き合うことの意義について考えられるようになる。

授業方法と留意点

ノート講義方式

講義のなかで取り上げた哲学者とその思想についての知識の理解を問う小テストを数回実施する。

科目学習の効果 (資格)

自明だと思われていることのなかにこそ解決困難な問題が潜んでいることを知り、自ら深く考えるという姿勢を身につけることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 講義の説明
【事前・事後学習課題】 特になし
- 第2回 【授業テーマ】 <わたし>をめぐって
【内容・方法 等】 わたしにとって<わたし>が問題になる時?
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第3回 【授業テーマ】 古代哲学における<わたし> (1)
【内容・方法 等】 ブッダから<あなた>への問い
「己こそ己のよるべ」
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第4回 【授業テーマ】 古代哲学における<わたし> (2)
【内容・方法 等】 ソクラテスからの問い
「汝、自らを知れ」
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第5回 【授業テーマ】 古代哲学における<わたし> (3)
【内容・方法 等】 ストア派からの問い
「スティック」な生き方
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第6回 【授業テーマ】 <わたし>はわたしにとって自明なものか (1)
【内容・方法 等】 フランシス・ベーコンからの問い
常識と先入見
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第7回 【授業テーマ】 <わたし>はわたしにとって自明なものか (2)
【内容・方法 等】 デカルトからの問い
もっとも確実なものを求めて
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第8回 【授業テーマ】 <わたし>はわたしにとって自明なものか (3)
【内容・方法 等】 英国経験論からの問い
わたしは幻想にすぎないのか
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第9回 【授業テーマ】 わたしは<わたし>を知ることができるのか (1)
【内容・方法 等】 モンテーニュからの問い
わたしへの思索を深めるということ
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第10回 【授業テーマ】 わたしは<わたし>を知ることができるのか (2)
【内容・方法 等】 パスカールからの問い
考える葦であるという自覚
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習
- 第11回 【授業テーマ】 わたしは<わたし>を知ることができるのか (3)
【内容・方法 等】 ラ・ロシュフコーからの問い
理性と感情のはざま
【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

第12回 【授業テーマ】 この世界で生きている<わたし> (1)

【内容・方法 等】 カントからの問い
人格として、自律という生き方

第13回 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

【授業テーマ】 この世界で生きている<わたし> (2)

【内容・方法 等】 フッサールからの問い
世界を意味づけるという生き方

第14回 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

【授業テーマ】 この世界で生きている<わたし> (3)

【内容・方法 等】 サルトルからの問い
実存という生き方

第15回 【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 講義のふりかえり

【事前・事後学習課題】 事後学習 講義ノートの復習

評価方法 (基準)

定期試験60%、平常点 (小テスト、受講態度、出席状況) 40%の割合で総合的に評価する。

教材等

教科書…なし

参考書…今道友信『西洋哲学史』講談社学術文庫、1987年。
和田渡『自己の探求—自己とつきあうということ—』ナカニシヤ出版、2005年。その他は、講義中に適宜指示する。

学生へのメッセージ

流行の「自分探し」ではなく、哲学的な「自己探求」という迷宮に足を踏み入れてみましょう。

私語、携帯電話の使用等で講義を妨害する行為を行った者は、平常点評価をゼロとする。大学生にふさわしい態度で講義に臨むことを求めます。

関連科目

哲学 I

担当者の研究室等

非常勤講師控室

スポーツ科学実習I

Practice of Sports Science I

横山 喬之 (ヨコヤマ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習 I はスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツを楽しむことを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

～スポーツコース～

現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合っけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点

【授業内容】

スポーツ科学実習 I では、第 1 回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。

開設種目：クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習 I と II で同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果 (資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 履修上の注意やコース種目分け
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第2回 【授業テーマ】 体力測定①
【内容・方法 等】 50m走、立ち幅跳び、ハンドボール投げ
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第3回 【授業テーマ】 体力測定②
【内容・方法 等】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳
【事前・事後学習課題】 観察記録
- 第4回 【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法 等】 基礎技術練習 (ピッチング・キャッチング・

- ヒッティング)
- 第5回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基礎技術練習(ピッチング・キャッチング・ヒッティング)
- 第6回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基礎技術練習(ピッチング・キャッチング・ヒッティング)
- 第7回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基礎技術練習(ピッチング・キャッチング・ヒッティング)
- 第8回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基本技術練習・ゲーム
- 第9回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基本技術練習・ゲーム
- 第10回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 基本技術練習・ゲーム
- 第11回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 リーグ戦
- 第12回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 リーグ戦
- 第13回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 リーグ戦
- 第14回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 リーグ戦
- 第15回 【事前・事後学習課題】 観察記録
【授業テーマ】 ソフトボール
【内容・方法等】 リーグ戦

評価方法 (基準)
単位取得条件は開講時間数の75%以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1F横山助教室にきてください。
実施場所はグラウンドで行う。服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館1F 横山助教室

スポーツ科学実習Ⅰ Practice of Sports Science I				
西村和恵 (ニシムラ カズエ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
スポーツ科学実習Ⅰはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツを楽しむを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。
～スポーツコース～
現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合ってゆけるスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点
【授業内容】
スポーツ科学実習Ⅰでは、第1回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。
開設種目：クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。
※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、も

しくは開講しないことがあります。
原則として、スポーツ科学実習ⅠとⅡで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果(資格)
生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 各履修の注意と説明
各コース分け
- 第2回 【事前・事後学習課題】 ルールの理解
【授業テーマ】 体力測定①
【内容・方法等】 50m走、立ち幅跳、ハンドボール投げ
- 第3回 【事前・事後学習課題】 体力測定評価
【授業テーマ】 体力測定②
【内容・方法等】 20mシャトルラン、上体起こし、長座体前屈、反復横跳
- 第4回 【事前・事後学習課題】 体力測定評価
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 対人パス、1対1、2対1、6人円陣パス、基本技術練習
- 第5回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 基本技術練習、パス～レシーブ、簡易試合
- 第6回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 基本技術練習、パス～レシーブ、サーブ、簡易試合
- 第7回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 基本技術練習、パス～レシーブ、サーブ、簡易試合
- 第8回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 基本技術練習、パス～レシーブ、サーブ、簡易試合
- 第9回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 基本技術練習、アタック、ブロック、簡易試合
- 第10回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 基本技術練習、アタック、ブロック、簡易試合
- 第11回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 ゲーム(リーグ戦)
- 第12回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 ゲーム(リーグ戦)
- 第13回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 ゲーム(リーグ戦)
- 第14回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 ゲーム(リーグ戦)
- 第15回 【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
【授業テーマ】 バレーボール
【内容・方法等】 ゲーム(リーグ戦)

評価方法 (基準)
単位取得条件は開講時間数の75%以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ
授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1F事務室にきてください。
実施場所は総合体育館アリーナで行う。
服装はスポーツウェア及び体育館シューズを準備すること。

関連科目
スポーツ科学実習Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等
総合体育館1F 体育館事務室

スポーツ科学実習II
Practice of Sports Science II

横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習IIはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツを楽しむことを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

～スポーツコース～

現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合っていくスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点

【授業内容】

スポーツ科学実習IIでは、第1回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。

開設種目：クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習IとIIで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果(資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- | | |
|------|---|
| 第1回 | 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 履修上の注意やコース種目分け
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第2回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習(パス・キック・ランニング等)
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第3回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習(パス・キック・ランニング等)
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第4回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習(パス・キック・ランニング等)
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第5回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習(パス・キック・ランニング等)
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第6回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第7回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第8回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第9回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 基本技術練習・ミニゲーム
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第10回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第11回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第12回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第13回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第14回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 観察記録 |
| 第15回 | 【授業テーマ】 サッカー
【内容・方法 等】 フルゲーム(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 観察記録 |

評価方法(基準)

単位取得条件は開講時間数の75%以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1F横山助教室にきてください。
実施場所はグラウンドで行う。服装はスポーツウェア及びスポーツシューズを準備すること。

関連科目

スポーツ科学実習I、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館1F 横山助教室

スポーツ科学実習II

Practice of Sports Science II

西村 和恵(ニシムラ カズエ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習IIはスポーツ活動を通じて知的水準に応じた健康・体力観を育成し、身体能力の獲得およびスポーツを楽しむことを理解する。また、自らの生活習慣の中にスポーツ・身体運動を実践する能力を育成することを目的とする。

～スポーツコース～

現代社会の構造の変化、テクノロジーの発達により、意識して運動に参加しなければ、自然に運動不足に陥ってしまう。スポーツコースは、生涯体育という観点から学生生活の中で体育実技により、生涯つき合っていくスポーツを各自が見つけ出せるように、多くの種目を実施し、ルール、マナー、文化などの側面と併せて学習するコースである。

授業方法と留意点

【授業内容】

スポーツ科学実習IIでは、第1回目の授業時に種目選択を実施し授業を進める。

開設種目：クラスについては①屋内スポーツ、②屋外スポーツコースである。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

原則として、スポーツ科学実習IとIIで同じ種目を履修することはできない。

科目学習の効果(資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- | | |
|------|---|
| 第1回 | 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 各履修の注意と説明
各コース分け
【事前・事後学習課題】 ルールの理解 |
| 第2回 | 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 基本技術練習、ルール説明
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ |
| 第3回 | 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 基本技術練習、簡易試合(シングルス)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ |
| 第4回 | 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 シングルスゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ |
| 第5回 | 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 シングルスゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ |
| 第6回 | 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 シングルスゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ |
| 第7回 | 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 ダブルス、ルール説明
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ |
| 第8回 | 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 ダブルスゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ |
| 第9回 | 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 ダブルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ |
| 第10回 | 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法 等】 ダブルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ |

- 第11回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 ダブルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第12回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 ダブルス(リーグ戦)、テスト
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第13回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 シングルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第14回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 シングルス(リーグ戦)
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ
- 第15回 【授業テーマ】 バドミントン
【内容・方法等】 シングルス(リーグ戦)、テスト
【事前・事後学習課題】 授業内容まとめ

評価方法 (基準)

単位取得条件は開講時間数の75%以上の出席と技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1F事務室にきてください。
実施場所は総合体育館アリーナで行う。
服装はスポーツウェア及び体育館シューズを準備すること。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館1F 体育館事務室

生涯スポーツ実習 Lifetime Sports				
		河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)		
		近藤 潤 (コドウ ジュン)		
		藤林 真美 (フジバヤシ マミ)		
		内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
- ②競技ルールを理解
- ③学生相互のコミュニケーション能力の向上

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

【授業内容】

授業での開講種目は下記のとおりである。コース分けについては第1回目の授業ガイダンスの中で行う。

前期 ①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球

後期 ①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、⑤ゴルフ(集中授業・シラバスは別途)を開講する。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、もしくは開講しないことがあります。

科目学習の効果 (資格)

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 ガイダンス (履修上の注意事項の説明) コース種目分け
【事前・事後学習課題】 ルールの理解
- 第2回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 競技の概要説明、基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第3回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第4回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

- 第5回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム (グループワーク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム (グループワーク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム (グループワーク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム (グループワーク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム (グループワーク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム (グループワーク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム (グループワーク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム (グループワーク・成績記録)
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法 (基準)

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ 健康論

担当者の研究室等

体育館1F 体育館事務室

生涯スポーツ実習 Lifetime Sports				
		河瀬 泰治 (カワセ ヤスハル)		
		近藤 潤 (コドウ ジュン)		
		藤林 真美 (フジバヤシ マミ)		
		内部 昭彦 (ウチベ アキヒコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

スポーツ科学実習で習得した基礎知識をベースにより応用的な内容に発展させ、スポーツライフの形成の大切さを学び、スポーツ活動の楽しさや身体活動の必要性を自覚すると共に、生涯スポーツ参加への意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

- ①運動技術の向上
- ②競技ルールを理解
- ③学生相互のコミュニケーション能力の向上

学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

【授業内容】

授業での開講種目は下記のとおりである。コース分けについては第1回目の授業ガイダンスの中で行う。

前期 ①サッカー、②テニス、③ソフトボール、④バドミントン、⑤卓球

後期 ①バドミントン、②テニス、③サッカー、④卓球、⑤ゴルフ(集中授業・シラバスは別途)を開講する。

※ただし、各種目の人数が多すぎる場合は、少ない種目に移動してもらうことがあります。また、少なすぎる場合も移動、も

しくは開講しないことがあります。

科目学習の効果（資格）

生活していくうえでの個人における基礎体力の養成、健康の保持・増進および運動技術の獲得である。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 ガイダンス（履修上の注意事項の説明）
コース種目分け
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第2回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 競技の概要説明、基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第3回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第4回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 審法、戦術の解説、攻防技術練習、ゲームの解説
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第5回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合、解説とゲーム
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第6回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第7回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 基礎技術練習・簡易試合
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第8回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第9回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第10回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第11回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第12回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第14回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ
- 第15回 【授業テーマ】 各コース別実技
【内容・方法等】 ゲーム（ブルーピンク・成績記録）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ

評価方法（基準）

単位取得条件は技能および平常態度、知的理解度などを総合して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…使用しない

学生へのメッセージ

授業への質問などは授業前後の休憩時間または昼休みに総合体育館1Fスポーツ振興センター事務室にきてください。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ 健康論

担当者の研究室等

体育館1F 体育館事務室

備考

【準備物】
トレーニングウェア、スポーツシューズ（コースに適したもの）

生涯スポーツ実習 Lifetime Sports				
		近藤 潤 (コンドウ ジュン)		
		菅生 貴之 (スゴウ タカユキ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

ゴルフというスポーツを通して生涯スポーツへの参加意識向上と自信を深めることを目的とする。

《到達目標》

運動技術の向上
競技ルールの理解
学生相互のコミュニケーション能力の向上
学科の学習・教育目標との対応：[A]

授業方法と留意点

事前ガイダンスと集中授業4日間合わせて5日間で行う。
後期の生涯スポーツ実習が履修できること。
5日間すべて受講できること。
事前の申し込みが受け付けられることが必要。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ 学習内容 場所
1回目 : 事前ガイダンス 目的、日程、準備する物、ゴルフについて 総合体育館
2回目 AM: ゴルフの基礎知識 ゴルフのルール・マナーについて 総合体育館
PM: 基礎技術 グリップ・スウィング・パター 多目的グラウンドおよび第1グラウンド
3回目 AM: 基礎技術 打球練習場での練習 打球練習場
PM: 基礎技術 アプローチ、パター練習 第1グラウンド
4回目 AM: 基礎技術 打球練習場での練習 打球練習場
PM: 基礎技術 アプローチ、パター練習 第1グラウンド
5回目 PM: 応用編 ラウンド(9H) 京阪ゴルフ場

評価方法・評価基準

平常点50%、態度点25%、技能点25%として、総合評価する。

教材等

教科書…指定なし
参考書…使用しない

備考

ラウンド時の服装は襟付きポロシャツ、スラックス（半ズボン場合はハイソックス着用）、運動靴（スパイク類は禁止）

保健論 Theory of Health				
		藤 林 真 美 (フジバヤシ マミ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

現代社会は利便さと引き換えに人々の身体活動量が著しく減少し、その結果、子どもから高齢者まで年齢階層を問わず生活習慣病に罹患する人口が激増している。この予防・改善には、「運動」「食事」「休養」のバランスが取れた生活を送ることが望ましい。
本講義では、健康について幅広い知識を習得することを目的とする。

授業方法と留意点

レジュメを配布する。

科目学習の効果（資格）

健康な大学生生活を送り、さらに生涯にわたって健康を維持するための正しい知識や習慣を得る事ができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに～健康とは～
【内容・方法等】 健康の定義。厚生労働省の「健康日本21」の概要を解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第2回 【授業テーマ】 「運動」「栄養」「休養」
【内容・方法等】 「運動」「栄養」「休養」について概説し、それらと生活習慣病との関連性について説明する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第3回 【授業テーマ】 五大栄養素
【内容・方法等】 五大栄養素とその役割について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第4回 【授業テーマ】 身体を動かす仕組み～筋・骨格系～
【内容・方法等】 筋・骨格系の解剖学的、形態学的特性と神経系の役割について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第5回 【授業テーマ】 身体を動かすしくみ～呼吸器系～
【内容・方法等】 呼吸器の構造と機能について解説する。運動時の呼吸応答、酸素摂取量の変動、さらに運動トレーニングによる最大酸素摂取量の増大について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第6回 【授業テーマ】 身体を動かすしくみ～循環器系～
【内容・方法等】 循環器の構造と機能、血液成分について解説する。運動時の心拍数、心拍出量の変動、さらに運動トレーニングによる循環器系の形態・機能の向上について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第7回 【授業テーマ】 生活習慣病予防としての運動の役割

- 【内容・方法等】 エネルギー供給系について説明し、運動トレーニングによるエネルギー代謝の変化を解説する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第8回 【授業テーマ】 発育・発達
【内容・方法等】 幼少期から青年期にいたる身体の形態発育・機能発達と、それらに運動トレーニングが及ぼす効果について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第9回 【授業テーマ】 老化
【内容・方法等】 身体の形態・機能の老化について解説する。また中・高齢者における運動トレーニングの効果について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第10回 【授業テーマ】 様々な環境下における生理学的しくみ
【内容・方法等】 暑熱下・寒冷下における体温調節のしくみを解説する。さらに暑熱環境下における水分補給について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第11回 【授業テーマ】 運動障害と予防、応急処置
【内容・方法等】 スポーツ障害、過換気症候群、RICE処置、心肺蘇生法について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第12回 【授業テーマ】 健康づくりのための運動処方
【内容・方法等】 有酸素・無酸素運動、レジスタンストレーニングについて、健康づくりの観点から解説する。また年代・性差による違いについても説明する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第13回 【授業テーマ】 ストレス・疲労への対策
【内容・方法等】 ストレス要因の軽減・ストレスへの早期対応としてのスポーツの関わりを解説する。また疲労が起るしくみとその対策について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第14回 【授業テーマ】 アルコール、タバコ、薬物、性感染症
【内容・方法等】 アルコールやタバコ、薬物が身体へ及ぼす影響について解説する。またHIVなど性感染症についても概説する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 第15回 【授業テーマ】 総括
【内容・方法等】 皆さんのQOL (Quality of life: 生活の質) 向上の観点から、「運動」「食事」「休養」の有用性について総括する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリント
- 評価方法 (基準)
主に定期試験により評価する。ただしレポート提出を求める場合がある。その場合は定期試験の成績に加味して評価する。
- 教材等
教科書…特になし
参考書…特になし
- 学生へのメッセージ
皆さんが将来知的職業人として社会で活躍するためには、まず「健康」が基盤です。自分の身体・健康に興味を持って、より充実した大学生活を過ごしてください。
- 関連科目
スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習、健康科学
- 担当者の研究室等
総合体育館1階 藤林研究室

くらしと経済 Life and Economy				
岩 坪 加 紋 (イワツボ カモン)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
現在、日本を含む世界経済はダイナミックな変化の過程にある。先進国の経済成長率が鈍化する一方、新興国は世界経済の動力源として機能しつつある。ここで重要なのは、これらの現象は私たちのくらしと決して無縁ではなく、それら現象を理解し対処しなければならない、ということである。本講義の目標は、初歩的な経済の捉え方や考え方について学び、経済問題を考えるための初歩的なスキルを身につけることである。

授業方法と留意点
本講義では諸君の積極的な発言を歓迎する。ただし、講義に関係のない私語には極めて厳しく対処し、退席させることがある。また高校と異なり、大学の講義では板書よりも口頭説明が多く、自分なりのノートの取り方を考えること。

科目学習の効果 (資格)
日々の新聞やニュースで接する経済・経営情報をより深く理解することや、経済・経営関連の資格取得・公務員試験などに役立つ。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 イントロダクション
【内容・方法等】 経済現象と日々のくらしとの結びつきについて概説し、「くらしと経済」で何を考え学ぶのかを解説する。新聞の読み方についても解説する。
- 【事前・事後学習課題】 復習すること
- 第2回 【授業テーマ】 分業の利益
【内容・方法等】 分業、比較優位、機会費用について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第1章を予習復習のこと
- 第3回 【授業テーマ】 需要と供給
【内容・方法等】 需要曲線、供給曲線について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第2章を予習復習のこと
- 第4回 【授業テーマ】 価格メカニズム
【内容・方法等】 市場取引や価格決定のメカニズムについて解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第3章を予習復習のこと
- 第5回 【授業テーマ】 市場の効率性
【内容・方法等】 望ましい経済の基準として効率性について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第4章を予習復習のこと
- 第6回 【授業テーマ】 市場の失敗
【内容・方法等】 市場は万能ではない。市場の失敗について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第5章を予習復習のこと
- 第7回 【授業テーマ】 市場の限界
【内容・方法等】 市場の失敗の原因の一つである情報の非対称性や市場の限界について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第6章を予習復習のこと
- 第8回 【授業テーマ】 中間試験
【内容・方法等】 前回までの内容について試験を行う。
- 【事前・事後学習課題】 復習を行っておくこと
- 第9回 【授業テーマ】 労働市場
【内容・方法等】 学生にとって最も身に染みて感じるであろう労働市場について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第7章を予習復習のこと
- 第10回 【授業テーマ】 GDPについて
【内容・方法等】 国の豊かさを測るGDPについて解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第8、9章を予習復習のこと
- 第11回 【授業テーマ】 消費需要と投資需要
【内容・方法等】 GDP構成要素の消費と投資について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第10章を予習復習のこと
- 第12回 【授業テーマ】 貨幣と金融
【内容・方法等】 経済取引に欠かせない貨幣と経済取引の大半を占める金融について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第11章を予習復習のこと
- 第13回 【授業テーマ】 政府の役割
【内容・方法等】 市場は万能ではなく、政府の存在意義の一つもそこにある。政府の経済的な役割について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第12章を予習復習のこと
- 第14回 【授業テーマ】 外国貿易と為替レート
【内容・方法等】 資源小国かつ技術立国日本は海外諸国との貿易で生計を立てている。日本の貿易の状況や為替レートの決定について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第13章を予習復習のこと
- 第15回 【授業テーマ】 経済成長と国民生活
【内容・方法等】 経済の成長は豊かさの維持と密接に関わる。経済成長率の表し方やその分析方法について解説する。
- 【事前・事後学習課題】 教科書第14章を予習復習のこと
- 評価方法 (基準)
中間試験+期末試験+発言点をともに評価する。中間・期末双方の試験を受験しなければ評価の対象とならない。私語は減点の対象となる。

教材等
教科書…中谷武・中村保編著『1からの経済学』碩学舎、2520円 ISBN978-4-502-68080-9
参考書…適宜指示する

学生へのメッセージ
単位取得のためではなく、自身の能力向上のために受講するんだ、という姿勢であって欲しい。疑問点は積極的に質問して、一歩ずつ着実に前進したい。

関連科目
以降の経済・経営関連科目の基礎となる科目

担当者の研究室等
11号館8階(岩坪教授室)

社会学 Sociology I				
山本圭三(ヤマモト ケイゾウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 私たちの生きる社会は、どのような仕組みで動いているのか。社会にはどのような問題があり、それはなぜ生じているのか。これらの問いに向きあう際のもっとも基本的な社会(科学)の認識枠組みを紹介する。教育、仕事、産業と経済、という3つのテーマを事例として、社会(科学的)に考えることの重要性を理解してもらうことが本講義の目標である。

授業方法と留意点
 テーマに関連するデータ資料や視聴覚教材をもちいる。

科目学習の効果(資格)
 社会生活を送る上で何かと直面することになるであろう「人と人」「人と集団」「集団と集団」に関わる問題に対する、幅広い視点を養う。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 講義をはじめににあたって
 【内容・方法等】 講義へのオリエンテーション
 【事前・事後学習課題】 授業内容に関する復習
 - 第2回 【授業テーマ】 1 社会学とは
 【内容・方法等】 社会学における基礎的な知識と発想(1)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第3回 【授業テーマ】 1 社会学とは
 【内容・方法等】 社会学における基礎的な知識と発想(2)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第4回 【授業テーマ】 1 社会学とは
 【内容・方法等】 社会学における基礎的な知識と発想(3)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第5回 【授業テーマ】 1 社会学とは
 【内容・方法等】 社会学における基礎的な知識と発想(4)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第6回 【授業テーマ】 1 社会学とは
 【内容・方法等】 社会学における基礎的な知識と発想(5)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第7回 【授業テーマ】 中テスト
 【内容・方法等】 まとめと授業内容の理解度を問う記述式のテスト
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習
 - 第8回 【授業テーマ】 2 教育の社会学
 【内容・方法等】 学歴社会のメカニズム(1)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第9回 【授業テーマ】 2 教育の社会学
 【内容・方法等】 学歴社会のメカニズム(2)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第10回 【授業テーマ】 2 教育の社会学
 【内容・方法等】 学歴社会のメカニズム(3)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第11回 【授業テーマ】 3 仕事の社会学
 【内容・方法等】 働き方の変化とその背景(1)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第12回 【授業テーマ】 3 仕事の社会学
 【内容・方法等】 働き方の変化とその背景(2)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第13回 【授業テーマ】 4 産業と経済の社会学
 【内容・方法等】 豊かな社会への道(1)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第14回 【授業テーマ】 4 産業と経済の社会学
 【内容・方法等】 豊かな社会への道(2)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第15回 【授業テーマ】 講義を終えるにあたって
 【内容・方法等】 まとめ
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
- 評価方法(基準)**
 授業態度、中テスト、期末試験で評価する。
- 教材等**

教科書…使用せず。
 参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ
 やや厳しい授業ですが、テーマに関心をもったやる気のある学生は受講してください。大事なものは「正解のない問題」と向き合う際の姿勢です。

関連科目
 社会学II

担当者の研究室等
 11号館7階 山本講師室

社会学II Sociology II				
山本圭三(ヤマモト ケイゾウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 私たちの生きる社会はどのような仕組みで動いているのか。社会にはどのような問題があり、それはなぜ生じているのか。これらの問いに向きあう際のもっとも基本的な社会(科学)の認識枠組みを紹介する。家族と子ども、政治、宗教、社会意識、という4つのテーマを事例として、社会(科学的)に考えることの重要性を理解してもらうことが本講義の目標である。

授業方法と留意点
 テーマに関連するデータ資料や視聴覚教材をもちいる。

科目学習の効果(資格)
 社会生活を送る上で何かと直面することになるであろう「人と人」「人と集団」「集団と集団」に関わる問題に対する、幅広い視点を養う。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 講義をはじめににあたって
 【内容・方法等】 講義へのオリエンテーション
 【事前・事後学習課題】 授業内容に関する復習
 - 第2回 【授業テーマ】 1 家族と子どもの社会学
 【内容・方法等】 家族は危機に陥ったのか(1)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第3回 【授業テーマ】 1 家族と子どもの社会学
 【内容・方法等】 家族は危機に陥ったのか(2)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第4回 【授業テーマ】 1 家族と子どもの社会学
 【内容・方法等】 家族は危機に陥ったのか(3)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第5回 【授業テーマ】 2 宗教の社会学
 【内容・方法等】 人はなぜ宗教に惹かれるのか(1)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第6回 【授業テーマ】 2 宗教の社会学
 【内容・方法等】 人はなぜ宗教に惹かれるのか(2)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第7回 【授業テーマ】 2 宗教の社会学
 【内容・方法等】 人はなぜ宗教に惹かれるのか(3)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第8回 【授業テーマ】 中テスト
 【内容・方法等】 まとめと授業内容の理解度を問う記述式のテスト
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習
 - 第9回 【授業テーマ】 3 政治の社会学
 【内容・方法等】 平和と共存の作法を求めて(1)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第10回 【授業テーマ】 3 政治の社会学
 【内容・方法等】 平和と共存の作法を求めて(2)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第11回 【授業テーマ】 3 政治の社会学
 【内容・方法等】 平和と共存の作法を求めて(3)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第12回 【授業テーマ】 4 社会意識
 【内容・方法等】 社会に生きるわれわれの「意識」(1)
 【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
 - 第13回 【授業テーマ】 4 社会意識
 【内容・方法等】 社会に生きるわれわれの「意識」(2)

- 【事前・事後学習課題】** 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
- 第14回 **【授業テーマ】** 4 社会意識
【内容・方法 等】 社会に生きるわれわれの「意識」(3)
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習
- 第15回 **【授業テーマ】** 講義を終えるにあたって
【内容・方法 等】 まとめ
【事前・事後学習課題】 配布レジメに基づく予習および授業内容に関する復習

評価方法 (基準)

授業態度、中テスト、期末試験で評価する。

教材等

教科書…使用せず。

参考書…適宜指示する。

学生へのメッセージ

やや厳しい授業ですが、テーマに関心をもったやる気のある学生は受講してください。大事なものは「正解のない問題」に向きあう際の姿勢です。

関連科目

社会学 I

担当者の研究室等

11号館7階 山本講師室

歴史学 History I				
佐伯智広 (サエキ トモヒロ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

自国の文化や海外の文化を理解するためには、まず私達たち自身の歴史を知り、文化の起こり・移り変わり・成り立ち・特色について考えることが欠かせません。この講義では、そのための歴史の基礎知識を学んでいきます。対象は古代から現代までの全時代です。

授業方法と留意点

板書講義形式です。プリントを利用します。教科書はありません。参考図書は講義内で適宜示します。

科目学習の効果 (資格)

日本文化の起源・変遷・特色についての、歴史的な基礎知識と、それを説明する能力を身につけることができます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション 歴史と文化の接点
【内容・方法 等】 歴史と文化との関わり全般について概観します。
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 **【授業テーマ】** 飛鳥時代 一仏教伝来—
【内容・方法 等】 飛鳥時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「聖徳太子」という人物について辞書的な経歴を調べる。
- 第3回 **【授業テーマ】** 奈良時代 一仏教興隆—
【内容・方法 等】 奈良時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「鎮護国家」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第4回 **【授業テーマ】** 平安時代前期 一仏教再編—
【内容・方法 等】 平安時代前期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「密教」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第5回 **【授業テーマ】** 平安時代中期 一消化と吸収—
【内容・方法 等】 平安時代中期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「念仏」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第6回 **【授業テーマ】** 平安時代後期・鎌倉時代前期 一地方への拡大—
【内容・方法 等】 平安時代後期・鎌倉時代前期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「武士」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第7回 **【授業テーマ】** 鎌倉時代後期 一異端の力—
【内容・方法 等】 鎌倉時代後期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「鎌倉新仏教」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第8回 **【授業テーマ】** 南北朝時代・室町時代 一京都への回帰—
【内容・方法 等】 南北朝時代・室町時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「南北朝」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第9回 **【授業テーマ】** 戦国時代・安土桃山時代 一力と平和—
【内容・方法 等】 戦国時代・安土桃山時代の文化について学

- びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「小京都」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第10回 **【授業テーマ】** 江戸時代前期・中期 一天下泰平—
【内容・方法 等】 江戸時代前期・中期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「鎖国」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第11回 **【授業テーマ】** 江戸時代後期・末期 一世界的激動の中で—
【内容・方法 等】 江戸時代後期・末期の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「開国」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第12回 **【授業テーマ】** 明治時代 一西洋文明との出会い—
【内容・方法 等】 明治時代の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「文明開化」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第13回 **【授業テーマ】** 大正時代・戦前 一植民地時代の光と影—
【内容・方法 等】 大正時代・戦前の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「モダニズム」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第14回 **【授業テーマ】** 戦後 一高度経済成長と現代—
【内容・方法 等】 戦後の文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「高度経済成長」という語について辞書的な意味を調べる。
- 第15回 **【授業テーマ】** 冠婚葬祭にまつわるエトセトラ
【内容・方法 等】 冠婚葬祭にまつわる文化について学びます。
【事前・事後学習課題】 予習として、「冠婚葬祭」という語について辞書的な意味を調べる。

評価方法 (基準)

予習シート30%、定期試験70%

教材等

教科書…ありません。

参考書…講義内で適宜示します。

学生へのメッセージ

教科書で勉強する高校の日本史とは違って、大学での講義はきょうくつな枠組みはありません。ただ過去の歴史を追うのではなく、現在に残る遺跡・遺物・建築・美術工芸品などを紹介したり、歴史を題材にした文学作品・マンガを取り上げたりしながら、現代の私達にとって歴史が持つ意味についても、自由に考えていきましょう！また、最新の学説なども紹介していくので、研究の最先端で教科書が書き換わっていく面白さも知ってもらいたいと考えています。

関連科目

ありません。

担当者の研究室等

7号館2階非常勤講師室

歴史学II HistoryII				
村上 司 樹 (ムラカミ モトキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「都市」と聞いて私たちが思い浮かべるのは、経済・産業の中心であり、自由な活動の場といったイメージではなからうか。経済と自由、この2つの特徴の歴史的ルーツをたどっていけば、ヨーロッパ中世都市に行き着く。高校世界史において、商業の復活がヨーロッパ中世都市を生み出し、市民の自治がこれを発展させたこと教わった人も少なくないだろう。古代や中国の例なども広く視野に入れることで、一種、常識となっているこのような通説を疑い、考えなおす。そのようにして、都市を窓口にして歴史を展望する。以上が本講義の目的である。支配と消費の中心ではなく、周辺の自然環境や地域社会と共存できる都市のあり方など、現代的な問題を解決するためのヒントも探りたい。

授業方法と留意点

毎回プリントを配布し、図像史料も交えながら授業を進める。宿題は毎回のプリントを、①授業の当日、②次回授業の前日の最低2回読み返すこと。つまり復習。なぜならこの授業では、毎回の授業開始時に、「前回どのような話をしたか」語ることは一切しないから。前回とその回の授業内容のつながり、話の流れを追うことは自分でする必要がある。そのための2度の読み返し。そもそも勉強とは復習である。

科目学習の効果 (資格)

商業や市民に限られない、中世都市の多様なあり方とダイナミズムを中心として、経営を学ぶための基礎体力となる幅広い教養と具体的思考の習慣を身に付ける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法 等】 授業のルール・方針・全体計画
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第2回 【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市 I
【内容・方法 等】 中国都市 一停滞というウソ
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第3回 【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市 I I
【内容・方法 等】 中国都市 一停滞というウソ (続)
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第4回 【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市 I I I
【内容・方法 等】 イスラーム都市 一不合理というウソ
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第5回 【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市 I V
【内容・方法 等】 イスラーム都市 一不合理というウソ (続)
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第6回 【授業テーマ】 アジアの都市、ヨーロッパの都市 V
【内容・方法 等】 イスラーム都市 一不合理というウソ (続々)
【事前・事後学習課題】 小レポート
- 第7回 【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市 I
【内容・方法 等】 古代ギリシャ・ローマ都市 一経済より政治
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第8回 【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市 I I
【内容・方法 等】 都市古代ギリシャ・ローマ都市 一経済より政治 (続)
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第9回 【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市 I I I
【内容・方法 等】 古代ギリシャ・ローマ都市 一経済より政治 (続々)
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第10回 【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市 I V
【内容・方法 等】 古代ギリシャ・ローマ都市 一ライフスタイルを支える施設
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第11回 【授業テーマ】 古代の都市、中世の都市 I V
【内容・方法 等】 古代ギリシャ・ローマ都市 一ライフスタイルを支える施設 (続)
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第12回 【授業テーマ】 中世ヨーロッパ都市 I
【内容・方法 等】 はじめに教会があった
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第13回 【授業テーマ】 中世ヨーロッパ都市 I I
【内容・方法 等】 はじめに教会があった (続)
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第14回 【授業テーマ】 中世ヨーロッパ都市 I I I
【内容・方法 等】 自由と経済
【事前・事後学習課題】 最低2回は資料を読み返す
- 第15回 【授業テーマ】 中世ヨーロッパ都市 I V
【内容・方法 等】 自由と経済 (続)
【事前・事後学習課題】 試験の準備

評価方法 (基準)

暗記は必要ない。減点主義もとらない。具体的には、①定期試験 (40%)、②小レポート (30%)、③レスポンスペーパー (30%) の3つで評価する。①~③すべてに共通する評価基準は、「具体的に書けているかどうか」である。

教材等

教科書…参考資料を適宜配布する。
参考書…授業中に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

一方通行にならない授業、集中しやすい授業を心がけています。レスポンス・ペーパー、小レポート、そして試験答案を書いてもらいますが、「やるが多い」とネガティブに考えず、「単位取得のチャンスが多い」とポジティブに捉えることをお勧めします。それにものごとを説明したり、説得的な文章を作成する経験と能力は、他のあらゆる学問にも、さらに大学卒業後の長い人生にも欠かせません。積極的に取り組んで、「単位以上のもの」を得てほしいと思います。

関連科目

特になし

担当者の研究室等

7号館2階 非常勤講師室

備考

【教職科目】 教科に関する科目 (中学校 社会)
【施行規則に定める科目区分】 日本史及び外国史
【履修区分】 必修

法学入門
Jurisprudence

小島俊朗 (コジマ トシロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

法は私たちの日常生活と密接な関係にあり、私たちが普段あまり意識しないで行動していても、その行為の裏には法律関係若しくは法律的問題のあるものが沢山あります。法を学ぶことは世の中を知ることもつながります。この講義では、現実の社会と法の世界がどのように関係しあっているかということについて理解してもらいたいと思います。法についての基本的な知識と考え方を身につけ、世の中の動きに関心を持ってもらえたらと思います。

授業方法と留意点

講義方式を採用します。決まった教科書は使用しませんが、レジュメと参考資料を随時配付します。

科目学習の効果 (資格)

公務員試験や教員免許の取得等に参考になるとと思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 法とは何か
【内容・方法 等】 法規範と道徳の違い、法源とは何かなど
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第2回 【授業テーマ】 法の解釈
【内容・方法 等】 法令解釈の基本
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第3回 【授業テーマ】 国家と法
【内容・方法 等】 国家と憲法、国民主権、三権分立
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第4回 【授業テーマ】 平和と法
【内容・方法 等】 平和主義
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第5回 【授業テーマ】 人権と法 (I)
【内容・方法 等】 基本的人権の保障 (自由権)
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第6回 【授業テーマ】 人権と法 (II)
【内容・方法 等】 基本的人権の保障 (社会権)
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第7回 【授業テーマ】 政治と法
【内容・方法 等】 統治機構
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第8回 【授業テーマ】 国と地方
【内容・方法 等】 地方自治
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第9回 【授業テーマ】 財産と法
【内容・方法 等】 所有権の絶対性
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第10回 【授業テーマ】 契約と法 (I)
【内容・方法 等】 契約自由の原則
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第11回 【授業テーマ】 契約と法 (II)
【内容・方法 等】 契約各論
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第12回 【授業テーマ】 家族と法
【内容・方法 等】 結婚と離婚、相続
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第13回 【授業テーマ】 犯罪と法
【内容・方法 等】 罪刑法定主義
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第14回 【授業テーマ】 行政と法
【内容・方法 等】 行政の仕組みと行政行為
【事前・事後学習課題】 随時資料を配付する
- 第15回 【授業テーマ】 紛争解決と法
まとめ
【内容・方法 等】 争訟制度
授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 配付資料を復習しておいてください。

評価方法 (基準)

定期試験の結果で評価します。

教材等

教科書…レジュメを配付する。
参考書…なし

学生へのメッセージ

学生時代には、いろいろなことに興味を持ち、専門分野は勿論のこと他の分野について勉強することも将来何かの役に立つことだと思います。法の世界もその一つです。授業が進めば、新たな世界が見えてくると思います。

関連科目

憲法、民法、刑法など

担当者の研究室等

11号館10階 小島研究室

備考 なし

日本国憲法 The Japanese Constitutional Law				
大 仲 淳 介 (オオナカ アツヨシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

わたしたちの生活と関わりのある憲法を改正するという話題が出ています。このような状況において憲法の内容や運用など憲法について知ることは重要ではないでしょうか。この講義では具体的な問題から、憲法の考え方を解説・検討します。そして憲法の基礎的知識を理解し、身近に生じる憲法問題を自分で考えるようになることを目指します。

授業方法と留意点

授業は講義形式で行います。また教科書、配付プリント、六法を使って行いますので、必ず持参してください。

科目学習の効果（資格）

公務員試験や教員免許の取得に役立つと思います。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 憲法の意味
【内容・方法 等】 憲法の意味、憲法の最高法規性と違憲審査制、日本憲法の展開など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第2回 【授業テーマ】 基本的人権の保障
【内容・方法 等】 人権の歴史、人権の分類、人権の限界、人権の享有主体など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第3回 【授業テーマ】 幸福追求権
【内容・方法 等】 幸福追求権の意味、幸福追求権から導かれる人権、自己決定権など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第4回 【授業テーマ】 法の下の平等
【内容・方法 等】 平等の意味、許される差別と許されない差別など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第5回 【授業テーマ】 信教の自由と政教の分離
【内容・方法 等】 信教の自由の内容、信教の自由の限界、国家と宗教の分離の限界など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第6回 【授業テーマ】 表現の自由
【内容・方法 等】 表現の自由の内容、表現の自由の限界、表現の自由の優越的地位など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第7回 【授業テーマ】 経済的自由権
【内容・方法 等】 職業選択の自由と規制、営業規制立法など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第8回 【授業テーマ】 社会権
【内容・方法 等】 生存権と社会保障制度、教育を受ける権利など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第9回 【授業テーマ】 刑罰・刑事手続と憲法
【内容・方法 等】 「犯罪」と「刑罰」、罪刑法定主義、適正な刑事手続の保障など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第10回 【授業テーマ】 国会
【内容・方法 等】 国会の地位、国会の組織と権能など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第11回 【授業テーマ】 内閣
【内容・方法 等】 議院内閣制、衆議院の解散、内閣の組織と権能など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第12回 【授業テーマ】 裁判所と司法権
【内容・方法 等】 司法権の意味と範囲、裁判所の権限、司法権の独立、違憲審査制など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第13回 【授業テーマ】 地方自治
【内容・方法 等】 地方自治の本旨、条例、住民の権利など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第14回 【授業テーマ】 平和主義
【内容・方法 等】 戦争放棄条項の意味、憲法9条と自衛隊など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと
- 第15回 【授業テーマ】 国民主権
【内容・方法 等】 国民主権の意味、統治機構と国民主権など
【事前・事後学習課題】 教科書の該当箇所を読んでおくこと

評価方法（基準）

定期試験（70%）と小テスト（30%）で評価します。

教材等

教科書…中村睦男、岩本一郎、大島佳代子、木下和朗、齊藤正彰、佐々木雅寿、寺島壽一「はじめの憲法学」（第2版）三省堂（2600円+税）

参考書…授業中に、適宜、紹介します。

学生へのメッセージ

授業で生じた疑問は必ず質問してください。

関連科目

法学入門

担当者の研究室等

法学部事務室（11号館6階）

政治学概論I Introduction to Politics I				
森 康 一 (モリ コウイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日々ニュースで報じられる政治の動きを、政治学という学問的な裏付けを基礎にしてとらえることを目標とする。政治体制・政党制など、政治学の理論的な整理を試みるとともに、国際政治についても目を向けていきたい。

授業方法と留意点

プリントと板書により授業を進める。自分のまとめノートを作るつもりで、よく講義を聞いてほしい。

科目学習の効果（資格）

政治学の基本となる知識を習得できるようにしたい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 講義の目的と内容・成績評価について
【内容・方法 等】 講義の内容全体について
【事前・事後学習課題】 新聞の政治目・国際面を読む習慣をつける
- 第2回 【授業テーマ】 「政治」とはなにか
【内容・方法 等】 「政治」の概念について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第3回 【授業テーマ】 近代国家の誕生
【内容・方法 等】 近代国家とはなにか、またその誕生について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第4回 【授業テーマ】 国家の政治体制 (1)
【内容・方法 等】 政治体制とは何か、および政治体制の分類について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第5回 【授業テーマ】 国家の政治体制 (2)
【内容・方法 等】 自由民主主義体制の分類について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第6回 【授業テーマ】 国家の政治体制 (3)
【内容・方法 等】 非自由民主主義体制の分類について、および体制変動について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第7回 【授業テーマ】 政治と経済・福祉 (1)
【内容・方法 等】 政治と経済の関わりについて
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第8回 【授業テーマ】 政治と経済・福祉 (2)
【内容・方法 等】 戦後の福祉国家について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第9回 【授業テーマ】 政治制度と政治過程
【内容・方法 等】 国民代表・利益代表の政治過程について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第10回 【授業テーマ】 政策と行政
【内容・方法 等】 政策過程について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第11回 【授業テーマ】 政党制
【内容・方法 等】 政党とはなにか、また政党システムの類型について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第12回 【授業テーマ】 集権と分権
【内容・方法 等】 分権と連邦主義、国際統合について
【事前・事後学習課題】 政治学に関する参考文献を読んでおく
- 第13回 【授業テーマ】 近代の国際政治と現代の国際政治 (1)
【内容・方法 等】 近代の国際体系＝ウェストファリア体制について
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第14回 【授業テーマ】 近代の国際政治と現代の国際政治 (2)
【内容・方法 等】 現代の国際政治の特色について
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ

教養科目

【内容・方法 等】 講義のまとめと、試験について
【事前・事後学習課題】 試験に向けたノート作りをしておく

評価方法 (基準)
 期末の試験の結果によって評価を行います。持ち込みは認めません。

教材等
教科書…特に使用せず、プリントを配布する。
参考書…加茂利男他『現代政治学』(有斐閣, 1800円)

学生へのメッセージ
 日々ニュースや新聞にふれて、世界で起こっていることに関心を持ってください。そして、その出来事の原因や由来が何であるのか、常に問題意識を持つようになしてください。共に勉強しましょう。

関連科目
 国際関係論、外交史および政治学

担当者の研究室等
 11号館6階 法学部

備考
 出席をとる予定です。

政治学概論II Introduction to Politics II				
森 康 一 (モリ コウイチ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 この講義では、第二次世界大戦後から現在までの国際関係についてとりあげる。前半では米ソを中心とする冷戦時代の国際政治を説明し、後半では冷戦後の国際関係と個別的な時事問題を考える。歴史をふまえた上で、現在の国際政治を理解する土台を作ることが目的とする。

授業方法と留意点
 プリントと板書により授業を進める。自分のまとめノートを作るつもりで、よく講義を聞いてほしい。

科目学習の効果 (資格)
 現在の世界情勢を理解するうえで必要な知識を習得できるようにしたい。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** 講義の目的と内容・成績評価について
【内容・方法 等】 講義の内容全体について
【事前・事後学習課題】 新聞の国際面を読む習慣をつける
- 第2回 **【授業テーマ】** 冷戦時代の国際関係 (1)
【内容・方法 等】 ヤルタ体制および冷戦初期の国際政治について
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第3回 **【授業テーマ】** 冷戦時代の国際関係 (2)
【内容・方法 等】 第三世界の台頭、ヨーロッパ統合の理想と現実について
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第4回 **【授業テーマ】** 冷戦時代の国際関係 (3)
【内容・方法 等】 多極化とデタントについて
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第5回 **【授業テーマ】** 冷戦時代の国際関係 (4)
【内容・方法 等】 「新冷戦」と冷戦の終焉について
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第6回 **【授業テーマ】** ポスト冷戦時代の世界秩序のゆくえ (1)
【内容・方法 等】 冷戦終結後の国際政治全般について
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第7回 **【授業テーマ】** ポスト冷戦時代の世界秩序のゆくえ (2)
【内容・方法 等】 ヨーロッパを中心とした冷戦終結後の国際政治について
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第8回 **【授業テーマ】** グローバルな問題群
【内容・方法 等】 核・食料・環境問題について
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第9回 **【授業テーマ】** 同時テロと「イラク戦争」後の世界秩序
【内容・方法 等】 「9.11」以後の国際政治について
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第10回 **【授業テーマ】** 米ロの核軍縮
【内容・方法 等】 核問題をめぐる米ロ関係について

- 【事前・事後学習課題】** 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第11回 **【授業テーマ】** 米中関係のゆくえ
【内容・方法 等】 アメリカと中国の外交関係について
【事前・事後学習課題】 国際政治に関する参考文献を読んでおく
- 第12回 **【授業テーマ】** 中東問題のゆくえ
【内容・方法 等】 中東問題の経緯と「中東和平」の展望について
【事前・事後学習課題】 イスラエル、パレスチナ問題について調べておく
- 第13回 **【授業テーマ】** 緊迫する朝鮮半島情勢
【内容・方法 等】 韓国・北朝鮮をめぐる国際関係について
【事前・事後学習課題】 最近の朝鮮半島情勢について調べておく
- 第14回 **【授業テーマ】** 日本の安全保障
【内容・方法 等】 現在の日本がかかえる国際問題について
【事前・事後学習課題】 最近の日本の外交に関して調べておく
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法 等】 講義のまとめと試験について
【事前・事後学習課題】 試験に向けたノート作りをする
- 評価方法 (基準)**
 期末の試験 (論述式) の結果によって評価を行う。持ち込みは認めません。

教材等
教科書…特に使用せず、プリントを配布する。
参考書…渡邊啓貴編『ヨーロッパ国際関係史』(有斐閣, 2000円)
 須藤真志編『20世紀現代史』(一芸社, 3000円)
 伊藤芳明監修『国際紛争地図』(ダイヤモンド社, 1400円)

学生へのメッセージ
 日々ニュースや新聞にふれて、世界で起こっていることに関心を持ってください。そして、その出来事の原因や由来が何であるのか、常に問題意識を持つようになしてください。共に勉強しましょう。

関連科目
 国際関係論、外交史、国際関係史など、国際関係の科目

担当者の研究室等
 11号館6階 法学部

備考
 出席をとる予定です。

数学基礎I Basic Mathematics I				
黒 木 和 雄 (クロキ カズオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ウ	前期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
 高校でのカリキュラムの多岐化、大学入学以前の教育課程の多面化、さらに入学選抜試験も様々にわたることから、入学時点での数学学習熟度にはかなりのバラツキが認められる。一方で経営・経済系科目、情報系科目の多くでは、かなりの数学的知識、力量を前提にして授業が進められる。この間隙を埋めるため、最低限必要な数学的素養を大学初年度前期で確実に身につけることをこの授業の目標とする。
- 授業方法と留意点**
 テキストに基づいた講義が中心。理解の促進と達成の度合いをみるため演習を適時行う。
- 科目学習の効果 (資格)**
 問題を定式化すること、定式化できれば論理的に解けることを体得する。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** 整式の計算(1)
【内容・方法 等】 ・計算の法則
 ・因数分解
【事前・事後学習課題】 第1章の間 課題レポート
- 第2回 **【授業テーマ】** 整式の計算(2)
【内容・方法 等】 ・整式の割り算
 ・剰余, 因数の定理
【事前・事後学習課題】 第1章の間 課題レポート
- 第3回 **【授業テーマ】** 分数式・無理式(1)
【内容・方法 等】 ・通分の規則
【事前・事後学習課題】 第2章の間 課題レポート
- 第4回 **【授業テーマ】** 分数式・無理式(2)
【内容・方法 等】 ・平方根, 立方根
 ・有理化の計算
【事前・事後学習課題】 第2章の間 課題レポート
- 第5回 **【授業テーマ】** 1次方程式(1)
【内容・方法 等】 ・等式の基本法則
【事前・事後学習課題】 第3章の間 課題レポート

- 第6回 【授業テーマ】 1次方程式(2)
【内容・方法 等】 ・方程式の導き方
・解き方
- 第7回 【事前・事後学習課題】 第3章の間 課題レポート
【授業テーマ】 1次不等式(1)
【内容・方法 等】 ・不等式の基本法則
- 第8回 【事前・事後学習課題】 第3章の間 課題レポート
【授業テーマ】 1次不等式(2)
【内容・方法 等】 ・不等式の導き方
・解き方
- 第9回 【事前・事後学習課題】 第3章の間 課題レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(1)
【内容・方法 等】 ・連立方程式の導き方
- 第10回 【事前・事後学習課題】 第4章の間 課題レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(2)
【内容・方法 等】 ・解き方
・基本法則
- 第11回 【事前・事後学習課題】 第4章の間 課題レポート
【授業テーマ】 連立1次方程式(3)
【内容・方法 等】 ・消去法
- 第12回 【事前・事後学習課題】 第4章の間 課題レポート
【授業テーマ】 場合の数(1)
【内容・方法 等】 ・数え上げの原則
- 第13回 【事前・事後学習課題】 第5章の間 課題レポート
【授業テーマ】 場合の数(2)
【内容・方法 等】 ・並べ方、選び方
・順列、組み合わせ
- 第14回 【事前・事後学習課題】 第5章の間 課題レポート
【授業テーマ】 確率(1)
【内容・方法 等】 ・確率の計算
- 第15回 【事前・事後学習課題】 第6章の間 課題レポート
【授業テーマ】 確率(2)
【内容・方法 等】 ・くりかえす試行の確率

【事前・事後学習課題】 第6章の間 課題レポート

評価方法 (基準)
演習、小テスト及び期末テスト等により総合的に判断、評価する。

教材等
教科書…数学研究室編 数学基礎 1400円
参考書…項目ごとに適時挙げる

学生へのメッセージ
数学については各自様々な思いを持っているでしょうが、あらためて出発する新鮮な気分で授業に参加して下さい。どのような些細なことでもかまいませんから、遠慮することなくいつでも質問してください。

関連科目
数学基礎Ⅱ、統計学、経営数学

担当者の研究室等
3号館3階(数学準備室)

数学基礎Ⅱ Basic Mathematics II				
黒木和雄(クロキ カズオ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	ウ	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
この授業では、1次関数、2次関数のグラフの復習を出発点として、様々な関数の変化の様子をとらえられることを目標にする。

授業方法と留意点
テキストに基づいた講義が中心。理解の促進と達成の度合いをみるため演習を適時行う。

科目学習の効果(資格)
数学基礎Ⅰに引き続き、筋道をたてた論理的思考と計算技量を習得する。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 関数とグラフ
【内容・方法 等】 ・座標平面 ・点の表し方
 - 第2回 【事前・事後学習課題】 第7章の間 課題レポート
【授業テーマ】 1次関数
【内容・方法 等】 ・グラフの書き方
・傾き、切片
 - 第3回 【事前・事後学習課題】 第7章の間 課題レポート
【授業テーマ】 2次関数(1)
【内容・方法 等】 ・グラフの書き方
・頂点、対称軸
 - 第4回 【事前・事後学習課題】 第7章の間 課題レポート
【授業テーマ】 2次関数(2)
【内容・方法 等】 ・最大値、最小値
・応用例
 - 【事前・事後学習課題】 第7章の間 課題レポート

- 第5回 【授業テーマ】 無理関数
【内容・方法 等】 ・逆関数
・定義域
- 第6回 【事前・事後学習課題】 第7章の間 課題レポート
【授業テーマ】 数列(1)
【内容・方法 等】 ・等差数列
・和の公式
- 第7回 【事前・事後学習課題】 第8章の間 課題レポート
【授業テーマ】 数列(2)
【内容・方法 等】 ・等比数列
・和の公式
- 第8回 【事前・事後学習課題】 第8章の間 課題レポート
【授業テーマ】 整関数の微分(1)
【内容・方法 等】 ・変化率
・微分係数、接線
- 第9回 【事前・事後学習課題】 第9章の間 課題レポート
【授業テーマ】 整関数の微分(2)
【内容・方法 等】 ・導関数
・極大値、極小値
- 第10回 【事前・事後学習課題】 第9章の間 課題レポート
【授業テーマ】 整関数の微分(3)
【内容・方法 等】 ・関数の増加、減少
・関数のグラフ
- 第11回 【事前・事後学習課題】 第9章の間 課題レポート
【授業テーマ】 整関数の微分(4)
【内容・方法 等】 ・最大値、最小値
・応用問題
- 第12回 【事前・事後学習課題】 第9章の間 課題レポート
【授業テーマ】 積分(1)
【内容・方法 等】 ・不定積分
・原始関数
- 第13回 【事前・事後学習課題】 第10章の間 課題レポート
【授業テーマ】 積分(2)
【内容・方法 等】 ・区分求積法
・定積分
- 第14回 【事前・事後学習課題】 第10章の間 課題レポート
【授業テーマ】 積分(3)
【内容・方法 等】 ・微積分の基本定理
・定積分の計算
- 第15回 【事前・事後学習課題】 第10章の間 課題レポート
【授業テーマ】 積分(4)
【内容・方法 等】 ・面積、体積
・応用問題
- 【事前・事後学習課題】 第10章の間 課題レポート

評価方法 (基準)
演習、小テスト及び期末テスト等により総合的に判断、評価する。

教材等
教科書…数学研究室編 数学基礎 1400円
参考書…項目ごとに適時挙げる

学生へのメッセージ
どのような些細なことでもかまいませんから、遠慮することなくいつでも質問してください。数学の学習は積み重ねである一方で、後になって以前不明だったことが理解できることもよくあります。続けることで充実した初年度にしましょう。

関連科目
数学基礎Ⅰ、統計学、経営数学

担当者の研究室等
3号館3階(数学準備室)

自然科学Ⅰ Introduction to Natural Sciences I				
松浦哲郎(マツウラ テツロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
授業内容はほぼヒトの生体の話である。生体内とはとりもなおさず、10の器官系からなる我々の体の中のしくみと働きである。しかしながら、案外、我々は自分の体の中で行われていることを知らない。この半年間、生物学のうちで最も身近な対象である人体の構造・生理を中心に解説し、併せて最近話題となっているトピックスについて解説する。

授業方法と留意点
ノート・講義方式。教科書およびビデオ教材を用い、ビジュアルに解りやすくやっていきたい。授業中に理解してしまえば、特に新たな勉強は必要ない。

科目学習の効果(資格)
一般教養の充実。生物・医学関連に関する記事あるいは専門書を読む際の助けとなるような知識の向上をめざす。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
 【内容・方法 等】 授業中のルール説明・試験方法についてアンケート・生物の基礎知識を問う
 【事前・事後学習課題】
- 第2回** 【授業テーマ】 細胞・組織・器官・器官系
 【内容・方法 等】 ビデオ「動物の体」。ヒトは約60兆個の細胞から構成されている。細胞は組織を構成し、組織は器官を造る。生物における個体と細胞の関係を理解する。
 【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第3回** 【授業テーマ】 細胞説・・・細胞は生物の基本単位
 【内容・方法 等】 ビデオ「細胞説」。自然発生説から細胞説への転換。レディの実験とパスツールの実験を通して細胞の概念を理解する。
 【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第4回** 【授業テーマ】 細胞膜
 【内容・方法 等】 ビデオ高校生物「細胞膜」。細胞膜とシャボン玉の類似点と相違点。細胞膜は脂質で構成され、様々な物質を選択的に通過することができる。
 【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第5回** 【授業テーマ】 原形質と原形質流動
 【内容・方法 等】 ビデオ高校生物「細胞小器官」。細胞の内部に様々な小器官が存在することを理解する。植物の細胞質を観察し、「原形質」と「原形質流動」のイメージをつかむ。
 【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第6回** 【授業テーマ】 細胞小器官
 【内容・方法 等】 ビデオ「細胞と組織」。細胞の核と細胞質の概念を理解するとともに細胞内のミトコンドリアを初めてとする様々な細胞小器官の名前とその機能を覚える。
 【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第7回** 【授業テーマ】 胃の構造と機能
 【内容・方法 等】 ビデオ「人体消化吸収の妙」。消化器系について基礎知識を身につける。
 【事前・事後学習課題】 該当する項目について授業内容をもとに復習を行うこと
- 第8回** 【授業テーマ】 循環器系
 【内容・方法 等】 循環器系について基礎知識を身につける。
 【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第9回** 【授業テーマ】 循環器系
 【内容・方法 等】 ビデオ高校生物「体液」。生物の循環器系についてのしくみを理解する。
 【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第10回** 【授業テーマ】 循環器系
 【内容・方法 等】 ビデオ「人体②しなやかなポンプ心臓・血管」。ヒトの心臓の構造と機能について理解する。
 【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第11回** 【授業テーマ】 肝臓の構造と機能
 【内容・方法 等】 ビデオ「人体①大きな化学工場・・・肝臓」
 【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第12回** 【授業テーマ】 生殖器系・性周期・排卵・妊娠・出産のしくみ
 【内容・方法 等】 男性と女性のそれぞれの生殖器系の基本的な器官とそのしくみを覚える。
 【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第13回** 【授業テーマ】 生殖器系
 【内容・方法 等】 ビデオ「人体①生命誕生・・・驚異の小宇宙」。生命の神秘とともに生殖器系のしくみを理解する。
 【事前・事後学習課題】 該当する項目について教科書をもとに予習・復習を行うこと
- 第14回** 【授業テーマ】 総括質問とプレゼンテーション
 【内容・方法 等】 すべての授業内容に関する質問について答えるとともに、難解だった部分を詳細に解説する。
 【事前・事後学習課題】
- 第15回** 【授業テーマ】 習熟度試験
 【内容・方法 等】 すべての授業範囲について総括試験を実施する。
 【事前・事後学習課題】
- 評価方法 (基準)**
 小テスト・臨時テスト・授業態度により判断。
- 教材等**
 教科書…ニューステージ「生物図表」浜島書店
 参考書…なし
- 学生へのメッセージ**
 社会人としての一般教養の幅を広げる授業です。次週に小テ

トを実施するので十分に復習してください。

関連科目

自然科学Ⅱと連動している。

担当者の研究室等

枚方・薬学部6号館3階病理学研究室 1

備考

なし

自然科学Ⅱ

Introduction to Natural Sciences II

藤 森 廣 幸 (フジモリ ヒロユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

細胞からヒトを始めとする個体について概説する。また、人体の構造と機能について分子レベル(遺伝子)からも解説する。自分自身を構成する遺伝子または細胞単位から各種臓器にいたるまでを理解することにより、分子生物学の一般的な知識を身に付ける。生物の構造と機能について理解することを目標とする。

授業方法と留意点

講義は、主として配布プリントを利用して進める。

科目学習の効果(資格)

ヒトを始めとする生物についての知識を習得することで、自然科学に関する教養を身につける。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 概論および導入講義
 アポトーシス(細胞死)(その1)
 【内容・方法 等】 講義の内容の説明とそれを学ぶ理由について学習する。
 細胞死の現象について学ぶ。
 配布プリントにて講義する。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト(1)の勉強をする。
- 第2回** 【授業テーマ】 アポトーシス(細胞死)(その2)
 【内容・方法 等】 細胞死の発現機構について学ぶ。
 配布プリントにて講義する。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト(2)の勉強をする。
- 第3回** 【授業テーマ】 生物とは
 【内容・方法 等】 生命、生命の誕生等について学ぶ。
 配布プリントにて講義する。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト(3)の勉強をする。
- 第4回** 【授業テーマ】 細胞のしくみ(その1)
 【内容・方法 等】 細胞の基本構造と機能について学ぶ。
 配布プリントにて講義する。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト(4)の勉強をする。
- 第5回** 【授業テーマ】 細胞のしくみ(その2)
 【内容・方法 等】 細胞膜の構造と機能について学ぶ。
 配布プリントにて講義する。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト(5)の勉強をする。
- 第6回** 【授業テーマ】 細胞と個体(その1)
 【内容・方法 等】 動物の組織について学ぶ。
 配布プリントにて講義する。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト(6)の勉強をする。
- 第7回** 【授業テーマ】 細胞と個体(その2)
 【内容・方法 等】 肝臓、腎臓等の構造と機能について学ぶ。
 配布プリントにて講義する。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト(7)の勉強をする。
- 第8回** 【授業テーマ】 生殖と発生について
 【内容・方法 等】 細胞周期、初期発生について学ぶ。
 配布プリントにて講義する。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト(8)の勉強をする。
- 第9回** 【授業テーマ】 生物の構成成分について
 【内容・方法 等】 生体を構成する物質について学ぶ。
 配布プリントにて講義する。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト(9)の勉強をする。
- 第10回** 【授業テーマ】 代謝について
 【内容・方法 等】 糖代謝、アミノ酸代謝等について学ぶ。
 配布プリントにて講義する。
 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト(10)の勉強をする。
- 第11回** 【授業テーマ】 遺伝について(その1)

- 【内容・方法 等】 遺伝形式について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト（11）の勉強をする。
- 第12回 【授業テーマ】 遺伝について（その2）
【内容・方法 等】 遺伝子複製と発現について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト（12）の勉強をする。
- 第13回 【授業テーマ】 恒常性について
【内容・方法 等】 内部環境と恒常性について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト（13）の勉強をする。
- 第14回 【授業テーマ】 生体防御について
【内容・方法 等】 免疫系や内分泌化学物質について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行い、次回の小テスト（14）の勉強をする。
- 第15回 【授業テーマ】 再生医療について
総括
【内容・方法 等】 幹細胞や臓器移植等について学ぶ。
配布プリントにて講義する。
- 【事前・事後学習課題】 配布プリントで復習を行う。

評価方法（基準）
毎回（合計14回）行う簡単な小テスト20%、期末試験80%の割合で総合的に評価する。

教材等
教科書…授業毎に配布するプリント
参考書…「illustrated 基礎生命科学 第2版」竹島 浩ら共著、京都廣川書店（本体2、800円+税）
「ZEROからの生命科学」木下勉ら共著、南山堂（2、400円+税）

学生へのメッセージ
担当者の専門分野は薬学である。講義に関する質問については、いつでも受け付けます。しかし、授業中に他の学生の迷惑になるおしゃべりをしている学生には、退席してもらいます。

関連科目
生物学
担当者の研究室等
枚方学舎1号館7階(毒性学研究室：藤森教授室)

地誌学 Regional Geography				
中西雄二(ナカニシ ユウジ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
地理学の基本的な諸概念を把握した上で、日本の諸地域を事例に自然環境と人間生活の関わりについて近代以降の国民国家・日本の成り立ちや社会的文脈と合わせて理解していく。

授業方法と留意点
講義を中心に授業を進めていく。基本的には毎回の授業で図や表を配布し、重要な事項に関しては主にパワーポイントを用いて解説する。また、必要に応じて映像資料の活用も行なう。

科目学習の効果（資格）
中学社会・高校地理歴史教育職員免許

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 講義に関する内容や進め方の解説
【事前・事後学習課題】 紹介した参考文献に目を通しておくこと。
- 第2回 【授業テーマ】 北海道地方
【内容・方法 等】 アイヌ民族の文化や歴史に焦点を当て、北海道が近代日本に組み込まれていく過程と地域文化の変容について把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。
- 第3回 【授業テーマ】 東北地方
【内容・方法 等】 近代日本における東北地方の位置付けを踏まえた上で、東北地方の農山漁村を事例に生活文化の変容と観光文化の生成について理解する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。
- 第4回 【授業テーマ】 関東地方（1）
【内容・方法 等】 江戸の歴史地理を理解した上で、国民国家・日本の首都・東京へと変化していく過程を政治的文脈から把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参

- 考文献に目を通しておくこと。
- 第5回 【授業テーマ】 関東地方（2）
【内容・方法 等】 第2次世界大戦後における首都圏への政治・経済的機能の集中について、国土空間の編成とグローバリゼーションの進展に焦点を当てて把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。
- 第6回 【授業テーマ】 中部地方
【内容・方法 等】 中央高地の農村地域における自然環境と生活文化の関係性について、近代化が与えた影響とともに理解する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。
- 第7回 【授業テーマ】 近畿地方（1）
【内容・方法 等】 京阪神大都市圏の形成と発展について、主に大阪における近代工業化の歴史から把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。
- 第8回 【授業テーマ】 近畿地方（2）
【内容・方法 等】 都市開発と自然環境の変容について、主に神戸における住宅政策を事例に理解する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。
- 第9回 【授業テーマ】 近畿地方（3）
【内容・方法 等】 都市としての京都の歴史の変容を踏まえた上で、近代化をめぐる諸事業と文化財保全の現状について把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。
- 第10回 【授業テーマ】 中四国地方
【内容・方法 等】 主に瀬戸内工業地域の事例をもとに、政策に基づく国土空間の編成と地域社会の変容について理解する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。
- 第11回 【授業テーマ】 九州地方
【内容・方法 等】 九州北部の旧産炭地域に焦点を当てて、経済構造の変化と地域社会の変動について理解する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。
- 第12回 【授業テーマ】 沖縄・奄美地方（1）
【内容・方法 等】 琉球王国や琉球処分などの歴史的文脈を踏まえて、沖縄・奄美地方に関する詳細な地誌的概略（自然・文化・産業・歴史など）を把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。
- 第13回 【授業テーマ】 沖縄・奄美地方（2）
【内容・方法 等】 沖縄・奄美地方の地誌的概略について、第2次世界大戦後のアメリカ軍占領期と日本返還以降の社会的文脈を踏まえて把握する。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けた復習。紹介した参考文献に目を通しておくこと。
- 第14回 【授業テーマ】 日本総論
【内容・方法 等】 国民国家・日本の成立過程と国土計画の変遷を踏まえた上で、これまでの授業の復習を行なう。
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けたこれまでの復習。
- 第15回 【授業テーマ】 総括・確認テスト
【内容・方法 等】 全講義に関するまとめ、及び理解度を確認するための試験実施
【事前・事後学習課題】 確認テストに向けたこれまでの復習。
- 評価方法（基準）**
原則として、授業内に実施する筆記試験で評価する。
- 教材等**
教科書…講義中に適宜紹介する。
参考書…講義中に適宜紹介する。
- 学生へのメッセージ**
授業は基本的に講義形式で行ないますが、疑問点や不明な点がある場合は積極的に質問をしてください。
- 関連科目**
地誌学など。
- 担当者の研究室等**
7号館2階(非常勤講師室)
- 備考**
講義の内容および評価方法に変更が生じるときには、講義中に随時連絡する。

地理学I Geography I				
笠原俊則 (カサハラ トシノリ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「環境」ということばはいろいろの分野でよく使われているが、地理学では最も重要な述語の一つである。これは人間生活に影響を及ぼす種々の外的要因の全体を意味する。近年、人間活動にともなってこの環境に著しい変化が生じている。本講義は、環境改変者としての人類が、自然環境をどのように改変してきたかを自然地理学的視点から理解することを目的としている。学生諸君には、我々人類は環境改変者であり、自分自身もその一員であるという自覚を持ってもらえたら、講義の目的の半分は達成されたものといえる。

授業方法と留意点

講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、適宜講義中にプリントを配布していく予定である。不定期に作業を行うので、15cmの物差し、12色の色鉛筆を持参して欲しい。

科目学習の効果（資格）

人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 地理学および自然地理学について
【内容・方法 等】 ・地理学の歴史および自然地理学の分野
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 地理学と環境
【内容・方法 等】 人類による環境への働きかけの歴史（過去から現在まで）
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第3回 【授業テーマ】 様々な地形と生活－その1－
【内容・方法 等】 谷底平野・台地・河岸段丘の地形と生活
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 様々な地形と生活－その2－
【内容・方法 等】 扇状地・自然堤防地帯・三角州の地形と生活
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第5回 【授業テーマ】 世界の気候－その1－
【内容・方法 等】 熱帯気候・乾燥気候・高山気候
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第6回 【授業テーマ】 世界の気候－その2－
【内容・方法 等】 温帯気候・冷帯気候・寒帯気候
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第7回 【授業テーマ】 ハイサーグラフの形からみる世界の気候
【内容・方法 等】 ハイサーグラフの活用方法
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第8回 【授業テーマ】 日本の気候
【内容・方法 等】 日本各地の気候と生活
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第9回 【授業テーマ】 世界の植生と土壌
【内容・方法 等】 世界の気候との関連からみた植生および土壌
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第10回 【授業テーマ】 水文環境と生活
【内容・方法 等】 水が我々の生活にいかなる影響を与えているか
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第11回 【授業テーマ】 水文環境と水収支
【内容・方法 等】 水資源の算定
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第12回 【授業テーマ】 ダムの歴史
【内容・方法 等】 ・世界のダムの歴史
・日本のダムの歴史
・日本における近代ダム建設の歩み
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第13回 【授業テーマ】 ダム上流における自然環境の変化
【内容・方法 等】 ・ダム堆砂

・ダム上流における河床上昇とその影響

- 【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第14回 【授業テーマ】 ダム下流における自然環境の変化
【内容・方法 等】 ・ダム下流における河床の低下
・日本における海岸浸食の状況
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。
- 第15回 【授業テーマ】 自然地理学の役割を考える
【内容・方法 等】 全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の講義内容を各自で確認しておいて下さい。

評価方法（基準）

定期試験80%、授業への参加状況20%とする。

教材等

- 教科書…「人間活動と環境変化」吉越昭久編、古今書院（2400円＋税）
- 参考書…「ダムと日本（岩波新書716）」天野礼子、岩波書店（700円＋税）
- 「風景の中の自然地理」杉谷隆ほか、古今書院（2500円＋税）

学生へのメッセージ

地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図帳で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいると思われるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。なお、指定テキストは後期の「地理学Ⅱ」でも使用する予定である。

関連科目

「環境関連科目」等

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

地理学II Geography II				
笠原俊則 (カサハラ トシノリ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

我々人類は過去から現在まで環境に種々の働きかけを行い、これを変化させてきた。後期の講義では前期の講義内容を受けて、このような人間活動による環境問題の例をいくつか取り上げて説明し、受講生諸君が現代社会について考える一助にしたいと考えている。最終的には、受講者全員が現代の環境問題について興味を持ち、理解し、考え方を確立してくれることを期待している。これら3点をクリアできれば、この科目を受講した事が諸君の今後の人生に大いに役立つであろう。

授業方法と留意点

講義形式で行う。テキストに掲載されている図表だけでは不足するような場合、適宜講義中にプリントを配布していく予定である。

科目学習の効果（資格）

人間活動が、我々を取り巻く環境にいかなる影響を与えているかを、身近に感じ取ることができるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 都市化の進展と水文環境の変化
【内容・方法 等】 都市化が進展することによって水の環境がどのように変化するか
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 都市化にともなう流出の変化
【内容・方法 等】 都市化にともなう流出がどのように変化するか
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第3回 【授業テーマ】 都市化にともなう水災害の変化
【内容・方法 等】 ・都市化にともなう流出変化の実例
・都市の水害と下水道整備
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 農業地域における都市化と中小河川の治水
【内容・方法 等】 農業地域の都市化にともない農業水利組織によって行われてきた面的治水がどのように維持されたか
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて

- 下さい。
- 第5回 【授業テーマ】 親水と多自然型川づくり
【内容・方法 等】 ・親水について
・多自然型川づくりについて
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第6回 【授業テーマ】 都市気候について-その1-
【内容・方法 等】 ・都市気候とは
・都市気候と緑地
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第7回 【授業テーマ】 都市気候について-その2-
【内容・方法 等】 都市気候の具体的な例
【事前・事後学習課題】 配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第8回 【授業テーマ】 ため池の多面的機能
【内容・方法 等】 ため池の持つ多面的な機能とその利用
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第9回 【授業テーマ】 日本における干拓の歴史
【内容・方法 等】 干拓の歴史と戦後の干拓
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第10回 【授業テーマ】 干拓地の自然的特性
【内容・方法 等】 干拓地の地形と水文環境
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第11回 【授業テーマ】 諫早湾干拓と環境変化
【内容・方法 等】 諫早湾干拓にともなってどのような環境問題が発生したか
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第12回 【授業テーマ】 すみわけられた都市社会空間
【内容・方法 等】 ・エスニックマイノリティー社会
・インナーシティ問題
【事前・事後学習課題】 指定テキストに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第13回 【授業テーマ】 ニュータウンの高齢化
【内容・方法 等】 ・日本におけるニュータウンの成立
・千里ニュータウンの高齢化
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第14回 【授業テーマ】 都市商業の盛衰と多様化
【内容・方法 等】 ・都市商業の発展と社会環境の変化
・都市中心部の空洞化と都市商業の変化
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 第15回 【授業テーマ】 伝統工業の地域構成
【内容・方法 等】 京都の伝統文化と伝統工業
【事前・事後学習課題】 指定テキストおよび配布プリントに目を通しておいて下さい。前回の授業内容を確認しておいて下さい。
- 評価方法 (基準)
定期試験80%、授業への参加状況20%とする。
- 教材等
教科書…「人間活動と環境変化」吉越昭久編, 古今書院 (2400円+税)
参考書…「都市の水文環境」新井正ほか, 共立出版 (3990円)
「ダムと日本 (岩波新書716)」天野礼子, 岩波書店 (700円+税)
「川と国土の危機 水害と社会 (岩波新書1387)」高橋裕, 岩波書店 (700円+税)
- 学生へのメッセージ
地理学には地図が付きものである。講義中に出てくる地名を地図で確認すれば、内容がより理解しやすくなるであろう。最近の高校教育では地理が選択になっているため、履修していない人もいると思われるが、もし高校時代に使用した地図帳があれば、講義中に持参して欲しい。
- 関連科目
「環境関連科目」等
- 担当者の研究室等
7号館2階 非常勤講師室

日本事情 FI Japanese Culture & Society FI				
門 脇 薫 (カドワキ カオル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

授業方法と留意点

各映画について次のように進めます。(1)映画についての情報・その他背景知識について説明 (2)映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題 (3)テーマについてディスカッション (4)「書く」練習

科目学習の効果 (資格)

自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化についての理解

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス・日本語レベルのチェック
【内容・方法 等】 授業の概要・進め方について・スピーチ
【事前・事後学習課題】 テキスト予習
- 第2回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「教育」
【内容・方法 等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第3回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「教育」
【内容・方法 等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第4回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「教育」
【内容・方法 等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第5回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「家族」
【内容・方法 等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第6回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「家族」
【内容・方法 等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第7回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「家族」
【内容・方法 等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
- 第8回 【授業テーマ】 テーマ1・2に関する発表
【内容・方法 等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート
- 第9回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「言葉」
【内容・方法 等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第10回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「言葉」
【内容・方法 等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第11回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「言葉」
【内容・方法 等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第12回 【授業テーマ】 映画4：「民族」
【内容・方法 等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第13回 【授業テーマ】 映画4：「民族」
【内容・方法 等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第14回 【授業テーマ】 映画4：「民族」
【内容・方法 等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プリントの課題、発表準備
- 第15回 【授業テーマ】 テーマ3・4に関する発表
【内容・方法 等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート

評価方法 (基準)

各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

教材等

教科書…『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社 (2415円)
参考書…授業時に指示します。

学生へのメッセージ

映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！

関連科目

国際文化概論、世界の文化の比較、日本の歴史、芸能と文化、多文化の共生
担当者の研究室等
 7号館4階(門脇研究室)

日本事情FII Japanese Culture & Society FII				
門脇 薫 (カドワキ カオル)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

日本文化・社会について、日本映画を視聴して観察したり考察したりします。また、映画の台詞や使われている場面から日本語の文法や表現についても学びます。日本文化・社会について観察し、自国の文化・社会及び他の受講生の国の文化・社会と比較考察し、様々なテーマについて日本語で自分の考えが表現できることを目標とします。

授業方法と留意点

各映画について次のように進めます。(1) 映画についての情報・その他背景知識について説明 (2) 映画の場面をいくつか視聴：内容理解・練習問題・その他の各種タスク問題 (3) テーマについてディスカッション (4) 「書く」練習

科目学習の効果(資格)

自然な日本語の表現・文法事項の習得、異文化についての理解

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス・日本語レベルチェック
【内容・方法等】 授業の概要・進め方について・スピーチ
【事前・事後学習課題】 テキスト予習
- 第2回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「職業」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第3回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「職業」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第4回 【授業テーマ】 映画1：テーマ「職業」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第5回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第6回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第7回 【授業テーマ】 映画2：テーマ「高齢化社会」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プrintの課題、発表準備
- 第8回 【授業テーマ】 テーマ1・2に関する発表
【内容・方法等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート
- 第9回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「大学生活」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第10回 【授業テーマ】 映画3：「大学生活」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題
- 第11回 【授業テーマ】 映画3：テーマ「大学生活」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、テーマについてレポート
- 第12回 【授業テーマ】 映画4：「ジェンダー」
【内容・方法等】 映画についての情報・背景解説、内容理解
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第13回 【授業テーマ】 映画4：「ジェンダー」
【内容・方法等】 内容理解、タスク
【事前・事後学習課題】 テキスト予習、プリントの課題、発表準備
- 第14回 【授業テーマ】 映画4：「ジェンダー」
【内容・方法等】 タスク、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 プrintの課題、発表準備
- 第15回 【授業テーマ】 テーマ3・4に関する発表
【内容・方法等】 発表、質疑応答、ディスカッション
【事前・事後学習課題】 テーマについてレポート

評価方法(基準)

各課題、授業への参加度、レポート等により総合的に評価します。

教材等

教科書…『映画で日本文化を学ぶ人のために』世界思想社(2,415円)

参考書…授業時に指示します。

学生へのメッセージ

映画を見ながら楽しく日本語・日本文化について学びましょう！

関連科目

国際文化概論、世界の文化の比較、日本の歴史、芸能と文化、多文化の共生

担当者の研究室等

7号館4階(門脇研究室)

日本語読解F I

Japanese Reading F I

赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、日本人向けに書かれた一般書を読みます。知識や教養を深めるための文章を読み、自分なりに咀嚼して文章にまとめ、口頭で説明できるようになることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中、単語テストも行います。

科目学習の効果(資格)

大学の授業に必要な読解能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
- 第2回 【授業テーマ】 「科学」の定義1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 「科学」の定義2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 親高校な男の子1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 親高校な男の子2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 ゲーム依存症(上)1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 ゲーム依存症(上)2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 ゲーム依存症(下)1
【内容・方法等】 読解、内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 ゲーム依存症(下)2
【内容・方法等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 総復習1
【内容・方法等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 総復習2
【内容・方法等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ
【内容・方法等】 テスト解説
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法(基準)

単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等

教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ

さまざまな分野の文章を読み、クラスで意見を共有しましょう。

関連科目

日本語文法 I

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

日本語読解 F II Japanese Reading FII				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、日本人向けに書かれた一般書を読みます。知識や教養を深めるための文章を読み、自分なりに咀嚼して文章にまとめ、口頭で説明できるようになることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、まず受講者が各自で文章を読み、ワークシートを完成させます。その後、教員による解説を行います。授業の最後に、受講者の理解度を確認するため、ミニレポートを書いてもらうこともあります。また、授業中、単語テストも行います。

科目学習の効果（資格）

大学の授業に必要な読解能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
- 第2回 【授業テーマ】 金融教育1
【内容・方法 等】 読解, 内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 金融教育2
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 言語と文化1
【内容・方法 等】 読解, 内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 言語と文化2
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 ローソクの進化1
【内容・方法 等】 読解, 内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 ローソクの進化2
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然? 1
【内容・方法 等】 読解, 内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然? 2
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 統計と数学1
【内容・方法 等】 読解, 内容理解
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 統計と数学2
【内容・方法 等】 単語テスト、タスク、書く
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 総復習1
【内容・方法 等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 総復習2
【内容・方法 等】 今学期扱ったテーマに関連する新聞記事などを読む
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法 等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ
【内容・方法 等】 テスト解説
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）

単語テスト、ミニレポート、確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等

教科書…プリントを配布します。

参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ

さまざまな分野の文章を読み、クラスで意見を共有しましょう。

関連科目

日本語文法 II

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

日本語文法 F I Japanese Grammar F I				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、中上級の文法項目を取り上げ、用法を確認し、実際にその文法項目が使われている会話を聞いたり、その文法項目を使って会話することを通して、適切な場面で使えるようになることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。

科目学習の効果（資格）

高度な日本語運用能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
- 第2回 【授業テーマ】 「科学」の定義1
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 「科学」の定義2
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー1
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 現代の若者のマナー2
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 親高校な男の子1
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 親高校な男の子2
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（上）1
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（上）2
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（下）1
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 ゲーム依存症（下）2
【内容・方法 等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 総復習1
【内容・方法 等】 今学期扱った文法事項の復習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 総復習2
【内容・方法 等】 今学期扱った文法事項の復習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法 等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ
【内容・方法 等】 テスト解説
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）

確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等

教科書…プリントを配布します。
参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ

場面やタスクに合わせて、適切な文法項目を使って会話ができるように、一緒に勉強しましょう。

関連科目

日本語読解 I

担当者の研究室等

日本語文法FII
Japanese Grammar FI

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では、中上級の文法項目を取り上げ、用法を確認し、実際にその文法項目が使われている会話を聞いたり、その文法項目を使って会話することを通して、適切な場面で使えるようになることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、練習問題と教員による解説を繰り返します。

科目学習の効果（資格）

高度な日本語運用能力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 授業の進め方の説明
【事前・事後学習課題】 シラバスをよく読んで理解する
- 第2回 【授業テーマ】 金融教育1
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 金融教育2
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 言語と文化1
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 言語と文化2
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 ローソクの進化1
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 ローソクの進化2
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然？1
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 「割り勘」は当然？2
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 統計と数学1
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 統計と数学2
【内容・方法等】 読解の中に出てくる文法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 総復習1
【内容・方法等】 今学期扱った文法項目の復習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 総復習2
【内容・方法等】 今学期扱った文法項目の復習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 確認テスト
【内容・方法等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総まとめ
【内容・方法等】 テスト解説
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）

確認テスト、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等

教科書…プリントを配布します。

参考書…授業中に提示します。

学生へのメッセージ

場面やタスクに合わせて、適切な文法項目を使って会話ができるように、一緒に勉強しましょう。

関連科目

日本語読解II

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

日本語表現作文FI

Japanese Reading and Writing FI

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、教師による解説と練習問題を行います。

科目学習の効果（資格）

大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 授業についての説明
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 基礎編1 よく使われる文の形
【内容・方法等】 レポート、論文で使われる文の形について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 基礎編2 よく使われる語と表現
【内容・方法等】 レポート、論文で使われる語と表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 基礎編3 引用
【内容・方法等】 引用の仕方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 基礎編4 句読点
【内容・方法等】 句読点の使い方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 基礎編5 表記規則
【内容・方法等】 表記規則について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 基礎編6 まとめ方の練習
【内容・方法等】 これまで学んだことのまとめ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの？1 論文とは
【内容・方法等】 レポート、論文を書くときに気をつけることを学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの？2 論文の構成
【内容・方法等】 論文の構成について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの？3 構成の作り方
【内容・方法等】 論文の作り方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの？4 本論のまとめ方
【内容・方法等】 本論のまとめ方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの？5 書いてみよう①
【内容・方法等】 論文の構成を書いてみる
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの？6 3種類の文
【内容・方法等】 読者に伝わる書き方について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 論文編 I 論文ってどんなもの？7 書いてみよう②
【内容・方法等】 読者に伝わる書き方で書いてみる
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法等】 今学期学んだことのまとめ
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法（基準）

課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等

教科書…毎回プリントを配付します。

参考書…授業で指示します。

学生へのメッセージ

レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう！

関連科目

他の日本語関連の科目

担当者の研究室等

7号館2階（非常勤講師室）

日本語表現作文FII

Japanese Reading and Writing FII

赤城 永里子 (アカギ エリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業は、授業でレポートや論文を書くための基礎を学びます。レポートや論文の構成、適した表現、書き方のルールを身につけることを目指します。

授業方法と留意点

授業では、教師による解説と練習問題を行います。

科目学習の効果(資格)

大学で求められるレポートや論文を書く力の基礎を築く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業についての説明
【事前・事後学習課題】
- 第2回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集1 図表に関する表現①
【内容・方法 等】 図表に関する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集1 図表に関する表現②
【内容・方法 等】 図表に関する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集2 資料に関する表現
【内容・方法 等】 資料に関する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 【授業テーマ】 資料編 I 場面別表現集3 調査・実験に関する表現
【内容・方法 等】 調査・実験に関する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術1 例を挙げる
【内容・方法 等】 例を挙げる表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術2 対比する
【内容・方法 等】 対比する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術3 注目させる
【内容・方法 等】 注目させる表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術4 推論を示す
【内容・方法 等】 推論を示す表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 【授業テーマ】 資料編 II 展開の技術5 結論の補強
【内容・方法 等】 結論を補強する表現について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 【授業テーマ】 資料編 III 卒業論文、学術論文のために1 論文の付属要素
【内容・方法 等】 論文の付属要素について学ぶ
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 【授業テーマ】 資料編 III 卒業論文、学術論文のために2 書いてみよう
【内容・方法 等】 論文の付属要素を書いてみる
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 【授業テーマ】 レポート作成①
【内容・方法 等】 レポートを作成する
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 【授業テーマ】 レポート作成②
【内容・方法 等】 レポートを作成する
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 【授業テーマ】 総復習
【内容・方法 等】 今学期学んだことのまとめ
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法(基準)

課題、レポート、授業への参加態度を総合的に評価します。

教材等

教科書…毎回プリントを配付します。
参考書…授業で指示します。

学生へのメッセージ

レポートや論文の書き方を一緒に勉強しましょう！

関連科目

他の日本語関連の科目

担当者の研究室等

7号館2階(非常勤講師室)

日本語上級読解FI

Advanced Japanese Reading FI

古川 由理子 (フルカワ ユリコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では次の3点を目標にします。

- ①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る
- ②まとまった内容の文章の大意を把握する
- ③できるだけ速く①と②をできるようにする

なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。

授業方法と留意点

この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確に読んで読むのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。

1. キーワード・キーセンテンスを探す
2. 接続詞に注意する
3. テキストの流れに注意する
4. 予測して読む
5. テキストをまとめる

科目学習の効果(資格)

- ・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。
- ・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。
- ・その成果を専門の文章の読解に応用する。
(・JPT N1を持っていないものは取得を目指す。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業の概要説明
プレースメントテスト
【事前・事後学習課題】 復習
- 第2回 【授業テーマ】 指示語に注意する
【内容・方法 等】 練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第3回 【授業テーマ】 キーワードに注意する
【内容・方法 等】 穴埋め問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第4回 【授業テーマ】 文章の内容を予測する
【内容・方法 等】 並べ替えの問題
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第5回 【授業テーマ】 キーセンテンスを探す(1)
【内容・方法 等】 練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第6回 【授業テーマ】 キーセンテンスを探す(2)
【内容・方法 等】 練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第7回 【授業テーマ】 要約をする
【内容・方法 等】 全体を問う問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第8回 【授業テーマ】 説明文を読む(1)
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第9回 【授業テーマ】 説明文を読む(2)
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第10回 【授業テーマ】 論説文を読む(1)
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第11回 【授業テーマ】 論説文を読む(2)
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第12回 【授業テーマ】 随筆を読む
【内容・方法 等】 2~3の随筆を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第13回 【授業テーマ】 小説を読む(1)
【内容・方法 等】 2~3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第14回 【授業テーマ】 小説を読む(2)
【内容・方法 等】 2~3の小説を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
- 第15回 【授業テーマ】 期末テスト
【内容・方法 等】 授業中に指示する
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する

評価方法(基準)

定期試験を実施(試験の形式については授業中に説明する)
出席・授業態度 + 期末テスト = 100%
50% 50%

教材等

教科書…授業中プリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ

受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。

出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。

関連科目

日本語表現作文

担当者の研究室等

外国語学部非常勤講師室 (7号館2階)

備考

受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。

日本語上級読解FII Advanced Japanese Reading FII				
古川 由理子 (フルカワ ユリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

この授業では次の3点を目標にします。

- ①まとまった内容の文章から必要な情報を読み取る
- ②まとまった内容の文章の大意を把握する
- ③できるだけ速く①と②をできるようにする

なお、JLPTのN1に合格していない学習者が多い場合、その対策も行ないます。

授業方法と留意点

この授業では、実際に日本社会で使用されている生教材を使って、速読を行ないます。テキストを一字一句、正確に読んでいくのではなく、できるだけ速く、自分に必要な情報を読み取る練習をします。そのため、次のような手順で授業を進めます。

1. キーワード・キーセンテンスを探す
2. 接続詞に注意する
3. テキストの流れに注意する
4. 予測して読む
5. テキストをまとめる

科目学習の効果 (資格)

- ・日常あふれている数々の日本語の文章の中から、自分に必要な情報をより早く取り入れることができる。
 - ・必要ではない情報を捨て、ポイントはどこかを把握できるようにする。
 - ・その成果を専門の文章の読解に応用する。
- (・JPT N1を持っていないものは取得を目指す。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- | | |
|------|---|
| 第1回 | 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業の概要説明
プレースメントテスト
【事前・事後学習課題】 復習 |
| 第2回 | 【授業テーマ】 指示語に注意する
【内容・方法 等】 練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する |
| 第3回 | 【授業テーマ】 キーワードに注意する
【内容・方法 等】 穴埋め問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する |
| 第4回 | 【授業テーマ】 文章の内容を予測する
【内容・方法 等】 並べ替えの問題
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する |
| 第5回 | 【授業テーマ】 キーセンテンスを探す (1)
【内容・方法 等】 練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する |
| 第6回 | 【授業テーマ】 キーセンテンスを探す (2)
【内容・方法 等】 練習問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する |
| 第7回 | 【授業テーマ】 要約をする
【内容・方法 等】 全体を問う問題をこなす
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する |
| 第8回 | 【授業テーマ】 説明文を読む (1)
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する |
| 第9回 | 【授業テーマ】 説明文を読む (2)
【内容・方法 等】 2~3の説明文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する |
| 第10回 | 【授業テーマ】 論説文を読む (1)
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する |
| 第11回 | 【授業テーマ】 論説文を読む (2)
【内容・方法 等】 2~3の論説文を読み、問題を解く
【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する |
| 第12回 | 【授業テーマ】 随筆を読む
【内容・方法 等】 2~3の随筆を読み、問題を解く |

- | | |
|------|---|
| 第13回 | 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 小説を読む (1)
【内容・方法 等】 2~3の小説を読み、問題を解く |
| 第14回 | 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 小説を読む (2)
【内容・方法 等】 2~3の小説を読み、問題を解く |
| 第15回 | 【事前・事後学習課題】 授業内容を復習する
【授業テーマ】 期末テスト
【内容・方法 等】 授業中に指示する |

評価方法 (基準)

定期試験を実施 (試験の形式については授業中に説明する)
出席・授業態度 + 期末テスト = 100%
50% 50%

教材等

教科書…授業中プリントを配布する
参考書…授業中に指示する

学生へのメッセージ

受講者のニーズにより、授業内容を大幅に変更することがあります。

出席を重視します。できるだけ欠席をしないようにしてください。

関連科目

日本語表現作文

担当者の研究室等

外国語学部非常勤講師室 (7号館2階)

備考

受講者が少人数である場合は、受講者のリクエストを優先します。

日本語上級作文FI Advanced Japanese Writing FI				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	前期	選択	1

授業概要・目的・到達目標

相手との関係や文を書く目的を考慮し、媒体に応じて適切な文が書けるようになる。

授業方法と留意点

授業は、説明と実践が中心である。

科目学習の効果 (資格)

媒体、内容、読み手との関係を考慮した、適切な文章が書けるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- | | |
|------|---|
| 第1回 | 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の説明
【事前・事後学習課題】 _____ |
| 第2回 | 【授業テーマ】 自己アピール1
【内容・方法 等】 奨学金に応募する1
【事前・事後学習課題】 復習 |
| 第3回 | 【授業テーマ】 自己アピール2
【内容・方法 等】 奨学金に応募する2
【事前・事後学習課題】 第2・3回の授業を踏まえて、清書する |
| 第4回 | 【授業テーマ】 自己アピール3
【内容・方法 等】 履歴書を書く
【事前・事後学習課題】 復習 |
| 第5回 | 【授業テーマ】 自己アピール4
【内容・方法 等】 就職活動のためのエントリーシートを書く1
【事前・事後学習課題】 復習 |
| 第6回 | 【授業テーマ】 自己アピール5
【内容・方法 等】 就職活動のためのエントリーシートを書く2
【事前・事後学習課題】 第5・6回の授業を踏まえて、清書する |
| 第7回 | 【授業テーマ】 Eメール1
【内容・方法 等】 会社に問い合わせる
【事前・事後学習課題】 復習 |
| 第8回 | 【授業テーマ】 Eメール2
【内容・方法 等】 面接の機会をもらう
【事前・事後学習課題】 復習 |
| 第9回 | 【授業テーマ】 Eメール3
【内容・方法 等】 ゼミ会・クラス会のお誘いメールを書く
【事前・事後学習課題】 復習 |
| 第10回 | 【授業テーマ】 Eメール4
【内容・方法 等】 ゼミ会・クラス会のお誘いメールに返信する
【事前・事後学習課題】 第9・10回の授業を踏まえて、実際に受講生間でメールの交換をする |
| 第11回 | 【授業テーマ】 Eメール5 |

- 【内容・方法 等】** ゼミ会・クラス会に先生をお誘いするメールを書く
- 第12回 **【事前・事後学習課題】** 実際に先生を誘う
【授業テーマ】 Eメール6
【内容・方法 等】 ゼミ会・クラス会の事前リマインドメールを書く
- 第13回 **【事前・事後学習課題】** 実際にリマインドのメールを送る。
【授業テーマ】 掲示物1
【内容・方法 等】 外国語学習者募集の貼り紙を作る
【事前・事後学習課題】 実際に先生を誘う
- 第14回 **【授業テーマ】** 掲示物2
【内容・方法 等】 不要な家具・家電譲渡の貼り紙を作る
【事前・事後学習課題】 第13・14回の授業を踏まえ、掲示物を作成する
- 第15回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法 等】 総合的なフィードバック
【事前・事後学習課題】 復習
- 評価方法 (基準)**
課題や授業への参加態度などを総合的に評価する。
- 教材等**
教科書…授業中にプリントを配布する
参考書…授業中に指示する
- 学生へのメッセージ**
適切な文、相手に伝わる効果的な文を勉強して、近将来の就職活動に役立てましょう。
- 関連科目**
日本語上級読解、日本語上級会話
- 担当者の研究室等**
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語上級作文FII Advanced Japanese Writing FII				
赤城 永里子 (アカギ エリコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	後期	選択	1

- 授業概要・目的・到達目標**
ビジネス場面でのどのようなメールを交換しているのかを説明しながら、状況・目的に応じて適切なビジネスメールが書けるようになる。
- 授業方法と留意点**
授業は、講義と実践が中心である。
- 科目学習の効果 (資格)**
ビジネスメールが目的に応じて適切に書けるようになる。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の説明
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 **【授業テーマ】** ビジネスメール1
【内容・方法 等】 面識を持った人に挨拶のメール
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 **【授業テーマ】** ビジネスメール2
【内容・方法 等】 アポイントを取る (1)
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 **【授業テーマ】** ビジネスメール3
【内容・方法 等】 アポイントを取る (2)
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 **【授業テーマ】** ビジネスメール4
【内容・方法 等】 アポイントの確約をする
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 **【授業テーマ】** ビジネスメール5
【内容・方法 等】 お問い合わせメール (1)
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 **【授業テーマ】** ビジネスメール6
【内容・方法 等】 お問い合わせメール (2)
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 **【授業テーマ】** ビジネスメール7
【内容・方法 等】 報告をする
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 **【授業テーマ】** ビジネスメール8
【内容・方法 等】 お願いをする (1)
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 **【授業テーマ】** ビジネスメール9
【内容・方法 等】 お願いをする (2)
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 **【授業テーマ】** ビジネスメール10
【内容・方法 等】 催促をする (1)
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 **【授業テーマ】** ビジネスメール11
【内容・方法 等】 催促をする (2)

- 【事前・事後学習課題】** 復習
- 第13回 **【授業テーマ】** ビジネスメール12
【内容・方法 等】 お礼のメール
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 **【授業テーマ】** ビジネスメール13
【内容・方法 等】 お詫びのメール
【事前・事後学習課題】 復習
- 第15回 **【授業テーマ】** 総合復習
【内容・方法 等】 学習したビジネスメールの振り返り
【事前・事後学習課題】 復習
- 評価方法 (基準)**
課題や授業への参加態度などを総合的に評価する。
- 教材等**
教科書…授業中にプリントを配布する
参考書…授業中に指示する
- 学生へのメッセージ**
就職後、日系の会社あるいは日本国内の会社で働く際に必要なビジネスメールの書き方を一緒に勉強して、就職後に戸惑わないように練習しましょう。
- 関連科目**
日本語上級読解、日本語上級会話
- 担当者の研究室等**
7号館2階 (非常勤講師室)

日本語上級会話F1 Advanced Japanese Speaking F1				
高井 美穂 (タカイ ミホ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	前期	選択	1

- 授業概要・目的・到達目標**
ビジネス日本語能力テスト (BJT) において出題される聴解問題、聴読解問題の練習を行う。また、相手や場面、状況に応じた話し方ができるようになることを目指す。
- 授業方法と留意点**
聴解練習を行い、同様の状況を想定したロールプレイを行う。また、適宜、語彙の小テストを実施する。
- 科目学習の効果 (資格)**
就職に役立つ日本語会話能力が身につく。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** 敬語
【内容・方法 等】 敬語の復習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第2回 **【授業テーマ】** 上司の指示を理解する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第3回 **【授業テーマ】** 上司の指示を理解する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第4回 **【授業テーマ】** 同僚の指示を理解する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第5回 **【授業テーマ】** 同僚の指示を理解する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第6回 **【授業テーマ】** 社内 (部外) の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第7回 **【授業テーマ】** 社内 (部外) の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第8回 **【授業テーマ】** 社外の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第9回 **【授業テーマ】** 社外の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第10回 **【授業テーマ】** メモの内容に応じて行動する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第11回 **【授業テーマ】** メモの内容に応じて行動する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第12回 **【授業テーマ】** 会議・プレゼンの内容を理解する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第13回 **【授業テーマ】** 会議・プレゼンの内容を理解する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
- 第14回 **【授業テーマ】** 復習

【内容・方法 等】 語彙・表現の復習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習
【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 確認テスト
【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)
 授業への取り組み、語彙テスト、確認テストから総合的に判断する。

教材等
教科書…適宜プリントを配布する。
参考書…特になし

学生へのメッセージ
 ビジネス日本語能力テストは、ビジネス場面で必要とされるコミュニケーション能力を測る試験です。2年生のうちから準備を始め、就職に役立つ日本語会話能力を身につけましょう。

関連科目
 日本語上級作文、日本語上級読解

担当者の研究室等
 国際交流センター

日本語上級会話FII Advanced Japanese Speaking FII 高井美穂 (タカイ ミホ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2	留	後期	選択	1

授業概要・目的・到達目標
 前期に引き続き、ビジネス日本語能力テスト (BJT) において出題される聴解問題、聴読解問題の対策を行う。また、相手や場面、状況に応じた話し方ができるようになることを目指す。

授業方法と留意点
 聴解練習を行い、同様の状況を想定したロールプレイを行う。また、適宜、語彙の小テストを実施する。

科目学習の効果 (資格)
 就職に役立つ日本語会話能力が身につく。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 敬語
【内容・方法 等】 敬語の復習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第2回 **【授業テーマ】** 上司と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第3回 **【授業テーマ】** 上司と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第4回 **【授業テーマ】** 同僚と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第5回 **【授業テーマ】** 同僚と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第6回 **【授業テーマ】** 社内 (部外) の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第7回 **【授業テーマ】** 社内 (部外) の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第8回 **【授業テーマ】** 社外の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第9回 **【授業テーマ】** 社外の人と話す
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第10回 **【授業テーマ】** メモの内容に応じて行動する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第11回 **【授業テーマ】** メモの内容に応じて行動する
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第12回 **【授業テーマ】** 会議・プレゼン
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第13回 **【授業テーマ】** 会議・プレゼン
【内容・方法 等】 聴解練習、語彙・表現の学習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第14回 **【授業テーマ】** 復習
【内容・方法 等】 語彙・表現の復習、実践練習
【事前・事後学習課題】 復習

第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法 等】 確認テスト

【事前・事後学習課題】 復習

評価方法 (基準)
 授業への取り組み、語彙テスト、確認テストから総合的に判断する。

教材等
教科書…適宜プリントを配布する。
参考書…特になし

学生へのメッセージ
 ビジネス日本語能力テスト (BJT) は、ビジネス場面において必要とされる日本語コミュニケーション能力を測定する試験です。2年生のうちから準備を始め、就職に役立つ日本語会話能力を身につけましょう。

関連科目
 日本語上級作文、日本語上級読解

担当者の研究室等
 国際交流センター

教養特別講義I~V「社会と人権」 Human rights and Society				
		石崎 嘉彦 (イシザキ ヨシヒコ)		
		林田 敏子 (ハヤシダ トシコ)		
		橋本 正俊 (ハシモト マサトシ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
 本科目は、人間が人間として尊重されるということの意味を、具体的な生活や行動と関わらせて考えること、またそのような思索の成果を実際の生活や行動に反映させることを目的とし、そのための知識や見方・考え方を受講生に提示する。具体的には「現実生活と人権」および「人権の歴史」の二つをテーマとして、担当者がそれぞれ専門的な見地から講義するとともに、教員間、教員と学生間の討議を通して人権に対する総合的な理解の獲得をめざす。授業においては、毎回二人以上の教員が出席し担当する。

授業方法と留意点
 毎回、二名以上の教員が同一テーマについて、異なる立場と視点から講義する。

科目学習の効果 (資格)
 人権問題について、印象論ではなく、正確な知識に基づいた理解を得ることができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業の進め方について (林田・橋本・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 なし

第2回 **【授業テーマ】** 人権とは何か
【内容・方法 等】 人権という考え方の基本について (石崎・林田担当)
【事前・事後学習課題】 資料の予習

第3回 **【授業テーマ】** 人権の歴史
【内容・方法 等】 人権という考え方の歴史について (林田・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第4回 **【授業テーマ】** 女性と人権
【内容・方法 等】 女性差別の現状と構造 (林田・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第5回 **【授業テーマ】** 指紋あるいは遺伝子情報と人権
【内容・方法 等】 個人識別とプライバシーの保護について (石崎・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第6回 **【授業テーマ】** 警察と人権
【内容・方法 等】 民事不介入の原則について (林田・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第7回 **【授業テーマ】** 国際問題としての人権
【内容・方法 等】 貧困や難民問題と人権の問題について (石崎・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第8回 **【授業テーマ】** 日本における人権問題
【内容・方法 等】 同和問題の歴史と現状 (橋本・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第9回 **【授業テーマ】** 教育と人権
【内容・方法 等】 人権問題と教育の役割 (林田・橋本担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

第10回 **【授業テーマ】** 監獄と人権
【内容・方法 等】 一望監獄 (パノプティコン) と見えない権力 (林田・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習

- 第11回 【授業テーマ】 情報化社会における人権問題
【内容・方法等】 身体障害と表現(橋本・林田担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第12回 【授業テーマ】 マスメディアとネット社会の人権問題
【内容・方法等】 マスコミによる人権侵害と報道の自由について(橋本・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 前回のまとめと資料の予習
- 第13回 【授業テーマ】 人権問題の全体を再考する
【内容・方法等】 具体的な経験を語り合うことを通して(林田・石崎担当)
【事前・事後学習課題】 これまでのまとめを行っておく
- 第14回 【授業テーマ】 人権についての考えをまとめる
【内容・方法等】 これまでの講義をまとめてレポートを作成する(石崎・橋本・林田担当)
【事前・事後学習課題】 これまでの復習
- 第15回 【授業テーマ】 総括と展望
【内容・方法等】 纏めた文章の相互批評と評価(石崎・橋本・林田担当)
【事前・事後学習課題】 レポートを読み返しておく

評価方法(基準)
授業中における意見の表明など授業参加点と授業中に行う論文形式の小テストにより総合的に評価する。

教材等
教科書…とくになし。必要に応じてプリントを配付する。
参考書…とくになし。

学生へのメッセージ
人権がわたしたちの日常にきわめて深くかかわっている事柄であることを理解できるような講義を目指す。複数の教員が同一テーマについて同じ時間内に講義するという他に例のない授業形式の醍醐味に触れて欲しい。

関連科目
法学、歴史学、日本史学、哲学、日本文学

担当者の研究室等
7号館4階(石崎・橋本・林田研究室)

教養特別講義I～V「応用倫理学入門」 Introduction to Applied Ethics				
石崎嘉彦(イシザキ ヨシヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
応用倫理学は、環境、生命、情報、経済、政治など生活世界の諸問題を「倫理的パラダイム」の視点から総合的に読み解こうとする試みであるが、この講義では、その中でも特に「グローバル化」とともに持ち上がってくる諸問題に焦点を合わせて考えていこうと思う。そこから、科学とは区別される仕方では生命、環境、テクノロジーなどの諸問題に対して対処する道があることを確認していく。

授業方法と留意点
石崎嘉彦他著『グローバル世界と倫理』(ナカニシヤ出版)をテキストに用いた講義である。とりわけ今年度は、グローバル・エシックスに焦点を合わせた議論となる。

科目学習の効果(資格)
近代的思考法を超える新しい思考法の獲得に繋がる。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法等】 授業の進め方、評価の仕方、倫理について
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 グローバル世界の倫理と人間論
【内容・方法等】 人間論としての倫理学、いわゆる肉眼で見ることの復権について
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第3回 【授業テーマ】 グローバル化とグローバル世界
【内容・方法等】 経済のグローバル化と政治のグローバル化
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第4回 【授業テーマ】 倫理と自然法について
【内容・方法等】 力の世界と野蛮化の可能性について
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第5回 【授業テーマ】 グローバル世界と帝国
【内容・方法等】 普遍同質的な国家と新たな帝国の出現に対処するために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第6回 【授業テーマ】 人権とヒューマニズムのために
【内容・方法等】 接待の倫理―共同への欲求と親密圏について
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第7回 【授業テーマ】 テクノロジーの専制
【内容・方法等】 総動員体制にどう応えるか―技術とナショナリズムに抗して

- 第8回 【授業テーマ】 南北問題と環境の倫理学
【内容・方法等】 全体論は悪いか―自国の利益よりも世界全体の利益を優先させるために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第9回 【授業テーマ】 管理社会から福祉社会へ
【内容・方法等】 グローバル化による管理社会の到来に立ち向かうために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第10回 【授業テーマ】 帝国主義でも全体主義的帝国でもなく
【内容・方法等】 徳と教養の帝国、愛郷主義の帝国は可能か
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第11回 【授業テーマ】 男女と貧富の平等について
【内容・方法等】 差異を超える論理はありうるのか
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第12回 【授業テーマ】 大衆・メディア・コミュニケーション
【内容・方法等】 情報技術とメディアの横暴を押し止めるために
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する

評価方法(基準)
講義への熱意、議論への参加の度合い、レポートにより判定

教材等
教科書…石崎嘉彦他著『グローバル世界と倫理』(ナカニシヤ出版)
参考書…石崎嘉彦著『ポストモダン的人間論』(ナカニシヤ出版)
石崎嘉彦他著『ポストモダン時代の倫理』(ナカニシヤ出版)

学生へのメッセージ
これからの時代を生きていくためのキーワードは「倫理」と「正義」だよ

関連科目
哲学、エコロジー、環境倫理学、技術者倫理、情報倫理など

担当者の研究室等
7号館4階(石崎研究室)

教養特別講義I～V「役立つ金融知力」 Useful Financial Literacy				
東浩規(ヒガシ ヒロキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
金融の自由化が進展し、多様な金融商品やサービスが登場するなど、消費者の選択肢が大きく広がり、これまでも増して利便性や収益機会が得られるようになりました。その一方で、私たちに金融取引において、自身の判断と責任において行うべきとする「自己責任」が求められる時代になっています。自分で考え、行動することが求められるなか、「自立した個人」となるための素養・能力を養うことが今、必要とされています。これから社会人となる学生諸君も、金融・経済やマーケットの仕組みを理解する知識を身に付けていくことは、とても大切です。これらは、さまざまな金銭・金融トラブルから私たちの身を守るのに役立つばかりでなく、今後の豊かな人生の実現に欠かせないものだからです。本講義は、個人のライフステージのさまざまな局面で自立的な意思決定や適切な判断を行うのに役立つ、金融リテラシー(知力)を養成することを目指しています。

授業方法と留意点
講義形式で、時事的な問題も適宜取り上げながら、基礎的内容から実務の入り口まで解説を行い、実践的な知識の習得を図ります。

科目学習の効果(資格)
ファイナンシャル・プランナー資格(民間資格)、ファイナンシャル・プランニング技能検定(国家資格)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 金融知力の必要性
【内容・方法等】 ガイダンス
金融リテラシー(知力)の必要性について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書(授業該当ページ)と配布されたレジュ

- メをよく読み復習する。
- 第2回** 【授業テーマ】 金融・経済の基礎知識(1)
【内容・方法等】 GDPや景気動向、経済指標等について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第3回** 【授業テーマ】 金融・経済の基礎知識(2)
【内容・方法等】 金利、金融政策、景気対策等について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第4回** 【授業テーマ】 ライフプランニング(1)
【内容・方法等】 私たちの将来設計と資金計画について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第5回** 【授業テーマ】 ライフプランニング(2)
【内容・方法等】 私たちの将来設計と資金計画、人生の三大資金について学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
課題レポート：自分の将来設計をする/キャッシュフロー表の作成
- 第6回** 【授業テーマ】 貯蓄型商品
【内容・方法等】 預貯金や金利計算について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第7回** 【授業テーマ】 リスクとリターン
【内容・方法等】 金融取引に関わるリスクとリターン、およびリスクを分散する方法について入門的に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第8回** 【授業テーマ】 投資信託
【内容・方法等】 投資信託の特徴やその仕組みについて学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）とレジュメをよく読み復習する。
- 第9回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、株式(1)
【内容・方法等】 株式の基礎知識、株価変動の要因、経済と株式市場の関係等について入門的に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第10回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、株式(2)
【内容・方法等】 株式指標や投資指標等について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第11回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、債券(1)
【内容・方法等】 債券投資の特徴とリスク、利回り等について学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第12回** 【授業テーマ】 アセットクラスの基礎知識、債券(2)
【内容・方法等】 債券の格付け、金利と債券価格、日本の財政等について入門的に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第13回** 【授業テーマ】 外貨建て商品、証券化
【内容・方法等】 外貨建て商品や為替の基本的な仕組み、証券化について入門的に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 日頃、金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第14回** 【授業テーマ】 セーフティネット
【内容・方法等】 セーフティネットについて学習する。
【事前・事後学習課題】 日頃、経済や金融関連記事・ニュース等に関心を持つ。教科書（授業該当ページ）と配布されたレジュメをよく読み復習する。
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめと定期試験対策
【内容・方法等】 これまでの学習のまとめ、試験の想定問題とその対策。
【事前・事後学習課題】 教科書とこれまで配布されたレジュメをよく読んで、総復習する。試験の準備。
- 評価方法（基準）**
学期末試験期間中に実施する筆記試験70%、課題レポート30%

を基本に、理解度を確認する<まとめ問題>や授業への取り組み姿勢等を総合的に評価。なお、試験は持ち込み不可。

教材等

教科書…『ファイナンス基礎（第四版）』発行：NPO法人金融知力普及協会

（一般の書店では購入できないので注意して下さい）
教科書は授業では使用しません。レジュメ・資料を、毎回配布します。

参考書…特定ものは指定しません

学生へのメッセージ

経済や金融をより身近に感じてもらうためにも、新聞・ニュースには必ず目を通す習慣を身に付け、今世の中で何が起きているのか常に関心を持つようにしてください。事後学習として、テキスト(授業の該当ページ)と配布されたレジュメをよく読んで復習しておくこと、またとつづきにくい話であっても自分自身で考える、わからないところは調べてみる姿勢が望ましい。

社会人としてしっかり生きていける素養を磨くことを目標とします。授業に積極的に、私語をしない学生の参加を歓迎します。

関連科目

「ビジネスマナー」「就職実践基礎」

担当者の研究室等

11号館1階（教務課）

備考

この授業は、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社による「寄附講座」です。

教養特別講義I~V「地域連携教育活動I」
Community-Based Education Support ActivitiesI

浅野 英一（アサノ エイチ）
浦野 崇央（ウラノ タカオ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。

授業方法と留意点

原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受入れ許可を得た学生で、「地域連携教育活動I」を初めて履修する学生を対象とする。

科目学習の効果（資格）

活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 事前教育-1（授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第2回** 【授業テーマ】 事前教育-2
【内容・方法等】 マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第3回** 【授業テーマ】 事前教育-3
【内容・方法等】 「守秘義務」の意味とその内容について（教員委員会からの学外講師）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第4回** 【授業テーマ】 活動準備
【内容・方法等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】 年間計画（案）の作成
- 第5回** 【授業テーマ】 活動-1
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第6回** 【授業テーマ】 活動-2
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第7回** 【授業テーマ】 活動-3
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出

- 第8回** 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
【授業テーマ】 活動－4
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第9回** 【授業テーマ】 活動－5
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第10回** 【授業テーマ】 活動－6
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第11回** 【授業テーマ】 活動－7
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第12回** 【授業テーマ】 活動－8
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備
- 第13回** 【授業テーマ】 活動－9
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第14回** 【授業テーマ】 活動－10
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第15回** 【授業テーマ】 活動－11
【内容・方法等】 活動業務日報・活動時間票の作成
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第16回** 【授業テーマ】 活動－12
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第17回** 【授業テーマ】 活動－13
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第18回** 【授業テーマ】 活動－14
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第19回** 【授業テーマ】 活動－15
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 第20回** 【授業テーマ】 活動－16
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第21回** 【授業テーマ】 活動－17
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第22回** 【授業テーマ】 活動－18
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第23回** 【授業テーマ】 活動－19
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第24回** 【授業テーマ】 活動－20
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第25回** 【授業テーマ】 活動－21
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第26回** 【授業テーマ】 活動－22
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第27回** 【授業テーマ】 活動－23
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成

- 第28回** 【授業テーマ】 活動－24
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第29回** 【授業テーマ】 活動－25
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第30回** 【授業テーマ】 活動－26・最終報告会
評価方法（基準）
①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数（出席数）票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等
教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ
大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目
教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等
7号館5階（浅野研究室）
7号館4階（浦野研究室）

備考
授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「地域連携教育活動Ⅱ」 Community-Based Education Support ActivitiesⅡ				
浅野英一（アサノ エイチ） 浦野崇央（ウラノ タカオ）				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標
本授業はサービスラーニングの授業であり、実践型学習プログラムである。大学近隣の幼稚園・小学校・中学校で教育現場の教育補助、課外活動を幅広く体験し、自己の適正を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識の向上を目指す。活動内容は、授業運営補助、「総合的な学習」の補助、学校行事運営補助、クラブ・サークル活動の補助、図書室運営の補助、放課後学習の補助などを組み合わせ年間を通じた活動を大学授業の空き時間を利用して週1回90分行う。

授業方法と留意点
原則として、履修申請が可能な学生は、本年1月に行なわれた特別事前履修相談会で受け入れ校の校長・教頭・園長との相談結果によって受け入れ許可を得た学生で、昨年度「地域連携教育活動Ⅰ」を履修した学生のみが登録できる。

科目学習の効果（資格）
活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 事前教育－1（授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法等】 活動についての心構え、内容の徹底周知、年間活動計画作成準備
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第2回** 【授業テーマ】 事前教育－2
【内容・方法等】 マナー講座・小中学校の教育現場について（学外講師を含む）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第3回** 【授業テーマ】 事前教育－3
【内容・方法等】 「守秘義務」の意味とその内容について（教育委員会からの学外講師）
【事前・事後学習課題】 授業内容のまとめ作成
- 第4回** 【授業テーマ】 活動準備
【内容・方法等】 受け入れ校と協議し、年間活動計画を作成する
【事前・事後学習課題】 年間計画（案）の作成
- 第5回** 【授業テーマ】 活動－1
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動開始
活動業務日報・活動時間票の提出
【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 第6回** 【授業テーマ】 活動－2
【内容・方法等】 受け入れ校にて活動

- 活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－3
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－4
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書①の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 【授業テーマ】 活動－5
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－6
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－7
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－8
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成発表準備
- 【授業テーマ】 活動－9
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書②の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 【授業テーマ】 活動－10
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－11
- 【内容・方法等】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－12
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－13
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－14
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－15
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書③の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票・活動進捗状況報告書の作成
- 【授業テーマ】 活動－16
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－17
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－18
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－19
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－20
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－21
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－22
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－23
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－24
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－25
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－26
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出

- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－23
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－24
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動
活動業務日報・活動時間票の提出
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－25
- 【内容・方法等】 受け入れ校にて活動、活動業務日報・活動時間票
- 【事前・事後学習課題】 活動業務日報・活動時間票の作成
- 【授業テーマ】 活動－26・最終報告会
- 評価方法（基準）
- ①年間活動計画書 ②活動業務日報・活動時間数（出席数）票 ③活動進捗状況報告書 ④最終活動報告書の全てを提出し、発表会で活動報告した場合のみ、それらを総合的に判断して評価する。

教材等

教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する

学生へのメッセージ

大学の授業と授業の合間を有効利用して、大学近隣の幼稚園、小・中学校の教育現場の教師をサポートしながら、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。

関連科目

教職課程を履修していない学生でもこの科目を履修することができる。

担当者の研究室等

7号館5階（浅野研究室）
7号館4階（浦野研究室）

備考

授業説明を4月12日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

**教養特別講義I～V「青少年育成ファシリテーター養成講座」
Facilitator Training Program**

浅野英一（アサノ エイチ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

本授業は、サービスラーニングの授業であり、青少年育成ファシリテーターとして、知識・野外活動の方法を習得し実習を通して学びと成長を得ることができる実践型学習プログラムである。実践は単なる擬似的体験ではなく、人々のために役立ったという現実的な体験を得ることを目的とし、到達目標として自己の振り返りと自己発見、責任感、価値観・技能や知識の獲得、リスクマネジメント、社会問題の理解を果たす体験を同時に果たすことができるものとする。活動受入機関は、寝屋川市教育委員会関連団体、共学センター、寝屋川青年会議所主催事業、交野市役所。

授業方法と留意点

大学の授業後や、授業の無い日を利用して学外活動を行います。週に1度、90分の活動が基本ですが、夏休みなど長期の休み期間中に集中して活動することも可能です。

科目学習の効果（資格）

実習や活動を通して責任の自覚と人間的成熟を促し、人柄や隠れていた素質を引き出す手段とする。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 事前教育－1（授業説明を4月9日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。）
【内容・方法等】 活動についての心構え、授業内容の徹底周知、ファシリテーターについて
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「活動についての心構え」
- 第2回 【授業テーマ】 事前教育－2
【内容・方法等】 守秘義務：活動に伴って知った情報を漏らしてはならない義務を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「守秘義務について」
- 第3回 【授業テーマ】 事前教育－3
【内容・方法等】 安全管理スキル：活動に伴って発生しうる事故を未然に防ぐ方法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「安全管理スキルについて」
- 第4回 【授業テーマ】 事前教育－4
【内容・方法等】 救命救護スキル：命の大切さ、命を助ける方法、AEDの使用法を学ぶ

- 第5回** 【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「救命救護スキルについて」
【授業テーマ】 事前教育-5
【内容・方法 等】 安全対策スキル：安全。衛生管理、危険予知、責任について学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「安全対策スキルについて」
- 第6回** 【授業テーマ】 事前教育-6
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル①：対象者理解、人とのかかわり方を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「人とのかかわり方について」
- 第7回** 【授業テーマ】 事前教育-7
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル②：報告、連絡、相談（ホウ・レン・ソウ）の重要性を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「報告、連絡、相談について」
- 第8回** 【授業テーマ】 事前教育-8
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル③：アイスブレイキング手法を学ぶ
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「アイスブレイキング手法について」
- 第9回** 【授業テーマ】 事前教育-9
【内容・方法 等】 コミュニケーションスキル④：指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方
【事前・事後学習課題】 講義内容のまとめを作成する
「指導者のあるべき姿、リーダーシップの取り方について」
- 第10回** 【授業テーマ】 事前教育-10
【内容・方法 等】 活動プログラミング・スキル：課題設定・企画立案・実施・評価方法
【事前・事後学習課題】 活動計画（案）を作成する
- 第11回** 【授業テーマ】 実践活動-1
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践①
- 第12回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-2
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践②
- 第13回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-3
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践③
- 第14回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-4
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践④
- 第15回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-5
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑤
- 第16回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-6
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑥
- 第17回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-7
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑦
- 第18回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-8
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑧
- 第19回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-9
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑨
- 第20回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-10
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑩
- 第21回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-11
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑪
- 第22回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-12
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑫
- 第23回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-13
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑬
- 第24回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-14

- 第25回** 【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑭
【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-15
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑮
- 第26回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-16
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑯
- 第27回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-17
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑰
- 第28回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-18
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑱
- 第29回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 実践活動-19
【内容・方法 等】 受入機関において青少年育成ファシリテーター活動実践⑲
- 第30回** 【事前・事後学習課題】 実習日誌の作成
【授業テーマ】 最終報告（後期分）
評価方法（基準）
①参加日数、②実習報告書、③最終報告書、④受入機関からの調査、以上の4点を総合的に判断して評価する。
- 教材等**
教科書…使用しない
参考書…適宜紹介する
- 学生へのメッセージ**
青少年育成活動を通して、責任感・忍耐力・協調性・創造力を養うことで、自分のかけがえのない財産形成を行ってください。
- 担当者の研究室等**
7号館5階（浅野研究室）
- 備考**
授業説明を4月9日第6時限目1134教室で行います。必ず出席してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」 Preparation Program for Employment Examination				
			松田 剛典 (マツダ タケノリ)	
			亀田 峻宣 (カメダ タカノブ)	
			西 座 由 紀 (ニシザ ユキ)	
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
就職活動時の筆記試験対策（算数・数学）について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な、算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦勞する学生がとて多いですので、早めに対策をしておくこと後々有利です。算数・数学が苦手な学生や、大学に入って（もしくはそれ以前から）算数・数学に触れていない学生は特に勧めします。
学科の学習・教育目標との対応：[II]
- 授業方法と留意点**
授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。
講義の中で都度プリントを配布して講義を行います。また、教科書から課題を出します。
就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。
講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。
- 科目学習の効果（資格）**
就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 講義概要説明、模擬試験の実施
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 第2回** 【授業テーマ】 数と計算①
【内容・方法 等】 四則演算①・分数①
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 第3回** 【授業テーマ】 数と計算②
【内容・方法 等】 四則演算②・分数②・方程式①
【事前・事後学習課題】 四則演算・方程式を復習しておくこと
- 第4回** 【授業テーマ】 数と計算③

- 【内容・方法等】 方程式②
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
【授業テーマ】 割合①
- 【内容・方法等】 割合①
【事前・事後学習課題】 割合について復習しておくこと
【授業テーマ】 割合②
【内容・方法等】 割合②・濃度算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・濃度算について復習しておくこと
- 【授業テーマ】 割合③
【内容・方法等】 割合③・仕事算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・仕事算について復習しておくこと
- 【授業テーマ】 講義の振り返り①
【内容・方法等】 中テスト
【事前・事後学習課題】 2～7回目の範囲を事前に勉強しておくこと
- 【授業テーマ】 金銭問題①
【内容・方法等】 損益算
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 金銭問題②
【内容・方法等】 分割払い
【事前・事後学習課題】 文章題による分割払いを復習しておくこと
- 【授業テーマ】 速度算①
【内容・方法等】 速さの考え方
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 速度算②
【内容・方法等】 2人の出会い・追いつき
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 場合の数・確率①
【内容・方法等】 場合の数
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 場合の数・確率②
【内容・方法等】 確率
【事前・事後学習課題】 文章題による確率を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 講義の振り返り②
【内容・方法等】 最終テスト
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

評価方法 (基準)

テスト、小テスト、課題の提出状況などを総合的に評価します。

教材等

教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。
参考書…算数・数学に関する本を読んでおくことと参考になります。
(例:「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所)

学生へのメッセージ

7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われていています。早めの対策しておくこと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目

キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等

3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「就職実践基礎」

Preparation Program for Employment Examination

松田 剛典 (マツダ タケノリ)

亀田 峻宣 (カメタ タカノブ)

西座 由紀 (ニシザ ユキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

就職活動時の筆記試験対策(算数・数学)について学び、筆記試験を通過する実力をつけることを目標とする授業です。この講義では、3回生で実際の出題レベルの対策を行うために必要な算数・数学の基礎を固めるための授業です。就職活動では、筆記試験で算数・数学に苦勞する学生がとて多いので、早めに対策をしておくことと後々有利です。算数・数学が苦手な学生や、

大学に入って(もしくはそれ以前から)算数・数学に触れていない学生は特にお勧めします。

学科の学習・教育目標との対応: [II]

授業方法と留意点

授業は実践形式で行います。問題を解き、解説するという流れになります。

講義の中で都度プリントを配布して講義を行います。また、教科書から課題を出します。

就職活動の筆記試験を通過する実力をつけることが目的です。講義に集中して参加し、毎回の講義問題や教科書の復習を行うことが必要になります。

科目学習の効果(資格)

就職活動に必要な数学力のうち、特に基礎的な部分を身につける

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法等】 講義概要説明、模擬試験の実施
【事前・事後学習課題】 シラバス熟読
- 【授業テーマ】 数と計算①
【内容・方法等】 四則演算①・分数①
【事前・事後学習課題】 四則演算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 数と計算②
【内容・方法等】 四則演算②・分数②・方程式①
【事前・事後学習課題】 四則演算・方程式を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 数と計算③
【内容・方法等】 方程式②
【事前・事後学習課題】 方程式を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 割合①
【内容・方法等】 割合①
【事前・事後学習課題】 割合について復習しておくこと
- 【授業テーマ】 割合②
【内容・方法等】 割合②・濃度算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・濃度算について復習しておくこと
- 【授業テーマ】 割合③
【内容・方法等】 割合③・仕事算
【事前・事後学習課題】 文章題による割合・仕事算について復習しておくこと
- 【授業テーマ】 講義の振り返り①
【内容・方法等】 中テスト
【事前・事後学習課題】 2～7回目の範囲を事前に勉強しておくこと
- 【授業テーマ】 金銭問題①
【内容・方法等】 損益算
【事前・事後学習課題】 文章題による損益算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 金銭問題②
【内容・方法等】 分割払い
【事前・事後学習課題】 文章題による分割払いを復習しておくこと
- 【授業テーマ】 速度算①
【内容・方法等】 速さの考え方
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 速度算②
【内容・方法等】 2人の出会い・追いつき
【事前・事後学習課題】 文章題による速度算を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 場合の数・確率①
【内容・方法等】 場合の数
【事前・事後学習課題】 文章題による場合の数を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 場合の数・確率②
【内容・方法等】 確率
【事前・事後学習課題】 文章題による確率を復習しておくこと
- 【授業テーマ】 講義の振り返り②
【内容・方法等】 最終テスト
【事前・事後学習課題】 全ての範囲を事前に勉強しておくこと

評価方法 (基準)

テスト、小テスト、課題の提出状況などを総合的に評価します。

教材等

教科書…オリジナル教材を使用します。
また適宜Smart SPIの活用を指示します。
参考書…算数・数学に関する本を読んでおくことと参考になります。
(例:「小学校6年間の算数が6時間でわかる本」PHP研究所)

学生へのメッセージ

7～8割の企業が就職活動で筆記試験を課すと言われていています。早めの対策しておくこと、受けることのできる会社が広がります。その一方、毎年多くの3回生が秋・冬から筆記試験対策を始め、他の就職活動が忙しく時間を勉強できないままです。早めに対策をしておきましょう。受講する以上は、講義に集中し、毎回復習して確実に問題を解けるようになってください。

関連科目

キャリアデザインⅡ、インターンシップⅠ・Ⅱ

担当者の研究室等

3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「ビジネスマナー」 Business Manners				
富岡直美 (トミオカ ナオミ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

授業概要： マナーとは何か、社会とはどういうところか、社会人になるには何が必要かが、体験を通して理解できる。

目的： 社会生活におけるマナーの重要性を理解し、社会人になる心の準備をすることを目的とする。

到達目標： 社会人になるために必要な態度を理解し、学んだマナーを就職活動や社会で実践できることを目標とする。

授業方法と留意点

ロールプレイやグループワークを多く取り入れるため、学生の積極的な参加が求められる。

科目学習の効果（資格）

社会に出るために必要なことが分かり、就職活動に意欲的に取り組めるようになる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ビジネスマナーとは何か
【内容・方法 等】 授業のオリエンテーション
ビジネスマナーの必要性
ビジネスにおける最低限のルール
【事前・事後学習課題】 ビジネスマナーで大切な事を考えておいて下さい。
- 第2回 【授業テーマ】 第一印象
【内容・方法 等】 第一印象の重要性
第一印象をよくする方法
【事前・事後学習課題】 自分の第一印象を理想に近づけるよう意識して下さい。
- 第3回 【授業テーマ】 身だしなみ
【内容・方法 等】 身だしなみと態度について
【事前・事後学習課題】 身だしなみが何故大切なのかを考えて下さい。
- 第4回 【授業テーマ】 言葉づかい
【内容・方法 等】 敬語の仕組みと使い方
【事前・事後学習課題】 尊敬語と謙譲語の違いについて調べてきてください。
- 第5回 【授業テーマ】 指示の受け方
【内容・方法 等】 指示の受け方
スケジュール管理の仕方
【事前・事後学習課題】 授業内での課題の続きを終えて来ててください。
- 第6回 【授業テーマ】 電子メールのマナー
【内容・方法 等】 電子メールの書き方
【事前・事後学習課題】 事前に、電子メール、文書、電話、それぞれの長短を考えて来ててください。
また、授業内で提示する事後課題をしてください。
- 第7回 【授業テーマ】 文書のマナー
【内容・方法 等】 文書の書き方
【事前・事後学習課題】 身の回りにある文書を持って来ててください。
- 第8回 【授業テーマ】 電話のマナー
【内容・方法 等】 電話のかけ方と受け方
【事前・事後学習課題】 授業内で提示する事後課題をしてください。
- 第9回 【授業テーマ】 ホウ・レン・ソウ
【内容・方法 等】 報告・連絡・相談の仕方
【事前・事後学習課題】 報告と連絡の違いを考えて来ててください。
- 第10回 【授業テーマ】 訪問のマナー
【内容・方法 等】 訪問の仕方
【事前・事後学習課題】 訪問する際に気を付けることを考えてください。
- 第11回 【授業テーマ】 名刺交換のマナー
【内容・方法 等】 名刺交換の仕方
【事前・事後学習課題】 名刺の役割について考えてください。
- 第12回 【授業テーマ】 会社説明会でのマナー
【内容・方法 等】 会社説明会で何をすればいいのか
【事前・事後学習課題】 会社説明会でのマナーについて、疑問点を挙げて来ててください。
- 第13回 【授業テーマ】 面接でのマナー
【内容・方法 等】 面接の種類と面接官の狙いについて
面接での基本的な振る舞い方

【事前・事後学習課題】 面接でのマナーについて、疑問点を挙げて来ててください。

- 第14回 【授業テーマ】 グループディスカッションのマナー
【内容・方法 等】 グループディスカッションの特徴
グループディスカッションの注意点
【事前・事後学習課題】 これまでを振り返って、グループにおける自分の役割を考えてください。
- 第15回 【授業テーマ】 振り返りとまとめ
【内容・方法 等】 授業の振り返り・まとめ
【事前・事後学習課題】 未提出の課題等がないか確認をして下さい。

評価方法（基準）

平常点30%、グループ貢献度20%、レポート50%で総合評価する。

教材等

教科書…レジュメ配布

参考書…必要に応じて参考図書を紹介

学生へのメッセージ

マナーを身に付けることは社会人に仲間入りする第一歩です。何のためにそれをするのかを考え、積極的に参加してください。また、必要になってすぐできるものではありません。日頃から実践するように意識してください。

関連科目

キャリアデザインⅠ、Ⅱ、Ⅲ、インターンシップⅠ、Ⅱ、エンプロイメントデザインⅡ

担当者の研究室等

3号館4階 キャリア教育推進室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学とこの地域を学ぶー北河内学ー」 Introduction to University and Kitakawachi Region				
福田市朗 (フクダ イチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】 学部共通の入門科目として、摂南大学と大学が立地する「北河内地域」の地歴・環境・文化・産業や同地域内にある地方自治体の現状と課題、また、同地域に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとの活動を広範囲にわたって紹介する。【目的】 摂南大学の学生として大学や地域に愛着を持てるようになり、学生生活の中で自分自身を見つける機会とする。また、地域貢献活動や地域社会での実践教育の動機付けとする。【到達目標】 摂南大学と北河内地域についての理解を深め、地域の一員としての意識向上と地域貢献活動への参画意識向上が図られる。

授業方法と留意点

摂南大学地域連携センター関係教員のほか、北河内地域（寝屋川市・枚方市・交野市・門真市）に関係する各分野で活躍している団体や機関の人びとが学外講師として参画し、オムニバス（リレー）形式による講義を行う。各時間内に質疑応答の時間を設け、毎回、時間内に小レポートを提出。

科目学習の効果（資格）

自分自身が学ぶ摂南大学の歴史を知り、また、地域で活躍する人びとの人生観に触れ、大学と地域に愛着を持ち学生生活の中で自分自身を見つける機会となり地域貢献活動への関心が高まり活動への動機付けが図られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 摂南大学とこの地域を学ぶ「北河内学」
【内容・方法 等】 本講義のねらいと学び方について解説した後、摂南大学と本学を設置する常翔学園の歴史を紹介し、併せて摂南大学の教育の理念を紹介する。また、本学と地域社会との関わり合いについての概要を説明する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：摂南大学の自校史集やホームページ、図書館を活用して、大学の歴史や教育の理念などについて理解を深めること。
- 第2回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（1）
【内容・方法 等】 北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：北河内地域の全域と7つの市の特色を、各市のホームページなどを活用して調べ、北河内に関する理解を深めること。
- 第3回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（2）
【内容・方法 等】 淀川とその流域の北河内地域の地理・歴史や文化について講義する。地元の研究家が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、図書館を活用するなど淀川とその流域の地理・歴史や文化について理解を深めること。
- 第4回 【授業テーマ】 北河内の地歴と文化を学ぶ（3）
【内容・方法 等】 都市（寝屋川市）と地方（和歌山県すさみ町）の連携をはかる取り組みを紹介し、両者が共存共栄するための考え方と具体的な施策について地元の方が解説す

- る。
- 【事前・事後学習課題】** 事後学習：寝屋川市と協定を結んでいる和歌山県すさみ町との協働事業について、それぞれのホームページを参照し、調べてみる。
- 第5回** **【授業テーマ】** 北河内のすがたを知る（1）寝屋川市
【内容・方法 等】 寝屋川市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と寝屋川市を見比べるほか、図書館を活用するなど寝屋川市の現状と課題について理解を深めること。
- 第6回** **【授業テーマ】** 北河内のすがたを知る（2）枚方市
【内容・方法 等】 枚方市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と枚方市を見比べるほか、図書館を活用するなど枚方市の現状と課題について理解を深めること。
- 第7回** **【授業テーマ】** 北河内のすがたを知る（3）交野市
【内容・方法 等】 交野市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と交野市を見比べるほか、図書館を活用するなど交野市の現状と課題について理解を深めること。
- 第8回** **【授業テーマ】** 北河内のすがたを知る（4）門真市
【内容・方法 等】 門真市のすがたの現状と課題、本学の学生に対する期待について講義する。市役所の幹部が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、ホームページで自分の住む街と門真市を見比べるほか、図書館を活用するなど門真市の現状と課題について理解を深めること。
- 第9回** **【授業テーマ】** 北河内で活躍する人びとや団体を知る（1）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第10回** **【授業テーマ】** 北河内で活躍する人びとや団体を知る（2）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第11回** **【授業テーマ】** 北河内で活躍する人びとや団体を知る（3）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第12回** **【授業テーマ】** 北河内で活躍する人びとや団体を知る（4）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第13回** **【授業テーマ】** 北河内で活躍する人びとや団体を知る（5）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第14回** **【授業テーマ】** 北河内で活躍する人びとや団体を知る（6）
【内容・方法 等】 本学との交流関係が深い各種の団体・機関などの方が、地元での活動や本学学生に期待する活動内容について講義する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、団体・機関のホームページや図書館を活用するなどして活動を再確認し理解を深めること。
- 第15回** **【授業テーマ】** 北河内の産業を知る
【内容・方法 等】 北河内地域での産業活動の具体例について講義する。地元の北大阪商工会議所や寝屋川市工業会の役員が講義を担当する。
【事前・事後学習課題】 事後学習：講義で学習した内容をもとに、関係するホームページや図書館を活用するなどして産

業活動を再確認し理解を深めること。

評価方法（基準）

毎回の講義の最後に行う小テスト・レポート（75%）に加えて、講義全体に関して課せられるレポート課題（25%）を総合して評価する。

教材等

教科書…必要に応じてハンドアウト（プリントされた講義資料）を配付する。

参考書…摂南大学の自校史集。

毎回の講義ごとに適切な書籍を指示するので、興味がある内容のものを購入して読んでほしい。

学生へのメッセージ

毎回必ず出席してください。地域で活躍されている各分野のいろいろな人の話を聞くことで、摂南大学と地域が密接につながっていること、そして自分もこの地域とのつながりを大切にすることの意義がわかるようになり、自信を持って本学での勉学に励むことができるようになります。

なお、本講義は地域で活躍されている方々の協力のもとに行われます。講師に対する礼を逸することなく、私語を慎み、遅刻しないように心がけてください。

関連科目

地理、歴史、文化、経済、産業などに関する教養科目

担当者の研究室等

11号館7階 福田教授室

備考

学外講師の事情により、授業計画の順序を変更することがあります。

学外講師の関係者が聴講することがあります。

また、授業の様子をカメラ・ビデオで撮影することがあります。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「簿記の話」

Talk on Bookkeeping

紙 博文(カミ ヒロフミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では、仕訳帳の記入から始まり精算表の作成を経て、損益計算書・貸借対照表を作成する簿記手続きの全体像、すなわち、簿記の基本構造を理解する。簿記の授業という計算技術的なものとなることが多いが、「教養特別講義」でもありそうした講義は避け、簿記の役割、企業内でよく使用される、手形・小切手、試算表、勘定、取引、売上、利益等の意味について説明する。また、簿記の精緻な構造から、これを生み出した人類の知恵を知る。

授業方法と留意点

講義中心に行うが計算プリントも配布する。解答は板書きして説明する。ゆっくりとした進度で授業は進める。

科目学習の効果（資格）

日本商工会議所簿記検定等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 **【授業テーマ】** 簿記の基本 1

【内容・方法 等】 簿記とは

【事前・事後学習課題】 教科書 p.11～p.13

必要に応じて練習問題を配布、以降同様

第2回 **【授業テーマ】** 簿記の基本 2

【内容・方法 等】 貸借対照表、損益計算書（資産、負債、純資産、収益、費用）

【事前・事後学習課題】 教科書 p.11～p.13

第3回 **【授業テーマ】** 簿記の基本 3

【内容・方法 等】 簿記の一巡（取引から決算までの概要）

【事前・事後学習課題】 教科書 p.15

第4回 **【授業テーマ】** 簿記の基本 4

【内容・方法 等】 取引、仕訳、勘定、勘定科目

【事前・事後学習課題】 教科書 p.15

第5回 **【授業テーマ】** 簿記の基本 5

【内容・方法 等】 仕訳の演習

【事前・事後学習課題】 教科書 p.21

第6回 **【授業テーマ】** 簿記の基本 6

【内容・方法 等】 転記、試算表の作成、決算

【事前・事後学習課題】 教科書 p.24～p.28

第7回 **【授業テーマ】** 簿記の実際 1

【内容・方法 等】 現金、現金過不足、当座預金、当座借越、小口現金

【事前・事後学習課題】 教科書 p.38～p.43

第8回 **【授業テーマ】** 簿記の実際 2

【内容・方法 等】 有価証券、手形の処理

【事前・事後学習課題】 教科書 p.44～p.54

第9回 **【授業テーマ】** 簿記の実際 3

【内容・方法 等】 3分法、売掛金と買掛金

- 第10回 【事前・事後学習課題】 教科書 p.55～p.61
【授業テーマ】 簿記の実際 4
【内容・方法等】 固定資産
- 第11回 【事前・事後学習課題】 教科書 p.69
【授業テーマ】 簿記の実際 5
【内容・方法等】 決算修正事項と精算表
- 第12回 【事前・事後学習課題】 教科書 p.76～p.87
【授業テーマ】 まとめと確認 1
【内容・方法等】 計算問題（プリント配布）を解く
- 第13回 【事前・事後学習課題】 計算プリントの復習
【授業テーマ】 まとめと確認 2
【内容・方法等】 計算問題（プリント配布）を解く
- 第14回 【事前・事後学習課題】 計算プリントの復習
【授業テーマ】 簿記の面白さ 1
【内容・方法等】 簿記の成立
- 第15回 【事前・事後学習課題】 教科書 p.129～p.131
【授業テーマ】 簿記の面白さ 2
【内容・方法等】 簿記生成史から学ぶこと

評価方法 (基準)
学期末試験の結果により評価する。なお、授業中の態度によってはマイナス点も有り、また、積極的に授業に参加する学生にはプラス点も有る。

教材等
教科書…紙博文著『簿記読本第2版』大学教育出版（1890円）
参考書…授業中指示する

学生へのメッセージ
簿記は習うよりも慣れろ、すなわち実際に自分で問題を解いて体得することが重要です。しかし、本講義は、教養科目という性格上、講義中心で計算問題演習の時間は少ないと思う。足りない分は各自で問題を解いてみる。簿記の面白さがわかってきます。

関連科目
財務会計論、国際会計論（経営学部開講科目）

担当者の研究室等
11号館8階（紙教授室）

- 第6回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 商品生産と経済的価値の問題
【内容・方法等】 労働価値説と剰余価値の生産の問題を考える
- 第7回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 精神なき専門家と心情なき享楽人たちの棲むところ
【内容・方法等】 私はどこにもいなくなって、ただ商品だけが存在する世界について
- 第8回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 物象化された世界の出現
【内容・方法等】 コミュニケーションの世界が記号の象徴交換となることについて
- 第9回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 グローバル世界は「帝国」の再来である
【内容・方法等】 普遍同質的国家と新たな帝国の出現に対処するために
- 第10回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 テクノロジーと生産のメカニズム—技術社会論
【内容・方法等】 総駆り立て体制の出現にどう応えるか—テクノロジーと僭主政治
- 第11回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 南北問題と人口問題
【内容・方法等】 自国の利益よりも世界全体の利益を優先させることは美徳か
- 第12回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 現代のコミュニズムとしての国家独占資本主義
【内容・方法等】 グローバル化による管理社会の到来によせて
- 第13回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 管理社会から福祉社会への通路は存在するか
【内容・方法等】 差異を超える論理はありうるのか—EUとユーロ圏の失敗を反面教師として
- 第14回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 来るべき時代の共同性を展望する—メディア全体主義に抗して
【内容・方法等】 これからの情報社会と人類の共生のために
- 第15回 【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
【授業テーマ】 到達度の点検と確認
【内容・方法等】 レポート作成とその評価
【事前・事後学習課題】 教科書全体に目を通す

評価方法 (基準)
講義への熱意、議論への参加の度合い、レポートにより判定

教材等
教科書…石崎嘉彦著『政治哲学と対話の弁証法—ヘーゲルとレオ・シュトラウス』（晃洋書房）
参考書…石崎嘉彦著『ポストモダンの人間論』（ナカニシヤ出版）
石崎嘉彦他著『ポストモダン時代の倫理』『グローバル世界と倫理』（ナカニシヤ出版）

学生へのメッセージ
講義の根底にある「正義」の概念こそ、これからの時代を生き抜いていくためのキーワードだ

関連科目
政治学、経済学、エコロジー、応用倫理学、技術者倫理、情報倫理など

担当者の研究室等
7号館4階（石崎研究室）

教養特別講義 I～V「ポストモダン時代の国際政治経済」 Postmodern Political Economy				
石崎嘉彦 (イシザキ ヨシヒコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
グローバル化したポストモダンの世界は、アレクサンドル・コジェーヴの用語でいえば「普遍同質的国家」と呼ばれる。この講義ではそのような国家(あるいは状態)の動向を理解し、それによる生活世界の破壊に対処する途を模索する。特に「グローバル化」とともに持ち上がってくる環境破壊、科学技術と生産、経済発展と格差社会などの諸問題を取り上げ、それらの問題にいかに対処すべきかを考えてみる。
学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点
石崎嘉彦著『政治哲学と対話の弁証法—ヘーゲルとレオ・シュトラウス』（晃洋書房）をテキストに用い、講義形式で行われる授業である。

科目学習の効果（資格）
世界の政治経済的動向とその原理を理解し、そこから近代的思考法を超える新しい思考法を獲得していきたい。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 はじめに
【内容・方法等】 授業の進め方、評価の仕方、政治哲学について
【事前・事後学習課題】 なし
- 第2回 【授業テーマ】 グローバル世界と人間論の課題
【内容・方法等】 モダンの終焉とポストモダンの「末人」世界の出現
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第3回 【授業テーマ】 グローバル化は普遍同質的国家を可能にするか？
【内容・方法等】 まずは経済の領域から始まった運動は政治の世界をもグローバル化しうるか？
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第4回 【授業テーマ】 分業と交易社会の出現
【内容・方法等】 交易と商品生産社会の出現の意義を歴史から見てとる
【事前・事後学習課題】 教科書の指定された箇所を予習する
- 第5回 【授業テーマ】 相互承認と等価交換
【内容・方法等】 承認をめぐる闘いから生み出されるものが自己意識ではなく物=商品となる世界であることについて

教養特別講義 I～V「感染症の歴史・病原体・治療と予防」 Infectious Diseases				
渡部一仁 (ワタベ カスヒト)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標
人類生存の歴史は感染症との戦いであった。ヒトを襲った感染症について、その恐ろしい歴史と、感染症との戦いから生き残るため学んだヒトの知恵を縦糸にして、また、感染症の原因となる微生物の基礎を横糸にして、感染症を学ぶ。具体的には、古くは天然痘から新しくは新型インフルエンザについて、それらの発生の歴史的な背景、病原体本体、治療法と予防法、国際的な規模でのリスクマネジメント体制の構築について学習する。
学科の学習・教育目標との対応：「II」

授業方法と留意点
感染症の基礎とその予防について多彩なスライドを併用して授業を行う。特に、スライドは要点をまとめつつ、文学や絵画で取り上げられてきた題材を含めて説明する。教科書は特に定めず、

毎回講義レジメを配布する。毎回の授業終了時に理解度確認のレポート提出を科す。

科目学習の効果 (資格)

感染症を具体例として、歴史的背景や病原体、社会防衛と公衆衛生学、地球規模での対策などを学ぶことにより、それぞれの専門分野での学習に有意義な知識と情報が得られる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 感染症と現代人

【内容・方法 等】 文明が築かれてから現代まで、約5000年の歴史をたどりながら、人類がどのように感染症と戦い、それを克服してきたかを紹介する。また、現代の我々が直面している感染症についても紹介する。

【事前・事後学習課題】 1回目の講義内容の要点及び本講義の履修動機をまとめたレポートを提出すること。(レポートは第1回授業終了時に回収)

第2回 【授業テーマ】 感染症対策の歴史

【内容・方法 等】 感染症の原因となる病原微生物や媒介生物の発見、薬やワクチンの発見、各国の感染症対策について概説する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第3回 【授業テーマ】 感染症をおこす病原微生物

【内容・方法 等】 感染症の原因となる寄生虫、細菌、ウイルスの基礎について修得する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第4回 【授業テーマ】 現代社会と感染症

【内容・方法 等】 感染症対策は医療体制の整備や発生時の的確な対応、法制度などの整備による事前対応型対策の展開、国際協力などの政策が必要である。また、対策を講じるにあたり関係者や国民の理解の促進も不可欠である。ここでは、国民に脅威を及ぼしてきた感染症の変遷、その対応の変化を講義する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第5回 【授業テーマ】 新興・再興感染症

【内容・方法 等】 20世紀後半の一時期に人類は感染症を征服したと思われた時期もあった。しかし、それは誤りであり、まったく新たな感染症(新興感染症)やいったん制圧したかに見えた感染症(再興感染症)が見られている。これらの感染症の歴史的考察から大規模感染症の成立過程や原因微生物と感染経路の解明、撲滅への対策について講義する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第6回 【授業テーマ】 ウイルス感染症を主とする新興・再興感染症(1)

【内容・方法 等】 ウイルスが原因となる感染症の内、近年特に話題となった重症急性呼吸器感染症(SARS)と高病原性トリ・インフルエンザについて紹介する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第7回 【授業テーマ】 ウイルス感染症を主とする新興・再興感染症(2)

【内容・方法 等】 ウイルスが原因となる感染症の内、エボラ出血熱、ノロウイルス感染症、狂犬病、麻しん、ウエストナイル熱/脳炎などについて紹介する。

【事前・事後学習課題】 2回~7回目の講義内容について、要点をまとめたレポートを作成すること。(提出期限:次回授業終了時)

第8回 【授業テーマ】 病原体の飛沫や環境汚染による感染症

【内容・方法 等】 後進国なみに患者発生の高いわが国の結核に関して、ヒトとの関わり合いから見た結核感染症の歴史を述べ、さらに、結核感染症の基本的な知識を習得する。

【事前・事後学習課題】 事前に、2回~7回目の講義内容について、要点をまとめたレポートを作成し、授業終了時に提出のこと。

第9回 【授業テーマ】 人的行為でおきた感染症(1)

【内容・方法 等】 人的行為が主な原因となる感染症の内、感染者数が約4千万人といわれ地球規模の流行(パンデミック)に達しているエイズ・HIV感染症と院内感染として医療の現場で注目されているMRSA感染症について解説する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第10回 【授業テーマ】 人的行為でおきた感染症(2)

【内容・方法 等】 人的行為が主な原因となる感染症の内、B型肝炎とC型肝炎、VRE感染症、在郷軍人感染症、カリニ肺炎について紹介する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第11回 【授業テーマ】 飲食物を介しておきる感染症

【内容・方法 等】 飲食物を介しておきる感染症の内、1973年に大阪府堺市や岡山県邑久町の学校給食が原因となった集団下痢症のO157感染症、昨年ドイツを中心として発生した腸管出血性大腸菌感染症、2011年4月頃から「ユッケ」を

原因とした腸管出血性大腸菌O111による集団食中毒などを紹介する。また、従来の病因物質とは全く異質のタイプであるプリオン病についても講義する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第12回 【授業テーマ】 感染症の制御と免疫システム

【内容・方法 等】 ギリシャの昔からヒトは一度かかった病気には二度とかからないことを知っていた。それを実際に医療に応用したのは約200年前のジェンナーの種痘である。ここには、生体防御機構として「免疫」が働いている。免疫とはどのような身体の働きなのかを講義する。また、免疫による感染症の予防に対処も解説する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第13回 【授業テーマ】 話題になった感染症

【内容・方法 等】 近年特に話題となった感染症の中で、エボラ出血熱、マールブルグ出血熱、人食いバクテリア感染症、肺炎球菌感染症について紹介する。

【事前・事後学習課題】 事前に、前回の講義内容について、配付資料に基づいて復習する事。

第14回 【授業テーマ】 予防接種により今我々が命を守ることが出来る

【内容・方法 等】 多くの感染症はワクチンによる予防接種で発症が抑えられており、その成功例としては天然痘の撲滅やポリオの征圧がある。一方、予防接種率の低や副作用の危惧から十分な予防接種が実施されていない感染症もある。今回は、いま我々が予防接種により命を守ることが出来る感染症の具体例(ヒブワクチン、子宮頸がんなど)を取り上げて説明する。

【事前・事後学習課題】 8回~14回目の授業内容について、要点をまとめたレポートを作成すること。(提出期限:次回授業終了時)

第15回 【授業テーマ】 感染症のいまと私たちの暮らし

【内容・方法 等】 現代に生きる私たちにとって、感染症をどう位置づけ、個人及び社会全体として感染症から我々を守るために必要な処置や知恵について考える。感染症とバイオテロについて、日本と米国での事件例を概説し、その対策を紹介する。

【事前・事後学習課題】 授業開始までに1回~14回の講義内容を事前に見直し、それまでに配布した資料を授業時に持参すること。

評価方法 (基準)

定期試験(記述問題、正誤問題、総合問題)で評価する。理解度確認レポートの内容も評価の対象とする。100点満点中60点以上で合格。

教材等

教科書…特に定めず

参考書…「感染症と生体防御」河原和夫他著、放送大学教育振興会(2800円);「感染症とたたかう」岡田春恵他著、岩波書店(740円);「現代の感染症」相川正道他著、岩波書店(630円);「人類vs感染症」岡田春恵著、岩波書店(800円);「Disease 人類を襲った30の病魔」小林力訳、医学書院(3990円);「現代免疫物語」岸本忠三他著、講談社(940円)

学生へのメッセージ

文系、理系を問わず感染症に興味のある学生の受講を勧めます。感染症の歴史と原因物質の解説のみならず、その感染症の発生した歴史的背景や時代背景、そこで取り上げられた文学を絵画についても紹介する。

関連科目

生物学

担当者の研究室等

薬学部1号館5階, E-mail: ag193101@bca.bai.ne.jp

教養特別講義 I~V 「健康科学」 Health Science

藤 林 真 美 (フジヤシ マミ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

我が国では、交通手段の発達や家事の自動化等により身体活動量が著しく低下しており、さらに食生活の欧米化等も影響して、生活習慣病にかかる人口は増加の一途をたどっている。一方で、うつ病等にかかる人口も激増しており、メンタルヘルスの保持増進も重要課題となっている。本講義では、学生諸君が在学中のみならず生涯にわたり心身の健康を維持・増進するため、健康に関して科学的な裏付けに基づいた知識を幅広く身につけ、講義内容を実践できる能力を身につけることを目的とする。

学科の学習・教育目標との対応：「A1」

授業方法と留意点

レジュメを配布する。

科目学習の効果（資格）

健康に関する基礎知識を理解し、実生活に応用することができる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 日本人の健康に関する現状を把握し、本講義の意義について述べる。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第2回** 【授業テーマ】 健康づくりの三本柱
【内容・方法 等】 健康づくりのための三本柱とされている「運動」「栄養」「休養」と、その相互作用について解説する。学生諸君は自身の生活について振り返り、改善すべき点があるか検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第3回** 【授業テーマ】 身体の生理機能
【内容・方法 等】 食べたものはどこへいくか？吸った酸素はどこでどんな作用をするか？生体の生理について復習する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第4回** 【授業テーマ】 運動トレーニングが肥満対策になる所以
【内容・方法 等】 メタボリック症候群の定義、その温床にある内臓肥満について解説する。また肥満、糖尿病、脂質異常症など生活習慣病について解説し、その予防になぜ運動トレーニングが効果的なのか、最新の知見と関連させて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第5回** 【授業テーマ】 運動トレーニングで何がかわるのか？
【内容・方法 等】 運動トレーニングにより、筋力増強、持久力向上、骨代謝、エネルギー代謝などが改善される。それらのメカニズムについて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第6回** 【授業テーマ】 どんな運動（種類・時間・頻度）が健康によいのか？
【内容・方法 等】 第5回で解説した運動トレーニングの効果は、運動方法によってその作用が異なる。肥満解消、筋力増大、骨の増強など目的に応じたトレーニング方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第7回** 【授業テーマ】 基礎栄養学
【内容・方法 等】 各栄養素の種類や機能について解説する。日ごろの食生活を振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第8回** 【授業テーマ】 食生活と健康
【内容・方法 等】 前回の内容を踏まえ、望ましい食事について「食事バランスガイド」に基づいて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第9回** 【授業テーマ】 ダイエット計画
【内容・方法 等】 近年、性別や年齢による身体の見え方や中身（体重や体脂肪率など）の違いが明らかになっている。この違いを理解したうえで、望ましいダイエット方法について解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第10回** 【授業テーマ】 女性の健康・男性の健康
【内容・方法 等】 性別による身体的特徴と性ホルモンの作用、さらに男女それぞれの加齢変化も踏まえて解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第11回** 【授業テーマ】 ストレスマネジメント
【内容・方法 等】 近年増加しているうつ病について概説し、うつ病やメンタルヘルス、ストレス対策として運動が有効なのか、最新の知見を紹介しながら解説する。また他の精神障害についても概説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第12回** 【授業テーマ】 睡眠
【内容・方法 等】 睡眠がどのような役割を果たしているか解説する。日ごろの睡眠について振り返り、改善すべき点があるか否か検討する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第13回** 【授業テーマ】 アルコールと喫煙、薬物、性感染症
【内容・方法 等】 アルコールやタバコ、薬物が身体にどのように影響を及ぼすか解説する。またHIVなど性感染症についても解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第14回** 【授業テーマ】 高齢者の介護予防と運動
【内容・方法 等】 わが国は超高齢化社会となり、今後さらに高齢者人口が増大することが見込まれている。運動がなぜ介護予防に効果的なのか、解剖学・生理学の立場から解説する。
【事前・事後学習課題】 配布資料
- 第15回** 【授業テーマ】 総括
【内容・方法 等】 本講義の総括と、健康に関する諸問題について考える。

【事前・事後学習課題】 配布資料

評価方法（基準）

主に定期試験により評価する。ただしレポート提出を求める場合がある。その場合は定期試験の成績に加味して評価する。

教材等

教科書…特に指定しない
参考書…スポーツサイエンス入門、田口貞善編著、丸善

学生へのメッセージ

皆さんが将来、知的職業人として社会で活躍するためには、まず心身の健康の保持増進が大切です。健康科学の基本を理解して、心身のセルフマネジメントができるようになることを希求します。

関連科目

スポーツ科学実習Ⅰ・Ⅱ、生涯スポーツ実習

担当者の研究室等

総合体育館1階 藤林研究室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「マーケティングと企業成長」
Marketing and Growth of business

武居 奈緒子 (タケエ ナオコ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

この講義では、マーケティングに関する基本的知識を習得することを目的としています。マーケティングとは、企業の対市場活動であり、市場競争の活動のことをさします。マーケティングの基本は、企業が、消費者のニーズを把握して、それに適合する商品・サービスを提供することです。この基本にそって、マーケティングについての理解を深めてもらうとともに、マーケティング的発想で考える能力を養ってもらえればと思います。

授業方法と留意点

講義が中心ですが、ビデオも活用し、企業の実態にそったマーケティングを理解していきます。

科目学習の効果（資格）

マーケティング的発想で社会を見る眼が養えます。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 マーケティングの全体像を示します。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第2回** 【授業テーマ】 マーケティング志向
【内容・方法 等】 マーケティングの原点であるマーケティング志向について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第3回** 【授業テーマ】 製品政策
【内容・方法 等】 ヒット商品はどのようにして作られるのかについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第4回** 【授業テーマ】 価格政策
【内容・方法 等】 価格の設定方法について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第5回** 【授業テーマ】 流通チャネル政策
【内容・方法 等】 商品はどのような経路をたどって販売されるのかについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第6回** 【授業テーマ】 販売促進政策
【内容・方法 等】 商品のアピールの仕方について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第7回** 【授業テーマ】 マーケティングのSTPアプローチ
【内容・方法 等】 市場細分化、製品ライフサイクルについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第8回** 【授業テーマ】 消費行動
【内容・方法 等】 消費者の購買意思決定過程について考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第9回** 【授業テーマ】 マーケティング概念の拡張
【内容・方法 等】 大学のマーケティング、地方公共団体のマーケティングについて考えます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第10回** 【授業テーマ】 マーケティング・リサーチ（1）

- 【内容・方法等】マーケティング・リサーチの意義と方法について解説します。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第11回 **【授業テーマ】** マーケティング・リサーチ (2)
【内容・方法等】 質問票を作成していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第12回 **【授業テーマ】** 戦略分析 (1)
【内容・方法等】 競争の3角形、企業の成長戦略、企業の資金配分の仕方について解説します。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第13回 **【授業テーマ】** 戦略分析 (2)
【内容・方法等】 ポーターの競争の戦略、企業の地位別戦略について学習していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第14回 **【授業テーマ】** 戦略分析 (3)
【内容・方法等】 バリュチェーン分析、SWOT分析について学習していきます。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 第15回 **【授業テーマ】** まとめ
【内容・方法等】 全体のまとめをします。
【事前・事後学習課題】 文献や新聞で、関連する内容を読みましよう。
- 評価方法 (基準)**
 期末テストの成績70%、授業内課題30%
- 教材等**
教科書…講義時に指示します。
参考書…その都度、指示します。
- 学生へのメッセージ**
 授業で提示される問題・課題に真摯に取り組みましよう。
- 関連科目**
 マーケティング論
- 担当者の研究室等**
 11号館8階 (武居教授室)

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「高齢者の生活とケア」 Promotion of QOL of the Elderly				
石橋文枝 (イシバシ フミエ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	選択	2

- 授業概要・目的・到達目標**
 我が国は、少子高齢社会、特に高齢社会は、高齢化率20%を超える超高齢社会です。人のライフステージの最終段階は老年期その先は死です。誰もが必ず迎える未来です。人は日々成長・発達をしていきます。老年期に入っても同様です。この講座では、高齢者理解を目的としています。老年期を生きること、老いとは何かをさまざまな視点で考えます。そして、超高齢社会を生きる高齢者の「生活実態・生活の質」に必要な支援方法について学ぶ。
- 授業方法と留意点**
 授業計画に沿って、進めていきます。講義を中心に進めていきますが、高齢者に対する制度、政策の理解も重要ですが、まず視聴覚教材(DVD)や高齢者疑似体験などを取り入れ、老年期を生きることの理解と個人の老人観を描ける時間にしていきます。講義前後にレポート課題を出しますので、欠席をしないよう出席をしてください。1時間目の講義ですので、遅刻のないよう1日のタイムスケジュールを立て取り組んでください。
- 科目学習の効果 (資格)**
 若者のAgeismの払拭と高齢者支援に必要な「私にできること」の自覚を持つ。
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題**
- 第1回 **【授業テーマ】** 老いとは
【内容・方法等】 「老いとはどういうことか」講義と学生個々の発表を通して高齢者像を明確にする。
 我が国の高齢者人口と今後の推計から考えられること……… 講義
 ライフステージの老年期について
【事前・事後学習課題】 事前課題：老いについて 1.身体的 2.精神的 3.社会的にどのような変化が生じるかレポートする
 事後課題：次回テーマの参考文献の配布資料を読んでくる
- 第2回 **【授業テーマ】** 老いとは
【内容・方法等】 老い-排除と差別：今村仁司 老いの明暗：山折哲雄 老い-身体：栗原彬

- 3文献をもとに老いについて講義する
【事前・事後学習課題】 事後課題：私の老いについてレポートする
- 第3回 **【授業テーマ】** 老人の歴史
【内容・方法等】 パット・セイン(Pat Thane) 編者 老人の歴史を文献にヨーロッパを中心に年老いた人々はどのようにみられ、扱われ、生きてきたかについて紹介する。
【事前・事後学習課題】 参考文献 老人の歴史 パット・セイン(Pat Thane) 編者 4800円
- 第4回 **【授業テーマ】** 老人の歴史
【内容・方法等】 パット・セイン(Pat Thane) 編者 老人の歴史を文献にヨーロッパを中心に年老いた人々はどのようにみられ、扱われ、生きてきたかについて紹介する。
【事前・事後学習課題】 参考文献 老人の歴史 パット・セイン(Pat Thane) 編者 4800円
- 第5回 **【授業テーマ】** 日本における高齢者の歴史
 植山節考に見る高齢者
【内容・方法等】 日本における高齢者の歴史 講義 植山節考に見る高齢者 DVD鑑賞
【事前・事後学習課題】 日本の歴史 2013.1月号事後課題：私の老いについてレポートしなさい
- 第6回 **【授業テーマ】** 日本における高齢者の歴史
 植山節考に見る高齢者
【内容・方法等】 植山節考に見る高齢者像 DVD 鑑賞
【事前・事後学習課題】 植山節考 深沢七郎 新潮文庫 4200円
- 第7回 **【授業テーマ】** 高齢者の不安
 お年寄りの願い 「びんびんころり」
【内容・方法等】 健康高齢者の実態 認知症について 認知症を持つ人を支える 要介護高齢者 講義中心
【事前・事後学習課題】 事前学習：認知症について 症状・問題点について調べておく
- 第8回 **【授業テーマ】** 高齢者と家族
【内容・方法等】 家族とは 要介護者と家族の実態
【事前・事後学習課題】 事前学習 介護保険とは
- 第9回 **【授業テーマ】** 地域で支える支援
 地域包括支援センター 介護保険サービス
【内容・方法等】 フォーマルサービスと地域支援システムについて 講義
【事前・事後学習課題】 講義終了時に提示します
- 第10回 **【授業テーマ】** 高齢者を理解する - 高齢者体験
【内容・方法等】 高齢者模擬体験
【事前・事後学習課題】 事後：高齢者体験の感想
- 第11回 **【授業テーマ】** 人生の終わりを考える
 「終わりよければすべてよし」
【内容・方法等】 「終わりよければすべてよし」DVD鑑賞
【事前・事後学習課題】 DVDを見た感想をレポートしてください
- 第12回 **【授業テーマ】** 人生の終わりを考える
 「終わりよければすべてよし」
【内容・方法等】 「終わりよければすべてよし」DVD鑑賞
【事前・事後学習課題】 DVDを見た感想をレポートしてください
- 第13回 **【授業テーマ】** 高齢者の孤独について
【内容・方法等】 高齢者の孤独の著書(25人の高齢者の孤独の語り) 抜粋文献から 高齢者理解：講義
【事前・事後学習課題】 文献紹介：高齢者の孤独 ビアギド・マスン&ピーター・オーレンス編 1890円
- 第14回 **【授業テーマ】** 老いの近未来学
【内容・方法等】 老いをどう創めるか 日野原重明 文献より
【事前・事後学習課題】 事後課題：私の老いについてレポートする
- 第15回 **【授業テーマ】** 我が国の世代間関係について
【内容・方法等】 世代間関係と交流の実際について：講義
【事前・事後学習課題】 事前課題：テーマ「高齢社会日本における私の役割について」レポート
- 評価方法 (基準)**
 適宜、実施するレポート課題を持って評価。
- 教材等**
教科書…購入不要
参考書…講義中に紹介。
- 学生へのメッセージ**
 みなさんは、老年期から考えると人生の2/3地点で、まさに青春を謳歌できる「時」ときです。この土台を作ってくれた先人のことを考えてみましょう。若いときは一瞬です。そして、ライ

フステージは、逆戻りができません。人生の最終段階を生きるとはどういうことか、いずれ私たちが足を踏み入れるステージです。高齢社会と聞くと先行きが暗いと思うかも知れませんが、そうだろうか？と考える時間にしましょう。

関連科目

担当者の研究室等

摂南大学 枚方校 7号館 3階 第9教室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「武道論」 Theory of Budo				
横山 喬之(ヨコヤマ タカユキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	選択	2

授業概要・目的・到達目標

「武道とは何か」、「なぜ今武道なのか」等、現代における武道の特性などを概説し、現状と課題について検討していく。また、武道の特性が理解でき、日本人の行動様式やもの考え方についても知ることができることを一般的な目標とする。

授業方法と留意点

講義形式で授業を進める。

科目学習の効果(資格)

武道の特性を理解することができる。また、伝統的な行動様式を学ぶ中から現代にない思考力が育まれることを期待する。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業内容の説明と武道について
【事前・事後学習課題】 武道について調べてくる
- 第2回 【授業テーマ】 武道とは何か
【内容・方法 等】 武道の意味や限後について概説する
【事前・事後学習課題】 武道にはどのような種目があるのか調べる
- 第3回 【授業テーマ】 武道の特性1
【内容・方法 等】 武道のわざとかたの捉え方について
【事前・事後学習課題】 「かた」について調べてくる
- 第4回 【授業テーマ】 武道の特性2
【内容・方法 等】 武道の文化論と人間教育について
【事前・事後学習課題】 武道から得たことについて考えをまとめる
- 第5回 【授業テーマ】 武道の身体技法1
【内容・方法 等】 武道特有の身体技法について
【事前・事後学習課題】 どのような動きがあるのかを調べる
- 第6回 【授業テーマ】 武道の身体技法2
【内容・方法 等】 身体技法を実践する(総合体育館)
【事前・事後学習課題】 日常の動きとどのように違うかを実際に感じる
- 第7回 【授業テーマ】 武道とスポーツ1
【内容・方法 等】 武道とスポーツの相違点について
【事前・事後学習課題】 スポーツについて調べてくる
- 第8回 【授業テーマ】 武道とスポーツ2
【内容・方法 等】 武道の歴史的変遷について
【事前・事後学習課題】 どのような歴史があるかを考える
- 第9回 【授業テーマ】 柔道の創始1
【内容・方法 等】 嘉納治五郎について
【事前・事後学習課題】 嘉納治五郎について調べてくる
- 第10回 【授業テーマ】 柔道の創始2
【内容・方法 等】 嘉納治五郎と講道館柔道について
【事前・事後学習課題】 講道館柔道について調べてくる
- 第11回 【授業テーマ】 柔道における教育的価値1
【内容・方法 等】 体育・勝負・修身の目的について
【事前・事後学習課題】 練習と稽古の違いについて調べてくる
- 第12回 【授業テーマ】 柔道における教育的価値2
【内容・方法 等】 乱取と形について
【事前・事後学習課題】 修行の目的について調べてくる
- 第13回 【授業テーマ】 武道とスポーツ3
【内容・方法 等】 武道の国際化について
【事前・事後学習課題】 どのように武道が世界に広まったかを調べてくる
- 第14回 【授業テーマ】 武道とスポーツ4
【内容・方法 等】 柔道の歴史的変遷とオリンピックについて
【事前・事後学習課題】 柔道とオリンピックの関係について調べてくる
- 第15回 【授業テーマ】 教育現場における武道
【内容・方法 等】 教育現場における武道の位置づけについて
【事前・事後学習課題】 自分が行ってきた武道について考えてくる

評価方法(基準)

試験・小テスト・レポート及び平常態度等を考慮して、総合的に評価する。

テスト60%、平常態度40%で評価を行う。

教材等

教科書…特に指定はしない。

参考書…中村民雄 『今、なぜ武道か』 日本武道館 2007
 藤堂良明 『柔道の歴史と文化』 不昧堂出版 2007
 村田直樹 『柔道の国際化《その歴史と課題》』 日本武道館 2012
 『嘉納治五郎』 筑波大学出版会 2011

学生へのメッセージ

質問等がある場合には、横山助教室に来てください。

関連科目

スポーツ科学Ⅰ・Ⅱ
 生涯スポーツ実習
 健康論
 保健論

担当者の研究室等

総合体育館1F横山助教室

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」 Project Based LearningⅠ				
澤井 健二(サワイ ケンジ) 石田 裕子(イシダ ユウコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

概要：摂南大学に近い寝屋川市立池の里市民交流センターでは、主に子どもたちを対象とした環境学習を行っている。これに学生が参加・協力することで、市民ボランティアと子どもをつなぐ架け橋となるよう目指す。また、淀川水系を中心とした流域連携活動を行うことで、地域の水辺環境の保全や親水活動の普及に努める。

目的：摂南大学の学内及び隣接する寝屋川第4水路ならびに近隣の小学校である寝屋川市立桜小学校に隣接する水路においてピオトープを整備する。池の里市民交流センターの活動に関わり、淀川水系での流域連携を向上させる。
 達成目標：学生は地域の子どもの環境学習支援プログラムの企画・実践の手法を体得する。また、流域連携活動を通じて、淀川水系の環境保全について問題を理解するとともに、その解決策について考察する。

授業方法と留意点

連携内容・方法：寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援・活動に参加しプログラムを企画、実践する。淀川愛好会の流域連携活動に参加し、自分たちの活動内容について発表する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：寝屋川市における環境学習支援と淀川水系を中心とした流域連携プロジェクト

内容：
 1. 寝屋川市立池の里市民交流センターにおける環境学習支援
 2. 寝屋川市内の河川と水路の現状把握および水路を活かしたピオトープ整備の意義の理解
 3. 地域との協働によるピオトープ整備の実践
 4. ピオトープ整備による、生物環境と住民の関心の向上の検証
 5. 淀川水系を中心とした流域連携イベントの企画・実践
 6. いい川・いい川づくりワークショップでの発表
 方法：授業のうち半分(月1回)は原則として平常授業期間内の土曜日2・3限に行い、主として午前中は学内のゼミ室において、澤井・石田が資料を用いて講義をし、午後は池の里市民交流センターにおける自然体験学習室の活動に参加して、地域ボランティアおよび子どもたちと接して、必要な知識・技術を習得する。9月に予定している子ども教室において、自分たちで企画した環境学習プログラムを実施する。他の半分(月1回)は、学外の流域連携イベントに参加し、流域問題について学習する。学外発表の場として、近畿水環境交流会(7月)、いい川・いい川づくりワークショップ(9月)を予定し、各活動段階における成果発表を行い、自己評価および外部評価を受けることで活動内容を振り返り、次の活動に向けてステップアップを図る。作業の実施に当たっては、理工学部生命科学科生態環境学研究室、都市環境工学科水辺環境創出研究室、および文化会エコシビル部の協力を得る。また、本学園OBである、大阪理化株式会社社長、前田富久児氏の指導も受ける予定である。授業および活動スケジュールは、学校行事等の関係で受講者と相談の上、変更することがある。
 事前事後学習課題：内容ごとに参考資料を配布するので、熟読しておくこと。また、前期・後期末にレポートを作成し、年度末にプレゼンテーションを課す。

評価方法・評価基準

教養科目

授業（イベントを含む）に積極的に参加し、水辺環境の再生活動に加わること。（60%）
水辺再生の意義を正しく理解し、それを他者に伝えられること。（40%）

教材等

教科書…特になし
参考書…特になし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」

Project Based Learning

宮本 征一（ミヤモト セイイチ）
榊 愛（サカキ アイ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

プロジェクト名称 『居住空間リノベーションの温熱環境アセスメント』

近年の居住空間は、建設技術の発展やエネルギーに支えられて、新しく作り出される居住空間は快適で健康的な空間が造り出されつつあります。しかし、現存している居住空間には、暑い・寒いなどの温熱的不快を感じる空間もあり、リノベーション（リフォーム）が必要な空間も多くあります。その際の温熱環境について事前評価（アセスメント）することは、有用な手法です。また、CADやCGなどを用いて対策案をプレゼンテーションすることで、対策後の空間を事前に伝え、共有することができます。

連携する設計事務所と共同で事前評価を行い対策を考え、プレゼンテーションし、実際に施工することを目的とします。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

温熱環境の測定勉強会および実習を、4月から6月の間に10回程度行い、建築環境測定の基礎知識とプレゼンテーション技術を得てもらいます。

その後、連携する設計事務所等から依頼された居住空間で測定および分析を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

4月から6月の放課後：温熱環境の測定に関する勉強会および実習（週1回程度）

温熱環境について（1回）、測定機器について（2回）、データ処理・分析について（5回）、温熱環境の実習（2回）

6月以降：実際の居住空間における測定および分析

評価方法・評価基準

積極的にプロジェクトに参加しているかどうか。

自発的な行動ができてきているかどうか。

参加点 80点

成果点 20点

教材等

教科書…室内温熱環境測定規準・同解説（日本建築学会）定価1500円

参考書…特になし。

備考

自発性を重んじますので、積極的に行動できる人を望みます。学外での測定のための交通費などが多少かかります。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」

Project Based Learning

橋本 正治（ハシモト マサル）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

テーマ：過疎地域におけるグリーンエネルギー活用プロジェクト

概要・目的：グリーンエネルギーを利用した過疎地域自立活性化に利用出来るマイクロ水力発電装置や太陽光利用温水設備などを過疎地域（和歌山県すさみ町）の住民・行政に提案し、試作した装置の稼働実験を行い、過疎地域における生活環境の改善について評価を行う。地域住民と協働して装置の設置・運用などをおこない、得られたエネルギーは、地域住民との鳥獣被害対策のために利用されている電気柵など地域に特有なものや、災害時の支援設備としての利用をはかる。

達成目標：製品の必要性にはじまり、実際に使う人達から評価を受けるまでの「ものづくり」を体験する

ことで、座学では得られない問題点や拘束条件に対応する能力を育む。加えて地域の人々と関わり、協働し、使い手の顔がみえる製作体験を通じて、ものづくりに関わる技術者としての社

会的な責務を体験・修得する

授業方法と留意点

学内活動：通年 週1回程度ミーティングを行いグループごとに活動内容を報告する

現地活動：年5回程度 週末および夏期休業期間など

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業計画：

- 1 グリーンエネルギーの必要性和現状について過疎地域を調査し、対象とする地域の活性化に資するエネルギーシステムの概要を決定する。
- 2 設計・試作を行う。
- 3 地域住民と協働し設置作業を行い、性能評価・問題点の抽出を行う。（評価などは関連する地域団体と共に行い、利用者の視点を意識する）
- 4 改善方法の提案と製品の改良を行い、総合的な評価を行う。プロジェクトは5人程度の小グループに分け実施する

評価方法・評価基準

活動への参加が最低限の条件となる

活動状況を総合的に判断して評価する

教材等

教科書…なし

参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」

Project Based Learning

池田 博一（イケダ ヒロカズ）

一色 美博（イツシキ ヨシヒロ）

小川 直樹（オガワ ナオキ）

丸山 隆三（マルヤマ リュウソウ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

[授業概要・目的]

ミニ鉄道プロジェクトとして、レール幅3.5、5インチのミニ鉄道を製作し、運転会などの運営を行う。蒸気機関車、電気機関車や客車の製作に加えて、軌道、鉄橋、駅舎なども製作し、イベント会場や小学校などで運転会を催す。また、運転会では製作過程や駆動原理などの展示も加え、参加者のものづくりへの関心を高める。ただし、今年度は蒸気機関車などのものづくりに重点を置く。

[到達目標]

蒸気機関車などのものづくり技術を能動的に習得すること。

授業方法と留意点

週1回のミーティングで今後の計画や進捗状況の報告を行います。加えて、皆さんが決定する時間割にしたがってテクノセンターで製作や技術の習得を行います。

この科目では、能動的に活動できる能力を培うことが大きな狙いです。与えられた課題に対して全貌を把握した上で計画を作り、その計画を確実に実行する姿勢を学んでください。与えられた環境、条件のもとで、工夫して自律的に課題を達成できる能力は社会人として必須の力です。この授業で「指示待ち」から「自ら行動する」姿勢を学んでください。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

本年度はレール幅5インチの蒸気機関車の製作を継続する。

1. 教員の指導の下に目標と計画を作る。
2. 計画に従って、技術指導を受けながら蒸気機関車を製作する。
3. 計画からの遅れには対策を講じる。
4. 製作時に利用する金属材料、工作機械、工作方法などについては図書館で調べ知識を確かなものとする。
5. 計画、進捗状況、調査結果等をミーティングで報告する。

評価方法・評価基準

プロジェクトの実施計画や進捗状況の把握程度、プロジェクト推進に対する貢献度および製作技術習得時の能動的態度について、ミーティングでの報告や作業時の態度で評価する。

教材等

教科書…なし

参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」

Project Based Learning

池内 淳子（イケウチ ジュンコ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

【プロジェクトテーマ】

すさみ町における津波避難対策プロジェクト2013＝人的被害軽減を目的として＝

【授業概要と目的】

東日本大震災は、東北地方沿岸部に津波による壊滅的被害をもたらせた。和歌山県すさみ町は、紀伊半島の先端に位置し、過去の東海地震においても津波被害に遭遇した経験を持つ。本プロジェクトでは、昨年・一昨年と、すさみ町すさみ地区および江住地区において津波災害に対する人的被害軽減策を模索する活動を実施してきた。成果については、1年目はすさみ町役場職員と活動地区の代表者のみに対し報告したが、2年目は役場からの地区住民に対し広く案内され、多くの住民に参加して頂き活発な意見交換を頂いた。本プロジェクトの目標は、履修者が自然災害における人的被害を理解すること、フィールドワークを通じてコミュニケーション能力を向上し、生活者に寄り添った対策案を考案することであり、これらを通じてすさみ町の津波災害に対する人的被害低減に貢献したいと考える。このためには、防災に関する啓蒙・普及活動としてのアウトリーチ活動が重要であり、これらの活動を通じて履修者のチームワーク力を向上することを目標とする。

【到達目標】

自然災害における人的被害を理解し、現地調査を通じて企画立案能力を育成する。また、町民との対話を通じて社会ニーズを理解し、コミュニケーション能力の向上を図る。さらに、アウトリーチ活動ではチームワーク力の向上を図る。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

- ・大学内においては、東日本大震災や他の自然災害事例について調べ学習を行うことで、自然災害による被害状況の理解し、被害が与える地域社会への影響について学ぶ。
- ・長期休暇中および学校休校日にすさみ町の現地調査を実施し、町民との意見交換会に参加する。
- ・防災教育活動（アウトリーチ活動）は、大学周辺地域やすさみ町等で実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- (1)2011年度の調査結果および津波避難対策の理解
- (2)東日本大震災による津波被害に関する学び
- (3)今年度活動テーマの決定（すさみ町における町民との対話を通じた避難対策の考案方法）
- (4)2012年和歌山県津波避難訓練への参加 ※すさみ町との協議による
- (5)すさみ町の津波に対する人的被害軽減策の考案
- (6)すさみ町における発表会 ※すさみ町との協議による
- (7)防災教育活動準備と実施 ※時期は適宜

評価方法・評価基準

目標達成までのプロセスを重視し、活動への積極性と貢献度を評価する。

教材等

教科書…別途配布する
参考書…別途配布する

備考

・本プロジェクトは、すさみ町役場およびすさみ町住民の皆さんのご協力のもと遂行される。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based Learning!

浅野 英一 (アサノ エイチ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

- ①調査：地域で予定されているプロジェクトを調査し、実現可能を探る。
- ②企画：具体案を立て、評価（実現可能性、コスト、実施期間、有効性）を行い、詳細な実施計画を立てる。
- ③関連する団体に企画をプレゼンテーションし、プロジェクトの妥当性を評価する。
- ④実施：実施計画に従いプロジェクトを実施する。途中に実施状況を関連機関に報告し計画の修正を行う
- ⑤結果報告：プロジェクトの終了時に関連機関に実施結果と次年度以降でのプロジェクトの展開について報告を行う。

授業方法と留意点

プロジェクトの実施地は、和歌山県西牟婁郡すさみ町です。活動にかかる交通手段は、バスを大学でチャーターして移動します。宿泊は、摂南大学すさみ町活動拠点（廃校になった小学校の校舎）を使うため宿泊費用は発生しません。プロジェクト実施については、調査状況に基づき事前に学内で協議して現地活動を行います。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

すさみ町の過疎地域活性について、①農業分野のキャベツ・プロジェクト、②畜産分野のイノブタソーセージ・プロジェクト、③観光分野の自然体験学習型キャンプの3つを同時に行います。

評価方法・評価基準

レポート、参加態度を総合的に評価する。

教材等

教科書…特に無し。
参考書…特に無し。

備考

履修登録をする前に、必ず、活動内容を問い合わせ、相談してから履修して下さい。問い合わせ・相談をせずに履修登録をした場合、登録を取り消すことがありますので注意してください。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based Learning!

佐井 英子 (サイ ヒデコ)
栢木 紀哉 (カヤキ ノリヤ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

摂南大学近隣の小学生を対象に、北大阪商工会議所青年部と共同で、「子供株式会社プロジェクト」を実施する。このプロジェクトでは、子供達が、起業・会社経営の体験を通じて社会や経済・経営の仕組みを学ぶことを目的としているが、同時に学生も小学生の指導を通して、自ら考え、解決する能力、すなわち、マネジメント能力、コミュニケーション能力、指導力、行動力、協調性、責任感や市役所や商工会議所等との折衝力及び交渉力の実践力を培うことを目標とする。

学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

北大阪商工会議所青年部との共同により、交野市、寝屋川市、枚方市の小学生を対象に子供株式会社を設立し、商工会議所のイベントに参加する。主に小学生に対する指導は学生が担当し、実践のためのイベントの会場提供・設定等は、商工会議所が主体となるが、小学生への指導等は、一部の作業は学生が責任をもって担当するので、セミナーやイベントには、必ず出席すること。また、実際の経営、生産の現場を体感するために、上記3市の会社見学会を実施する。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

授業テーマ：子供株式会社の設立と経営
内容：

- I 経営、マネジメント、経営戦術、会計等に関する基礎的な知識を学ぶ。
- II 実際の経営、生産の現場を体感するために、会社見学会を実施する。
- III 小学生に指導する。
 1. 名刺をつくらう
 2. 株式会社って何だろう
 3. 株式会社をつくらう
 4. 商売って何だろう。儲けてなんだろう
 5. 経営計画をたてよう
 6. マーケティングをしよう
 7. 商品企画書の作成しよう
 8. 銀行にお金を借ろう
 9. 実際に販売してみよう
 10. 帳簿をつけて決算書をつくらう
 11. 税金を納めよう
 12. 決算書を作成しよう
 13. 経営報告会をしよう。どの会社が一番儲かったのかな。

講義方法：子供達に指導する前に、まず自分たちで上記のテーマを演習形式で学習し、その後グループに分かれ小学生に対して指導する。

事前事後学習課題：上記テーマ、イベントの結果報告等レポートを作成、提出する。

評価方法・評価基準

授業（イベントを含む）に必ず参加すること。
会社の設立、経営、決算報告等の一連のプロセスを理解し、小学生に対してきちんと説明できる知識を修得すること。

教材等

教科書…特になし
参考書…必要に応じ適宜指定します。

教養特別講義 I～V「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning

八木 紀一郎 (ヤギ キイチロウ)
牧野 邦昭 (マキノ クニアキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

都市と地方をむすぶツーリズム（観光と地域振興）
大都市圏住民の観光ニーズと潜在的な観光資源をもつ過疎地域を結びつけるエコツーリズム、グリーンツーリズムの可能性をさぐります。
到達目標：ポスト・マストツーリズムとして、都市と地方を結ぶツーリズムの可能性をさぐり、またそれが地域振興にどのように結びつくかを知り、現実に応じた企画提案ができるようになることです。一般的にいえば、就業力、つまり創造的な仕事を企画・実施する社会的能力（コミュニケーション、責任感、整理・記録・総括・反省）を身につけることが目標です。

授業方法と留意点

寝屋川市および摂南大学と連携協定をもつ和歌山県すさみ町をフィールドとして、すさみ町と寝屋川市の交流実績に留意しつつ、ツーリズム研究をおこないます。
すさみ町の観光資源・観光客受け入れ体制の調査と寝屋川市などの住民のニーズ調査をおこない、それを結びつけるあり方を考えます。
学生たち自身で主体的に取り組むために、旅行の企画・実施・ニーズ調査・広告を行う「旅行社」を創設すると考えて、責任を分担し、記録を取りながら取り組みましょう。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

年間スケジュールとしては以下になるでしょう。
4月：前年度本プロジェクトの総括/エコツーリズムの学習
5月連休：参加可能な人は1回目のすさみ体験
6月・7月：すさみ町および南紀を目的地にした学生ツアーの企画・準備
9月：学生向けパイロットツアー実施
10月～11月：中間報告、すさみ物産フェアへの協力、都市住民の観光ニーズ調査
12月：現地調査をふまえた宣伝・企画の提案
1～3月：冬・春のツアープラン
火曜の昼休みに経済学部演習室（1号館7階）でランチ持参の打ち合わせ会をもち、課題に応じて随時、時間を設定して作業ミーティングを行います。

評価方法・評価基準

活動への実質的参加を前提にした、地域と観光への認識の深まり、活動におけるリーダーシップと創意工夫の評価（60%）、活動の成果をまとめたレポートの評価（40%）。

教材等

教科書…なし
参考書…なし

備考

すさみ町、および同町のNGO、寝屋川市などの関係機関団体と協力して実施します。

教養特別講義 I～V「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning

富岡 直美 (トミオカ ナオミ)
水野 武 (ミズノ タケシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

●授業概要：様々な人との交流を通して自らを取り巻く社会についての理解を深め、課題を発見し、解決策を考える。また、自主的に活動をし、実際に社会貢献をすることで、自立的職業人を目指す。
●目的：社会で活躍できる人になるために、社会貢献活動を通して自分自身をより理解するとともに、新たな可能性を見出す。
●到達目標：役割意識や自己効力感を育むために、仲間と協働しながら社会に貢献する喜びを体験する。
学科の学習・教育目標との対応：[II]

授業方法と留意点

- ①絵本や紙芝居について学ぶ。（外部講師）
- ②読み聞かせや紙芝居を練習する。
- ③社会と接するためのマナーについて学ぶ。
- ④学生同士のピアラーニング。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- テーマ：紙芝居ボランティアを通じた社会貢献
- 内容：学生の関心事について取材し、そこで得た知見を通じて紙芝居を作成する。寝屋川市内の小中学校などを訪問し、紙芝居上演を中心としたイベントを実施する。
- 方法：（月2回程度）
 1. 役割分担をし、様々な立場の人にインタビューをする。
 2. インタビュー内容を学生間で共有し、疑問点を調べる。
 3. 自分の考えを表現するための紙芝居を作成する。
 4. 紙芝居を用いたイベントを企画する。
 5. 各種施設などに協力依頼をする。
 6. 紙芝居ボランティアを実行する。
 7. 振り返りを行い、改善する。

他に、地域や企業様とのコラボレーション、新たな商品開発など、参加学生のアイデアを取り入れ、様々な社会貢献の方法を模索します。

評価方法・評価基準

参加態度・貢献度（50%）、報告書（20%）、成果物（30%）による総合評価

教材等

参考書…余郷裕次（2010）『絵本のひみつ』南日本新聞社

備考

- 活動は、役割を分担し自主的に運営するため、学部に関係なくそれぞれの得意分野を發揮できる。
- 絵本や紙芝居について（構成、読み聞かせなど）、専門的な知識を身につけることができるため、表現力（プレゼン能力）の向上が期待される。

教養特別講義 I～V「摂南大学PBLプロジェクト」
Project Based Learning

羽石 寛寿 (ハネイシ カンジュウ)
黒澤 敏朗 (クロザワ トシロウ)
山本 圭三 (ヤマモト ケイゾウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

目的：「交野市の活性化」のプランを創ります。
概要：休耕地を利用した「そば」栽培の体験などをもとに、交野市の特産品創出、休耕地の活用計画を策定します。あわせて、交野市体験ツアーの企画も行います。
到達目標：独自の計画案作成のプロセスを通じて、多くの人々とのコミュニケーションや、各自のもつ知識の活用ができるようになることです。

授業方法と留意点

1. 連携先の関係者・グループとの意見交換を通じて、課題を明確にします。
2. 交野市の住民や観光客へのヒアリングとアンケート調査を行います。
3. 他の地域の活性化プロジェクトの現状を調査します。
4. 独自の計画案の作成に取り組み、市民にも公表します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

1. 集団意思決定のための技術の習得
KJ法をはじめとする各種の意思決定、創造性開発の技法の演習を授業期間中に学内で行います。
2. アンケート調査の方法の習得
経営情報学科で開講する「市場調査」に関わる科目を受講します（他学科の学生も同様）。
3. 農産品とその加工、販売方法（6次産業化）に関する知識の習得
夏休みを利用して、先進的な地域・プロジェクトの見学を行い、知識の拡大を図ります。
4. 観光ツアーに関する知識・情報の収集
夏休みなどを利用して、先進的な地域の着地型観光ツアーに参加し、その経験を生かせるようにします。

評価方法・評価基準

グループ作業が中心となるため、個人ごとの評価は簡単ではありませんが、諸活動への「参加度（回数、活動意欲、結果への貢献度、など）」をもとに評価します。

教材等

教科書…とくに指定しません。
参考書…入門書として役立つ、数冊の新書を紹介します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based Learning!

久保 貞也 (クボ サダヤ)
針尾 大嗣 (ハリオ ダイジ)
牧野 幸志 (マキノ コウシ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

大学周辺地域の自治体、公的団体から地域の特徴や課題を学び、学生自らが地域の課題を探すための調査を企画、実施し、新たな課題を発見する。そして、その課題の解決に向けた学びへの興味を持ち、実践的な課題解決と総合的な学びを行いながら、社会に貢献できる学生の活動を指す。

学科の学習・教育目標との対応：工学部[A], 理工学部 [I]

授業方法と留意点

「地域を知る」
自治体の観光担当部署や統計調査部門、商工会議所などから講演者を招き、地域の強みや魅力、現在注目されている取り組みなどを知る。また、地域におけるこれからの課題や期待される進展の方向性などを知る。

「地域を調べる」
インターネット上で行われている各地域の広報宣伝の実態を調査したり、実際に地域を訪れてフィールドワークを行ったり、現場の担当者の声を聞くなどして、今、地域で行われていること、起こっていることを調べる。

「地域を変えていく」
本プロジェクトで明らかになった地域の課題や現状に対して、改善や解決の提案を行い、その実施計画について検討を行う。そして、その実現に向けて自分たちが何をできるかを考え、次のアクションへと進む。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

テーマ：「地域を知り、地域を調べ、地域を変えていく」

内容：
 (1) 地域の魅力や課題を知る講演会
 (2) インタビューやアンケート調査
 (3) 先行事例や既存データの分析
 (4) 現地視察や見学
 (5) 今後についての検討

方法：月2, 3回程度、平日の5時限以降に行なう。また、その他に講演会や発表会などを年1, 2回予定している（開催は土曜日や特別教育期間など）。主な活動場所は、情報処理教室、教員の研究室、ゼミ室、および、地域の公共施設である。

評価方法・評価基準

参加による気づき、活動への姿勢、成果などを総合的に評価する

教材等

教科書…特になし
参考書…適宜指定する（プロジェクト予算などで購入）

備考

地域の実践的な課題解決を目指すため、各学部のさまざまな知識と意欲ある学生の参加を求めています。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based Learning!

太田 義器 (オオタ ヨシキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

テーマ：ピース・ツーリズム——学生が企画する学生対象の平和学習旅行プラン——

【授業概要・目的】

エコ・ツーリズムは環境学習を盛り込んだ旅行企画として世界的に定着している。同様に平和学習を盛り込んだ旅行プランとしてのピース・ツーリズムを開発することで、平和に対する関心を高めるといふ社会要請とともに旅行業の商品種の拡大という産業ニーズにも応えることを目指す。

【学生の到達目標】

共同作業に自分から参加する仕方、新しいことに取り組む姿勢、困難を前にしてあきらめずに解決方法を模索する力の成長。

受講生各自がまずそれぞれの成長目標を設定します。
理工学部各学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

次のようなことが予定されています。
① 旅行商品プランのつくり方についての基本を、提携先企業様から教えていただく

- ② 学生の旅行ニーズについてアンケート調査を実施する
 - ③ 平和学習の仕方について外部講師から基礎的知識の提供をうける
 - ④ PDCAについて、本学キャリア担当教員から教えていただく
- 受講生は、会社内のプロジェクト組織に模した組織体を構成し、全員で業務分担してプロジェクト実行プランに基づいて活動します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

【プロジェクトの達成目標】 学生対象の平和学習旅行プランの商品化
おおよそ次のようなスケジュールを予定しています。
商品概要の設計(4～7月)→商品採用検討先企業開拓営業(7～10月)→トレードフェア参加(11月)
営業先企業様からの意見への対応策の検討(7～10月)
現地調査(8月)
→採用検討先企業様でのプレゼン(12月)

評価方法・評価基準

プロジェクト活動への参加について観察による評価(60%)、自己の活動についての振り返り報告レポートによる評価(40%)に基づき総合的に評価します。

教材等

教科書…なし
参考書…適宜、指導します。

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based Learning!

内田 勝巳 (ウチダ カツミ)
田中 鮎夢 (タナカ アユム)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

モンゴルにおける環境保全を念頭に置いた地域開発の可能性を探る。モンゴルに関わりの深い個人や国際協力NGO等に対するインタビュー等を学生自ら企画し、モンゴル事情に関する理解を深める。次年度も継続できれば、モンゴルの環境NGOプロジェクトへの協力に発展させたい。

授業方法と留意点

学生が主体となり全員で協議しながらプロジェクト作りを進めていく。プロジェクトを開始するに当たり、そもそもプロジェクトとは何かについての説明（期間、予算、人的制約の下での目標設定）、援助機関が行っているプロジェクト形成手法（PCM）を紹介すること等により、学生が効率的に議論を行いプロジェクト形成ができるような基礎知識をあたえる。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

- (1) モンゴルの自然・社会・経済・文化の情報収集
- (2) モンゴルの社会開発等に携わってきた日本国内の個人・団体へのアンケートあるいはインタビューの実施と連携先のNGO事業の視察・打合せ
- (3) 情報を整理・分析し、次年度の調査設計にフィードバックする

評価方法・評価基準

活動におけるリーダーシップおよび協議への参加（60%）、活動成果のプレゼンテーションとレポート作成（40%）

教材等

教科書…なし
参考書…なし

教養特別講義Ⅰ～Ⅴ「摂南大学PBLプロジェクトⅠ」
Project Based Learning!

太田 義器 (オオタ ヨシキ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		集中	選択	2

授業概要・目的・到達目標

ミュージカルをしよう！—摂大生と市民でつくるミュージカル・プロジェクト—
これは、学生提案によるPBL授業です。
【目的】 大学近隣の市民の方の参加を募り、ミュージカル公演を実現します。

【学生の到達目標】 共同作業をする力、困難を乗り越えるために考える力、新しい課題にとりくむ姿勢の向上を目指します。
理工学部各学科の学習・教育目標との対応：「A」

授業方法と留意点

ミュージカル公演を実現するためには、たんに役者が練習する

だけではなく、そのほかにもさまざまな共同作業が必要になります。

ミュージカル公演実現に必要なほとんどすべての活動を、学生のみで運営します。

授業テーマ・内容・方法・事前事後学習課題

おおよそ次のようなスケジュールが考えられます。

4月 履修者による組織の立ちあげ（役割分担、演目決定、年間スケジュールの作成）

5月 市民参加の呼びかけ

6月 練習スタート

10月 公演広報の開始

12月 公演実施

役者の他に、たとえば音響や照明スタッフ、連絡・調整を行うマネージャー、広報担当など参加の仕方はさまざまです。

評価方法・評価基準

プロジェクト活動への参加について観察による評価(60%)、自己の活動についての振り返り報告レポートによる評価(40%)に基づき総合的に評価します

教材等

教科書…なし

参考書…みんなで探します。

職業指導I Vocational Guidance I				
水野 武 (ミズノ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

職業教育や進路指導においては、職業構造や職種・業種内容について学んだり資格取得や技能訓練などを促進したりするばかりでなく、社会や産業構造の変化の中で自分はいかに生きていくかという「生き方の設計」について学ぶことが重要です。本科目を通して学生は、キャリア教育の理論と実践について理解を深めるとともに、経済社会・産業界の変化と職業指導に与える影響などについて知見を広め、「生き方の設計」の指導者としての資質能力の基礎を身につけます。

授業方法と留意点

講義と受講生による報告・討議を織り交ぜて進めます。講義では都度課題を提示し、その内容を元に受講者間で話し合いを行って頂きます。尚、遅刻等は厳禁です。

科目学習の効果（資格）

工業科の教員免許状取得に必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教科に関する科目（工業）
各科目に含める必要事項：職業指導

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業概要の説明、職業の定義、職業指導の概念整理
【事前・事後学習課題】 本科目のシラバスを熟読
- 第2回 【授業テーマ】 職業指導の基礎理論
【内容・方法 等】 職業指導における基本的な考え方、手法
【事前・事後学習課題】 職業指導に関する資料を熟読
- 第3回 【授業テーマ】 職業指導の歴史①
【内容・方法 等】 アメリカ・ヨーロッパを中心に職業指導の経緯を知る
【事前・事後学習課題】 欧米の職業指導に関する資料を熟読
- 第4回 【授業テーマ】 日本の産業構造の変化
【内容・方法 等】 日本の産業、雇用事情の変化を知る
【事前・事後学習課題】 日本の産業史に関する資料を熟読
- 第5回 【授業テーマ】 職業指導の歴史②
【内容・方法 等】 日本の戦後の教育改革について
【事前・事後学習課題】 日本の戦後の教育改革についての資料を熟読
- 第6回 【授業テーマ】 日本型雇用と職業指導
【内容・方法 等】 日本における雇用システムの変容と職業指導の関わり
【事前・事後学習課題】 日本型雇用の見直しについて考える
- 第7回 【授業テーマ】 新規高卒就職システム
【内容・方法 等】 新規高卒労働市場の変容と現状
【事前・事後学習課題】 高卒労働市場に関する資料を熟読
- 第8回 【授業テーマ】 高等学校における職業指導
【内容・方法 等】 各種学校における職業指導の在り方について
【事前・事後学習課題】 職業指導の事例を調査
- 第9回 【授業テーマ】 「労働すること」を考える
【内容・方法 等】 仕事をする事の意義を考える
【事前・事後学習課題】 授業後は自らの労働観を持つようにする
- 第10回 【授業テーマ】 職業指導の領域
【内容・方法 等】 学校、家庭、地域コミュニティ、公的機関等職業指導がなされる「場」について考える
【事前・事後学習課題】 職業指導領域に関する資料を熟読
- 第11回 【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論①
【内容・方法 等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る
【事前・事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読
- 第12回 【授業テーマ】 キャリア教育の基礎理論②
【内容・方法 等】 キャリアデザインにおける基礎理論を知る
【事前・事後学習課題】 キャリアデザイン理論についての資料を熟読
- 第13回 【授業テーマ】 授業内容立案
【内容・方法 等】 高校生向けの職業指導・キャリア教育に関する授業内容を立案する
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
- 第14回 【授業テーマ】 模擬授業
【内容・方法 等】 講義13で立案した内容で模擬授業を実施
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
- 第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り
【内容・方法 等】 講義の振り返り、最終レポートの提出
【事前・事後学習課題】 レポート提出の準備

評価方法（基準）

講義内での課題、提出物、レポート、授業への積極的参加、レポートの提出状況およびその内容、報告や討議の内容も加味して、成績を判定します。
また、前期最終時にレポートを実施します。

教材等

教科書…講義の中で必要に応じてレジュメ配布をします。
参考書…『ノンキャリア教育としての職業指導』ナカニシヤ出版（斎藤武雄・佐々木英一・田中喜美・依田有弘）
ほか、授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ

「職業指導」について学ぶとともに、自らの勤労観・職業観を養い、経済社会・産業界の状況に対応して自らの進路を切り開いていってください。特に後期は就職活動と並行しての受講となるので、自らの経験と照らし合わせながら、高校生に対する指導について考えてみてください。

関連科目

教職科目全般。特に「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。また「特別活動論」にも近接します。

担当者の研究室等

3号館4階（キャリア教育推進室）

職業指導II Vocational Guidance II				
水野 武 (ミズノ タケシ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

職業教育や進路指導においては、職業構造や職種・業種内容について学んだり資格取得や技能訓練などを促進したりするばかりでなく、社会や産業構造の変化の中で自分はいかに生きていくかという「生き方の設計」について学ぶことが重要です。本科目を通して学生は、キャリア教育の理論と実践について理解を深めるとともに、経済社会・産業界の変化とそれが職業指導に与える影響などについて知見を広め、「生き方の設計」の指導者としての資質能力の基礎を身につけます。

授業方法と留意点

講義と受講生による報告・討議を織り交ぜて進めます。講義では都度課題を提示し、その内容を元に受講者間で話し合いを行って頂きます。尚、遅刻等は厳禁です。

科目学習の効果（資格）

商業科における職業指導の基礎知識が身に付く

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
【内容・方法 等】 授業概要の説明
【事前・事後学習課題】 本科目のシラバスを熟読
- 第2回 【授業テーマ】 商業教育と職業指導
【内容・方法 等】 商業高校における職業指導の事例を知る
【事前・事後学習課題】 商業高校の職業指導事例に関する資料を熟読
- 第3回 【授業テーマ】 工業教育と職業指導
【内容・方法 等】 工業高校における職業指導の事例を知る
【事前・事後学習課題】 工業高校の職業指導事例に関する資料を熟読
- 第4回 【授業テーマ】 人権教育としての職業指導
【内容・方法 等】 職業指導の国際基準
【事前・事後学習課題】 提示する資料を熟読
- 第5回 【授業テーマ】 フリーター・ニートについて
【内容・方法 等】 グループ（またはペア）でフリーター・ニート対策を考える
【事前・事後学習課題】 フリーター・ニート問題に関する資料を熟読し、発表できるよう準備
- 第6回 【授業テーマ】 職業適性とは何か？
【内容・方法 等】 職業適性について知る
【事前・事後学習課題】 自らの適性の活かし方を考える
- 第7回 【授業テーマ】 高校生の就業力について
【内容・方法 等】 新規高卒者に求められる基本的な能力
【事前・事後学習課題】 就業力育成のための企画を考える
- 第8回 【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例①
【内容・方法 等】 地方も含めた職業指導・キャリア教育の事例紹介
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第9回 【授業テーマ】 職業指導・キャリア教育の実例②
【内容・方法 等】 地方も含めた職業指導・キャリア教育の事例紹介
【事前・事後学習課題】 配布資料を精読
- 第10回 【授業テーマ】 就業力向上企画を立案①

【内容・方法 等】 高校生の就業力育成のためのプランを考える

【事前・事後学習課題】 企画立案にあたっての事前情報を収集すること

第11回 【授業テーマ】 就業力向上企画を立案②
【内容・方法 等】 講義10で考えたプレゼンテーション

第12回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論①
【内容・方法 等】 自己概念を中心としたキャリア発達

第13回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論②
【内容・方法 等】 環境との相互作用によるキャリア行動の発達

第14回 【授業テーマ】 キャリアカウンセリング理論③
【内容・方法 等】 学習理論からのアプローチ

第15回 【授業テーマ】 講義の振り返り
【内容・方法 等】 提言の確認、授業内容に関する質疑応答

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

【事前・事後学習課題】 自らの労働観について考える

定」
本科目のシラバスの熟読

第2回 【授業テーマ】 教職の成立とその意義
【内容・方法 等】 公教育の成立
教職の誕生
戦前の教員養成
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章

第3回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（1）
【内容・方法 等】 教員への道
戦後教員養成の原則と制度
教員免許制度の確立
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章

第4回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（2）
【内容・方法 等】 教員免許制度の新たな展開
教員採用の動向と採用試験
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章・第12章

第5回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（3）
【内容・方法 等】 教員の研修の意義
教員の研修の種類と体系
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章

第6回 【授業テーマ】 教師教育と教職の専門性（4）
【内容・方法 等】 法定研修
教員の自己研修
【事前・事後学習課題】 教員研修体系に関する配布資料
テキスト第11章

第7回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（1）
【内容・方法 等】 戦前・戦後の教師像
憧れの教師
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章・終章

第8回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（2）
【内容・方法 等】 「不良教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】 「不良教師」に関する配布資料

第9回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（3）
【内容・方法 等】 「熱血教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】 「熱血教師」に関する配布資料

第10回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（4）
【内容・方法 等】 「人間教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】 「人間教師」に関する配布資料

第11回 【授業テーマ】 さまざまな教師像（5）
【内容・方法 等】 「プロ教師」（文献・映像に基づく教師像の探究）
【事前・事後学習課題】 「プロ教師」に関する配布資料

第12回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（1）
【内容・方法 等】 教室における指導者の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章・第8章

第13回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（2）
【内容・方法 等】 学校組織の構成員の視点からみた教員の役割・職務
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章
教職員の構成と校務分掌に関する配布資料

第14回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（3）
【内容・方法 等】 教員の任用と身分
教員の服務と身分保障
教員の勤務条件
【事前・事後学習課題】 教員の任用・服務等に関する配布資料

第15回 【授業テーマ】 教員の役割・職務（4）
【内容・方法 等】 教員のメンタルヘルス、バーンアウト
教育改革と教員
【事前・事後学習課題】 テキスト第9章

評価方法（基準）
定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的な態度も成績判定の資料とします。

教材等
教科書…佐島群己・小池俊夫『新版 教職論』学文社（1,600円＋税）
参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
教職について考えることは教育について考えることであり、「教え」「学び」「育ち」を含む「生き方」について考えることとなります。教養をもとに、広い視野で物事を捉える習慣を身につけましょう。
遅刻・早退等は厳禁です。教師を目指す者としての資質が問われます。

関連科目
教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育経営論」「教育課程論」「教育方法論」「生徒指導論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等
7号館3階 朝日研究室

備考
「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよ

教師論 Teacher Education				
朝日素明 (アサヒモトアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標
教職に関する理解を深め、自己の適性を見つめ直し、最終的に教職をめざすことについて主体的な進路選択を行うための判断材料を提供します。学生は、「教職の意義とは何か」「教師の役割や責任は何か」「教師の職務とはどのようなものか」「教師として生きるとはどのようなことか」などについて基礎的な知識を獲得し、「自分は教師に向いているのか」「自分はどのような教師をめざすのか」などの意思決定ができるようになります。

授業方法と留意点
講義を中心に、グループワーク等も織り交ぜて授業を進めます。また適宜、レポートを課します。
「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。
「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果（資格）
教員免許取得上必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
科目：教職の意義等に関する科目
各科目に含める必要事項：教職の意義及び教員の役割・教員の職務内容（研修、服務及び身分保障等を含む）・進路選択に資する各種の機会の提供等

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
教職への道
【内容・方法 等】 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
自らの学校・生徒体験、心に残る教師等についてのふりかえり
教職課程の履修動機
教師になることの意味
【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオのリマインダ設

う設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育原理 Educational Principles				
村田 俊明 (ムラタ トシアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

人間形成は、自立を促すプロセスである。人間の発達には誕生と同時に始まるが、保護と養育、しつけと教育という意図的な営為のうちに、教育の意義が認められる。もし教育がなされなければ、どうなるかは野性児の記録が示す通りであり、教育によってのみ人間になれるのである。人間にとっての教育の必要性と可能性について検討していく。また、教育がめざすものは何か。のぞましい人間とはどのような人間かなどについて考えていく。その他教育がめざしてきた人間像や教育基本法などについて考えていく。

授業方法と留意点

初めて教育学を学ぶ教職履修学生に、教育の諸原理を講述する形で進めるが、可能な限り、受講生の意見や感想、あるいは質問に答えていきたい。

科目学習の効果(資格)

(1) 高等学校教諭1種免許状 (2) 中学校教諭1種免許状の取得 (3) 学芸員資格の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各項目に含める必要事項：教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 教育とは何かを考える
【内容・方法等】 (1) オリエンテーション-教職課程と履修動機- (2) 教育の意味-自らの経験に学ぶ- (3) 「学ぶ」立場から「教える」立場へ
【事前・事後学習課題】 予習：自分にとって「教育とは何か」について考えておく。
- 第2回** 【授業テーマ】 人間形成のしくみを考える
【内容・方法等】 (1) 教育の必要性と可能性 (2) 野生児の記録
【事前・事後学習課題】 予習：もし教育を受けることがなかったら、どのようになるかについて考え、まとめておく。
- 第3回** 【授業テーマ】 人間形成のしくみを考える
【内容・方法等】 (1) 教育・教化・形成 (2) 人間形成と発達課題 (3) からだと心の教育 (4) ことばと文化の学習
【事前・事後学習課題】 予習：現代の発達課題について考え、まとめる。
- 第4回** 【授業テーマ】 わが国における教育としつけを考える
【内容・方法等】 (1) 子どもの社会化 (2) しつけと教育
【事前・事後学習課題】 予習：しつけのいまと昔についてまとめておく。
- 第5回** 【授業テーマ】 教育の思想-教育はどう考えられてきたか-(1)
【内容・方法等】 ソクラテスの産婆術とソフィストの講演、暗記と体罰の教育、コメニウスの感覚主義的教育と「世界図絵」について知る。
【事前・事後学習課題】 予習：教科書「教育の思想-教育はどう考えられてきたか-」を読んでおく。
- 第6回** 【授業テーマ】 教育の思想-教育はどう考えられてきたか-(2)
【内容・方法等】 ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベルからデューイに至る教育思想の系譜をたどる。ヘルバルト、オーエン、ケルシェンシュタイナーなど、近代教育思想の礎となった教育思想家に学ぶ。
【事前・事後学習課題】 復習：近代の教育思想と教育思想家の業績をまとめる。
- 第7回** 【授業テーマ】 教育の思想-わが国の近代化と教育の関係を学ぶ。
【内容・方法等】 福沢諭吉と「学問のすずめ」、森有礼と「学校令」、澤柳政太郎と開智学校など、わが国教育の近代化につくした教育家の思想と業績を知る。(NHKスペシャル「明治第一集 ゆとりか、学力か」視聴)
【事前・事後学習課題】 復習：近代の教育思想と教育思想家について感想をまとめて提出する。
- 第8回** 【授業テーマ】 教育の理念と目的について考える (1)
【内容・方法等】 (1) 「学制」と「被仰出書」 (2) 教育勅諭

- 【事前・事後学習課題】 予習：予習：わが国近代教育の理念を確認する。
- 第9回** 【授業テーマ】 教育の理念と目的について考える (2)
【内容・方法等】 (1) 憲法の教育規定 (2) 教育基本法を学ぶ-旧法・新法の比較を通して- (3) 学校教育法と教育の機会均等
【事前・事後学習課題】 予習：現行教育基本法の内容を確認する。
- 第10回** 【授業テーマ】 学校の歴史的な意味と課題を考える
【内容・方法等】 (1) 学校とは何か (2) 学校の発達 (3) 学校教育の展開と二つの歴史のエポック
【事前・事後学習課題】 予習：学校制度の発展について、何が分かったかをまとめる。
- 第11回** 【授業テーマ】 教育の再生と学校改革
【内容・方法等】 (1) 教育改革の系譜 (2) 自律的学校の創造 (3) 「生きる力」と学力向上
【事前・事後学習課題】 予習：現代学校改革の課題についてレポートする。
- 第12回** 【授業テーマ】 「教えること」と「学ぶこと」について考える
【内容・方法等】 (1) 教える・学ぶの成立条件 (2) 「学ぶ力」と「生きる力」
【事前・事後学習課題】 予習：「教えること」と「学ぶこと」についての体験をまとめておく。
- 第13回** 【授業テーマ】 授業とは何かを考える
【内容・方法等】 (1) 授業をつくる (2) 授業と教材 (3) 授業の形態と技術 (4) 授業と評価 (5) 教育評価の意味を考える
【事前・事後学習課題】 予習：理想的な授業の条件についてまとめておく。
- 第14回** 【授業テーマ】 教師のしごとについて考える
【内容・方法等】 (1) 教師のしごと (2) 子どもとの信頼関係 (3) 教育公務員としての教師 (4) 教師の成長と同僚
【事前・事後学習課題】 予習：教師のしごとにとって大事なことは何であるかをまとめておく。
- 第15回** 【授業テーマ】 討論と反省
【内容・方法等】 討論 教育原理を学んで得た新たな知見について
【事前・事後学習課題】 復習：二年度以降の教育学学習の課題を明確にする。

評価方法(基準)

定期試験成績、レポートの成績による総合評価を行う。

教材等

教科書…村田俊明 橋本はる美『教育探求の基礎』(税務経理協会)、2012年、2940円

参考書…J.A.L.シング『狼に育てられた子』(福村出版) 1470円
平沢茂編著『教育の方法と技術』(図書文化) 2000円
小林恵『学習指導要領』の現在』(学文社) 2800円

学生へのメッセージ

①自分の学習体験等を思い出してほしい。②教育関係の新聞報道等に常に関心を持ってほしい。③講義中に紹介する本も読んでほしい。

関連科目

「教育原理」「教育社会学」「道徳教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教職総合演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等

7号館3階(村田研究室)

教育心理学 Educational Psychology				
吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

学校での教育活動において、教師の果たす役割は大きい。学習の質を高めるために、教師が学習者を理解し、様々な形で援助していくためにはどうすればよいのか、それを考えていくにあたって必要な、基本的な知識を身につけることを目標とする。本科目では、特に以下の3点に焦点を当てて議論していく。すなわち、教育について考える際に、ある意味基本となる「発達と学習」、学習者が主体的に学ぶための「学習意欲」、学校を学習の場としてとらえたときの「人間関係」である。また、「個に応じた教育」について、個人差の理解、障害の理解と特別支援教育についても考える。

授業方法と留意点

講義形式で行う。

科目学習の効果（資格）

教員免許取得上必修、免許法施行規則に定められた「教育の基礎理論に関する科目」6単位のうち2単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程（障害のある幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程を含む。）

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等について。教育に対して心理学ができること
【事前・事後学習課題】
- 第2回** 【授業テーマ】 教育を支える認知発達1
【内容・方法等】 言語……言語とは何か、言語の機能、言語の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第11章を読む
- 第3回** 【授業テーマ】 教育を支える認知発達2
【内容・方法等】 思考……人間の思考の特徴、思考の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章、第9章を読む
- 第4回** 【授業テーマ】 教育を支える認知発達3
【内容・方法等】 記憶……記憶のメカニズム、記憶の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第4章、第5章を読む
- 第5回** 【授業テーマ】 こどもの学び1
【内容・方法等】 様々な学習……学習とは何か、条件づけ、観察学習
【事前・事後学習課題】 テキスト第0章の3、テキスト第1章を読む
- 第6回** 【授業テーマ】 こどもの学び2
【内容・方法等】 学ぶ方法いろいろ……メタ認知、学習観
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章を読む
- 第7回** 【授業テーマ】 学習を支える動機づけ1
【内容・方法等】 意欲とは何か……動機づけ過程、期待×価値理論、学習性無力感
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む
- 第8回** 【授業テーマ】 学習を支える動機づけ2
【内容・方法等】 さまざまな学習意欲（1）……外発的動機づけ
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む
- 第9回** 【授業テーマ】 学習を支える動機づけ3
【内容・方法等】 さまざまな学習意欲（2）……内発的動機づけ
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む
- 第10回** 【授業テーマ】 学習を支える動機づけ4
【内容・方法等】 学習意欲を育むために……報酬と罰、評価、目標
【事前・事後学習課題】 教科書第2章、第3章を読む
- 第11回** 【授業テーマ】 学習を支える人間関係1
【内容・方法等】 教師と生徒との関係……教師のモノサシ、教師期待効果、リーダーシップ
【事前・事後学習課題】 テキスト第0章の2を読む
- 第12回** 【授業テーマ】 学習を支える人間関係2
【内容・方法等】 生徒同士の関係……仲間の意味、仲間関係の発達
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章、12章を読む
- 第13回** 【授業テーマ】 個に応じた教育1
【内容・方法等】 個人差の理解と教育……ATI、学習方略
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章の3、テキスト第6章を読む
- 第14回** 【授業テーマ】 個に応じた教育2
【内容・方法等】 「障害」の理解と特別支援教育
【事前・事後学習課題】 テキスト第13章を読む
- 第15回** 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】

評価方法（基準）

小テスト30% 期末試験70%

教材等

教科書…「絶対役立つ教育心理学～実践の理論、理論を实践～」藤田哲也（編著） ミネルヴァ書房（2800円）

参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ

これまで受けてきた教育を思い出してください。また心理学の用語の中には、日常的に遣われているのとやや異なる意味で用いられるものがあることに留意してください。

関連科目

心理学

担当者の研究室等

7号館3階（吉田研究室）

教育社会学
Sociology of Education

村田俊明（ムラタ トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教員取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標

教育社会学は、社会的事実としての教育の営みを社会学的に研究する学問である。まず教科書をもとに基礎的知識について説明する。受講生には意見発表等を求めるので、教科書を予習し、各章の問題点や意見を明らかにしておく。さらに現代教育改革、とりわけ教員養成改革を例に、具体的データの収集と分析を通して教育社会学の研究視点と方法を理解する。

授業方法と留意点

教育社会学を「基礎」と「応用」から構成し、教育社会学の基本的概念や予備知識について講述する。「基礎」「応用」とともに、パソコンを活用してデータの検索や分析等を行い、グループ等による発表を行う。

科目学習の効果（資格）

（1）高等学校教諭1種免許状 （2）中学校教諭1種免許状の取得に必要です。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育の基礎理論に関する科目

各科目に含める必要事項：教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 基礎 教育社会学とは何か
【内容・方法等】 教育社会学の課題と方法を知る
社会化の意味と課題を知る
【事前・事後学習課題】 事前：教科書（1－教育社会学とは「14－教育社会学の技法」）を読んでくる。
- 第2回** 【授業テーマ】 基礎 現代社会と学校
【内容・方法等】 学校化の進展と構造について考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書（6－学校制度の社会学）を読んでレポートを書いてくる。
- 第3回** 【授業テーマ】 基礎 現代社会の変貌と教育
【内容・方法等】 情報社会の教育と社会化について考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書（3－社会化環境の構造変容）を読んでレポートを書いてくる。
- 第4回** 【授業テーマ】 基礎 子どもと学校
【内容・方法等】 カリキュラムと教育的知識について考える
学校の文化と教育空間の意味を考える
組織としての学校を考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書（7－教室空間・学校空間と教育過程）：「8－カリキュラムと教育的知識」：「9－学校の組織と文化」）を読んで、レポートを書いてくる。
- 第5回** 【授業テーマ】 基礎 階層・学歴・職業
【内容・方法等】 学歴社会と高等教育の発展について考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書（「10－学校の社会的機能」：「11－高等教育の社会学」：「12－階層・学歴・職業」）を読んで、レポートを書いてくる。
- 第6回** 【授業テーマ】 基礎 教育改革の動向と課題
【内容・方法等】 わが国の教育改革がめざしてきたものについて考える
【事前・事後学習課題】 事前：教科書（13－教育改革と学習社会））を読んで、レポートを書いてくる。
- 第7回** 【授業テーマ】 基礎 教師問題の鳥瞰図
【内容・方法等】 教員問題の系譜と現在を知る
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データから、わかったことをレポートする。
- 第8回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する（1）
【内容・方法等】 日本の教師集団を検討する
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。
- 第9回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する（2）
【内容・方法等】 教師像と養成の理念を考える
教員の需給関係を考える
【事前・事後学習課題】 事前課題 求められる教師について事前レポートを書いてくる。
事後課題 配布データからわかることをレポートする。
- 第10回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する（3）
【内容・方法等】 教師と学校改善を考える
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。
- 第11回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する（4）
【内容・方法等】 学校改善と学校評価を考える（1）
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。
- 第12回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する（5）
【内容・方法等】 学校改善と学校評価を考える（2）
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。
- 第13回** 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する（6）
【内容・方法等】 教員評価制度を考える（1）
【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

第14回 【授業テーマ】 応用 教員問題を検証する (7)
 【内容・方法 等】 教員評価制度を考える (2)
 【事前・事後学習課題】 事後課題 配布データを検討する。

第15回 【授業テーマ】 総括 教員問題の検証と教育社会学
 【内容・方法 等】 教師のライフコース、学校・教員の評価、教師としての「成長」などについて、総括的な討論を行う。
 【事前・事後学習課題】 事後課題 「基礎・応用」を通じて関心をもったこと・わかったことをレポートをまとめる。

評価方法 (基準)
 定期試験成績、課題発表、レポートの成績による評価を行う。

教材等
教科書…天野郁夫、藤田英典、荻谷剛彦『教育社会学』(放送大学教育振興会)、1998年、2310円
参考書…文部科学省『学校教員統計調査報告書(平成22年度)』国立印刷局、6000円
 小林恵『学習指導要領の現在』(学文社) 2800円

学生へのメッセージ
 文部科学省のホームページ、新聞等の教育関係の報道に関心を持つ。レポートの提出、発表を求める。

関連科目
 「教育原理」「教育社会学」「道德教育の研究」「教育心理学」「生徒指導論」「教育相談」「教育経営論」「教職総合演習」「各教科教育法」

担当者の研究室等
 7号館3階(村田研究室)

備考
 共同担当者 橋本はる美

教育経営論 Studies of Educational Administration				
朝日素明(アサヒ モトアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		前期	教免取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
 本科目では、公教育システムに関してなじみの深い事例を参照し、そこから政策や法制、機構、理論や論争、現実や実態を明らかにし、検討していきます。これを通して、私たちにってはあたりまえで意識することもないような、学校教育を中心とした公教育システムのしくみやはたらきについて理解します。具体的には、例えば「何をどう教えるのか」という内容的・技術的な事柄も、実はさまざまな制度やその運用の仕方などによって決められている様子がわかります。

授業方法と留意点
 プレゼンテーションソフトを用いた講義のほか、テキスト・資料の事前学習に基づくディスカッション(LTD: Learning Through Discussion)等のグループワークも織り交ぜて授業を進めます。事前学習は必須です。
 「未来ポートフォリオ」を通して資料配布、課題・レポートの提示・提出のほか、ディスカッションもします。
 「事前・事後学習課題」はすべて事前学習課題です。事後学習課題については別途、指示します。

科目学習の効果(資格)
 教員免許取得上選択必修であり、可能な限り修得することが望ましい科目
 【免許法施行規則に定める科目区分】
 科目: 教育の基礎理論に関する科目
 各科目に含める必要事項: 教育に関する社会的、制度的又は経営的事項

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回** 【授業テーマ】 オリエンテーション
 公教育とは
 【内容・方法 等】 授業概要、方法としてのLTD、「未来ポートフォリオ」の使用について説明
 公教育の成立前史
 教育における「公」と「私」
 【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオ」のリマインダを設定しておく。
- 第2回** 【授業テーマ】 教育権の構造
 【内容・方法 等】 「教育をする権利」「教育を受ける権利」「学習する権利」
 教育権論争について簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第3章1節を読んでくる。
- 第3回** 【授業テーマ】 教育を受ける権利の保障
 【内容・方法 等】 教育の制度原理
 「義務制」「無償制」にかかわって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第3章2節を読んでくる。
- 第4回** 【授業テーマ】 学校体系のしくみ
 【内容・方法 等】 段階性、系統性

学校体系の類型
 学校の種類と設置者
第5回 【授業テーマ】 学校体系の現代的課題
 【内容・方法 等】 選別・分離と接続・統合
 「選抜・選別」について簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第3章3節を読んでくる。
 学校の機能に関する配布資料を読んでくる。

第6回 【授業テーマ】 教育条件整備の法制度と新しい動向
 【内容・方法 等】 公教育を支える諸条件とは
 条件整備はどのようになされるか
 学校の「適正規模」「適正配置」にかかわって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第7章2・3節を読んでくる。
 学校統廃合に関する配布資料を読んでくる。

第7回 【授業テーマ】 学校の組織管理
 【内容・方法 等】 教職員配置と組織編制
 【事前・事後学習課題】 テキスト第4章1・2節を読んでくる。

第8回 【授業テーマ】 学校経営の新しい動向
 【内容・方法 等】 「開かれた学校」
 学校評議員制度、学校運営協議会制度
 地域運営学校について簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第4章3・4節を読んでくる。
 コミュニティスクールまたは学校参加に関する配布資料を読んでくる。

第9回 【授業テーマ】 教育課程経営
 【内容・方法 等】 学習指導要領の性質と特徴の変遷
 学力論争と教育評価論
 学力低下論争をめぐって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第10章1・2節を読んでくる。
 学力低下論争に関する配布資料を読んでくる。

第10回 【授業テーマ】 教科書制度と指導行政
 【内容・方法 等】 教科書検定
 教科書採択
 制度をめぐって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第10章3・4節を読んでくる。
 教科書検定または教科書採択制度に関する配布資料を読んでくる。

第11回 【授業テーマ】 社会教育行政
 【内容・方法 等】 社会教育と生涯学習
 社会教育の理念と展開
 【事前・事後学習課題】 テキスト第8章1・2節を読んでくる。

第12回 【授業テーマ】 生涯学習社会への移行と生涯学習振興
 【内容・方法 等】 社会教育行政の運営原則
 社会教育の諸制度
 社会教育不要論をめぐって簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第8章3・4節を読んでくる。
 社会教育不要論に関する配布資料を読んでくる。

第13回 【授業テーマ】 教育行政のはたらきと地方教育行政組織
 【内容・方法 等】 教育行政の原則
 教育委員会のしくみとはたらき
 教育委員会制度論の新動向に関して簡単なグループワーク
 【事前・事後学習課題】 テキスト第2章1節を読んでくる。
 教育委員会制度の動向に関する配布資料を読んでくる。

第14回 【授業テーマ】 国の教育行政と地方との関係
 【内容・方法 等】 国の教育行政を動かす組織のしくみとはたらき
 教育行政関係の新しい動向
 【事前・事後学習課題】 テキスト第2章2・3節を読んでくる。

第15回 【授業テーマ】 教育費と教育財政
 【内容・方法 等】 教育財政の考え方
 国・地方の教育費と教育財政
 義務教育費国庫負担制度とその改革
 学校財務
 【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読んでくる。

評価方法 (基準)
 定期試験を実施します。その他、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

教材等
教科書…勝野正章・藤本典裕『教育行政学 改訂版』学文社(1,800円+税)
参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
 教員採用試験で頻出の教育法規については授業中に折に触れ解説しますが、採用試験ではそれを基本としてさらに幅広い知識、深い理解と応用力が要求されます。本科目は採用試験対策のための講義ではありませんので、各自が自主的に採用試験受験準備に取り組んでください。
 遅刻・早退等は厳禁です。専門職業人・教師としての資質が問われます。

関連科目
 教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教育社会学」「教師論」「教

育課程論」に関連する事項を含みます。

担当者の研究室等

7号館3階 朝日研究室

備考

「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしておきましょう。

教育課程論

Studies of Curriculum Development

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

(1) 教育課程(カリキュラム)とは何かについて考える。教育課程(カリキュラム)はどのような目的から、どのような内容で作成されていったかの歴史的経緯を考察する。また、それと学校システムとの関わりから、その意義や役割を理解する。

(2) わが国における学習指導要領の変遷や戦前・戦後のカリキュラムの実践的開発を知ると共に、これからのカリキュラム開発の課題について考える。

授業方法と留意点

テキストを中心にプリント教材等を用いた講義を中心に授業を進める。各自が取得する免許教科の中学校・高等学校の教科書を複数概観することが望ましい。

科目学習の効果(資格)

教員免許(中学校・高等学校)取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目: 教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項: 教育課程の意義及び編成の方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教師と教育課程論
【内容・方法等】 ・教育課程の現代的課題
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp15-16
- 第2回 【授業テーマ】 教師と教育課程論
【内容・方法等】 ・国際的な教育調査で問われている「学力」
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp16-17
- 第3回 【授業テーマ】 教師と教育課程論
【内容・方法等】 ・教育課程編成の課題
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp18-19
- 第4回 【授業テーマ】 教育課程(カリキュラム)の概念と構造
【内容・方法等】 ・教育課程・学習指導要領とは何か
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp21-22
- 第5回 【授業テーマ】 教育課程(カリキュラム)の概念と構造
【内容・方法等】 ・潜在的カリキュラム
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp23-25
- 第6回 【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・戦後教育の「振り子」と現在の課題
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp85
- 第7回 【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・試案としての学習指導要領と経験主義
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.85-87
- 第8回 【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・新教育批判と系統学習論、学習指導要領の「法的拘束力」
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp88-90
- 第9回 【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・文部省の2つの現代化—能力主義をめぐる
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp91-93
- 第10回 【授業テーマ】 日本における教育課程の変遷
【内容・方法等】 ・学習指導要領の大綱化・弾力化・「ゆとり」
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.95-97
- 第11回 【授業テーマ】 欧米社会における教育課程の系譜
【内容・方法等】 ・近代以前の教育課程
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp70-74
- 第12回 【授業テーマ】 欧米社会における教育課程の系譜
【内容・方法等】 ・近代の学校教育と教育課程論
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.74-78
- 第13回 【授業テーマ】 欧米社会における教育課程の系譜
【内容・方法等】 ・「新教育」と現代の教育課程論
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.78-84
- 第14回 【授業テーマ】 教育課程をめぐる諸問題
【内容・方法等】 ・総合的な学習と教育課程
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.140-146
- 第15回 【授業テーマ】 教育課程をめぐる諸問題
【内容・方法等】 インクルージョンと教育課程
【事前・事後学習課題】 課題 テキストPP.158-164

評価方法(基準)

定期試験、レポート及び授業態度によって総合評価を行う。

教材等

教科書…メインテキスト『教育課程』山崎 準二著 学文社(1800円)サブテキスト「中学校 学習指導要領」文部科学省(244円)
「高等学校 学習指導要領」文部科学省(520円)

参考書…『カリキュラムの批評』世織書房(5040円) その他、授業時に適宜紹介する。

学生へのメッセージ

教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めることが大切である。そのため、各自の中学校・高等学校での体験を省察し、学ぶことの視点に立った、計画的学習を考えること。また「教育実習」を視野に入れた授業計画を考えることが重要。

関連科目

教職科目全般と関連がある。他の教職科目と重なる所や特徴点を整理していくことが重要。

担当者の研究室等

7号館3階(深川研究室)

備考

2009年度以前入学生は、(高校)教免取得上選択

商業科教育法

Business Education Method

河合 隆廣 (カワイ タカヒロ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	「商業」教免 取得上必修	4

授業概要・目的・到達目標

【授業概要】

普通科出身の学生にも受講しやすいうちに、「国際経済と我が国教育の変遷」をテーマとして、戦後の我が国の教育と国際社会の変化を歴史的に分析することにより、今後我が国の教育が何をめざしていくべきかを考察する。

具体的には、学習指導要領の変遷と歴史的背景を分析することにより、戦後の商業教育が経済や社会的な背景とどのような関わりをもつて変化してきたかについて考察する。

後半は、大局的な観点から教育の意義・在り方を追及し、教育の在り方について思考させ、現代社会にどのような教育が必要であるか、教育者としてどのような姿勢で教育に臨むべきかについて考察する。

また、本年度より施行される新しい学習指導要領についても学習し、改訂の趣旨、教科の目標・学習内容、そして「生きる力」を育成するためにどのような工夫が必要であるかを考察する。

【到達目標】

生徒との関わり合いの強い商業科は、教師としてやり甲斐があり魅力的である。商業科は高校を最後に社会に出ていく生徒が多いため、教育者として常に理念や使命感を踏まえ、時代の変化に対応できる先見的で意欲的な取り組みができる資質と能力を育成することを目標とする。

授業方法と留意点

一方的な教授法ではなく、学生の意見や疑問に的確に答え、調査研究成果を発表させるなどの対話型授業を行う。

科目学習の効果(資格)

教員採用試験では、「公民」や「情報」などとの「複数教科の教職員免許」を取得していることが自身の強みとなる。

この授業で習得・向上できる社会で役に立つ能力

(1)人間関係を形成する力 (2)問題を発見する力 (3)学習・働きの意義を理解する力

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育の意義と商業教育の魅力
【内容・方法等】 教育の意義と商業教育の魅力について考察する。
【事前・事後学習課題】 教職をめざす理由と心構えについて、レポート作成・発表をさせる。
- 第2回 【授業テーマ】 戦後の教育改革と社会的背景
【内容・方法等】 戦後初の学習指導要領が民主主義教育を導入、アメリカ教育使節団の影響について考察する。
【事前・事後学習課題】 「事前学習」アメリカ教育使節団の影響について研究させる。
- 第3回 【授業テーマ】 日本初の学習指導要領と商業教育(昭和23年)
【内容・方法等】 デューイの経験主義的教授理論について学習し、「課題解決学習」が学習指導要領に活かされていることを考察する。
【事前・事後学習課題】 「事前学習」日本初の学習指導要領と商業教育について研究させる。
- 第4回 【授業テーマ】 国際社会の二極化の問題
【内容・方法等】 国際社会の二極化(資本主義と社会主義)の問題について考察する。
【事前・事後学習課題】 「事前学習」戦後の国際社会の問題に

- について研究させる。
- 第5回 【授業テーマ】 日本経済の復興と社会的背景
【内容・方法 等】 国際社会の二極化が日本経済、国民生活に及ぼす影響について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 経済復興期に望まれた教育について研究させる。
- 第6回 【授業テーマ】 経済復興期の学習指導要領と商業教育（昭和25年）
【内容・方法 等】 経済復興期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 経済復興期に望まれた教育について研究させる。
- 第7回 【授業テーマ】 高度経済成長初期の日本経済と社会的背景
【内容・方法 等】 日本の独立と高度経済成長初期（神武景気）に向かう社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 高度経済成長初期に望まれた教育について研究させる。
- 第8回 【授業テーマ】 高度経済成長初期の学習指導要領と商業教育（昭和31年）
【内容・方法 等】 経験主義的学習から知識重視の教育に転換した社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 知識重視の教育に転換した社会背景について研究させる。
- 第9回 【授業テーマ】 高度経済成長中期の日本経済と社会的背景
【内容・方法 等】 高度経済成長中期（岩戸景気）における技術革新と国民生活などの社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 高度経済成長中期の学習指導要領と商業教育について研究させる。
- 第10回 【授業テーマ】 高度経済成長中期の学習指導要領と商業教育（昭和35年）
【内容・方法 等】 高度経済成長中期（昭和35年）の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 高度経済成長中期の学習指導要領と商業教育について研究させる。
- 第11回 【授業テーマ】 高度経済成長後期の日本経済と社会的背景
【内容・方法 等】 高度経済成長後期（いざなぎ景気）と教育の現代化に向かう社会的背景について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 教育の現代化に向かう社会的背景について研究させる。
- 第12回 【授業テーマ】 高度経済成長後期の学習指導要領と商業教育（昭和45年）
【内容・方法 等】 高度経済成長後期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 「4 6 答申」の経緯とその影響について研究させる。
- 第13回 【授業テーマ】 国際経済の混乱と日本の高度経済成長の終焉
【内容・方法 等】 国際経済の混乱（ブレトン・ウッズ体制の崩壊、オイル・ショック等）と日本の高度経済成長の終焉について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 経済成長終焉期と教育の混乱について研究させる。
- 第14回 【授業テーマ】 高度経済成長終焉期と教育の混乱
【内容・方法 等】 高度経済成長の歪み(公害、教育現場の混乱)と教育の転換について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 経済成長終焉期と教育の混乱について研究させる。
- 第15回 【授業テーマ】 高度経済成長終焉期の学習指導要領と商業教育（昭和53年）
【内容・方法 等】 高度経済成長終焉期の学習指導要領と教育の混乱について思考し、どのように教育が転換したかを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 経済成長終焉期と教育の混乱について研究させる。
- 第16回 【授業テーマ】 教育転換期の社会的背景
【内容・方法 等】 国際社会が変動為替相場制に移行し、日本経済が混乱に陥る状況で考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 変動為替相場制の移行と日本経済の混乱について研究させる。
- 第17回 【授業テーマ】 臨時教育審議会と新しい学力観
【内容・方法 等】 国民的課題に対する臨時教育審議会と新しい学力観について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 臨時教育審議会と新しい学力観について研究させる。
- 第18回 【授業テーマ】 教育転換期の学習指導要領と商業教育（平成元年）
【内容・方法 等】 教育の転換期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 教育転換期の教育について研究させる。
- 第19回 【授業テーマ】 社会主義国家の崩壊と国際社会の混乱
【内容・方法 等】 国際社会の混乱（社会主義国家の崩壊）と日本国内の混乱について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 国際社会の混乱と日本国内の混乱について研究させる。

- 第20回 【授業テーマ】 バブル経済の崩壊と新しい教育への転換
【内容・方法 等】 バブル経済の崩壊と日本社会の混乱、教育の混乱について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 日本社会の混乱と教育の混乱について研究させる。
- 第21回 【授業テーマ】 ゆとり教育期の学習指導要領と商業教育（平成11年）
【内容・方法 等】 ゆとり教育期の学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 総合的な学習の時間と商業教育について研究させる。
- 第22回 【授業テーマ】 新学習指導要領改訂のねらい
【内容・方法 等】 新学習指導要領改訂の趣旨と目的について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 新学習指導要領改訂の趣旨と目的について研究させる。
- 第23回 【授業テーマ】 「確かな学力」育成のための工夫
【内容・方法 等】 新学習指導要領改善点と「確かな学力」育成のための工夫について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 新学習指導要領改善点と「確かな学力」育成のための工夫について研究させる。
- 第24回 【授業テーマ】 新学習指導要領と商業教育（平成21年）
【内容・方法 等】 新学習指導要領と商業教育について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 新学習指導要領と商業教育について研究させる。
- 第25回 【授業テーマ】 教育の現代的課題の分析
【内容・方法 等】 現代的教育的課題を協議させ、問題行動について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 各自の経験に基づいた教育的課題について研究させる。
- 第26回 【授業テーマ】 問題行動メカニズム分析
【内容・方法 等】 現代的教育的課題の改善方法について協議させ、問題行動メカニズムを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 問題行動について研究し、改善方法について研究させる。
- 第27回 【授業テーマ】 人格形成と自立に向けた教育手法
【内容・方法 等】 人格形成と自立に向けた教育手法について考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 発達段階と自立について研究させる。
- 第28回 【授業テーマ】 アイデンティティの確立
【内容・方法 等】 心理社会的発達理論分析により、教育の大切さを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 アイデンティティの確立について研究させる。
- 第29回 【授業テーマ】 意欲を高めるための学習環境
【内容・方法 等】 脳科学による行動分析により、学習環境の大切さを考察する。
【事前・事後学習課題】 〔事前学習〕 よい学習環境をどうつくるのかを研究させる。
- 第30回 【授業テーマ】 商業教育研究
評価方法（基準）
小テスト・レポート40%、授業への参加度（学習意欲、発表等）60%とし、総合的に判断して評価する。

教材等
教科書…レジメを配布する。
参考書…資料を配布する。

学生へのメッセージ
教員採用試験では、日本商工会議所簿記検定2級程度の問題が出題されるので、在学中に取得しておこう。

関連科目
経営学部や経営情報学部の専門科目は、商業科の専門科目として活かす魅力がある。
例えば、簿記、会計、原価計算、管理会計、情報処理、電子商取引、経営学、経済学、マーケティング、民法、会社法、ベンチャービジネス論など、幅広く履修しておこう。

担当者の研究室等
連絡があれば、経営学部事務室に申し出ること。

特別活動論 Extra-Curricular Activities				
深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
1		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標
 (1) 人間関係の希薄化が指摘される社会にあって、子ども達の社会力不足が学校教育の大きな課題の一つになっている。そ

のことから発達に沿った集団体験活動を目的とする特別活動は益々その重要性が増してきている。具体的には、学級（ホームルーム）活動、生徒会活動、学校行事の3本柱それぞれの特徴、内容、指導課題について考えていく。(2) 中学校、高等学校の特別活動について、具体的事例を交えてグループ・ワークを行う。また、学校におけるガイダンス機能の充実のため、カウンセリング・マインドとは何かについて考える。

授業方法と留意点

テキストを中心にプリント教材等を用いて理解を深める。また、レポートや各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより、プレゼンテーションの力、まとめる力をつける。

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各科目に含める必要事項：特別活動の指導法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 特別活動の目標
【内容・方法等】 ・学校教育の現状と課題
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.7-12
- 第2回 【授業テーマ】 特別活動の基本的な性格と教育的意義
【内容・方法等】 ・家庭や地域社会での子どもたちの生活体験や社会体験の実態と特別活動
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.13-15
- 第3回 【授業テーマ】 特別活動の基本的な性格と教育的意義
【内容・方法等】 ・特別活動の教育的意義
【事前・事後学習課題】 課題 テキストp15
- 第4回 【授業テーマ】 特別活動の基本的な性格と教育的意義
【内容・方法等】 ・特別活動の内容相互の関連
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.16-24
- 第5回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法等】 ・学級活動
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.25-43
- 第6回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法等】 ・学級活動の指導計画
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.44-50
- 第7回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法等】 ・生徒会活動の目標と内容
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.58-61
- 第8回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法等】 ・生徒会活動と学校行事・ボランティア活動
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.62-63
- 第9回 【授業テーマ】 学級会活動・生徒会活動・学校行事の目標と内容
【内容・方法等】 ・学校行事の目標と内容
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.74-76
- 第10回 【授業テーマ】 学校行事
【内容・方法等】 ・儀式的行事・文化的行事のねらいと具体的な取り組み
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.76-78
- 第11回 【授業テーマ】 学校行事
【内容・方法等】 ・健康安全・体育的行事、旅行・集団宿泊的行事、勤労生産・奉仕的儀儀のねらいと具体的な取り組み
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.78-82
- 第12回 【授業テーマ】 特別活動の指導計画と留意事項
【内容・方法等】 ・特色ある学級活動・生徒会活動・学校行事の創意工夫(ビデオ教材を使った計画の実際)
【事前・事後学習課題】 課題 ビデオ感想のまとめ
- 第13回 【授業テーマ】 特別活動の課題
【内容・方法等】 ・中央教育審議会答申と特別活動の課題
【事前・事後学習課題】 課題 テキストp92
- 第14回 【授業テーマ】 特別活動指導計画と配慮事項
【内容・方法等】 ・特別活動の全体計画と各活動・学校行事の年間指導計画について
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.93-99
- 第15回 【授業テーマ】 特別活動指導計画と配慮事項
【内容・方法等】 ・ガイダンス機能(ビデオ「教師の行なうカウンセリング」)
【事前・事後学習課題】 課題 ビデオ感想のまとめ

評価方法（基準）

定期試験、レポート等及び授業態度によって総合評価を行う。

教材等

教科書…テキスト『中学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省(115円)サブテキスト『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』文部科学省 (210円)

参考書…必要に応じて資料を配布

学生へのメッセージ

教職科目の特質をよく理解し、実践的理解を深めること。特に

生徒の話を「聞くこと」など、カウンセリングの基礎への理解が大切である。そのため、自己の中学校・高等学校での体験を踏まえ、具体的に理解し、「教育実習」を視野に入れて自分のノートを整理していくことが望まれる。

関連科目

全教職科目と関連するが、特に「教育課程論」、「生徒指導論」、「教師論」、「教育心理学」などと関連して理解することが大切である。

担当者の研究室等

7号館3階(深川研究室)

教育方法論

Studies of Educational Method

深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教員取得上必修	2

授業概要・目的・到達目標

(1) 学校教育の中心は日々の授業活動である。そのことを踏まえ、「授業とは何か」「学びとは何か」を問い直し、授業というものを基本から考え、捉えることが大切である。(2) そのために、教育方法の歴史的な考察、特に日本の戦後教育の歩みを辿り、その目的と方法を考えていく。また、現在の教育方法の課題となっている情報機器・視聴覚教材を活用した授業の原理、構成、方法について学ぶ。

授業方法と留意点

"テキストを中心にプリント、視聴覚教材等を用いた講義方式で進める。また、各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。"

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：教育課程及び指導法に関する科目

各項目に含める必要事項：教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育方法と教育実践
【内容・方法等】 ・「学ぶこと」と「教えること」を見つめ直すことから、授業や学習の原理について考える・授業のガイダンス。
【事前・事後学習課題】 課題 大阪府教委資料「学校現場が求める教師像」をまとめる
- 第2回 【授業テーマ】 教育方法と学びの指導
【内容・方法等】 ・「学力とは何か」を問い直し、そのことから、学びと学力を考察する。その上に立って、授業のあり方を考えていく。
【事前・事後学習課題】 課題 志水宏吉著『学力を考える』岩波新書を読んでおく
- 第3回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・近代以前の教育方法
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.7-8
- 第4回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・中世の教会と大学の教育
・宗教革命と印刷術の発明
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.8-9
- 第5回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・教育学の成立—コメニウス
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.10-12
- 第6回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・合自然の教育学—ペスタロッチ
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.12-14
- 第7回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・国民国家の教育学—ヘルバルトとヘルバルト主義
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.14-18
- 第8回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・子ども中心の教育と学びの共同体—デュロイ
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.18-20
- 第9回 【授業テーマ】 教育方法学の歴史(欧米の教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・効率主義の教育学—ボビットとチャーターズ
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.20-22
- 第10回 【授業テーマ】 日本の授業と授業研究(日本教育史を中心に)
【内容・方法等】 ・授業の成立と制度化
・戦後の新教育
【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp.33-35
課題 テキストpp.38-40
- 第11回 【授業テーマ】 授業の構想と計画(1)

- 【内容・方法等】 ・構想と計画の基本的視点
 ・指導案と教材研究
 ・教育における情報機器の活用
- 第12回 【事前・事後学習課題】 課題 指導案の作成(1)
 【授業テーマ】 授業の構想と計画(2)
 【内容・方法等】 ・授業と教授メディア
 ・コンピューターの利用(情報機器とその教材活用)
- 第13回 【事前・事後学習課題】 課題 指導案の作成(2)
 【授業テーマ】 授業の構想と計画(3)
 【内容・方法等】 ・コンピューターを活用した授業デザイン
 ・授業改善の評価と方法
- 第14回 【事前・事後学習課題】 課題 コンピューターを活用した授業評価の集計と活用のまとめ
 【授業テーマ】 日本の授業と授業研究(戦後教育における校内研修を中心にして)
- 第15回 【内容・方法等】 ・授業研究と教職研修
 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp40-46
 【授業テーマ】 教職の専門性とは何か
 【内容・方法等】 ・教師像の探究と実践的見識をめぐって
 【事前・事後学習課題】 課題 テキストpp135-157

評価方法(基準)
 定期試験、レポート等によって総合評価を行う。

教材等
 教科書…「教育方法学」佐藤 学著 岩波書店(2060円)
 参考書…「教育の方法・技術」松平信久 横須賀薫編 教育出版(2000円)
 その他授業時に、適宜紹介する。

学生へのメッセージ
 教師を目指す第一歩は、自己体験を通じて、「学ぶとは何か」を自分で捉え直すことが大切である。そのことを通じて、「教えるとは何か」に向けたイメージ化に近づくことが出来る。「教育実習」を視野に入れた具体的な授業構想やそのための研究と思考の努力が大切である。

関連科目
 教職科目全般と関連がある。特に、「教師論」「教育原理」などと関連し理解することが大切である。

担当者の研究室等
 7号館3階(深川研究室)

- 第3回 【授業テーマ】 生徒指導の理論(1)
 【内容・方法等】 理論の重要性
 発達に関する理論
- 第4回 【事前・事後学習課題】 テキストpp.32-39
 【授業テーマ】 生徒指導の理論(2)
 【内容・方法等】 生徒指導における治療的支援に関する理論
 相談理論など
- 第5回 【事前・事後学習課題】 テキストpp.39-42
 【授業テーマ】 生徒理解の進め方(1)
 【内容・方法等】 生徒理解の意義と目的
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.43-46
- 第6回 【授業テーマ】 生徒理解の進め方(2)
 【内容・方法等】 生徒理解の方法
 生徒の自己理解の支援
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.46-56
- 第7回 【授業テーマ】 生徒理解の進め方(3)
 【内容・方法等】 教師の生徒認知のありよう
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.56-61
- 第8回 【授業テーマ】 中間試験
 【内容・方法等】 これまでの授業内容についての試験
 【事前・事後学習課題】 前回までの復習
- 第9回 【授業テーマ】 学級経営の進め方(1)
 【内容・方法等】 学級経営の意義
 学級集団の役割・機能
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.63-68
- 第10回 【授業テーマ】 学級経営の進め方(2)
 【内容・方法等】 学級集団の力学
 学級経営の方法
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.68-74
- 第11回 【授業テーマ】 学級経営の進め方(3)
 【内容・方法等】 教師のリーダーシップ
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.74-79
- 第12回 【授業テーマ】 生徒指導上の諸問題の理解と対応
 【内容・方法等】 生徒指導上の諸問題とは
 最近の諸問題の動向
 諸問題にどう対応するか
 【事前・事後学習課題】 生徒指導上の諸問題に関する配布資料
- 第13回 【授業テーマ】 進路指導の意義と課題
 【内容・方法等】 進路指導の意義と課題
 進路指導に関する諸理論
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.135-159
- 第14回 【授業テーマ】 勤労観・職業観の形成と変容
 【内容・方法等】 青少年の勤労観・職業観
 勤労観・職業観の形成と変容
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.176-195
- 第15回 【授業テーマ】 学校教育における進路指導の実践展開
 【内容・方法等】 進路指導における「ガイダンスの機能」
 進路指導実践の展開モデル
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.215-234

評価方法(基準)
 定期試験を実施します。その他、中間試験の得点、レポートの内容、受講に係る積極的態度も成績判定の資料とします。

教材等
 教科書…高橋超・石井真治・熊谷信順『生徒指導・進路指導』ミネルヴァ書房(2,500円+税)
 参考書…授業中に適宜、指示します。

学生へのメッセージ
 生徒指導、進路指導を学ぶ原資になる自らの体験は大事です。さらに自らの体験を対象化して考える習慣をつけましょう。そのために、基礎的な知識をしっかりと身につけてください。授業への遅刻、無断欠席・早退等は厳禁です。生徒指導を行おうとする者としての適格性が問われます。

関連科目
 教職科目全般、とりわけ「教育原理」「教師論」「教育心理学」「特別活動の理論と方法」「教育経営論」に関連する事柄を含みます。

担当者の研究室等
 7号館3階 朝日研究室

備考
 「未来ポートフォリオ」のリマインダを、すべてを受信するよう設定し、情報を確実に受け取ることができるようにしましょう。

生徒指導論(進路指導を含む) Studies of Guidance and Counseling				
朝日素明(アサヒモトアキ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
2		前期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標
 生徒指導、進路指導は、学校教育をすすめるうえで重要な役割を占めています。非行、いじめ、不登校、学級崩壊、受験競争、進路のミスマッチなど、生徒指導・進路指導上の諸問題については、その解決の重要性が認識されています。本科目をとおして学生は、このような生徒指導、進路指導の意義や指導の方法に関する基本的な事柄について必要最低限の知識を獲得します。

授業方法と留意点
 プレゼンテーションソフトを用いて講義をしたうえで、内容をめぐってディスカッション等も織り交ぜて授業を進めます。また時折、レポートを課します。
 「未来ポートフォリオ」を通じて資料配布、課題・レポートの提示・提出、ディスカッションをします。
 「事前・事後学習課題」はすべて事前課題です。事後課題については別途、指示します。

科目学習の効果(資格)
 教員免許取得上必修
 【免許法施行規則に定める科目区分】
 科目：生徒指導、教育相談及び進路指導に関する科目
 各科目に含める必要事項：生徒指導の理論及び方法、進路指導の理論及び方法

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 オリエンテーション
 生徒指導の目標と意義
 【内容・方法等】 科目概要・「未来ポートフォリオ」の使用について説明
 自分の生徒指導上の体験のふりかえり
 生徒指導の目標と意義
 【事前・事後学習課題】 「未来ポートフォリオ」のリマインダ設定
 テキストpp.3-10
- 第2回 【授業テーマ】 生徒指導の実践
 【内容・方法等】 生徒指導の実践課題と領域
 【事前・事後学習課題】 テキストpp.10-24

教育相談(カウンセリングの基礎を含む) School Counseling				
吉田佐治子(ヨシダサチコ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標
 教育相談の考え方や進め方についての理解を深め、生徒が成長

する過程に生じるさまざまな課題や問題に対処するための援助の考え方や実際、カウンセリングの基礎知識と教育相談の技法を身につけることを目標とする。学校における教育相談に焦点を当て、教師が行う教育相談活動の基本的な考え方や教育相談に必要なスキルを身につけるために、教育相談のもつ今日的な意義を解説し、カウンセリングの基礎知識およびその実践的な手法を紹介する。併せて、「問題」に悩む児童・生徒への実践的な取り組み方を考える。

授業方法と留意点

講義と演習を組み合わせで行う。

科目学習の効果（資格）

教員免許状取得上必修、免許法施行規則に定められた「生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目」4単位のうち2単位を充足。

【免許法施行規則に定める科目区分】

科目：生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目

各科目に含める必要事項：教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 ガイダンス
【内容・方法 等】 授業内容、授業の進め方、評価基準等について
【事前・事後学習課題】 _____
- 第2回 【授業テーマ】 教育相談とは何か
【内容・方法 等】 学校における教育相談とカウンセリング、基本的な考え方、教師としての立場、カウンセリングマインド
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読む
- 第3回 【授業テーマ】 教育相談とスクールカウンセラーの役割の違い
【内容・方法 等】 教育相談とカウンセリングとの違い、教師とカウンセラーとの違い
【事前・事後学習課題】 テキスト第1章、第2章を読む
- 第4回 【授業テーマ】 カウンセリングの理論と実際
【内容・方法 等】 カウンセリングの基礎、技法、実際
【事前・事後学習課題】 テキスト第2章を読む
- 第5回 【授業テーマ】 さまざまなカウンセリング
【内容・方法 等】 カウンセリングを学校教育に活かすための考え方
【事前・事後学習課題】 テキスト第10章を読む
- 第6回 【授業テーマ】 校内での協体制、他機関との連携
【内容・方法 等】 校内での役割分担と協体制、専門機関との連携とその方法
【事前・事後学習課題】 テキスト第12章、第13章を読む
- 第7回 【授業テーマ】 こころの発達と危機
【内容・方法 等】 発達段階と危機、特に青年期について。
【事前・事後学習課題】 _____
- 第8回 【授業テーマ】 問題の理解と対応
【内容・方法 等】 問題とは何か、その原因・背景と対応
【事前・事後学習課題】 テキスト第3章を読む
- 第9回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際（1）
【内容・方法 等】 不登校……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】 テキスト第5章を読む
- 第10回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際（2）
【内容・方法 等】 いじめ……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】 テキスト第6章を読む
- 第11回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際（3）
【内容・方法 等】 学級崩壊……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】 テキスト第7章を読む
- 第12回 【授業テーマ】 相談援助活動の実際（4）
【内容・方法 等】 反社会的行動……その理解と対応（学生グループ発表）
【事前・事後学習課題】 テキスト第8章を読む
- 第13回 【授業テーマ】 保護者への援助
【内容・方法 等】 「家族」という考え方、保護者への対応、親子関係
【事前・事後学習課題】 テキスト第11章を読む
- 第14回 【授業テーマ】 教員のメンタル・ヘルス
【内容・方法 等】 教員自身が健康であるために、教員への対応
【事前・事後学習課題】 テキスト第14章を読む
- 第15回 【授業テーマ】 まとめ
【内容・方法 等】 授業全体のまとめ
【事前・事後学習課題】 _____

評価方法（基準）

グループ発表50% 期末試験50%

教材等

教科書…「学校教育相談」一丸藤太郎・菅野信夫（編著）ミネルヴァ書房（2200円）
参考書…授業の中で随時紹介する。

学生へのメッセージ

これまでの学校での「困った」経験を思い出してみてください。

関連科目

教育方法論、生徒指導論、教育心理学、教育社会学など。

担当者の研究室等

7号館3階（吉田研究室）

教育実習I

Teaching Practice I

村田俊明（ムラタ トシアキ）

配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		後期	教員取得上必修	1

授業概要・目的・到達目標

（1）教育実習校における実習に必要な教育実践の基本を理解して、教科指導、生徒指導等の実際について有効な指導計画を立案し、授業が効果的に展開できるようにする。（2）教育実習の実際についての情報を提供し、これらにもとづく討議ならびにビデオ等を用いた演習を交えて授業を展開する。（3）教育実習の現状と課題についての認識を深めるとともに教育実習生としての基本的心がまえについての理解を深める。

授業方法と留意点

テキストを中心とした講義及び、視聴覚教材等を用いた演習方式で進める。模擬授業、レポートや各自の中学校・高等学校時代の経験発表などにより理解を深める。

科目学習の効果（資格）

教員免許（中学校・高等学校）取得上必修科目である。

【免許法施行規則に定める科目区分】

教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育実習の意義
【内容・方法 等】 （1）オリエンテーション（2）教育実習の目的と意義（3）免許制度の概要について
【事前・事後学習課題】 開拓した実習校における実習の基本情報を整理しておく。
- 第2回 【授業テーマ】 教育実習の現状について
【内容・方法 等】 （1）開放制教師養成制度について（2）中学校／高等学校の現状と課題について
【事前・事後学習課題】 教科書から教育実習の現状を整理しておく。
- 第3回 【授業テーマ】 教育実習の内容と形態等について
【内容・方法 等】 （1）教育実習の心がまえと教育実習の基本となる事項について
（2）グループディスカッション・生徒の人権に配慮すること
【事前・事後学習課題】 教育実習にのぞむ姿勢、心がまえを整理し、紙に書いておく。
- 第4回 【授業テーマ】 教育実習の実際（中学校）
【内容・方法 等】 （1）ビデオ教材を通して中学校での実習への理解を深める（2）意見交換及び討議
【事前・事後学習課題】 中学校の教育実習で不明な点を簡条書きにまとめ、討議に備える。
- 第5回 【授業テーマ】 教育実習の実際（高等学校）
【内容・方法 等】 （1）ビデオ教材を通して、高等学校での実習への理解を深める（2）意見交換及び討議
【事前・事後学習課題】 高等学校の教育実習で、不明な点を簡条書きにまとめ、討議に備える。
- 第6回 【授業テーマ】 授業の方法と技術
【内容・方法 等】 教育メディアの特徴と使い方について検討する。
【事前・事後学習課題】 教育メディアの多様性とその特徴についてまとめておく。
- 第7回 【授業テーマ】 学習指導案・授業シナリオづくり（1）
【内容・方法 等】 （1）授業の準備と配慮事項、（2）学習指導案の書き方、（3）教科指導の学習指導案の作成、板書計画
【事前・事後学習課題】 授業プランをたて、模擬授業の準備をする。
- 第8回 【授業テーマ】 学習指導案・授業シナリオづくり（2）
【内容・方法 等】 授業の自己評価とその観点の作成・検討
【事前・事後学習課題】 よい授業とは何かを考え、評価の観点とポイントを考えておく。
- 第9回 【授業テーマ】 学習指導案・授業シナリオづくり（3）
【内容・方法 等】 学級（ホームルーム）活動等の指導計画の作成、
【事前・事後学習課題】 協会外の教育活動の必要性と指導のポイントを整理しておく。
- 第10回 【授業テーマ】 模擬授業（1）
「授業シナリオ」に基づく模擬授業を行い、「授業シナリオ」の改善を行う。

- 【内容・方法 等】 「わかる授業」づくりの工夫と授業研究
「授業シナリオづくり」のアイデア
- 【事前・事後学習課題】 「わかる授業」とは何かを考えておく。
「授業シナリオづくり」の試み
- 第11回 【授業テーマ】 模擬授業（2）
「授業シナリオ」に基づく模擬授業を行い、「授業シナリオ」の改善を行う。
【内容・方法 等】 「おもしろい授業」づくりの工夫と授業研究
「授業シナリオづくり」の試み
- 【事前・事後学習課題】 「おもしろい授業」とは何かを考えておく。
- 第12回 【授業テーマ】 模擬授業（3）
「授業シナリオ」に基づく模擬授業を行い、「授業シナリオ」の改善を行う。
【内容・方法 等】 「役に立つ授業」の授業を考える。
「授業シナリオづくり」の試み
- 【事前・事後学習課題】 「役に立つ授業」とは何かを考えておく。
- 第13回 【授業テーマ】 討論：授業の実際と理論
【内容・方法 等】 「社会科」「情報科」の授業のポイントを検討する。
【事前・事後学習課題】 「社会科」と「情報科」の授業を例として授業とは何かをまとめておく。
- 第14回 【授業テーマ】 実習中の勤務の要領
【内容・方法 等】 学校の日、一週間の流れ、学校の組織と運営の概要について
【事前・事後学習課題】 実習校のホームページを参考に、学校の日、一週間の流れを把握しておく。
- 第15回 【授業テーマ】 授業の記録と評価について
【内容・方法 等】 授業と授業研究・話し方、授業構成、板書、補助教材など評価の観点への理解を深める。
【事前・事後学習課題】 教育実習の総合的な理解と実務の実際を確認する。

評価方法（基準）
期末レポート、模擬授業、学習指導案の作成等に関わる評価を行う。

教材等
教科書…「教育実習の手引き」（摂南大学）「教育実習記録」（摂南大学）「新編教育実習の常識－事例にもとづく必修66項」教育実習を考える会編 蒼丘書林（740円）
参考書…授業時に、適宜紹介する。

学生へのメッセージ
教職科目の特質をよく理解し、「学ぶこと」を通して「教えること」への実践的理解を深めることが大切である。また、「教育実習」はこれまでの学習の総まとめであることを自覚して、実習に備えること。

関連科目
教職科目全般と関連があるので、これまで学習した内容について、復習し整理しておくことが大切である。

担当者の研究室等
7号館3階(村田研究室)

- 教員免許取得上選択必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習
- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 教育実習特別個人指導（4月）
【内容・方法 等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。
【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
- 第2回 【授業テーマ】 教育実習事前指導（4月～5月）
【内容・方法 等】 教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出
- 第3回 【授業テーマ】 教育実習個人指導（4月～5月）
【内容・方法 等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出（必要者のみ）
- 第4回 【授業テーマ】 前期教育実習開始（5月～6月）
【内容・方法 等】 実習校において授業を行ったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
- 第5回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会（6月～7月）
【内容・方法 等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第6回 【授業テーマ】 後期教育実習開始（9月～10月）
【内容・方法 等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
- 第7回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会（10月）
【内容・方法 等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第8回 【授業テーマ】 教育実習総括講義（10月）
【内容・方法 等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
- 第9回 【授業テーマ】 教育実践指導（1月～3月）
【内容・方法 等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前・事後学習課題】 指示された課題
- 第10回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第11回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第12回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第13回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第14回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第15回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第16回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第17回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第18回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第19回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第20回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第21回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
【事前・事後学習課題】 _____
- 第22回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____

教育実習ⅡB Teaching Practice II B				
		深 川 八 郎 (フカガワ ハチロウ)		
		朝 日 素 明 (アサヒ モトアキ)		
		村 田 俊 明 (ムラタ トシアキ)		
		吉 田 佐 治 子 (ヨシダ サチコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上 選択必修	2

授業概要・目的・到達目標
「教育実習ⅡB」は、2週間以上の実習を行うもので、授業研究を主体とした実習である。（1）教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。（2）事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。（3）教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。（4）事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。
これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点
（1）教育実習校での実習を行う。（2）大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習Ⅲ」と合同で行う。（3）事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果（資格）

- 第23回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第24回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第25回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第26回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第27回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第28回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第29回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第30回 【事前・事後学習課題】 _____
【授業テーマ】 _____

評価方法 (基準)

事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。

教材等

教科書… 摂南大学『教育実習記録』
参考書… 中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか

学生へのメッセージ

『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。

関連科目

教職関連科目全般

担当者の研究室等

7号館3階

備考

(1) 中学校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡA」「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から4単位以上、高校教諭一種免許状の場合、「教育実習ⅡB」「教育実習Ⅲ」から2単位以上修得することが必要。(2) 中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

教育実習Ⅲ Teaching Practice III				
				深川 八郎 (フカガワ ハチロウ) 朝日 素明 (アサヒ モトアキ) 村田 俊明 (ムラタ トシアキ) 吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		通年	教免取得上 選択必修	4

授業概要・目的・到達目標

「教育実習Ⅲ」では、教育実習校において4週間以上の実習を行う。(1) 教育実習校において、教科、特別活動、生徒指導などの実習を行う。大学において事前及び事後の指導を行う。(2) 事前指導では、教育実習講義と個別指導を行う。(3) 教育実習は所定期間内に実習校の指導教諭の下で行う。(4) 事後指導では、教育実習体験報告及び反省を行い、指導のまとめとして、総括を行う。これらにより学生は、学校教育の実情を理解し、教職に対する自らの適性に気づき、適切な進路を選択できるようになる。

授業方法と留意点

(1) 教育実習校での実習を行う。(2) 大学での事前・事後指導は「教育実習Ⅱ」「教育実習ⅡB」と合同で行う。(3) 事前指導等への積極的参加をもって実習を許可する。実習を許可されない場合があることに留意すること。

科目学習の効果 (資格)

教員免許取得上選択必修
【免許法施行規則に定める科目区分】
教育実習

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

- 第1回 【授業テーマ】 教育実習特別個人指導 (4月)
【内容・方法 等】 教育実習予定者のうち、教育実習の履修に特に努力を要すると判断される履修者について行う。

- 第2回 【事前・事後学習課題】 個別の呼び出しに速やかに応じること
【授業テーマ】 教育実習事前指導 (4月～5月)
【内容・方法 等】 教育実習上の心がまえ・諸注意
教育実習ビデオの視聴
先輩教師の体験談
教師の仕事と責任について講義・討論
- 第3回 【事前・事後学習課題】 申請書類等の記入・提出
【授業テーマ】 教育実習個人指導 (4月～5月)
【内容・方法 等】 教科書、教材、指導案の作成などについて、個別の質問にこたえ指導する。
【事前・事後学習課題】 教材・学習指導案を作成して提出 (必要な者のみ)
- 第4回 【授業テーマ】 前期教育実習開始 (5月～6月)
【内容・方法 等】 実習校において授業を行ったり、クラブ活動の指導を担当するなど、教育活動に携わる。
実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
- 第5回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会 (6月～7月)
【内容・方法 等】 教育実習終了後、体験発表を行う。発表方法の詳細は、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第6回 【授業テーマ】 後期教育実習開始 (9月～10月)
【内容・方法 等】 後期教育実習予定者の実習を行う。実習中、本学教員による訪問指導を行う。
【事前・事後学習課題】 教材研究、学習指導案作成
- 第7回 【授業テーマ】 教育実習体験発表会 (10月)
【内容・方法 等】 後期教育実習生について、体験発表を行う。発表方法の詳細については、掲示による。
【事前・事後学習課題】 体験発表要旨の提出
使用教科書・作成教材・学習指導案の写しの提出
- 第8回 【授業テーマ】 教育実習総括講義 (10月)
【内容・方法 等】 教育実習のまとめとして、その意義を確認する。
【事前・事後学習課題】 教育実習記録の提出
- 第9回 【授業テーマ】 教育実践指導 (1月～3月)
【内容・方法 等】 教員採用選考試験合格者に対する指導を行う。
【事前・事後学習課題】 指示された課題
- 第10回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第11回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第12回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第13回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第14回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第15回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第16回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第17回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第18回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第19回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第20回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第21回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第22回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第23回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____
- 第24回 【授業テーマ】 _____
【内容・方法 等】 _____

- 第25回 【授業テーマ】 _____
 【内容・方法 等】 _____
 【事前・事後学習課題】 _____
- 第26回 【授業テーマ】 _____
 【内容・方法 等】 _____
 【事前・事後学習課題】 _____
- 第27回 【授業テーマ】 _____
 【内容・方法 等】 _____
 【事前・事後学習課題】 _____
- 第28回 【授業テーマ】 _____
 【内容・方法 等】 _____
 【事前・事後学習課題】 _____
- 第29回 【授業テーマ】 _____
 【内容・方法 等】 _____
 【事前・事後学習課題】 _____
- 第30回 【授業テーマ】 _____
- 評価方法 (基準)
 事前指導ならびに事後指導への積極的参加、事後指導における体験発表、実習校での実習成績、及び各種提出物による総合評価を行う。いずれか不十分なものがある場合は、単位を認定しない。
- 教材等
 教科書…摂南大学『教育実習記録』
 参考書…中学校・高等学校『学習指導要領』およびその『解説』ほか
- 学生へのメッセージ
 『学生便覧』『教職課程履修ガイド』を必読、その指示を十分に理解しておくこと。
- 関連科目
 教職関連科目全般
- 担当者の研究室等
 7号館3階
- 備考
 中学校教諭免許状取得希望者には、別途、介護等体験が義務化されている。

情報科教育法 Instruction Method for Information and Communication Science				
栢木紀哉 (カヤキ ノリヤ)				
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
3		通年	「情報」教員 取得上必修	4

授業概要・目的・到達目標
 本講義は、教科「情報」教員免許を取得するために必修となる。「情報科」成立の経緯および教科内容について理解し、情報教育のあり方について、学習目標、指導方法、評価方法などの視点から考え、担当教員に必要な基礎的知識や資質を養う。また、指導案の作成、模擬授業の実施を通して、授業を展開できる能力を身につけることを目指す。

授業方法と留意点
 テキストおよび配付資料を中心に、プロジェクターを用いて講義を行う。教員免許に関する科目であり、指導案の作成、模擬授業などを行いながら進めるため、無断欠席は厳禁とする。

科目学習の効果 (資格)
 教科「情報」の免許科目
 【免許法施行規則に定める科目区分】
 科目：教育課程及び指導法に関する科目
 各科目に含める必要事項：各教科の指導法

- 毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題
- 第1回 【授業テーマ】 インTRODククション
 【内容・方法 等】 授業の進め方、評価方法、情報と社会
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第2回 【授業テーマ】 新学習指導要領における情報教育
 【内容・方法 等】 「情報科」とはどのような教科か、情報科について
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第3回 【授業テーマ】 普通教科「情報」の構成
 【内容・方法 等】 教科「情報」の内容構成、指導の条件
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第4回 【授業テーマ】 情報活用の実践力の指導法
 【内容・方法 等】 情報活用の実践力の指導項目、題材例
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第5回 【授業テーマ】 情報科の科学的な理解の指導法
 【内容・方法 等】 情報科学とその指導項目、題材例
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする

- 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第6回 【授業テーマ】 問題解決とモデル化・シミュレーションの指導法
 【内容・方法 等】 問題の選定、モデル化の学習内容、題材例
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第7回 【授業テーマ】 アルゴリズムとプログラミングの指導法
 【内容・方法 等】 アルゴリズムとプログラミング教育、題材例
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第8回 【授業テーマ】 情報検索とデータベースの指導法
 【内容・方法 等】 情報の整理と検索、データの重要性、題材例
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第9回 【授業テーマ】 情報社会に参画する態度の指導法
 【内容・方法 等】 情報モラル・情報倫理の指導法、題材例
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第10回 【授業テーマ】 メディアリテラシーの指導法
 【内容・方法 等】 メディアリテラシーの概念、題材例
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第11回 【授業テーマ】 情報通信ネットワークとコミュニケーションの指導法
 【内容・方法 等】 コミュニケーションとその構造、ネットワークの仕組み
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第12回 【授業テーマ】 情報システムと社会の指導法
 【内容・方法 等】 社会における情報システムの役割、題材例
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第13回 【授業テーマ】 教材開発の方法 (1)
 【内容・方法 等】 教材設計の実践 (1)
 【事前・事後学習課題】 課題に基づいて教材設計を行う
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第14回 【授業テーマ】 教材開発の方法 (2)
 【内容・方法 等】 教材設計の実践 (2)、各自で用意した授業案の検討
 【事前・事後学習課題】 課題に基づいて教材設計を行う
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第15回 【授業テーマ】 前期のまとめ
 【内容・方法 等】 _____
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料およびテキストの該当箇所を読んでおく
- 第16回 【授業テーマ】 授業構想の検討
 【内容・方法 等】 学習目標の明確化
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第17回 【授業テーマ】 教材研究の方法
 【内容・方法 等】 課題分析の方法、進め方
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第18回 【授業テーマ】 学習指導案の作成
 【内容・方法 等】 教育目標の設定と指導案の作成
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第19回 【授業テーマ】 学習指導と評価 (1)
 【内容・方法 等】 評価の目的と対象、評価対象の具体化
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第20回 【授業テーマ】 学習指導と評価 (2)
 【内容・方法 等】 学習課題に応じた評価方法の種類と特徴
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第21回 【授業テーマ】 魅力ある授業の展開 (1)
 【内容・方法 等】 学習意欲を高める方法、内発的動機づけと外発的動機づけ
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第22回 【授業テーマ】 魅力ある授業の展開 (2)
 【内容・方法 等】 学習者の協同と活動、ワークショップとプロジェクト学習
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第23回 【授業テーマ】 魅力ある授業の展開 (3)
 【内容・方法 等】 ICT活用の実際、授業の記録・分析の方法
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
 配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第24回 【授業テーマ】 模擬授業の展開 (1)
 【内容・方法 等】 授業構想の検討、学習目標の明確化
 【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする

- 配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第25回 【授業テーマ】 模擬授業の展開 (2)
【内容・方法等】 設定した課題に基づく学習指導案の作成
【事前・事後学習課題】 次回の内容の予告をする
配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第26回 【授業テーマ】 模擬授業の展開 (3)
【内容・方法等】 指導案に基づく模擬授業 (1)
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第27回 【授業テーマ】 模擬授業の展開 (4)
【内容・方法等】 指導案に基づく模擬授業 (2)
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第28回 【授業テーマ】 模擬授業の展開 (5)
【内容・方法等】 指導案に基づく模擬授業 (3)
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第29回 【授業テーマ】 模擬授業の展開 (6)
【内容・方法等】 指導案に基づく模擬授業 (4)
【事前・事後学習課題】 模擬授業の準備をする
配付資料の該当箇所を読んでおく
- 第30回 【授業テーマ】 授業の総合評価
評価方法 (基準)
レポート、模擬授業、出席をもとに総合的に評価する。
- 教材等
教科書…山極隆 (監修)、岡本敏雄 (編著)『最新社会と情報』(実教出版、2013年)、文部科学省『高等学校学習指導要領解説 情報編』(開隆館出版、2010年)
参考書…稲垣忠、鈴木克明 (著)『授業設計マニュアル—教師のためのインストラクショナルデザイン』(北大路書房、2011年)
- 学生へのメッセージ
学習者に対して授業を行うためには、周到な準備が必要になります。目的意識を持ち積極的に講義に参加して下さい。
- 関連科目
情報関連科目全般
- 担当者の研究室等
11号館8階(栢木准教授室)

教職実践演習 (中・高) Practicum in Prospective Teachers				
		深川 八郎 (フカガワ ハチロウ)		
		村田 俊明 (ムラタ トシアキ)		
		朝日 素明 (アサヒ モトアキ)		
		吉田 佐治子 (ヨシダ サチコ)		
配当年次	クラス	学期	履修区分	単位数
4		後期	教免取得上 必修	2

授業概要・目的・到達目標

- 教育実習を終え、各自の問題点を明確化しながら今後の自らの実践課題をグループワーク等を通して再認識し、教員としての適性や実践的な力量について確認する。
- 中学・高校での現場体験学習を基に、現職・元教員、教育委員会指導主事等と研究交流し、生徒理解を通して生徒指導・進路指導ができることを確認する。
- 教科に関する科目の担当者や科目の指導主事・現職教員と連携協議し、専門科目・教職科目の学習を深め、授業実践ができることを確認する。
- 教員としての適性や力量、特に「授業を創造する意欲と能力」「対人関係能力と社会性・協調性」「使命感・責任感」「学校教育活動におけるリーダーシップ」等を有していることを確認する。

授業方法と留意点

- 教職課程の専任教員4名による全体指導と、各専任教員毎のグループ学習を中心に進める。1グループは15~20名。さらに、長年の実践経験を有する教員から実践を通して見えてくる学校現場の諸課題を知り、自己の実習経験と重ねる中で、新たな課題を探り、かつ全体でも共有していく。
- 大学の教科に関する科目の担当者・指導主事・現職教員と連絡協議し、教科指導・生徒指導・進路指導等ができることを確認していく。

科目学習の効果 (資格)

- 教職実践演習は、当該演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目 (教職実践演習を除く。)の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するもの。
- 2013年度から4年次後期の教職課程の必修科目。免許資格取得と同時に即学校現場で生かせる実践力を身に付けることが求められる。

毎回の授業テーマ、内容・方法等、事前・事後学習課題

第1回 【授業テーマ】 「教職実践演習」のガイダンス

- 【内容・方法等】 ・科目の目的、内容方法についての確認
・各自の教育実習後の課題についての確認
・3回以降のグループ学習の各課題の確認
- 【事前・事後学習課題】 ・教育実習ノートの点検と再確認
- 第2回 【授業テーマ】 専攻科目に於ける実践上の課題
【内容・方法等】 ・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野に関する個々の課題について教科担当教員が指導。
【事前・事後学習課題】 ・専攻教科における分野ごとの課題を整理
- 第3回 【授業テーマ】 専攻科目に於ける実践上の課題
【内容・方法等】 ・専攻科目ごとに分かれ、その科目の専門分野と実践上の課題について、教科担当教員が指導。その上で、研究交流する。
【事前・事後学習課題】 ・専攻教科における分野ごとの課題を整理
- 第4回 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場を全体で参観し、生徒指導・進路指導上の実践課題を知る。
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導・進路指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第5回 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、生徒指導上の実践課題を知る。その上で、「生徒理解」を目指した研究協議を行う。
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(生徒指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第6回 【授業テーマ】 生徒指導・進路指導(中学校現場での実地学習)
【内容・方法等】 地元市教委との連携協力を基に、中学校現場をグループ毎に参観し、進路指導上の実践課題を知る。その上で研究協議を行う。
【事前・事後学習課題】 中学生における集団づくりと個別指導(進路指導のあり方)についてレポートにまとめる
- 第7回 【授業テーマ】 学級集団づくりと生徒指導・進路指導の課題
【内容・方法等】 ・学級経営の重要性と困難性を確認しながら、個別指導について生徒指導・進路指導の事例を基に考える(グループワーク)
【事前・事後学習課題】 教員のマネジメント能力や「学級崩壊」の危険性についてレポートにまとめる
- 第8回 【授業テーマ】 進路指導
【内容・方法等】 ・進路指導・生徒指導上の教師の行うカウンセリングマインドについて考える
ビデオ「教師の行うカウンセリングマインド」
【事前・事後学習課題】 特に中学生における進路指導のあり方についてレポートにまとめる
- 第9回 【授業テーマ】 カウンセリングマインドと生徒対応
【内容・方法等】 カウンセリングの技法を生徒への対応、保護者への対応に応用する(ロールプレイ)
【事前・事後学習課題】 (事前) カウンセリングマインドについての復習
(事後) 小レポート
- 第10回 【授業テーマ】 「自分」を知る
【内容・方法等】 教育職における「自己を知る」ことの重要性を知り、そのための1方法としてのエゴグラム作成を行う
【事前・事後学習課題】 (事前)「自分」について考える
(事後) 小レポート
- 第11回 【授業テーマ】 いじめの現状
【内容・方法等】 問題行動のなかから特に「いじめ」を取り上げ、その多様性、メカニズム、深刻さを理解する。
配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。
【事前・事後学習課題】 (事前)配布資料の熟読
(事後)小レポートの提出
- 第12回 【授業テーマ】 いじめ問題への取り組み
【内容・方法等】 日常の些細な出来事がどのように「いじめ」に発展するのか、教師がいじめを見抜くのはどうして困難なのかを考える。
配布資料の事前学習に基づき、グループワークを行う。
【事前・事後学習課題】 (事前)配布資料の熟読
(事後)小レポートの提出
- 第13回 【授業テーマ】 教育実習と「道徳」の授業について—課題の確認—
【内容・方法等】 教育実習体験発表レジュメ等に基づく発表と討論
—教育実習における「道徳」指導について考えたことを話し合う—
【事前・事後学習課題】 事前:教育実習における「道徳」指導についての経験をまとめてくる。
事後:話し合いから学んだことをまとめる。
- 第14回 【授業テーマ】 「道徳」の模擬授業と授業検討
—「道徳」授業のポイント確認—
【内容・方法等】 受講生による模擬授業と全体討論を通して、「道徳」の授業を検討する。
【事前・事後学習課題】 事前:代表者による模擬授業(30分)

の実施準備を行う。

事後：模擬授業の検討・評価を通して、「道徳」の授業観をもつ。

第15回 【授業テーマ】 授業改革と人権教育(元校長との研究交流) 総括レポートの作成

【内容・方法 等】 ・学力格差克服へ向けた中学校の授業実践に学ぶ

- ・大阪の人権教育は如何に進められてきたかについて知る
- ・中・高等学校が抱えている教育課題を踏まえ、自らの今後の課題をまとめる。

【事前・事後学習課題】 レポート作成

評価方法 (基準)

教職教室教員4名によるグループ学習が中心となる。それ故、それぞれのグループでのレポート評価を総合し評価する。

教材等

教科書…「教育実習記録」(摂南大学)
教育実習で使用した各教科書・教材

参考書…資料等は授業中に適宜配布

学生へのメッセージ

教育実習を終えた時点で各自が自らの実習を省察すること。その中で、問題点を見出し、諸課題を自ら設定し、この科目を軸にしなが、全体講義やグループワークを通して課題克服を目指しながら、さらなる実践的力量を身に付けること。

関連科目

全ての教職課程必修科目、取得予定免許状に関わる各教科毎の必修科目

担当者の研究室等

教職教室(7号館3階)
深川八郎、村田俊明、朝日素明、吉田佐治子

